Canon

レーザビームプリンタ

Satera LBP3600

ユーザーズガイド

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

取扱説明書の分冊構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。

このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められている PDF マニュアルです。

- **プリンタを設置するには**
- **コンピュータと接続するには**
- **印刷できるようにするには**

設置時にお読みください

- **プリンタの簡単なメンテナンス方法を知るには**

かんたんメンテナンスガイド

- **基本的な使いかたを知るには**
- **困ったときには**

ユーザーズガイド（本書）

- **ネットワーク環境で印刷するための準備をするには**
  Windows にオプションのネットワークボードを装着している場合のみ
  （オプションのネットワークボードに同梱されています）

ネットワークガイド／スタート編

- **ネットワーク環境で印刷する環境を設定するには**
- **ネットワーク環境でプリンタを管理するには**
  Windows にオプションのネットワークボードを装着している場合のみ

ネットワークガイド／本編

- **Web ブラウザからプリンタを操作・設定するには**
  Windows にオプションのネットワークボードを装着している場合のみ

リモート UI ガイド

- **Macintosh での使いかたを知るには**

Macintosh 用プリンタドライバ オンラインマニュアル

- PDF 形式のマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。
- 表紙に掲載されている製品写真は、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の構成について

第 1 章 お使いになる前に　必ずお読みください

第 2 章 給紙／排紙のしかた

第 3 章 Windows の印刷環境を設定するには

第 4 章 Windows から印刷するには

第 5 章 Macintosh から印刷するには

第 6 章 日常のメンテナンス

第 7 章 オプション品について

第 8 章 困ったときには

第 9 章 付録

目次

はじめに x

本書の読みかた x

マークについて x

ボタンの表記について x

画面について xi

略称について xi

規制について xii

電波障害規制について xii

国際エネルギースタープログラムについて xii

商標について xii

原稿などを読み込む際の注意事項 xiii

安全にお使いいただくために xiv

設置について xiv

電源について xv

取り扱いについて xvi

保守／点検について xvii

消耗品について xviii

その他 xviii

第 1 章　お使いになる前に

製品の特長 1-2

各部の名称と機能 1-3

本体 1-3

前面 1-3

背面 1-4

プリンタ内部 1-5

ランプについて 1-6

電源コード、アース線を接続する 1-7

アース線を接続する 1-7

電源コードを接続する 1-9

電源のオン、オフ 1-12

電源をオンにする 1-12

電源をオフにする 1-13

コンピュータと接続する 1-14
USB ケーブルで接続する場合 1-14
LAN ケーブルで接続する場合（Windows のみ） 1-16

第２章　給紙／排紙のしかた

用紙について 2-2
使用できる用紙 2-2
用紙サイズ 2-2
用紙タイプ 2-3
用紙サイズの略号について 2-6
印刷できる範囲 2-7
使用できない用紙 2-8
用紙の保管について 2-9
プリントの保管について 2-9
給紙部について 2-10
給紙部の種類 2-10
給紙部の積載枚数 2-11
給紙部の選択 2-12
排紙先について 2-14
排紙トレイ 2-14
排紙先の積載枚数 2-15
給紙カセットから印刷する 2-16
給紙カセットに用紙をセットする 2-17
カセット 1 に用紙をセットする 2-18
カセット 2、カセット 3、カセット 4 に用紙をセットする 2-24
給紙カセットの用紙サイズを変更する 2-28
カセット 1 の用紙サイズを変更する 2-28
カセット 2、カセット 3、カセット 4 の用紙サイズを変更する 2-40
プリンタドライバの設定をして印刷する 2-47
手差しトレイから印刷する 2-51
用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合 2-51
はがきに印刷する場合 2-60
封筒に印刷する場合 2-67
両面に印刷する 2-76
自動で両面に印刷する 2-77
自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた 2-80
給紙カセットから給紙する場合 2-80
手差しトレイから給紙する場合 2-82
手動で両面に印刷する 2-83

第３章　Windows の印刷環境を設定するには

印刷するときに必要な作業 3-2
プリンタを設置したあとに行う作業 3-2
印刷のたびに行う作業 3-2
必要なシステム環境 3-3
CAPT ソフトウェアをインストールする 3-4
Windows 98/Me の場合 3-4
CD-ROM Setup からインストールする 3-4
プラグ・アンド・プレイでインストールする 3-9
［プリンタの追加ウィザード］からインストールする 3-17
Windows 2000 の場合 3-21
CD-ROM Setup からインストールする 3-21
プラグ・アンド・プレイでインストールする 3-26
［プリンタの追加ウィザード］からインストールする 3-30
Windows XP/Server 2003 の場合 3-36
CD-ROM Setup からインストールする 3-36
プラグ・アンド・プレイでインストールする 3-41
［プリンタの追加ウィザード］からインストールする 3-44
インストールが完了すると 3-51
プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する 3-53
プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する 3-56
プリントサーバの設定 3-57
Windows 98/Me の場合 3-57
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合 3-61
クライアントへのインストール. 3-67
CD-ROM Setup からインストールする 3-68
［プリンタの追加ウィザード］からインストールする 3-73
［エクスプローラ］からインストールする 3-76
CAPT ソフトウェアの削除 3-77

第４章　Windows から印刷するには

アプリケーションソフトから印刷する 4-3
ジョブを操作する 4-7
印刷条件を設定する 4-9
Windows 98/Me の場合 4-9
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する 4-9
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する . . 4-11
Windows 2000/XP/Server 2003 の場合. 4-12
アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する 4-13
［プリンタ］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する . . 4-14
［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する . . 4-16

印刷前のプリンタ情報設定 4-18
いろいろな印刷機能を使用する 4-20
プリンタドライバのページについて 4-20
［ページ設定］ページ 4-21
［仕上げ］ページ 4-24
［給紙］ページ 4-27
［印刷品質］ページ 4-29
［全般］ページ 4-32
［詳細］ページ（Windows 98/Me のみ） 4-32
［共有］ページ 4-33
［ポート］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ） 4-33
［詳細設定］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ） 4-34
［セキュリティ］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ） 4-34
［デバイスの設定］ページ 4-35
［お気に入り］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ） 4-36
プレビュー画面について 4-38
用紙 1 枚に複数ページを印刷する 4-39
拡大／縮小して印刷する 4-41
自動で倍率を設定する 4-41
任意に倍率を設定する 4-42
ポスター印刷を行う 4-43
スタンプを付けて印刷する 4-44
スタンプを付けて印刷する 4-45
スタンプを編集する 4-46
任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定する 4-49
ページに枠や日付を付けて印刷する 4-50
印刷方法を選択して印刷する 4-52
サイズや向きが異なる用紙を組み合わせて印刷する 4-54
とじしろを付けて印刷する 4-56
印刷の仕上げ方法を設定する 4-57
給紙方法を選ぶ 4-60
印刷の品質を設定する 4-61
グレーの設定をする 4-62
グレーの設定をする 4-62
グレー調整サンプルを印刷する（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ） 4-64
お気に入りを設定する 4-66
お気に入りの新規追加 4-66
お気に入りの編集／削除 4-68
ジョブを編集する 4-69
設定を確認する／設定を標準値に戻す 4-71
設定を確認する 4-72
設定を標準値に戻す 4-72
プリンタステータスウィンドウについて 4-73
プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能 4-73
プリンタステータスウィンドウの表示方法 4-75
環境設定メニューについて 4-75

[ユーティリティ] メニューについて 4-77
[デバイス設定] メニューについて 4-78
[最新の情報に更新] について 4-79
[エラー復帰] について. 4-79
プリントサーバを使用しているときの表示 4-79

第 5 章　Macintosh から印刷するには

印刷するときに必要な作業 5-2
プリンタを設置したあとに行う作業 5-2
印刷のたびに行う作業 5-2
必要なシステム環境 5-2
CAPT ソフトウェアをインストールする 5-4
Mac OS 8/9 の場合 5-4
Mac OS X の場合 5-7
印刷先を設定する 5-11
Mac OS 8/9 の場合 5-11
Mac OS X の場合 5-12
CAPT ソフトウェアの削除 5-15
Mac OS 8/9 の場合 5-15
Mac OS X の場合 5-17
アプリケーションソフトから印刷する 5-21
Mac OS 8/9 の場合 5-21
Mac OS X の場合 5-24
オンラインマニュアルを表示する 5-27
Mac OS 8/9 の場合 5-27
Mac OS X の場合 5-28
プリンタドライバヘルプを表示する 5-30

第 6 章　日常のメンテナンス

トナーカートリッジを交換する 6-2
メッセージが表示されたときは. 6-2
トナーを使い切るには 6-3
トナーカートリッジの交換 6-8
使用済みトナーカートリッジ回収のお願い 6-17
トナーカートリッジの取り扱いのご注意 6-17
トナーカートリッジの保管について 6-19
定着ローラを清掃する 6-20
転写ローラと感光ドラムを清掃する 6-25

印字位置を調整する 6-27
印字位置の確認 6-27
印字位置の調整 6-29
プリンタを清掃する 6-34
プリンタを移動する 6-36
プリンタの取り扱いについて 6-44
プリンタの取り扱いのご注意 6-44
プリンタ保管時のご注意 6-45

第7章　オプション品について

オプション品について 7-2
給紙カセット 7-2
ペーパーフィーダ 7-3
両面ユニット 7-4
ネットワークボード（Windowsのみ） 7-5
ペーパーフィーダ 7-6
設置スペース 7-8
各部の名称と機能 7-9
梱包材を取り外す 7-9
250枚ペーパーフィーダユニットPF-66の梱包材を取り外す 7-10
250枚ペーパーフィーダユニットPF-66Eの梱包材を取り外す 7-12
プリンタ本体を移動する 7-15
ペーパーフィーダを取り付ける 7-20
ペーパーフィーダを取り外す 7-26
両面ユニット 7-28
設置スペース 7-29
各部の名称と機能 7-30
梱包材を取り外す 7-31
両面ユニットを取り付ける 7-32
両面ユニットを取り外す 7-35
ネットワークボード（Windowsのみ） 7-39
各部の名称と機能 7-40
ネットワークボードを取り付ける 7-41
ネットワークボードを設定する 7-45
ネットワークボードの初期化 7-47
ネットワークボードを取り外す 7-50

第 8 章　困ったときには

トラブル解決マップ 8-2
エラーランプについて 8-3
紙づまりが起こったときには 8-4
紙づまりの除去手順 8-6
ペーパーフィーダの紙づまり 8-20
両面ユニットの紙づまり 8-23
紙づまりのメッセージが消えないときは 8-28
サービスコール表示 8-37
印字品質のトラブル 8-39
用紙のトラブル 8-46
何も印刷されないときは 8-48
インストールのトラブル 8-49
アンインストールできなかったときは. 8-50
USB クラスドライバの削除 8-52
ローカルインストール時のトラブル 8-55
プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル 8-56
その他のトラブル 8-57
プリンタの機能を確認したいときには 8-60

第 9 章　付録

プリンタのおもな仕様 9-2
ハードウェアの仕様 9-2
ソフトウェアの仕様 9-3
各部の寸法 9-4
NetSpot Device Installer について（Windows のみ） 9-7
Print Monitor Installer について（Windows のみ） 9-8
NetSpot Console について（Windows のみ） 9-9
Windows ファイアウォール機能について 9-10
クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする 9-10
Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する . . . 9-12
サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する . . . 9-13
FontGallery について 9-15
必要なシステム環境 9-15
コード表について. 9-16

インストール方法について 9-16
FontGallery 製品使用許諾契約書 9-18
ソフトウェア製品使用許諾契約書 9-18
BITSTREAM 使用許諾契約 9-19
保証の拒否および限定保証 9-20
米国政府の限定権利 9-21
FontGallery 同梱書体見本 9-22

索引 9-28

保守サービスのご案内 9-33

キヤノン保守契約制度とは 9-33
キヤノン保守契約制度のメリット 9-33
キヤノンサービスパックとは 9-34
キヤノンサービスパックのメリット 9-34
補修用性能部品 9-34

無償保証について 9-35

シリアルナンバーの表示位置について 9-36

ソフトウェアのバージョンアップについて 9-37

情報の入手方法 9-37
ソフトウェアの入手方法 9-37

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い 9-38

はじめに

このたびはキヤノン LBP3600 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

ボタンの表記について

本書では、ボタン名称を以下のように表しています。

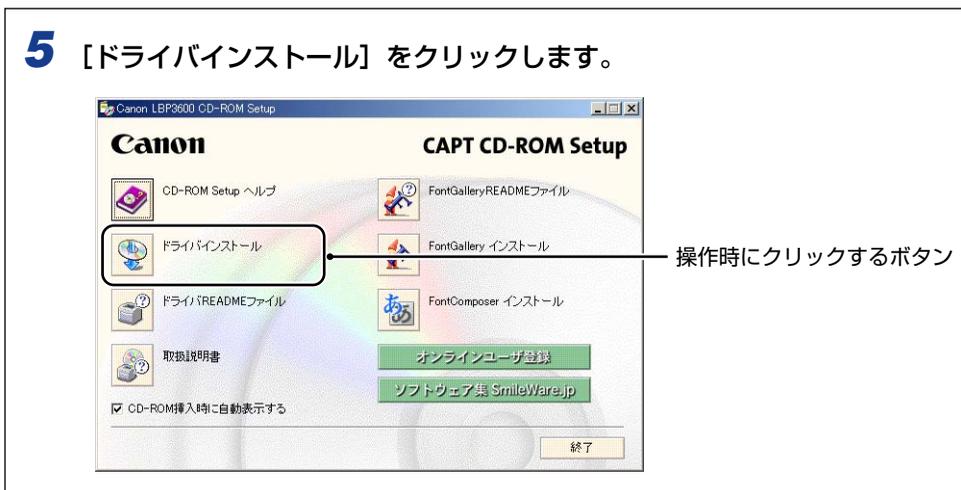
- コンピュータ画面上のボタン：[ボタン名称]

  例：[OK]
  [詳細設定]

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んでいます。

また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版：	Windows 95
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版：	Windows 98
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版：	Windows Me
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版：	Windows 2000
Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版：	Windows XP
Microsoft® Windows Server™ 2003 operating system 日本語版：	Windows Server 2003
Microsoft® Windows® operating system：	Windows

規制について

電波障害規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準並びにマーク（ロゴ）は、参加各国の間で統一されています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、LBP、NetSpotは、キヤノン株式会社の商標です。

FontComposer、FontGalleryは、キヤノン株式会社の日本における登録商標です。

Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、Macintosh、Mac OS、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の商標です。

IBM、PowerPCは、米国International Business Machines Corporationの商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国および他の国における登録商標です。

Windows Serverは、米国Microsoft Corporationの商標です。

Ethernetは、米国Xerox Corporationの商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨・有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律で罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

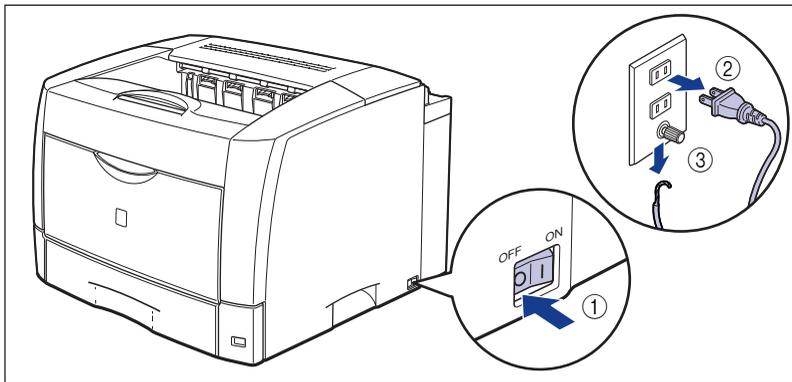
関係法律		
	• 刑法	• 郵便法
	• 著作権法	• 郵便切手類模造等取締法
	• 通貨及証券模造取締法	• 印紙犯罪処罰法
	• 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	• 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
  製品内部に入った場合は、直ちに電源をオフにし ①、電源プラグを抜いて ②、アース線を取り外し ③、お買い求めの販売店にご連絡ください。
  ・アクセサリーなどの金属物
  ・コップや花瓶、植木鉢などの水や液体が入った容器

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所などの不安定な場所、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。またベッドやソファー、毛足の長いじゅうたんなどの上に設置しないでください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
  ・雨や雪が降りかかるような場所

・水道の蛇口付近などの水気のある場所

・直射日光のあたる場所

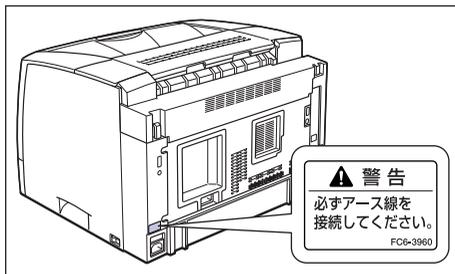
・高温になる場所

・火気に近い場所

- 製品を設置する場合は、製品と床面、製品と製品の間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- インタフェースケーブルを接続する場合は、本書の指示に従って正しく接続してください。正しく接続しないと、製品の故障や感電の原因になることがあります。
- 製品を持ち運ぶ場合は、本書の指示に従って正しく持ってください。製品を落としたりして、けがの原因となることがあります。（→ プリンタを移動する：P.6-36）

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

[アース線を接続してよいもの]

・電源コンセントのアース線端子

・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

[アース線を接続してはいけないもの]

・水道管…配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

・ガス管…ガス爆発や火災の原因になります。

・電話線のアースや避雷針…落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。
  - ・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
  - ・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
  - ・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

取り扱いについて

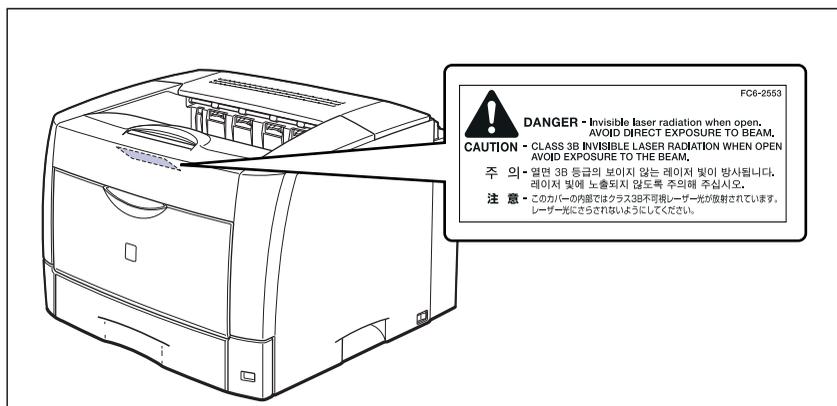
警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 電気部品は誤って取り扱うと思わぬけがをして危険です。電源コードやケーブル類、製品内部のギアや電気部品に子供が触れないように注意してください。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取りはずしてください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやステイプル針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になります。これらが製品内部に入った場合は直ちに電源をオフにし、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。
- 電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。

⚠ 注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 拡張ボードの取り扱いには注意してください。拡張ボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにしてください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密閉されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配は全くありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。

  ・本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。

  ・レーザースキャナユニットのカバーに貼ってある注意ラベルをはがさないでください。

  ・万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

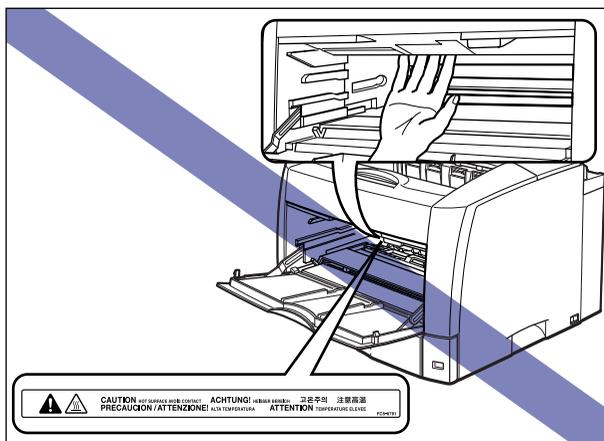
- この製品は IEC60825-1:1993 においてクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因となります。
- 製品内部には高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期差したままにすると、その周囲にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理などで内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりした用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

消耗品について

- トナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーに引火してやけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジ、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

注意

トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーカートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

その他

トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

お使いになる前に

この章では、本プリンタのおもな特長と基本的な機能について説明しています。

製品の特長. 1-2
各部の名称と機能. 1-3
本体 1-3
ランプについて 1-6
電源コード、アース線を接続する. 1-7
アース線を接続する 1-7
電源コードを接続する 1-9
電源のオン、オフ. 1-12
電源をオンにする. 1-12
電源をオフにする. 1-13
コンピュータと接続する 1-14
USB ケーブルで接続する場合 1-14
LAN ケーブルで接続する場合（Windows のみ） 1-16

製品の特長

■ ハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」搭載
Windows OS および Mac OS に対応したキヤノン最新のハイパフォーマンスプリンティングシステム「CAPT」（Canon Advanced Printing Technology）を搭載。このシステムは従来プリンタで行っていた印刷時のデータ処理をコンピュータで一括処理するため、コンピュータの性能をフルに活かした高速印刷を実現しています。また、重いデータでもプリンタ側のメモリの追加なしに処理できます。

■ USB 2.0 High Speed 標準搭載
最高 480Mbps の高速 I/F USB 2.0 High Speed への対応により高速転送を実現しています。

■ 多彩なペーパーハンドリング
標準の手差しトレイとユニバーサルカセットに加え、オプションで 250 枚ペーパーフィーダを用意。最大 1100 枚、5 種類の用紙サイズの連続自動給紙を可能にしました。また、手差しトレイは、手差し両面印刷が可能で、用紙サイズもはがきから最大 A3 にまで対応しており、多様な用途に応じた使いかたを可能にしています。さらに、オプションの両面ユニットを装着することで、手差しトレイ（定形用紙サイズ）や給紙カセットにセットした用紙を自動両面印刷できます。これにより、用紙の節約やファイルスペースの効率化が図れます。

■ 省電力設計 & ウォームアップレス
「オンデマンド定着方式」の採用により省エネとクイックスタートを実現しました。このキヤノン独自の技術は定着ヒータを印刷時のみ瞬間的に加熱する方法で、ウォームアップ時間はありません。いつでもスタンバイ状態ですぐ印刷を開始できます。またスタンバイ時は定着器のほうでほとんど電力を消費しない省電力設計です。

■ さまざまなマテリアルに対応
普通紙、厚紙、はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙などさまざまな用紙に対応しています。

■ ネットワーク対応プリンタ
Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボードを装着することで、Ethernet のネットワークプリンタとして使用できます。また、ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、ジョブが終了したり、消耗品の残量不足または少なくなった状態が発生したときに E-mail にて通知する E-mail 通知機能があります。

メモ　オプションのネットワークボードの対応 OS、設定のしかた、詳細については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

各部の名称と機能

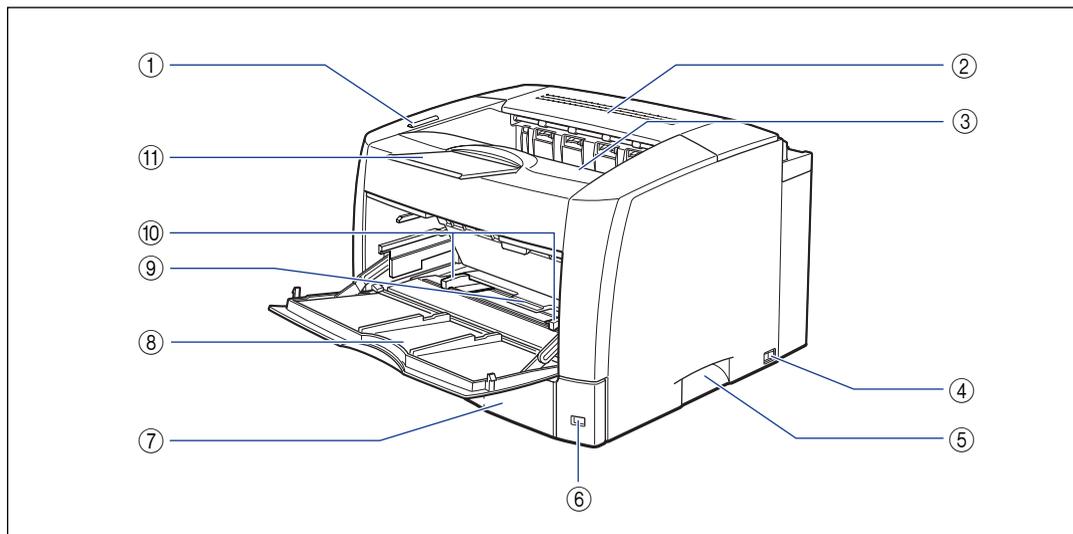
本プリンタを正しく使用し、機能を十分に活用していただくために、各部の名称と機能を覚えてください。

本体

プリンタ本体の各部の名称と機能を説明しています。

注意 本プリンタには通気口（吸気口、排気口、吸排気口）がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口（吸気口、排気口、吸排気口）をふさがれるとプリンタ内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

前面

前面の各部の名称と機能を説明しています。

① **ランプ**
プリンタの状態を示すランプです。（→P.1-6）

② **上カバー**
排紙部の紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。紙づまりを除去する場合は、上カバーをゆっくりと強く押し上げ、必ず止まる位置まで完全に開けてから行ってください。（→P.8-4）

③ **排紙トレイ**
印刷された用紙が下向き（フェースダウン）で排紙されます。（→P.2-14）

④ **電源スイッチ**
プリンタの電源をオン／オフします。（→P.1-12）

⑤ **運搬用取っ手**
プリンタを運ぶときは、ここを持ちます。（→P.6-36）

⑥ **用紙サイズ表示**
給紙カセットにセットした用紙サイズの用紙サイズ表示板を差し込みます。（→P.2-37）

⑦ **給紙カセット**
最大 250 枚（64g/m² の場合）までの A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙がセットできます。（→P.2-16）

⑧ **手差しトレイ**
用紙を手差しトレイから給紙するときに、用紙をセットします。（→P.2-51）
また、トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→P.6-2）

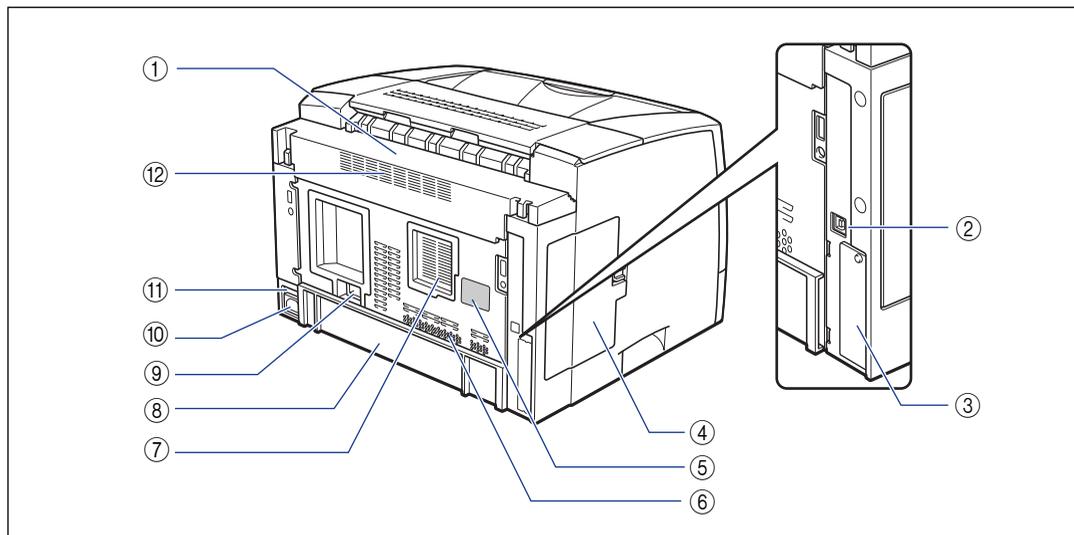
⑨ **用紙押さえレバー**
手差しトレイにセットした用紙を固定するためのレバーです。（→P.2-52）

⑩ **用紙ガイド**
手差しトレイにセットした用紙の幅に合わせてガイドの位置を調整します。積載制限マークが付いており、このマークまで用紙をセットできます。

⑪ **補助トレイ**
A3 や B4 サイズなど大きい用紙を排紙するときに、用紙が垂れ下がらないように引き出します。（→P.2-15）

背面

背面の各部の名称と機能を説明しています。

重要　両面ユニット用コネクタには絶対に手を触れないでください。故障や動作不良の原因になります。

① **後上カバー**
オプションの両面ユニットを取り付けるときに、取り外します。両面ユニットを取り付けていない場合は、後上カバーを正しく取り付けておいてください。後上カバーが正しく取り付けられていないと、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「両面ユニットが正しくセットされていません」や「トナーカバーが開いています」というエラーメッセージが表示されます。

② **USB コネクタ**
USB ケーブルの接続部です。コンピュータなどの USB ポートに接続します。（→P.1-14）

③ **拡張ボードスロット**
オプションのネットワークボードを取り付けます。（→P.7-39）

④ **左カバー**
本プリンタでは使用しません。左カバーは開けないでください。

⑤ **定格銘板ラベル**
プリンタ識別のためのシリアルナンバー（Serial No.）が記載されています。サービスや修理を受けるときに必要になります。明示されている電流値は、平均消費電流です。（→P.9-36）

⑥ **吸気口**
プリンタ内部冷却用の吸気口です。

⑦ **吸排気口**
プリンタ内部冷却用の吸排気口です。

⑧ **後下カバー**
オプションの両面ユニットを取り付けるときに、取り外します。

⑨ **両面ユニット用コネクタ**
オプションの両面ユニット取り付け用のコネクタです。

⑩ **電源コード差し込み口**
付属の電源コードをここに接続します。

⑪ **アース線端子**
付属のアース線をこの端子に接続します。

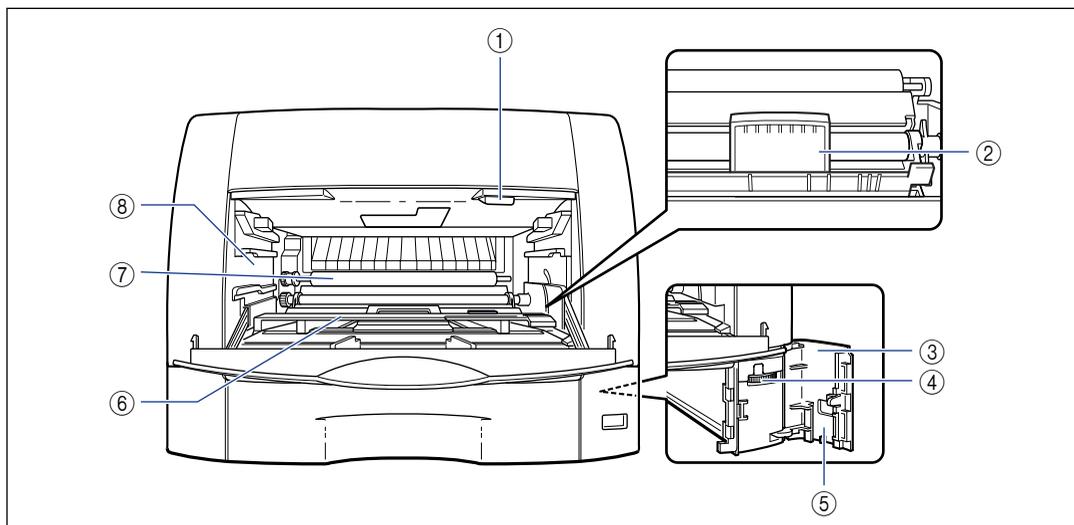
⑫ **排気口**
プリンタ内部冷却用の排気口です。

1

お使いになる前に

プリンタ内部

プリンタ内部の各部の名称と機能を説明しています。

重要　転写ローラには、絶対に手を触れないでください。印字品質が低下することがあります。

① **トナーカバーオープンボタン**
トナーカバーを開けるときに、ここを押します。（→P.6-4、P.8-9）

② **手差し搬送カバー（開けた状態）**
トナーカバー内部の紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。

③ **用紙サイズ登録カバー（開けた状態）**
用紙サイズ表示板を用紙サイズ表示板差し込み口に差し込むときや、用紙サイズ登録ダイヤルを給紙カセットの用紙サイズに設定するときに、ここを開けます。（→P.2-36）

④ **用紙サイズ登録ダイヤル**
給紙カセットの用紙サイズを設定します。（→P.2-36）

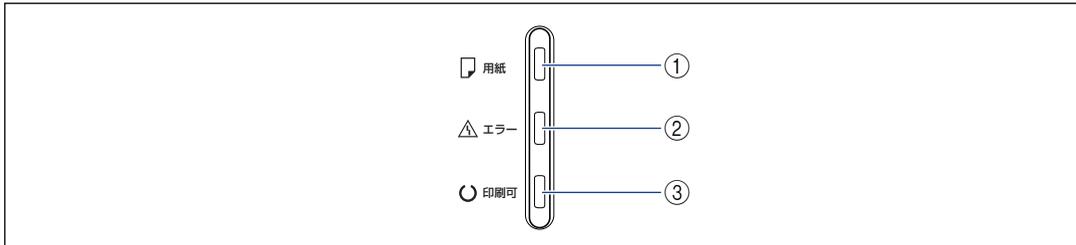
⑤ **用紙サイズ表示板差し込み口**
セットした用紙サイズに合った用紙サイズ表示板をここに差し込みます。（→P.2-37）

⑥ **トナーカバー（開けた状態）**
トナーカートリッジの交換や紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。（→P.6-4、P.8-9）

⑦ **転写ローラ**
印刷時にトナーを用紙に転写させる重要な部品です。

⑧ **トナーカートリッジガイド**
トナーカートリッジをセットするときは、両端の突起をこのガイドに合わせて押し込みます。（➞P.6-6）

ランプについて

メモ プリンタ状態の詳しい情報は、お使いのコンピュータからプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）で確認することができます。プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（➞P.4-73）を参照してください。プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第 4 章　便利な印刷機能」を参照してください。

① **用紙ランプ（赤色）**
点滅：用紙なしの状態、または印刷するサイズの用紙がセットされていない状態。

② **エラーランプ（赤色）**
点灯：サービスコールが発生している状態。
点滅：エラーが発生していて印刷できない状態。

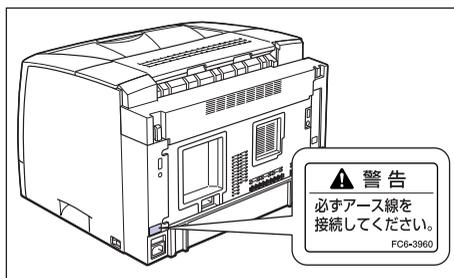
③ **印刷可ランプ（青色）**
点灯：印刷可能な状態。
点滅：印刷中、ウォームアップ中、一時停止中など、プリンタが何らかの処理または動作を行っている状態。

電源コード、アース線を接続する

本プリンタの電源コードとアース線の接続方法を説明します。接続する際には「安全にお使いいただくために」（➞P.xiv）を参照してください。

アース線を接続する

警告

- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。

  [アース線を接続してもよいもの]

  ・電源コンセントのアース線端子

  ・接地工事（D 種）が行われているアース線端子

  [アース線を接続してはいけないもの]

  ・水道管･･･配管の途中でプラスティックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。

  ・ガス管･･･ガス爆発や火災の原因になります。

  ・電話線のアースや避雷針･･･落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。

- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグを電源コンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

注意

- 感電防止のため、プリンタの電源コードが接続されていないことを確認してからアース線を接続してください。
- 感電防止のため、コンピュータの電源がオフになっていることを確認してからアース線を接続してください。

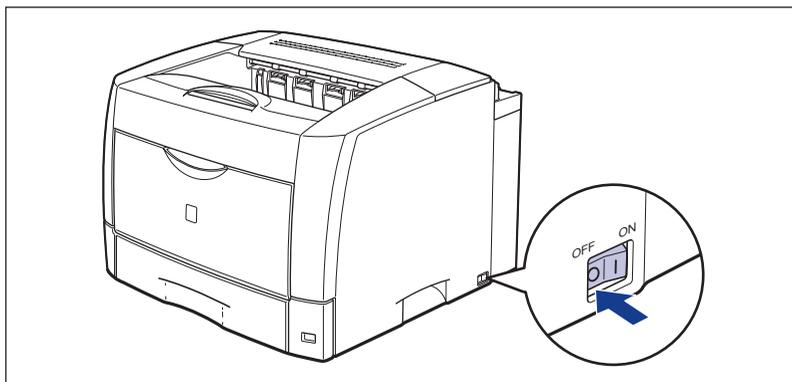
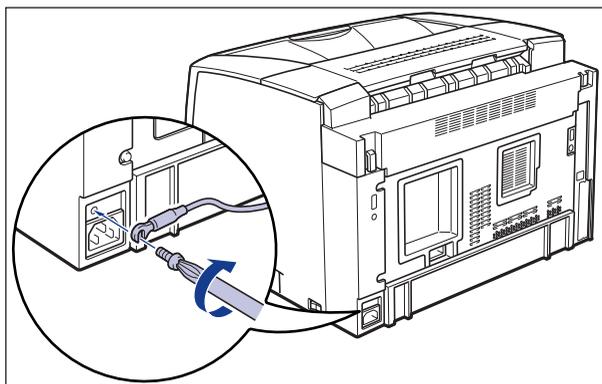
重要

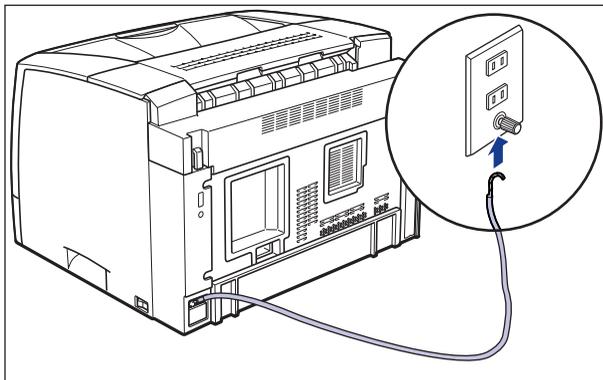
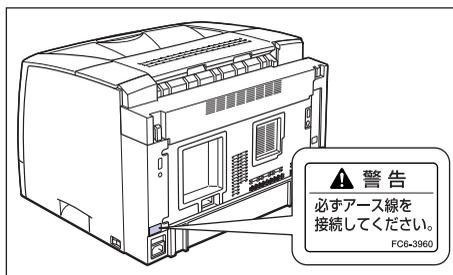
アース線を接続するときは、プリンタ、コンピュータ双方とも接続してください。片方だけ接続すると、 機器間に電位差が生じ故障の原因になることがあります。

メモ

アース線の取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

2 アース線端子のネジをゆるめて取り外し、付属のアース線をネジ止めします。

重要　アース線が電源コード差し込み口にかからないようにアース線を取り付けてください。

3 アース線を専用のアース線端子へ接続します。

⚠警告　アース線を接続してください。アース線を接続しないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

電源コードを接続する

⚠警告

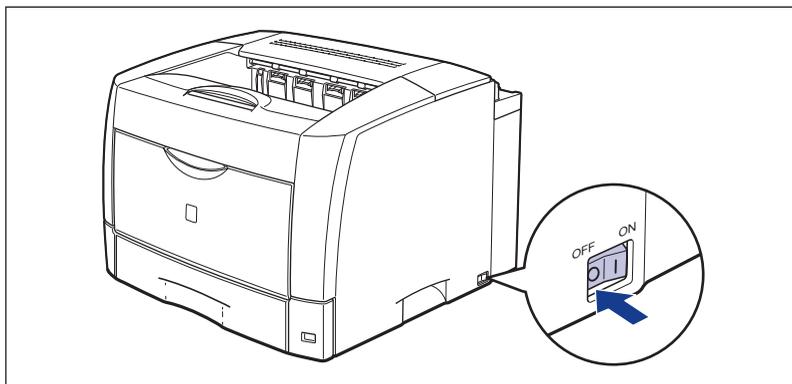
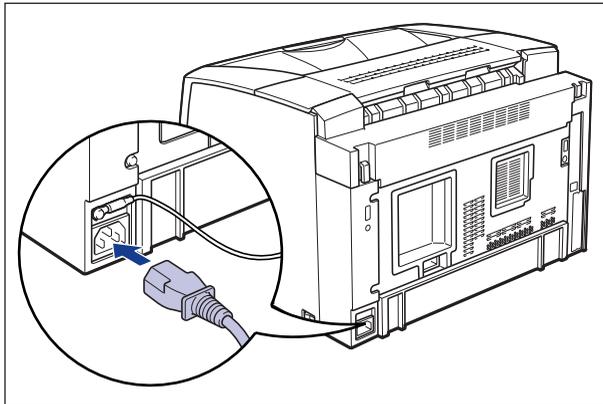
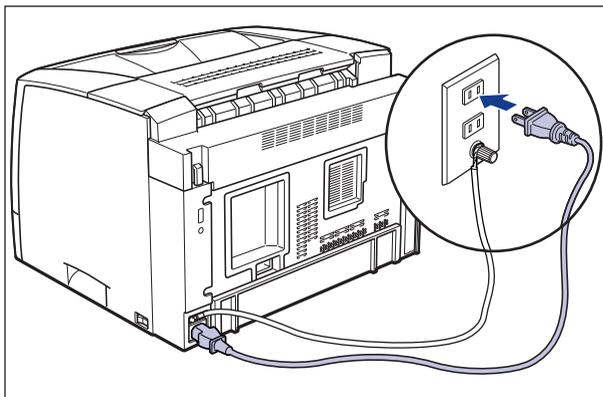
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグは電源コンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードを使用しての接続やタコ足配線はしないでください。やむを得ず延長コードを使用したり、タコ足配線をする場合は使用者の責任において、以下の点に注意してご使用ください。誤った使いかたをすると、火災や感電の原因になります。
  - ・延長コードに延長コードの接続はしないでください。
  - ・製品を使用した状態で、電源プラグの接続部分の電圧が、定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている電圧になっているかを確認してください。

・延長コードは定格銘版ラベル（製品背面に記載）に明示されている製品に必要な電流値に比べて十分に余裕のあるものをご使用ください。
・使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように奥まで電源プラグを差し込んでください。
・延長コードが異常に発熱していないか、定期的に確認してください。

注意
- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

重要
- コンピュータ本体の補助コンセントに電源を接続しないでください。
- なるべくひとつのコンセントを専用にしてお使いください。
- 本プリンタを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作を起こしたり、故障する恐れがあります。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認します。

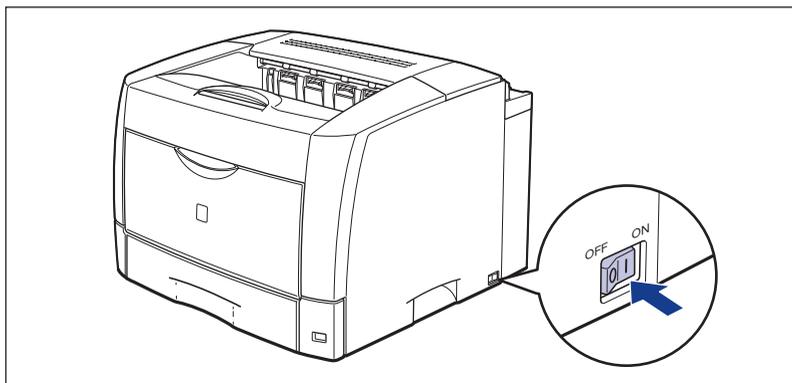
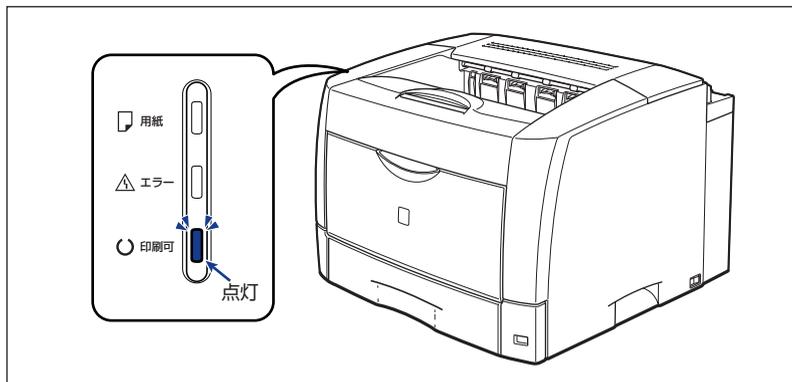
電源スイッチの“○”側を押した状態がオフです。

2 電源コード差し込み口に、付属の電源コードをしっかりと差し込みます。

3 電源プラグを電源コンセントへ接続します。

電源のオン、オフ

本プリンタの電源は、本体右側面の電源スイッチでオン、オフを行います。思わぬトラブルを避けるため、正しい手順を覚えてください。

電源をオンにする

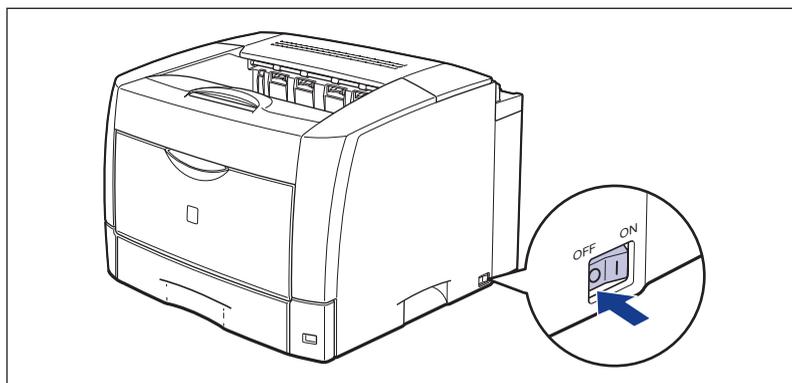
本プリンタを使用するには、電源スイッチの“|”側を押して、オンにします。本体やオプション品の状態チェック（自己診断）を実行したあと、印刷可能な状態になります。

重要
- 電源をオフにした直後に、再度電源をオンにしないでください。電源をオフにしたあとに再度電源をオンにするときは、電源をオフにしてから 3 秒以上経ったあと、電源をオンにしてください。
- 正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.8-1）を参照してください。
- プリンタを設置後、初めて電源をオンにするときは、電源を入れる前に必ず給紙カセットを本体にセットしてからプリンタの電源を入れてください。

1 プリンタの電源スイッチの“|”側を押します。

プリンタのランプが点灯し、本体やオプション品の状態を自己診断します。
自己診断の結果に異常がなければ、印刷可ランプ（青色）が点灯し、印刷可能な状態になります。

電源をオフにする

本プリンタは、次の手順で電源をオフにします。

重要
- ネットワークに接続している場合は、他のコンピュータから印刷していないか確認してから、電源をオフにしてください。
- プリンタの電源をオフにすると、プリンタのメモリに残っている印刷データは消去されます。必要な印刷データは、出力し終わるまで待ってから電源をオフにしてください。
- プリンタが以下の状態のときに電源をオフにしないでください。
  - ・印刷中
  - ・プリンタの電源をオンにした直後の自己診断中

1 **プリンタの電源スイッチの“○”側を押します。**

重要 本体右側面にある電源スイッチの“○”を押した状態では、消費電力は 0W になります。

コンピュータと接続する

本プリンタをコンピュータやネットワークに接続します。

本プリンタは標準で USB コネクタを装備していますので、USB ケーブルでコンピュータに接続します。また、Windows をお使いの場合、オプションのネットワークボードを装着すると、LAN ケーブルで直接ネットワークに接続することができます。

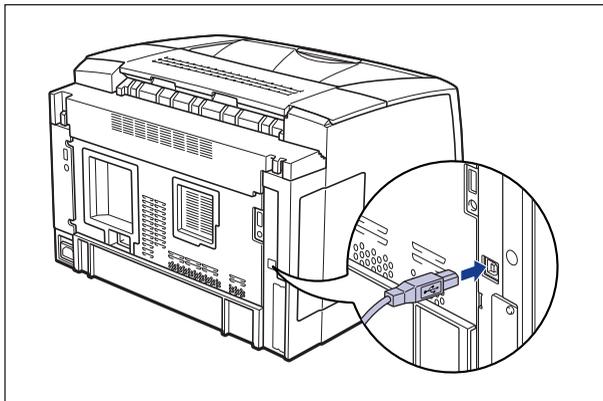
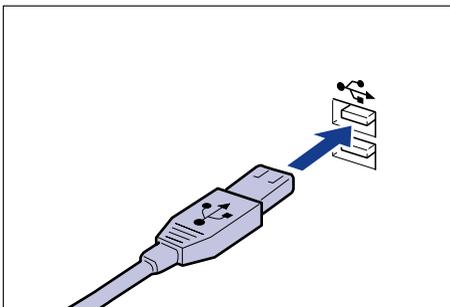
USB ケーブルで接続する場合

USB ポートを装備したコンピュータに USB ケーブルで本プリンタを接続します。

警告
- **電源をオンにした状態で USB ケーブルを接続するときは、アース線が接続されていることを確認してから行ってください。アース線が接続されていない状態で行うと、感電の原因になります。**
- **電源をオンにした状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になります。**

重要
- USB ケーブルは、コンピュータやプリンタの電源が入っているときでも、ケーブルの抜き差しが行えます。ただし、次のようなときは、USB ケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
  - ・コンピュータの電源を入れた直後の OS 起動中
  - ・印刷中
- コンピュータおよびプリンタの電源がオンになっている状態でUSB ケーブルを抜き差しする場合は、抜いた後に必ず 5 秒以上の間隔を空けてから差し込んでください。抜いた直後に差し込むと、コンピュータやプリンタの動作不良の原因になります。
- 本プリンタは印刷時に双方向通信を行います。片方向通信が必要なプリントサーバ、USB ハブ・切り替え機器等を使用しての接続は動作不良の原因になります。

メモ
- 本プリンタのUSBインタフェースは、接続するコンピュータのOSによって以下のようになっています。詳細については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。
  - ・Windows 98/Me：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Windows 2000/XP/Server 2003：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS 8、9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当）
  - ・Mac OS X（10.3.3 以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
- 本プリンタをUSBケーブルで接続する場合は、メーカーによって USBの動作が保証されているコンピュータをご使用ください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

1 USBケーブルのBタイプ(四角い)側を本プリンタ背面のUSBコネクタへ接続します。

2 USBケーブルのAタイプ(平たい)側をコンピュータのUSBポートへ接続します。

メモ

- Windows の場合は、USB ケーブルの接続後に、プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、以下のいずれかの方法で本プリンタのソフトウェアをインストールしてください。詳しくは、「CAPT ソフトウェアをインストールする」（→P.3-4）を参照してください。
  - ・[キャンセル] をクリックして、CD-ROM Setup からインストールする
  - ・プラグ・アンド・プレイでインストールする
- お使いのコンピュータに対応したUSBケーブルがおわかりにならない場合は、コンピュータを購入した販売店にお問い合わせください。

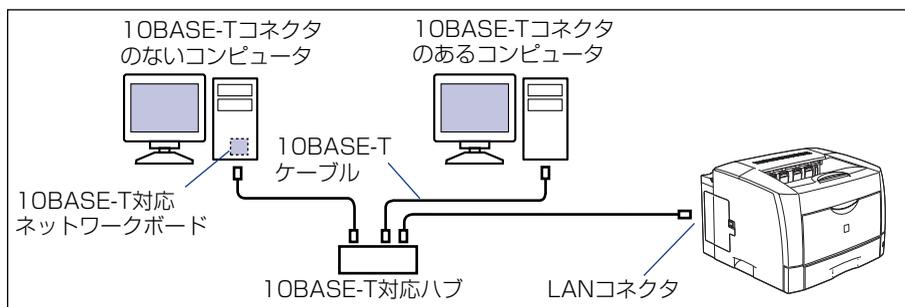
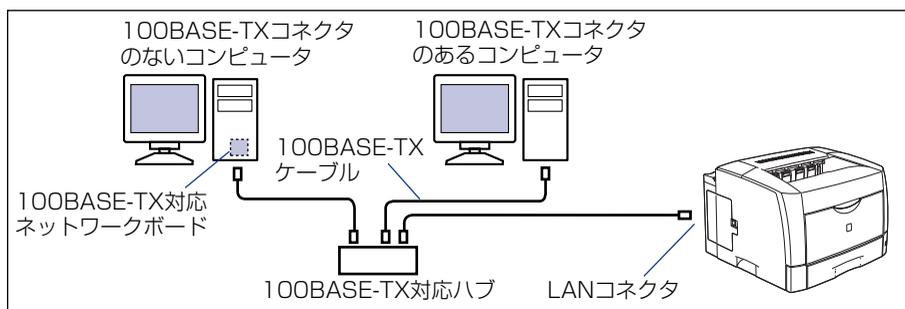
LAN ケーブルで接続する場合（Windows のみ）

オプションのネットワークボード（NB-C1）を装着した場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルで本プリンタをネットワークに接続することができます。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

メモ
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード（Windows のみ）」（➞P.7-39）を参照してください。
- 本プリンタをネットワークに接続した場合、ネットワークの設定やネットワークプリンタとしてのインストール作業などが必要です。これらの作業については「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

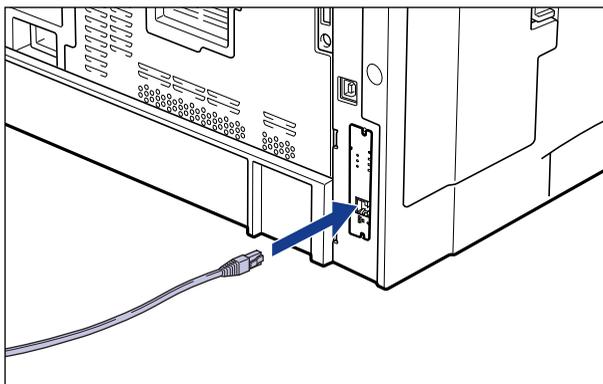
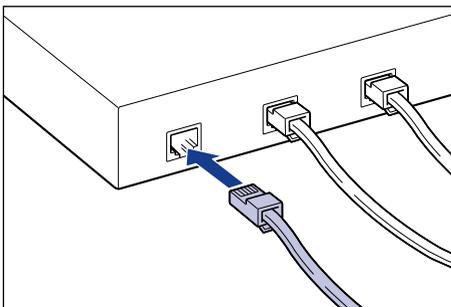
■ ネットワークの環境について

オプションのネットワークボードは、10BASE-T/100BASE-TX 接続に対応しています。

- 10BASE-T Ethernet ネットワークに接続する場合

- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合

重要
- 本プリンタのネットワークボードは、上記以外のネットワークには接続できません。
- プリンタを接続するハブの空きポートを確認してください。空きポートがない場合は、ハブの増設が必要になります。

メモ
100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合は、ハブや LAN ケーブル、コンピュータ用ネットワークボードなど、LAN に接続している機器は、すべて 100BASE-TX に対応しているものが必要になります。詳しくはお買い求めの販売店、または「お客様相談センター」（巻末参照）へお問い合わせください。

1 ネットワークボードのLANコネクタにLANケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

2 LANケーブルの反対側をハブに接続します。

給紙／排紙のしかた

この章では、本プリンタで使用できる用紙や給紙のしかた、排紙のしかたについて説明しています。

用紙について 2-2

使用できる用紙 2-2

印刷できる範囲 2-7

使用できない用紙 2-8

用紙の保管について 2-9

プリントの保管について 2-9

給紙部について 2-10

給紙部の種類 2-10

給紙部の積載枚数 2-11

給紙部の選択 2-12

排紙先について 2-14

排紙トレイ 2-14

排紙先の積載枚数 2-15

給紙カセットから印刷する 2-16

給紙カセットに用紙をセットする 2-17

給紙カセットの用紙サイズを変更する 2-28

プリンタドライバの設定をして印刷する 2-47

手差しトレイから印刷する 2-51

用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合 2-51

はがきに印刷する場合 2-60

封筒に印刷する場合 2-67

両面に印刷する 2-76

自動で両面に印刷する 2-77

自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた 2-80

手動で両面に印刷する 2-83

用紙について

使用できる用紙

本プリンタの性能を十分に引き出していただくため、用紙は適切なものを使用してください。用紙が適切でないと印字品質の低下や紙づまりの原因になります。

重要
- 印刷速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  ・はがき、往復はがき、封筒：約 6ppm
  ・4 面はがき：約 5ppm
- 幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷した場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、印刷速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 3ppm まで遅くなることもあります。）

用紙サイズ

本プリンタでは次の用紙サイズを使用できます。表中の◎は片面印刷とオプションの両面ユニットを使った自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙サイズ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
A5*1	◎	◎	◎	◎	◎
B5*1	◎	◎	◎	◎	◎
A4*1	◎	◎	◎	◎	◎
B4*2	◎	◎	◎	◎	◎
A3*2	◎	◎	◎	◎	◎
レター*1	◎	◎	◎	◎	◎
エグゼクティブ*1	◎	◎	◎	◎	◎
リーガル*2	◎	◎	◎	◎	◎
レジャー*2	◎	◎	◎	◎	◎
ユーザ定義用紙*2 幅：76.2～297.0mm 高さ：127.0～431.8mm	○	×	×	×	×
はがき*2　100.0mm×148.0mm	○	×	×	×	×
往復はがき*1　148.0mm×200.0mm	○	×	×	×	×
4面はがき*1　200.0mm×296.0mm	○	×	×	×	×
封筒*2 洋形4号105.0mm×235.0mm	○	×	×	×	×
洋形2号114.0mm×162.0mm	○	×	×	×	×
角形2号240.0mm×332.0mm	○	×	×	×	×

*1　横置きのみセット可能です。
*2　縦置きのみセット可能です。

用紙タイプ

本プリンタでは次の用紙タイプを使用できます。表中の◎は片面印刷とオプションの両面ユニットを使った自動両面印刷が可能、○は片面印刷のみ可能、×は不可です。

用紙タイプ		プリンタドライバの設定	給紙部				
			手差しトレイ	カセット1	カセット2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット4（オプション）
普通紙（64～80g/m^2）		［普通紙］［普通紙 L］*1	◎	◎	◎	◎	◎
厚紙	81～90g/m^2	*2	◎	◎	◎	◎	◎
	91～105g/m^2	［厚紙 L］	○	×	×	×	×
	106～128g/m^2	［厚紙］	○	×	×	×	×
OHP フィルム		［OHP フィルム］	○	×	×	×	×
ラベル用紙		［厚紙］	○	×	×	×	×
はがき		*3	○	×	×	×	×
封筒		*3	○	×	×	×	×

*1 ［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合に設定します。

*2 手差しトレイから片面印刷する場合は、［厚紙　L］に設定します。カセットから印刷する場合や両面印刷する場合は、以下の設定を行ってください。

Windows の場合：

① ［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

② ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

Macintosh の場合：

① ［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

② ［仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

*3 はがきや封筒の場合は、用紙サイズの設定をすると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。用紙サイズの設定は以下のプルダウンメニューで行います。

- Windows の場合：
  ［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］
- Mac OS 8/9 の場合：
  ［基本設定］パネルの［出力用紙サイズ］
- Mac OS X の場合：
  ［ページ属性］パネルの［用紙サイズ］

■ 普通紙について

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 297.0mm、長さ 127.0 ～ 431.8mm、重さ 64 ～ 80g/m^2 の普通紙を使用できます。

定形用紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。また A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、レター、リーガル、エグゼクティブサイズは、自動両面印刷が可能です。

定形以外のサイズは、手差しトレイから給紙できます。

■ 厚紙について

本プリンタでは、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの定形用紙を含む、幅 76.2 ～ 297.0mm、長さ 127.0 ～ 431.8mm、重さ 81 ～ 128g/m^2 の厚紙を使用できます。81 ～ 90g/m^2 の厚紙は、給紙カセットや手差しトレイから給紙できます。91 ～ 128 g/m^2 の厚紙は、手差しトレイからのみ給紙できます。

重要 A3 サイズで 105 ～ 128g/m^2 の厚紙を使用する場合は、用紙が排出されるたびに 1 枚ずつ手で取り除いてください。

■ OHP フィルムについて

本プリンタでは、A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。OHP フィルムは手差しトレイにセットします。

重要
- OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 OHP フィルム A4」を使用してください。
- OHPフィルムどうしが離れにくい場合があるので、手差しトレイにセットする前に1枚ずつよくさばいてから使用してください。

■ ラベル用紙について

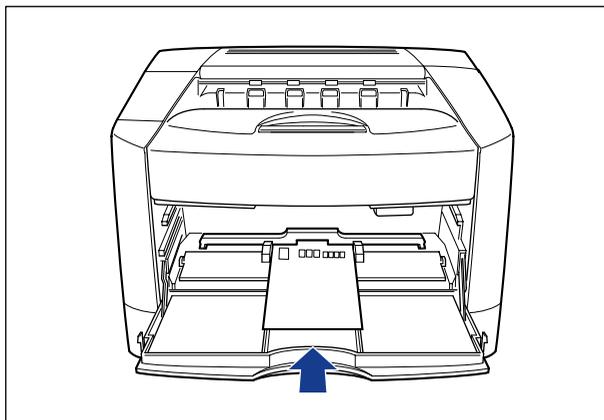
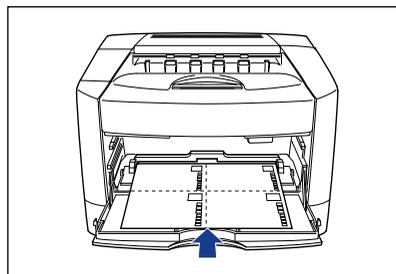
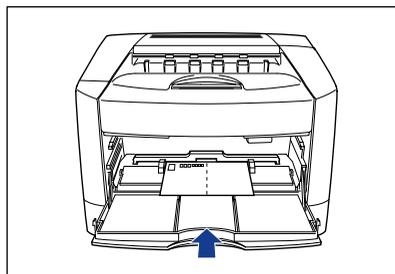
本プリンタでは A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。ラベル用紙は表裏を確認し、表を上にして手差しトレイにセットします。

重要
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙
- ラベル用紙を使用する場合は、用紙が排出されるたびに 1 枚ずつ手で取り除いてください。

■ はがき / 往復はがき /4 面はがきについて

本プリンタでは、官製はがき、官製往復はがきと専用の「キヤノン推奨 4 面はがき」のみを使用できます。はがき、往復はがき、4 面はがきは印刷面を上にして手差しトレイにセットします。

重要
- 4 面はがきは、キヤノン推奨の 4 面はがきをご使用ください。
- 官製はがき、官製往復はがき、およびキヤノン推奨の 4 面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- インクジェット用の官製はがき、官製往復はがきを使用することはできません。

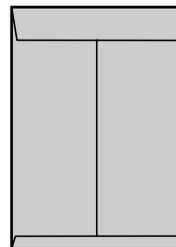
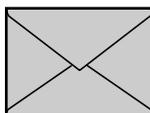
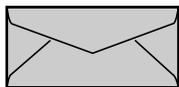
- はがきは横置きにはセットできません。印刷する面を上にして、必ず縦置きにセットしてください。

- 往復はがき、４面はがきは縦置きにはセットできません。次の図のように印刷する面を上にして、必ず横置きにセットしてください。

- はがきや往復はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

■ 封筒について

本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。封筒は宛名を書く面（貼り合わせのない面）を上にして手差しトレイにセットします。

洋形4 号（105mm×235mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2 号（114mm×162mm ）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

角形2 号（240mm×332mm ）

※洋形4号および洋形2号の封筒は、
　短辺にふたが付いているものは使用できません。

重要

- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
- セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

メモ

封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

用紙サイズの略号について

給紙カセットや用紙サイズ登録ダイヤルのサイズの表示は、次の用紙について以下のような略号で表示されます。

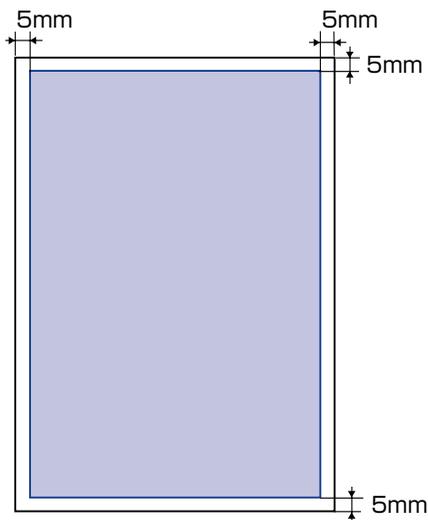
用紙サイズ	給紙カセットや用紙サイズ登録ダイヤルの表示
レジャー	11 × 17
リーガル	LGL
レター	LTR
エグゼクティブ	EXEC

プリンタ本体の給紙カセット（用紙ガイド）、ペーパーフィーダの給紙カセットと用紙サイズ登録ダイヤルに「A4R」、「LTR-R」の表示がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

印刷できる範囲

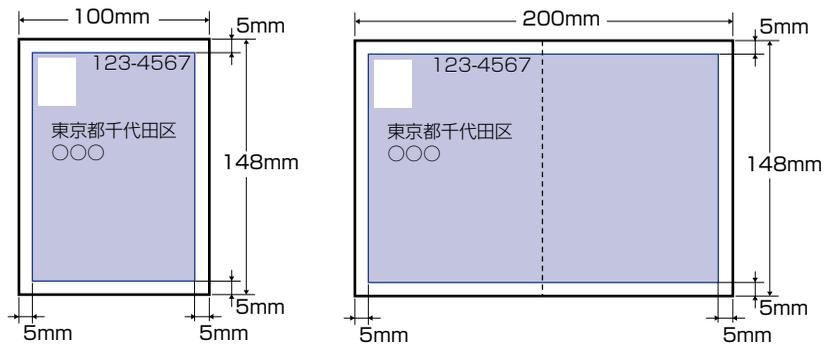
本プリンタで印刷できる領域は、次の範囲です。

■ **普通紙 / 厚紙 /OHP フィルム / ラベル用紙**

用紙の周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

■ **はがき / 往復はがき /4 面はがき**

はがきの周囲 5mm より内側の範囲に印刷できます。

2

給紙/排紙のしかた

■ 封筒

封筒の周囲 10mm より内側の範囲に印刷できます。
お使いのアプリケーションによっては、印刷時に位置を調整してお使いください。

（洋形4号封筒の例）

使用できない用紙

紙づまりやプリンタの故障、トラブルを防ぐため、次にあげるような用紙はお使いにならないでください。

重要
- 紙づまりを起こしやすい用紙
  - ･厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
  - ･不規則な形の用紙
  - ･湿っている用紙、濡れている用紙
  - ･破れている用紙
  - ･表面が粗い用紙、つるつるしすぎている用紙
  - ･バインダ用の穴やミシン目のある用紙
  - ･カールした用紙や折り目のある用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･裏紙が簡単にはがれてしまうラベル用紙
  - ･複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
  - ･バリのある用紙
  - ･しわのある用紙
  - ･角折れのある用紙
- 高温によって変質する用紙
  - ･定着器の熱（約 165 ℃）で溶解、燃焼、蒸発したり有毒なガスを発生するインクを使用した用紙
  - ･感熱用紙
  - ･表面加工したカラー用紙
  - ･紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ･糊などがついた用紙

- プリンタ本体の故障や損傷の原因となる用紙
  - ・カーボン紙
  - ・ステイプル針、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - ・複写機や他のレーザプリンタで一度使用した用紙（裏面も不可。ただし、本プリンタで一度印字した用紙の裏面に、手差しトレイを使用して手動で両面印刷することはできます。一度印字した同一面に再度印字することはできません。）
- トナーが定着しにくい用紙
  - ・ざら紙、和紙のように表面がざらざらしている用紙
  - ・紙の表面に特殊なコーティングを施した用紙（インクジェットプリンタ専用コーティング用紙など）
  - ・繊維の粗い用紙

用紙の保管について

規格にあった用紙でも、保管が悪いと変質してしまうことがあります。変質した用紙は給紙不良や紙づまりの原因になったり、印字品質の低下を招くことがあります。
用紙を保管するときは、次のことに気を付けてください。

重要

- 用紙は特に水分を嫌いますので、湿らせないようにしてください。
- 用紙の包装紙は、湿気および乾燥を防ぐ働きをします。使用するまでは包装したままにしておいてください。また、使用しない用紙は包装紙に包んでおいてください。
- 平らな場所に保管してください。
- 床面は一般に湿度が高いので、用紙を床に直接置かないでください。
- 用紙が丸まったり折り目がつくような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、あまり多く積み重ねないでください。
- 直射日光の当たる場所や湿度の高い場所、乾燥している場所に保管しないでください。
- 保管場所と使用する場所の温度や湿度に著しく差がある場合は、包装したままで一日ほど使用する場所に置いて、室温に慣らしてから使ってください。急激な温度や湿度の変化は、用紙の丸まりやしわの原因になります。

プリントの保管について

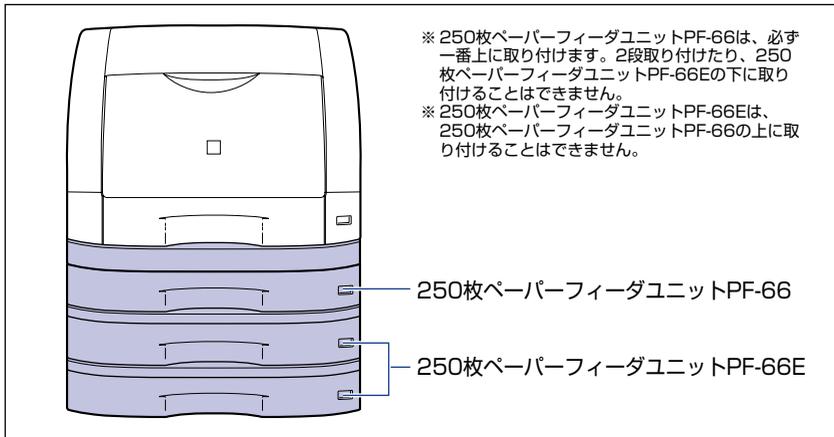
本プリンタで印刷したプリントの取り扱いや保管するときは、次の点に気を付けてください。

重要

- クリアホルダなど PVC 素材のものといっしょに保存しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付いてしまうことがあります。
- 糊付けするときは、必ず不溶性の接着剤をご使用ください。溶解性の接着剤を使用すると、トナーが溶けてしまいます。接着剤をご使用になる場合は、不要になった印刷物で試してから使用してください。
  プリントを重ねる場合は、完全に乾いていることを確認してください。乾ききらないうちに重ねると、トナーが溶けることがあります。
- 平らな場所に保管してください。折れたりしわになったりすると、トナーが剥がれることがあります。
- 高温の場所に保管しないでください。トナーが溶けて色がにじむことがあります。
- 長期間（2 年以上）保管する場合は、バインダーなどに入れて保管してください。（長時間保管すると、用紙の変色によって、プリントが変色したように見える場合があります。）

給紙部について

本プリンタは、標準状態で給紙カセット（カセット 1）と手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。また、オプションのペーパーフィーダ（カセット 2、カセット3、カセット4）を装着することにより、最大 5 つの給紙部を使用することが可能です。

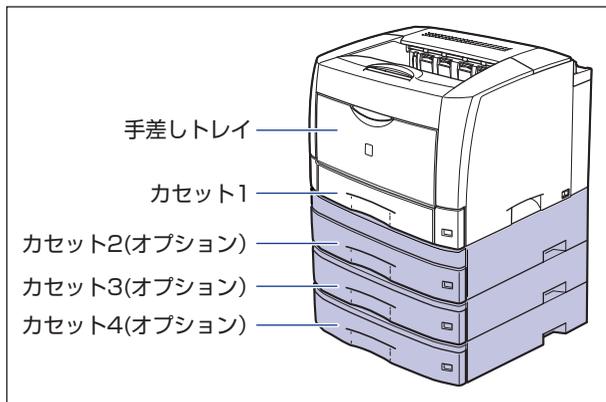
メモ　ペーパーフィーダは、図のように最大 3 台まで取り付けることができます。

給紙部の種類

本プリンタには、次の給紙部があります。

■ **給紙部／給紙枚数**

手差しトレイ	100 枚（64g/m^2）
カセット 1	250 枚（64g/m^2）
カセット 2	250 枚（64g/m^2）
カセット 3	250 枚（64g/m^2）
カセット 4	250 枚（64g/m^2）

■ 最大給紙枚数

1100 枚（64g/m²）

給紙部の積載枚数

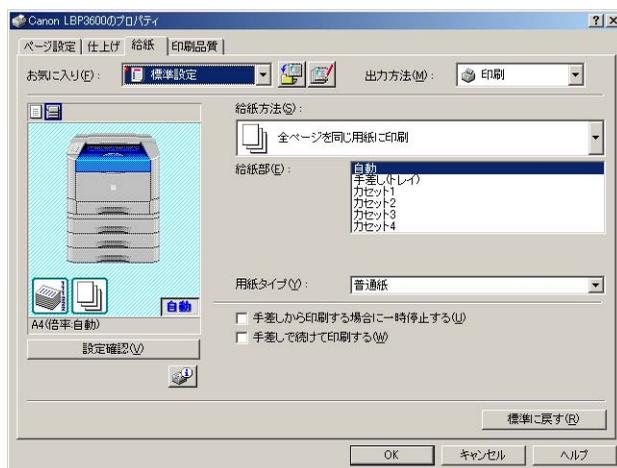
用紙タイプ	給紙部				
	手差しトレイ	カセット 1	カセット 2（オプション）	カセット3（オプション）	カセット 4（オプション）
普通紙（64g/m² の場合）	約 100 枚	約 250 枚	約 250 枚	約 250 枚	約 250 枚
厚紙（90g/m² の場合）	約 50 枚	約 150 枚	約 150 枚	約 150 枚	約 150 枚
厚紙（128g/m² の場合）	約 50 枚	×	×	×	×
OHP フィルム	約 50 枚	×	×	×	×
ラベル用紙	約 50 枚	×	×	×	×
はがき	約 40 枚	×	×	×	×
往復はがき	約 40 枚	×	×	×	×
4 面はがき	約 50 枚	×	×	×	×
封筒	約 10 枚	×	×	×	×

給紙部の選択

給紙部の選択は、プリンタドライバの［給紙］ページで行います。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

1 ［給紙］ページを表示して、給紙部の設定を行います。

プリンタドライバの［給紙］ページの表示方法は、「印刷条件を設定する」（➞P.4-9）を参照してください。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

設定項目	設定値	説明
給紙方法	全ページを同じ用紙に印刷	すべてのページを同じ給紙部から給紙します。ただし、［給紙部］が［自動］に設定されていて、［手差しで続けて印刷する］にチェックマークを付けた場合は、カセット 1 ～ 4 の用紙がなくなると手差しトレイから給紙します。
	最初と最後の用紙を指定して印刷	表紙を異なる用紙に印刷するときなど、ページごとに用紙を指定して印刷します。
	最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷	
	表紙の用紙を指定して印刷 *1	
	OHP フィルムの間に用紙をはさむ	OHP フィルムの間に用紙をはさんで印刷します。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td>給紙部</td><td rowspan="6">自動
手差し（トレイ）
カセット 1
カセット 2[*2]
カセット 3[*2]
カセット 4[*2]</td><td rowspan="7">どの給紙部から給紙するかを設定します。［給紙方法］の設定によって表示される設定項目が変わります。</td></tr>
<tr><td>最初のページ</td></tr>
<tr><td>2 枚目のページ</td></tr>
<tr><td>表紙 [*1]</td></tr>
<tr><td>その他のページ</td></tr>
<tr><td>最後のページ</td></tr>
<tr><td>中差し用紙</td><td>自動
カセット 1
カセット 2[*2]
カセット 3[*2]
カセット 4[*2]</td></tr>
<tr><td>用紙タイプ</td><td>普通紙
普通紙 L
厚紙
厚紙 L
OHP フィルム</td><td>使用する用紙のタイプを選択します。（→P.2-3）</td></tr>
<tr><td>手差しから印刷する場合に一時停止する</td><td>—</td><td>手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。</td></tr>
<tr><td>手差しで続けて印刷する</td><td>—</td><td>カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。</td></tr>
</table>

*1：オプションの両面ユニットが装着されていて、［仕上げ］ページの［印刷方法］で［製本印刷］を選択している場合にのみ設定できます。

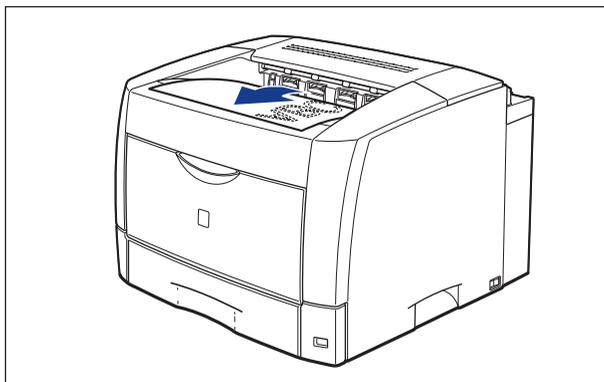
*2：オプションのペーパーフィーダが装着されている場合にのみ設定できます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

排紙先について

排紙トレイ

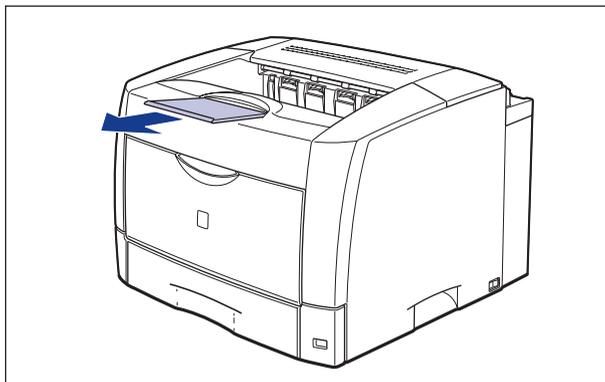
本体上面の排紙トレイに印字した面が下向き（フェースダウン）で排紙されます。用紙はページ順に積み重なります。

重要

- A3サイズで 105 ～ 128g/m^{2}の厚紙、ラベル用紙を使用する場合は、用紙が排紙されるたびに 1 枚ずつ取り除いてください。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。

メモ

排紙トレイは、普通紙（64g/m^2）で約 250 枚（片面印刷）／約 200 枚（両面印刷）まで積載することができます。

■ A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように大きい用紙を排紙する場合

A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように大きい用紙を排紙する場合は、用紙が垂れ下がらないように図のように補助トレイを引き出します。

排紙先の積載枚数

排紙トレイにはそれぞれ次の枚数の用紙が排紙できます。

用紙タイプ	排紙トレイ *1
普通紙（64g/m^2の場合）	約 250 枚（片面印刷）／約 200 枚（両面印刷）
厚紙（90g/m^2の場合）	約 150 枚
厚紙（128g/m^2 の場合）	約 150 枚 *2
OHP フィルム	約 100 枚
ラベル用紙	約 1 枚
はがき	約 50 枚
往復はがき	約 50 枚
4 面はがき	約 150 枚
封筒	約 20 枚

*1 設置環境や使用する用紙の種類によっては、実際の積載枚数は異なります。

*2 A3 サイズで 105 ～ 128g/m^2 の厚紙の場合は、1 枚になります。

給紙カセットから印刷する

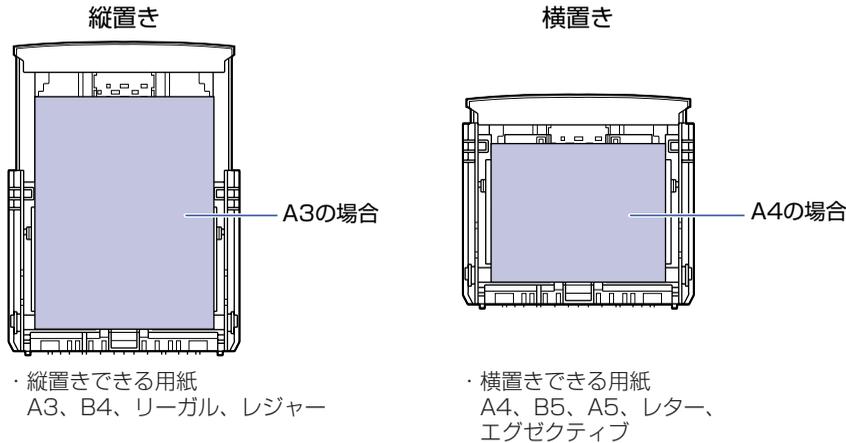
給紙カセットには、定形サイズの普通紙を約 250 枚（64 g/m^2）までセットすることができます。給紙部にセットした用紙がなくなると、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示され、用紙ランプ（赤色）が点滅しますので用紙をセットしてください。
本プリンタには、給紙カセット（カセット 1）が標準装備されています。また、オプションのペーパーフィーダを装着するとカセット 2、カセット 3、カセット 4 が追加されます。

縦置き

A3の場合

・縦置きできる用紙
A3、B4、リーガル、レジャー

横置き

・横置きできる用紙
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ

重要

- プリンタ本体の給紙カセット（用紙ガイド）、ペーパーフィーダの給紙カセットと用紙サイズ登録ダイヤルに「A4R」、「LTR-R」の表示がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。
- 厚紙（81 ～ 90g/m^2）をカセットから印刷する場合は、以下の設定を行ってください。

  Windows の場合：

  ① ［給紙］ページの［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

  ② ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

  Macintosh の場合：

  ① ［給紙］パネルの［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

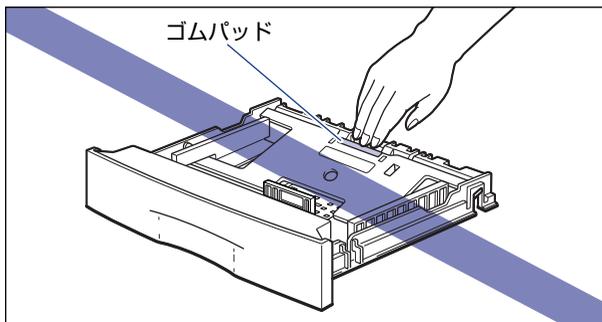
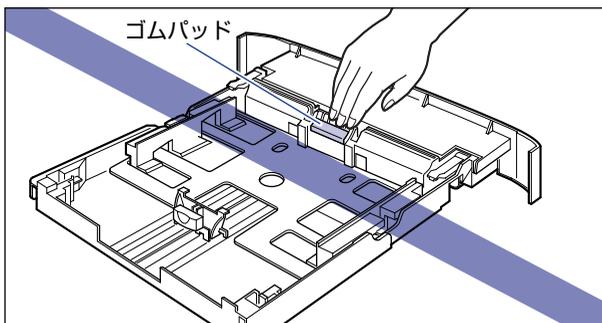
  ② ［仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］をクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］をクリックし、［処理オプション］ダイアログにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

給紙カセットに用紙をセットする

標準で装着されているカセット 1、オプションのペーパーフィーダ装着時のカセット 2、カセット 3、カセット 4 には、それぞれ別のサイズをセットすることができ、給紙部を自動的に切り替えて使用することができます。

カセット 1 とオプションのカセット 2、カセット 3、カセット 4 とではセットする手順が異なりますので、次の手順で正しく用紙をセットしてください。

重要

- 紙づまりの原因になることがありますので、次の内容を守ってください。
  - ・OHP フィルムやラベル用紙、封筒など普通紙（64 ～ 80g/m²）、厚紙（81 ～ 90g/m²）以外の用紙をセットしないでください。セットできる用紙については、「用紙について」（➞P.2-2）を参照してください。
  - ・バリのある用紙、しわのある用紙やひどくカールした用紙をセットしないでください。
  - ・セットした用紙がすべてなくなってから補充してください。なくならないうちに補充すると給紙不良の原因になります。
  - ・給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m²）、厚紙で約 150 枚（90g/m²）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。
- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。
  - ・カセット 1 の場合

  - ・カセット 2、3、4 の場合

メモ

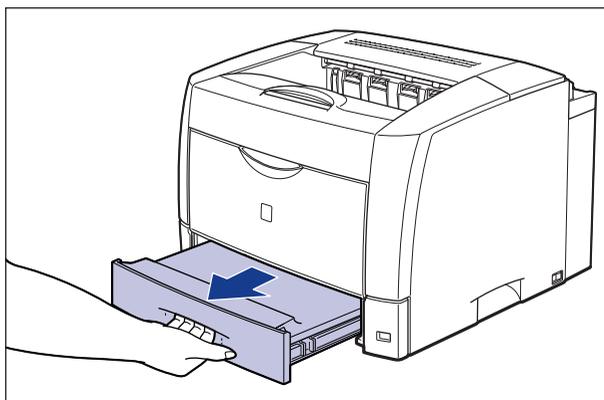
- オプションの 250枚ユニバーサルカセット UC-66Aは、カセット 1の用紙のセット方法と同じです。

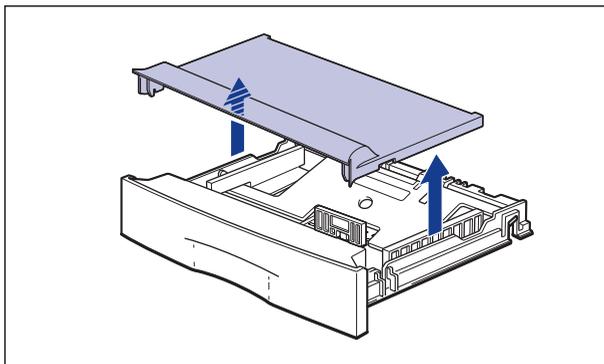
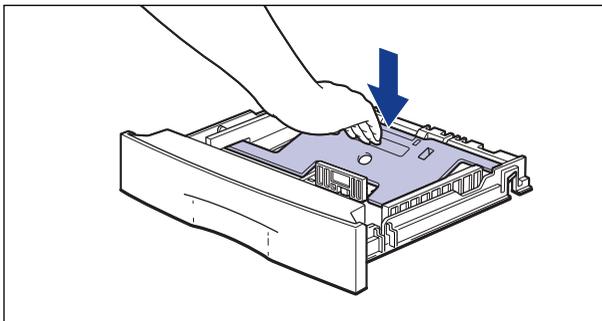
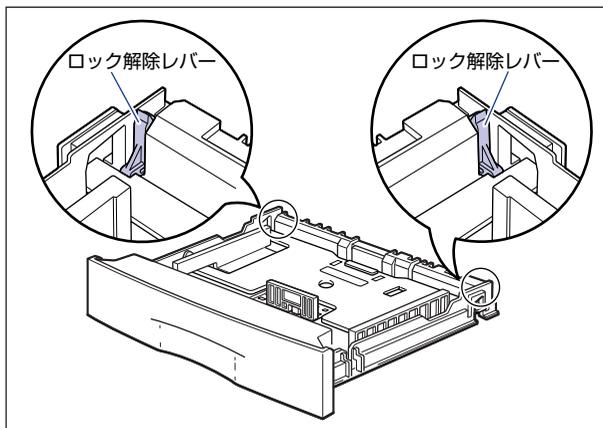
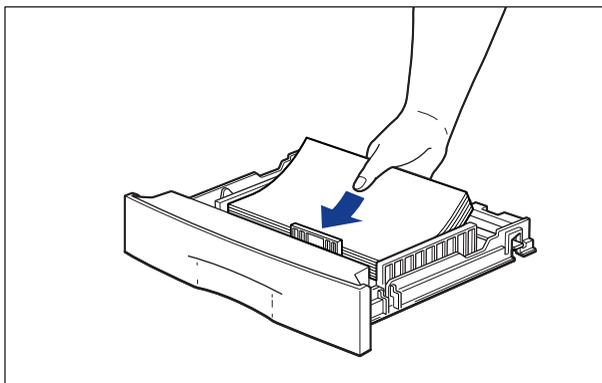
- オプションの250 枚ユニバーサルカセット UC-66B は、カセット 2、カセット3、カセット 4 の用紙のセット方法と同じです。

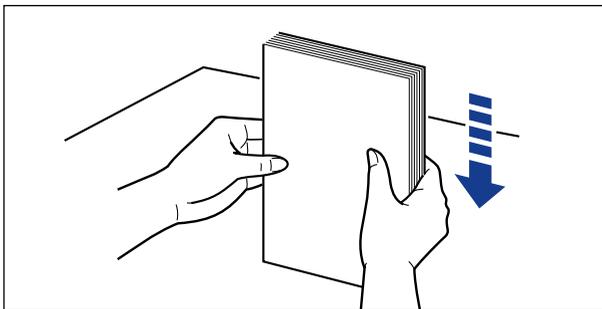
カセット 1 に用紙をセットする

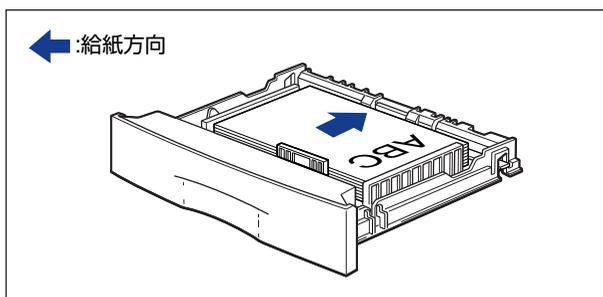
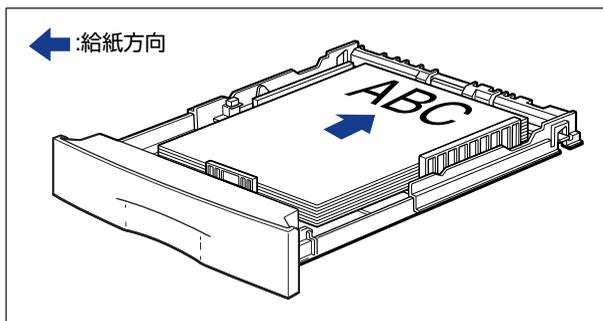
メモ　用紙サイズを変更する場合は、「カセット 1 の用紙サイズを変更する」(➞P.2-28) を参照してください。

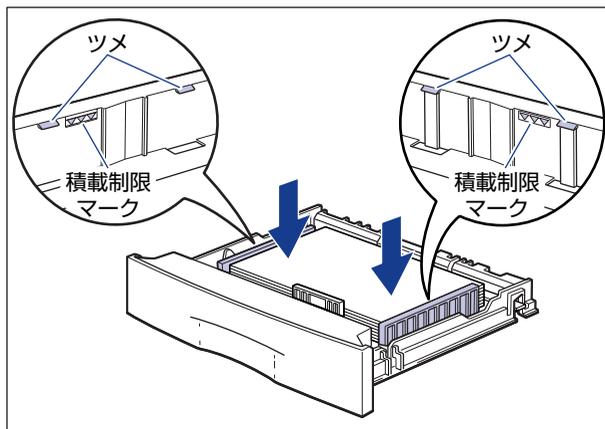
1 給紙カセットを引き出します。

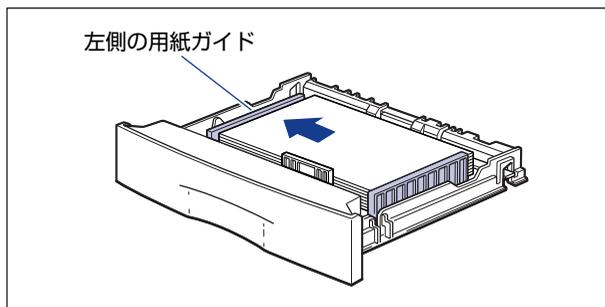
引き出しにくい場合は、給紙カセットを少し持ち上げてから水平に引き出します。

注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

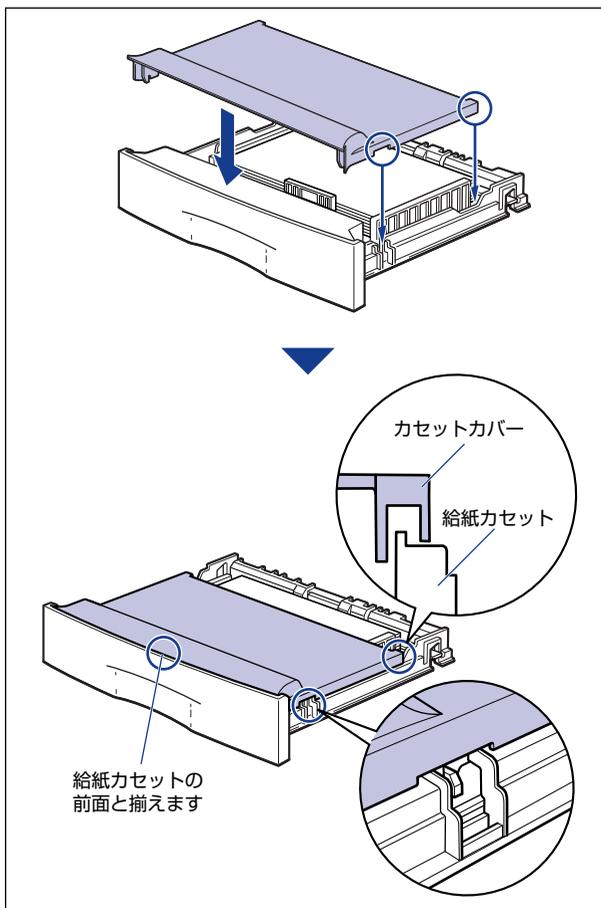
2 カセットカバーを取り外します。

3 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。

注意 給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセットの左右にあるロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。

4 用紙を給紙カセットの前側にある用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

5 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙の左右を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2）、厚紙で約 150 枚（90g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

6 用紙を左側の用紙ガイドに揃えます。

重要　用紙は必ず左側の用紙ガイドに揃えてください。用紙が揃っていないと印字不良の原因になります。

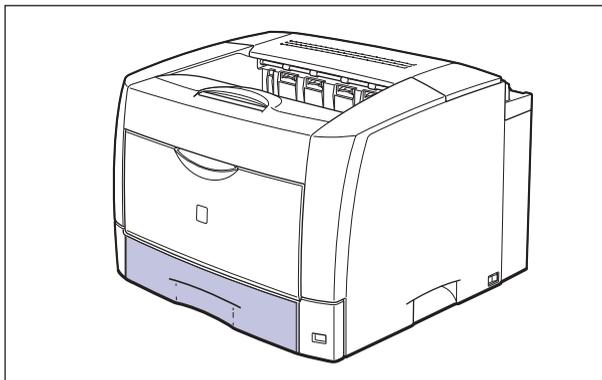
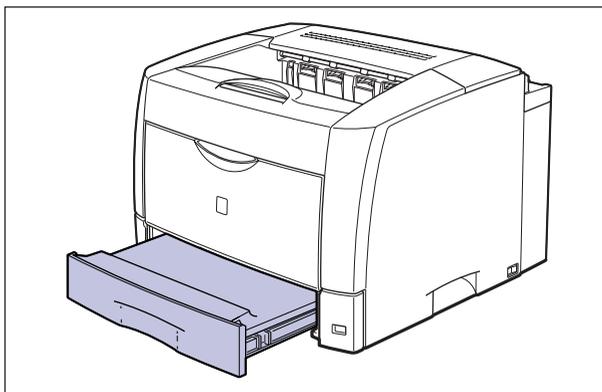
7 カセットカバーを図のように取り付けます。

重要 カセットカバーは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていない状態で給紙カセットをセットすると、給紙カセットが引き抜けなくなることがあります。

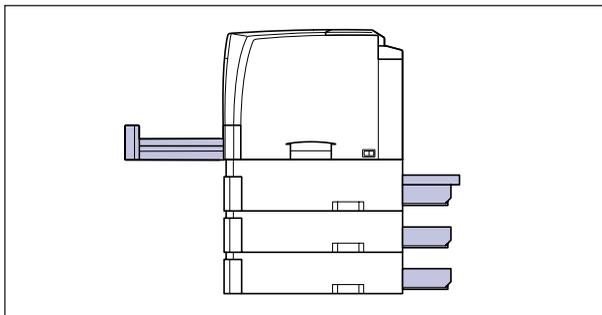
メモ 給紙カセットを延長した場合は、カセット内にほこりなどが入らないようにするために、カセットカバーを取り付けてください。給紙カセットを延長していない場合は、カセットカバーを取り付けずに使用することもできます。その場合は、カセットカバーを保管しておいてください。

8 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

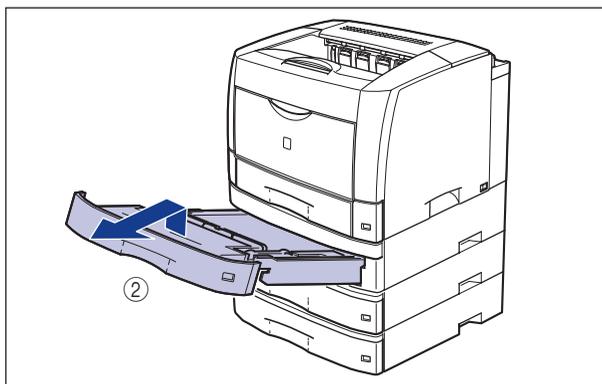
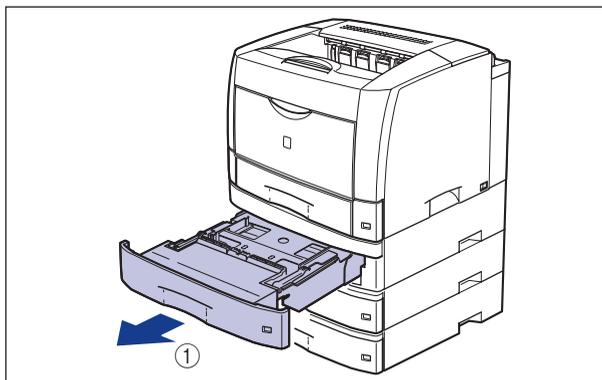
給紙カセットを次の図を参考にセットしてください。

給紙カセットがスムーズに押し込めない場合は、カセットカバーの取り付け状態を確認してください。カセットカバーが正しく取り付けられていない状態で、給紙カセットをセットすると、給紙カセットが引き抜けなくなることがあります。

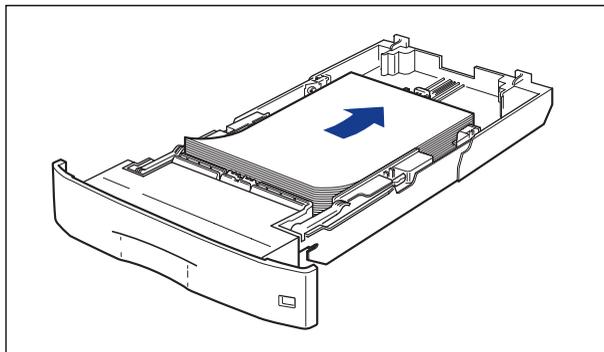
- 給紙カセットを延長していない場合は、給紙カセット前面がプリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

- 給紙カセットを延長している場合は、給紙カセット前面とプリンタの前面は揃いません。給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで押し込みます。

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示され、用紙ランプ（赤色）が点滅しているときは、自動的に印刷を再開します。

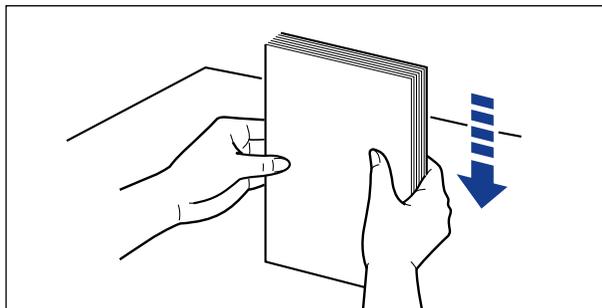
メモ　プリンタ本体の給紙カセットとオプションのペーパーフィーダの給紙カセットを延長してご使用になる場合は、次の図のようになります。

カセット 2、カセット 3、カセット 4 に用紙をセットする

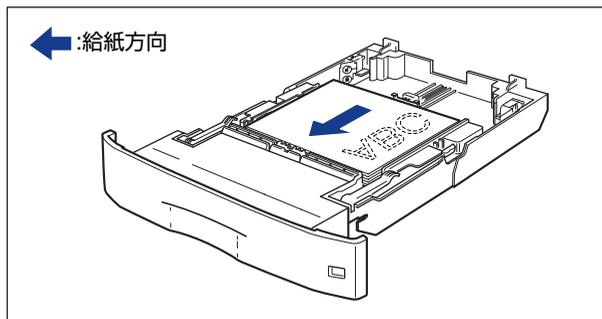
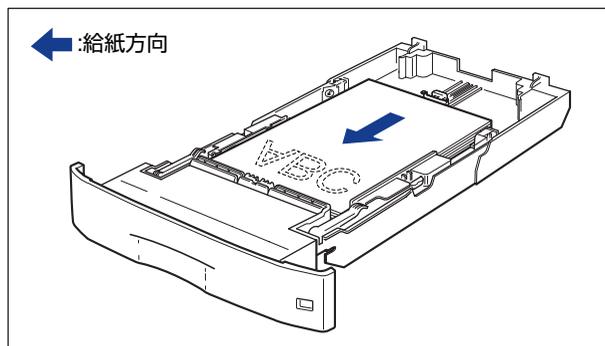
メモ　用紙サイズを変更する場合は、「カセット 2、カセット 3、カセット 4 の用紙サイズを変更する」(➞P.2-40)を参照してください。

1 **給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し ①、手前側を持ち上げて取り外します ②。**

注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

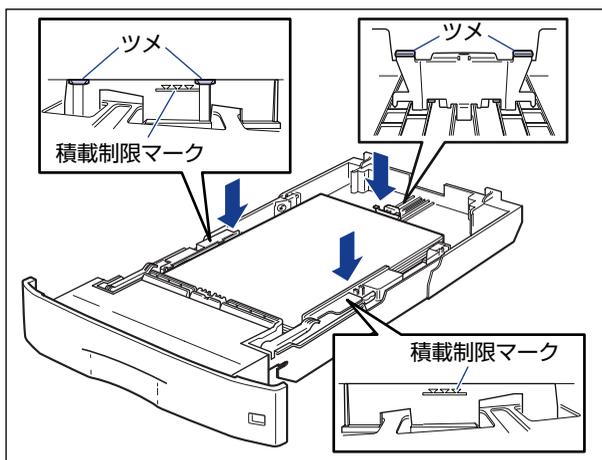
重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

2 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

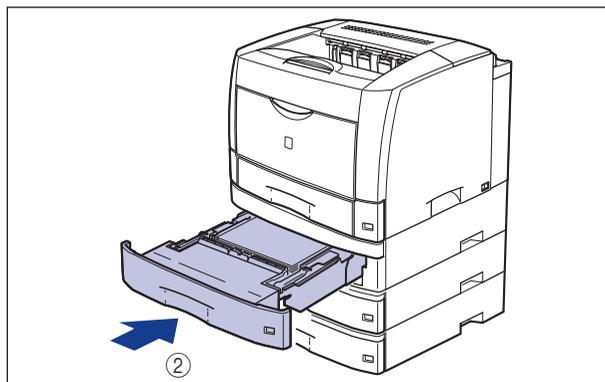
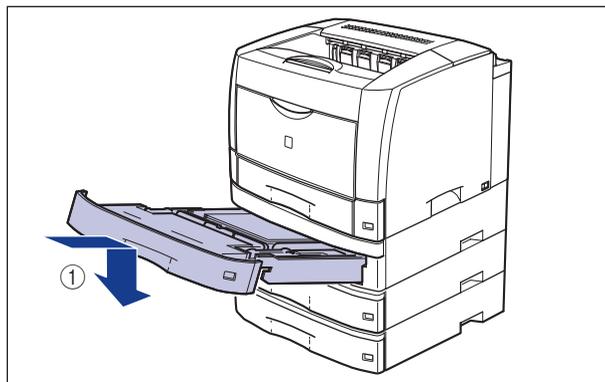
重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

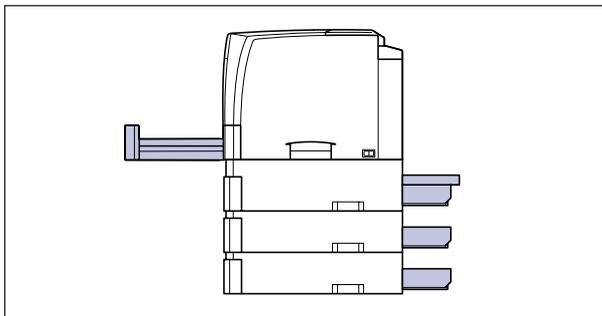
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て手前になるようにセットします。

3 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

重要

給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2）、厚紙で約 150 枚（90g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

4 **給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでペーパーフィーダにセットします ②。**

給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に用紙がなくなったことを知らせるメッセージが表示され、用紙ランプ（赤色）が点滅しているときは、自動的に印刷を再開します。

メモ　プリンタ本体の給紙カセットとオプションのペーパーフィーダの給紙カセットを延長してご使用になる場合は、次の図のようになります。

給紙カセットの用紙サイズを変更する

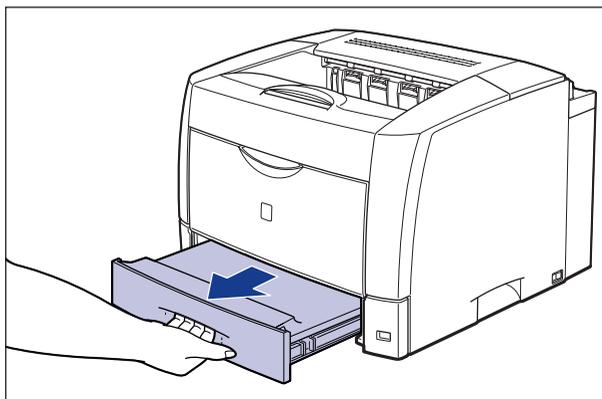
給紙カセットにセットする用紙サイズの変更は次の手順で行います。

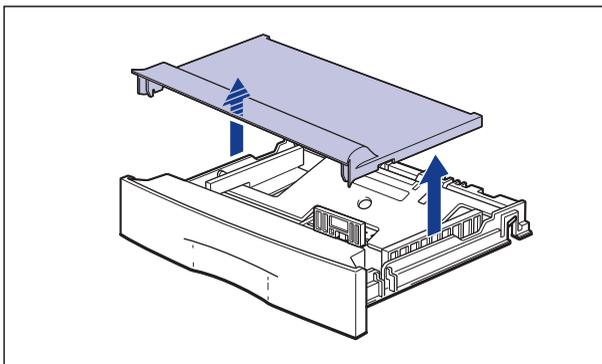
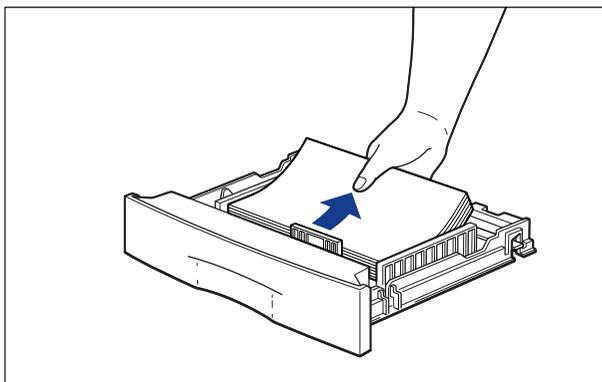
給紙カセットにセットできる用紙サイズは、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー、レター、エグゼクティブサイズです。

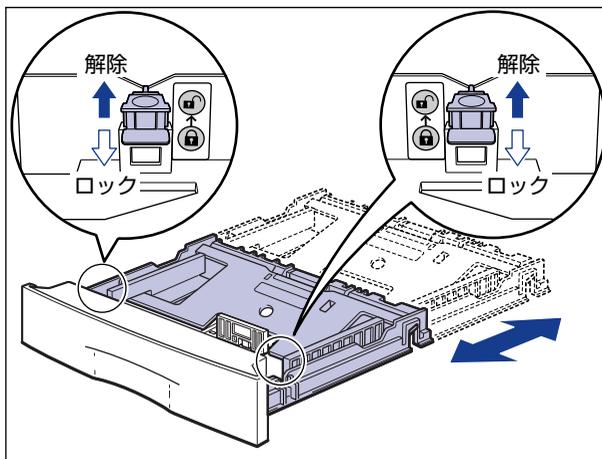
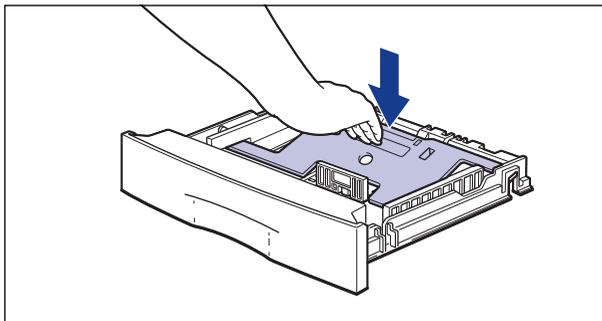
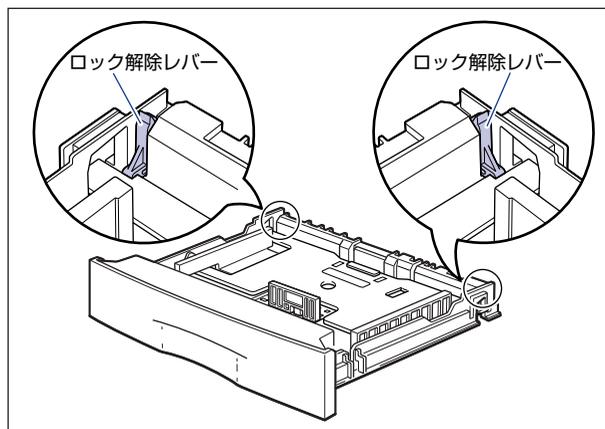
重要
- 必ず用紙ガイド、用紙サイズ登録ダイヤルがセットする用紙サイズに合っているかを確認してください。用紙ガイド、用紙サイズ登録ダイヤルがセットする用紙サイズに合っていないと、給紙不良や誤作動の原因になります。
- プリンタ本体の給紙カセット（用紙ガイド）、ペーパーフィーダの給紙カセットと用紙サイズ登録ダイヤルに「A4R」、「LTR-R」の表示がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

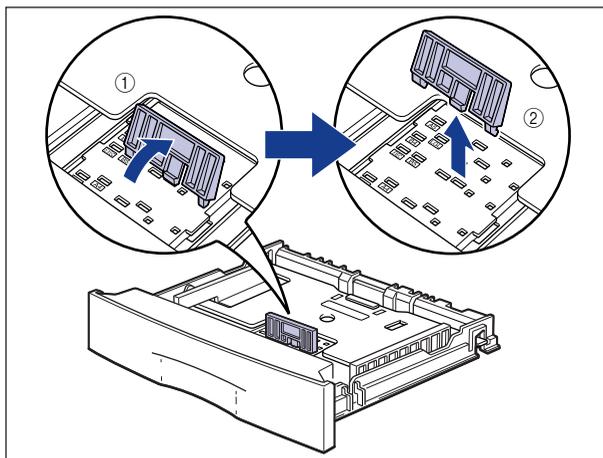
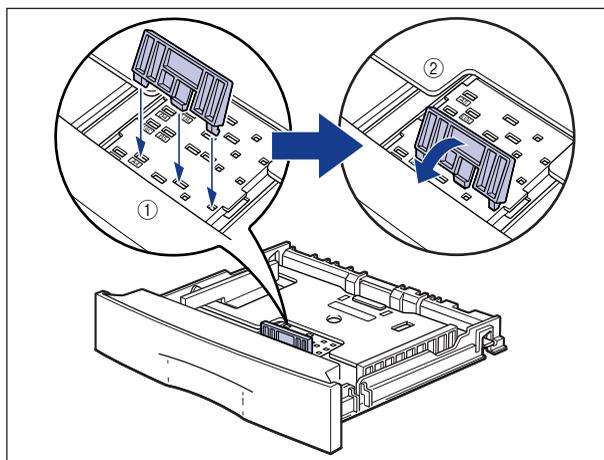
カセット 1 の用紙サイズを変更する

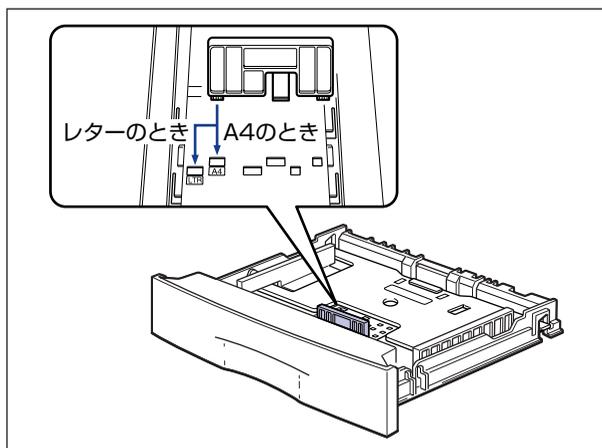
1 給紙カセットを引き出します。

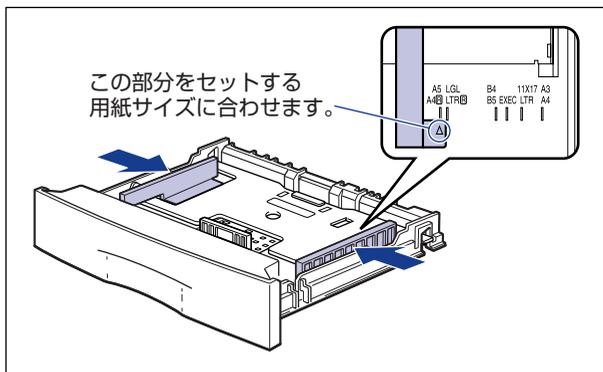
引き出しにくい場合は、給紙カセットを少し持ち上げてから水平に引き出します。

⚠注意　用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをプリンタから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

2 カセットカバーを取り外します。

3 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。

4 セットする用紙に合わせて、給紙カセットの長さを調節します。

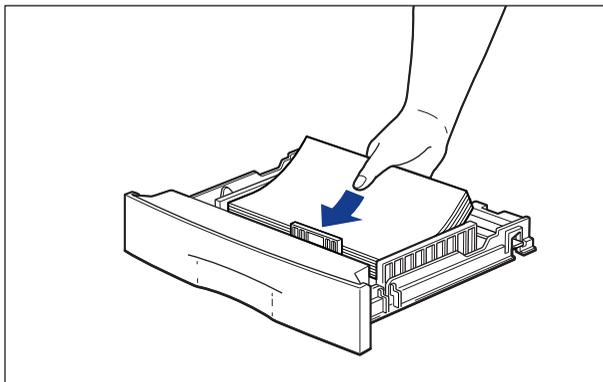
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

5 給紙カセットのプレートを押して、ロックします。

⚠注意 給紙カセットのプレートがロックされているときは、給紙カセットの左右にあるロック解除レバーには触れないでください。ロックが解除されてプレートが勢いよく上がり、けがの原因になることがあります。

6 **給紙カセットの前側にある用紙ガイドを後側に倒して ①、外します ②。**

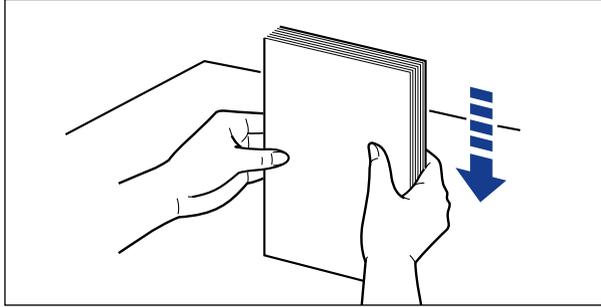
2 給紙／排紙のしかた

7 セットする用紙サイズの表示がある穴に、用紙ガイドのツメを差し込み①、前側へ押してロックします②。

重要

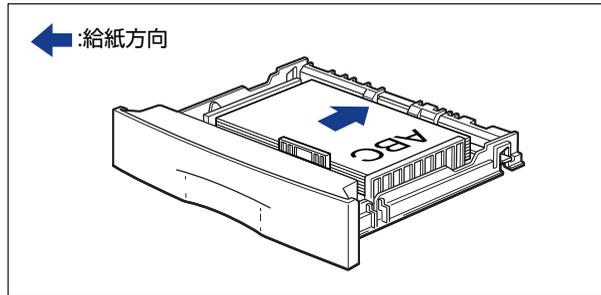
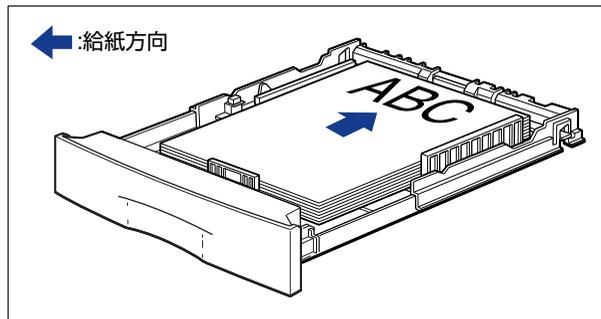
- 図のように用紙サイズの表示に合わせて、用紙ガイドのツメを差し込んでください。用紙ガイドがセットする用紙サイズの位置に合っていない場合は、給紙不良の原因となります。

- 用紙サイズの表示に「A4R」、「LTR-R」がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

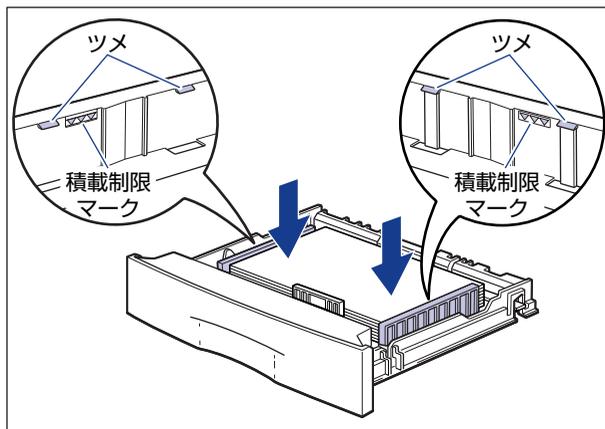
8 側面の用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせます。

側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

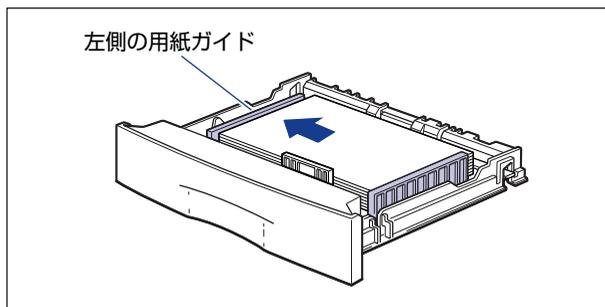
重要 用紙サイズの表示に「A4R」、「LTR-R」がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レター R サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

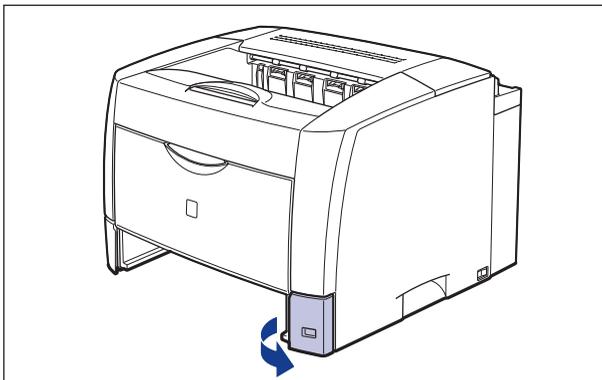
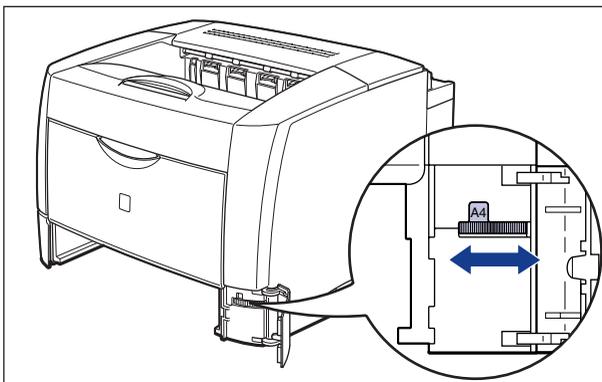
9 用紙を給紙カセットの前側にある用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要　裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

10 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙の左右を押さえます。

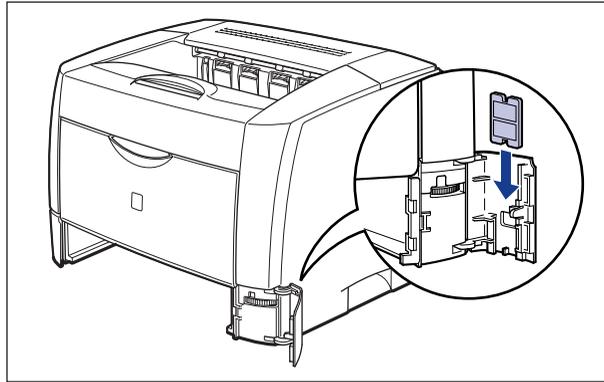
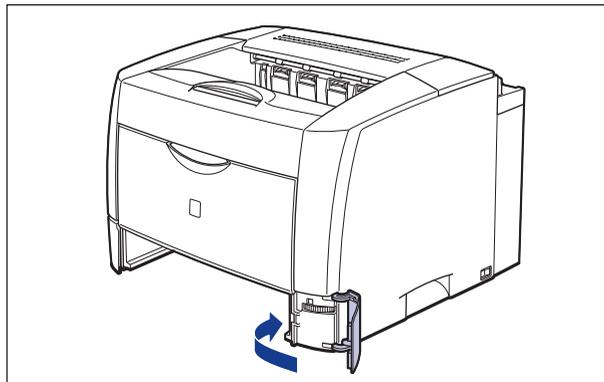
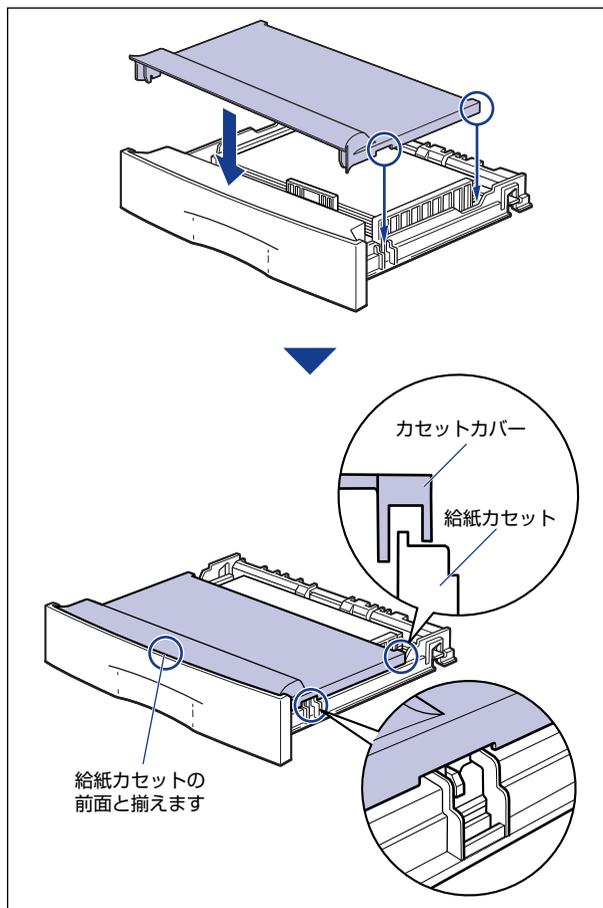
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（$64g/m^2$）、厚紙で約 150 枚（$90g/m^2$）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

11 用紙を左側の用紙ガイドに揃えます。

重要　用紙は必ず左側の用紙ガイドに揃えてください。用紙が揃っていないと印字不良の原因になります。

12 用紙サイズ登録カバーを開けます。

13 用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時は A4 サイズにセットされています。

重要

- セットした用紙のサイズと用紙サイズ登録ダイヤルが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ登録ダイヤルが合っていないと、誤動作の原因になります。
- 用紙サイズ登録ダイヤルが「-」や「FREE」の部分にはセットしないでください。誤動作の原因になります。

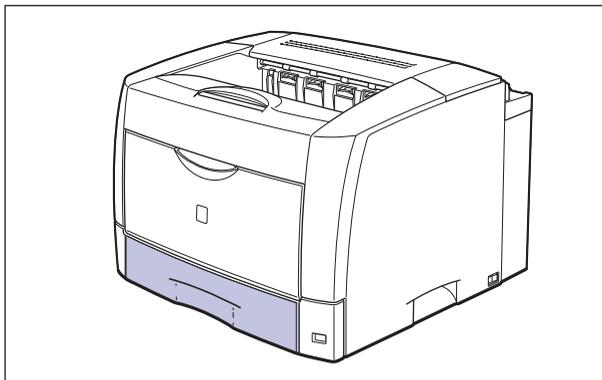
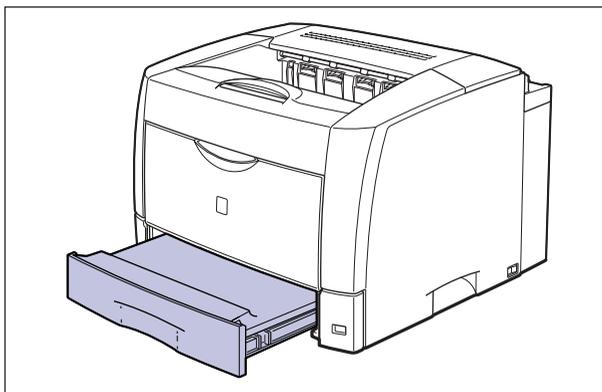
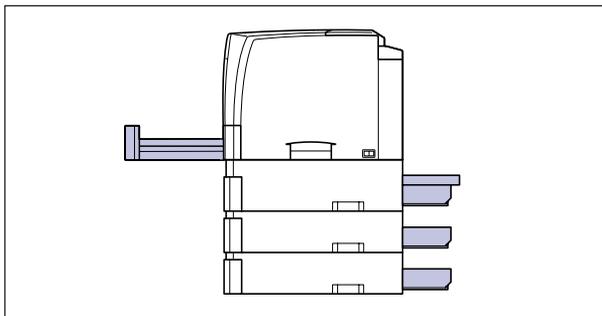
14 セットした用紙サイズに合った用紙サイズ表示板を用紙サイズ登録カバーの用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

15 用紙サイズ登録カバーを閉めます。

16 カセットカバーを図のように取り付けます。

重要 カセットカバーは正しく取り付けてください。正しく取り付けられていない状態で給紙カセットをセットすると、給紙カセットが引き抜けなくなることがあります。

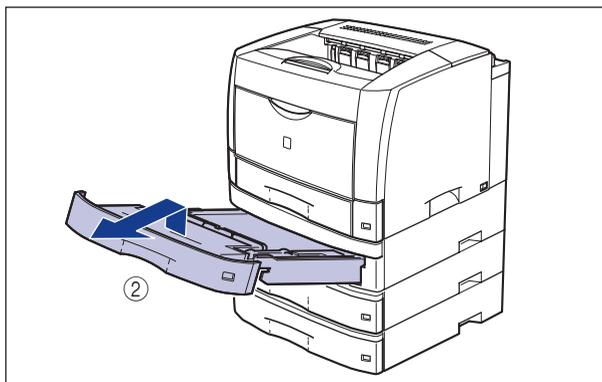
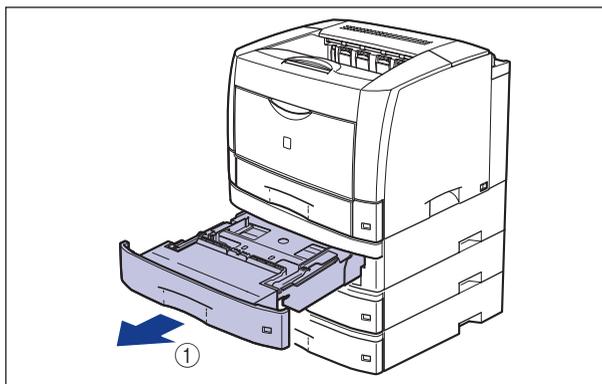
メモ 給紙カセットを延長した場合は、カセット内にほこりなどが入らないようにするために、カセットカバーを取り付けてください。給紙カセットを延長していない場合は、カセットカバーを取り付けずに使用することもできます。その場合は、カセットカバーを保管しておいてください。

17 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

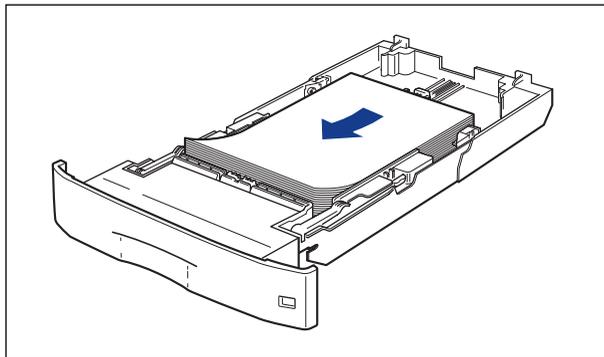
給紙カセットを次の図を参考にセットしてください。

給紙カセットがスムーズに押し込めない場合は、カセットカバーの取り付け状態を確認してください。カセットカバーが正しく取り付けられていない状態で、給紙カセットをセットすると、給紙カセットが引き抜けなくなることがあります。

- 給紙カセットを延長していない場合は、給紙カセット前面がプリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

- 給紙カセットを延長している場合は、給紙カセット前面とプリンタの前面は揃いません。給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで押し込みます。

メモ　プリンタ本体の給紙カセットとオプションのペーパーフィーダの給紙カセットを延長してご使用になる場合は、次の図のようになります。

カセット２、カセット３、カセット４の用紙サイズを変更する

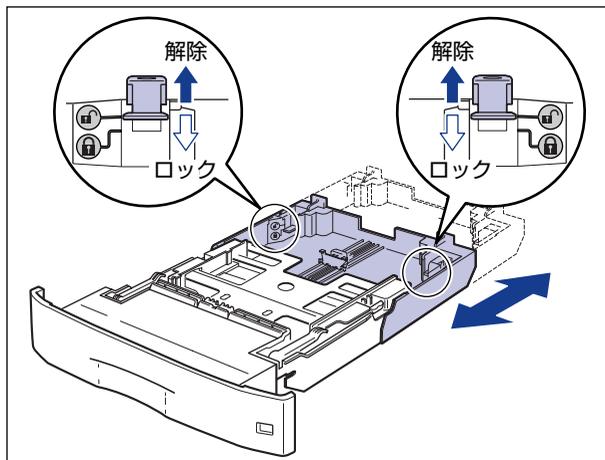
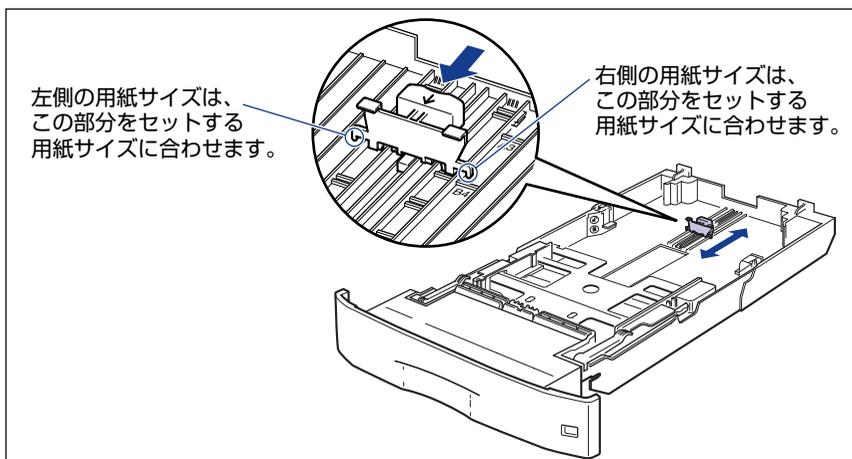
1 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し ①、手前側を持ち上げて取り外します ②。

注意 用紙をセットするときは、必ず給紙カセットをペーパーフィーダから取り出してセットしてください。給紙カセットを途中まで引き出した状態で用紙をセットすると、給紙カセットが落ちたりプリンタが倒れたりして、けがの原因になることがあります。

重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

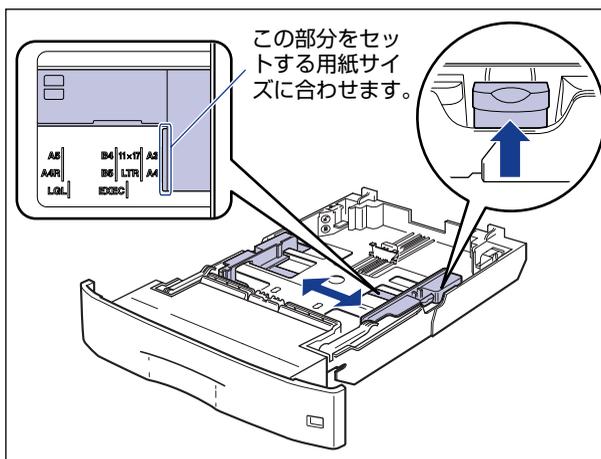
2 用紙が給紙カセットに入っている場合は、用紙を取り除きます。

3 セットする用紙に合わせて、給紙カセットを調節します。

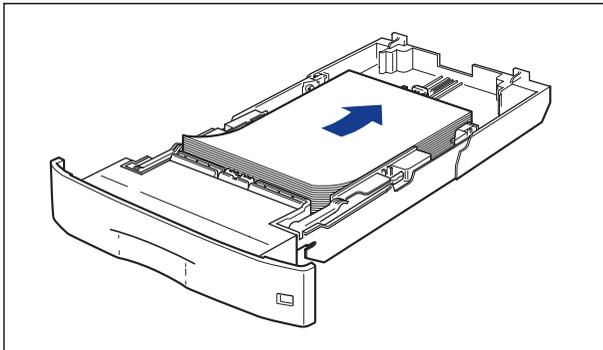
A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、給紙カセットを押し込みます。
A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、給紙カセットを引き出します。
給紙カセットの長さを調整するには、ロック解除レバーをゆっくりと持ち上げロックを解除し、給紙カセットの後部を持ってスライドさせ、ロック解除レバーを押し下げてロックします。

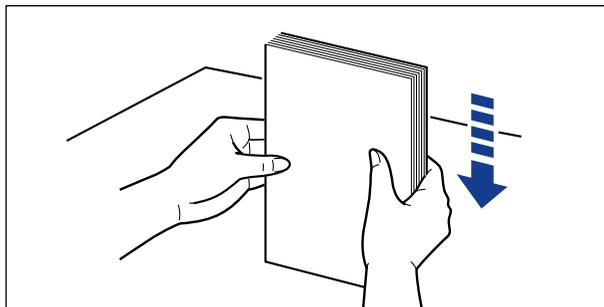
2

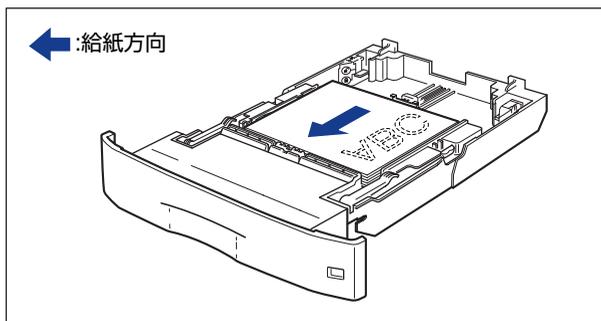
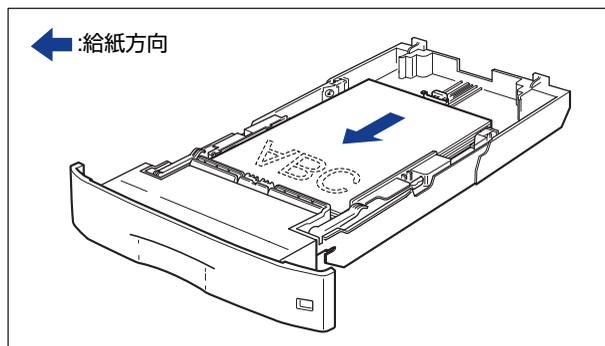
給紙／排紙のしかた

4 後側の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズの位置に合わせます。

重要　用紙サイズの表示に「A4R」、「LTR-R」がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

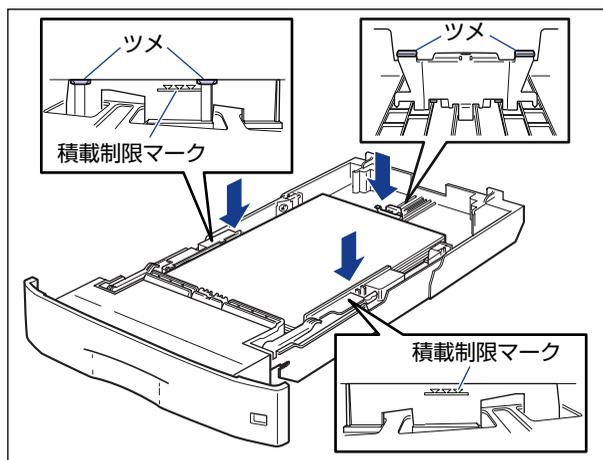
5 側面の用紙ガイドのロック解除レバーをつまみながら、セットする用紙サイズに合わせます。

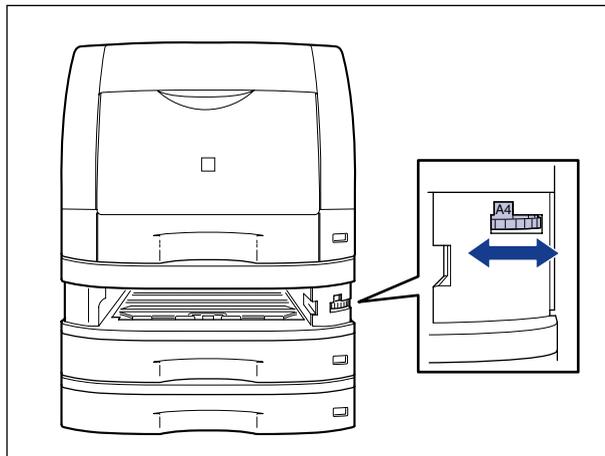
側面の用紙ガイドは左右が連動しています。

重要　用紙サイズの表示に「A4R」がありますが、本プリンタは A4R サイズ、レター R サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

6 用紙の後端を、用紙ガイドに合わせてセットします。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

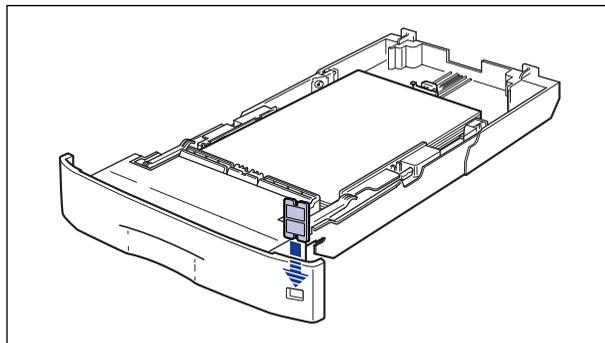
・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て手前になるようにセットします。

7 用紙が側面の用紙ガイドにあるツメの下に入るように、用紙を押さえます。

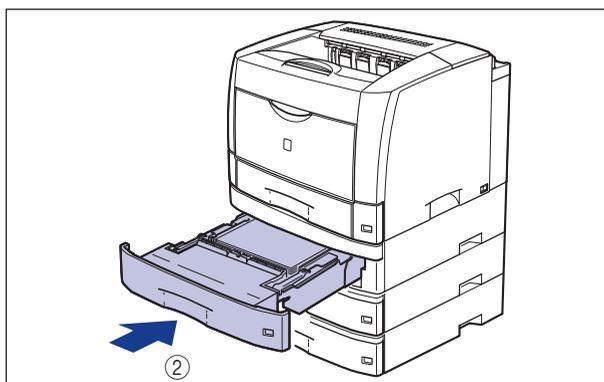
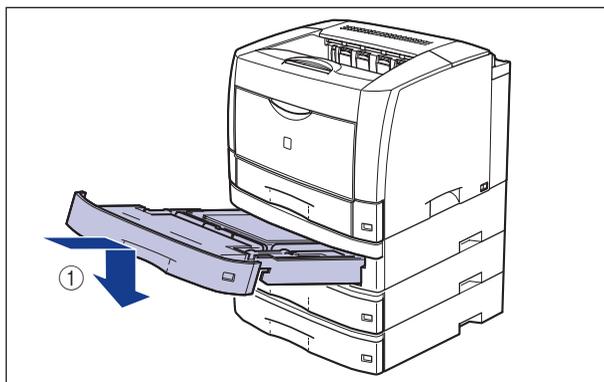
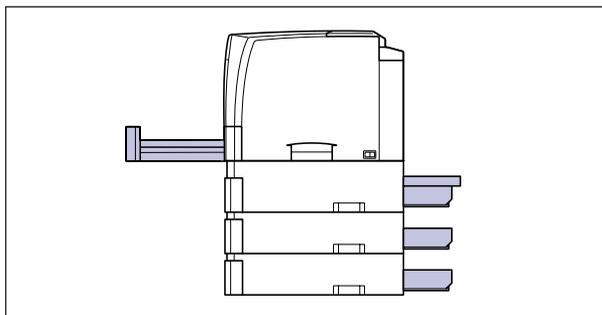
ツメと用紙の間に十分すき間があることを確認してください。すき間が十分ない場合は、用紙を少し減らします。

重要　給紙カセットにセットできる用紙の枚数は、普通紙で約 250 枚（64g/m^2）、厚紙で約 150 枚（90g/m^2）です。絶対に用紙ガイドの積載制限マークを超えない範囲でセットしてください。積載制限マークを超す量の用紙をセットすると、給紙不良の原因となります。

8 ペーパーフィーダ前面にある用紙サイズ登録ダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。

工場出荷時は A4 サイズにセットされています。

重要

- セットした用紙のサイズと用紙サイズ登録ダイヤルが合っていることを必ず確認してから給紙カセットをプリンタ本体にセットしてください。用紙サイズ登録ダイヤルが合っていないと、誤動作の原因になります。
- 用紙サイズ登録ダイヤルが「-」の部分にはセットしないでください。誤動作の原因になります。
- 用紙サイズ登録ダイヤルの表示に「A4R」、「LTR-R」がありますが、本プリンタはA4Rサイズ、レターR サイズの用紙に対応しておりません。A4 サイズ、レターサイズの用紙は横置きにのみセットできます。

9 用紙サイズ表示板に、セットした用紙サイズのシールを貼り、給紙カセット前面の用紙サイズ表示板差し込み口に差し込みます。

10 給紙カセットを図のように斜めに差し込み ①、ゆっくりと水平に押し込んでペーパーフィーダにセットします ②。

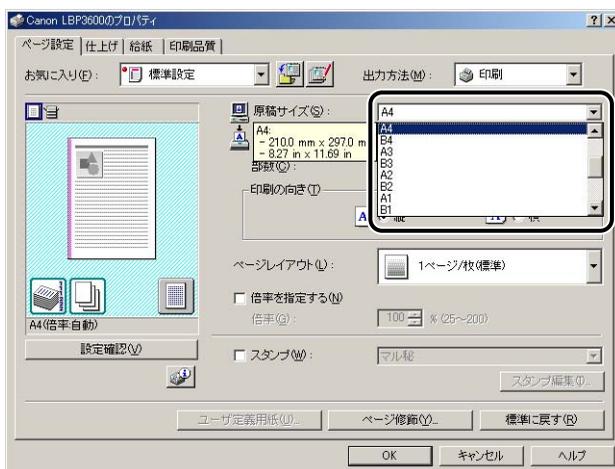
給紙カセットの前面が、ペーパーフィーダの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

メモ　プリンタ本体の給紙カセットとオプションのペーパーフィーダの給紙カセットを延長してご使用になる場合は、次の図のようになります。

プリンタドライバの設定をして印刷する

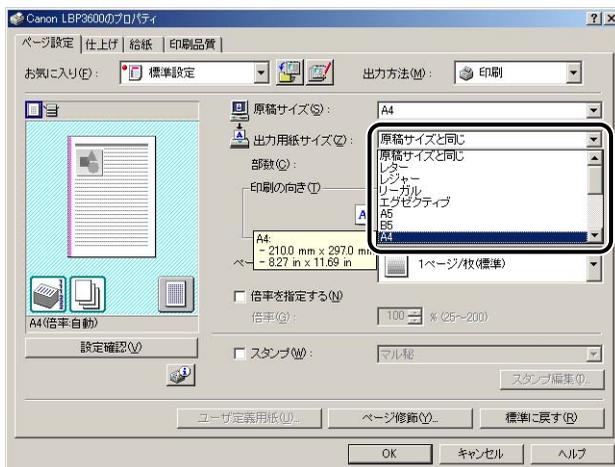
プリンタドライバの設定をします。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

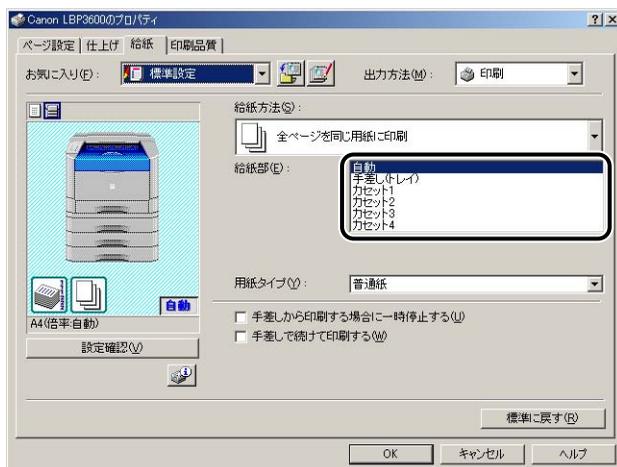
1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。**

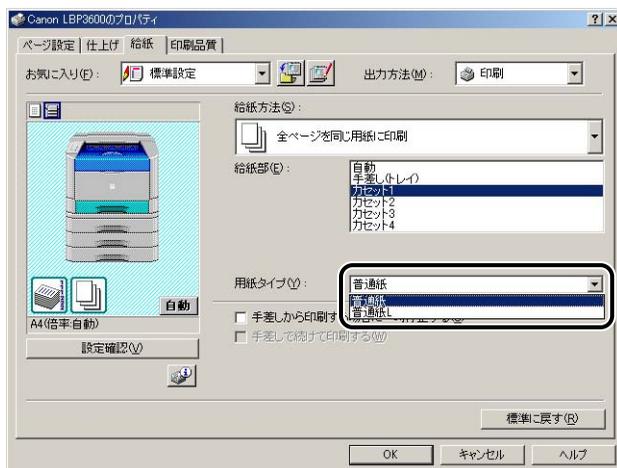
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

3 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズとカセットにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

4 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］を選択します。

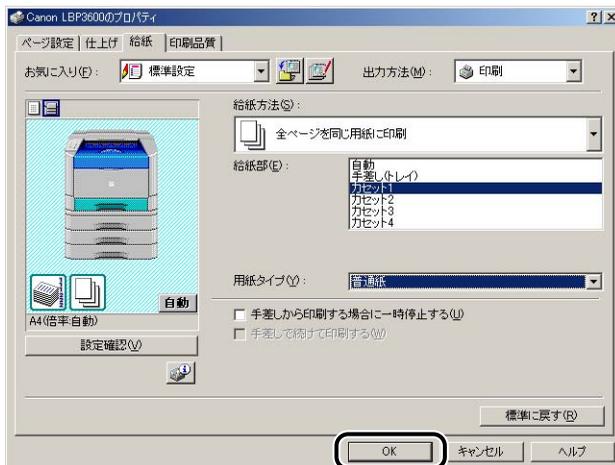
［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

5 ［用紙タイプ］で［普通紙］を選択します。

重要

厚紙（81～90g/m^2）をカセットから印刷する場合は、［用紙タイプ］を［普通紙］に設定したあと、以下の設定も行ってください。

- ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード4］にする

メモ

［普通紙］に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つときは、［普通紙L］に設定してお試しください。

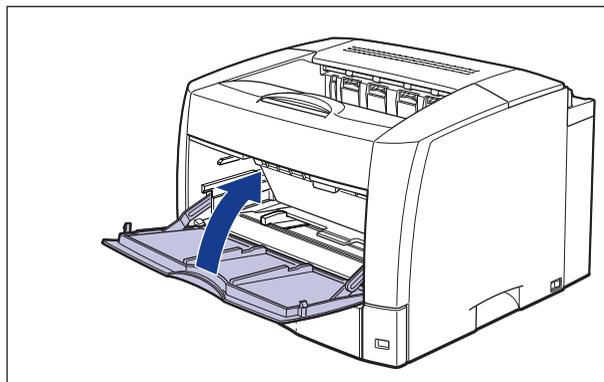
6 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

7 [OK] をクリックして、印刷を実行します。

手差しトレイから印刷する

手差しトレイには、横幅が 76.2 ～ 297.0mm、長さが 127.0 ～ 431.8mm の範囲の用紙を普通紙で約 100 枚（64g/m²）までセットできます。OHP フィルムやラベル用紙、はがき、封筒など、給紙カセットにセットできない用紙もセット可能です。
用紙の種類によってセット方法が異なりますので、それぞれの手順を参照してください。

- 普通紙、厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙（➞用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合：P.2-51）
- はがき（➞ はがきに印刷する場合：P.2-60）
- 封筒（➞ 封筒に印刷する場合：P.2-67）

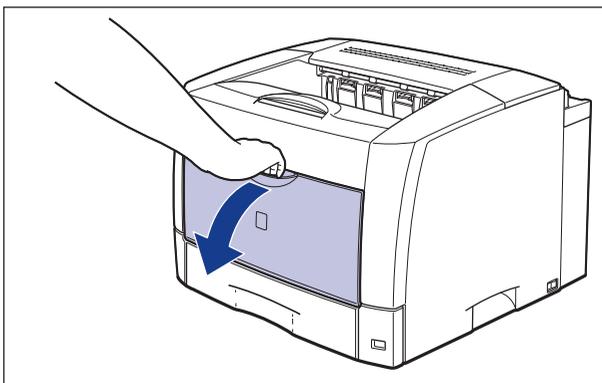
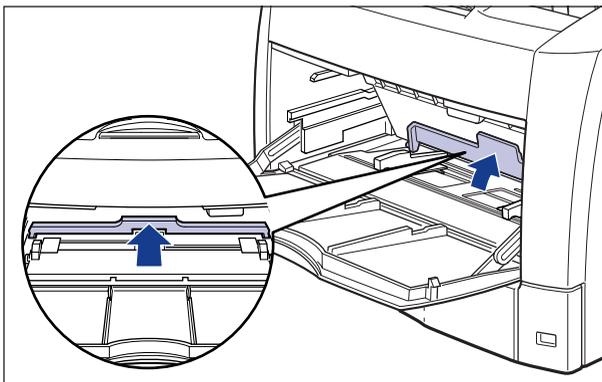
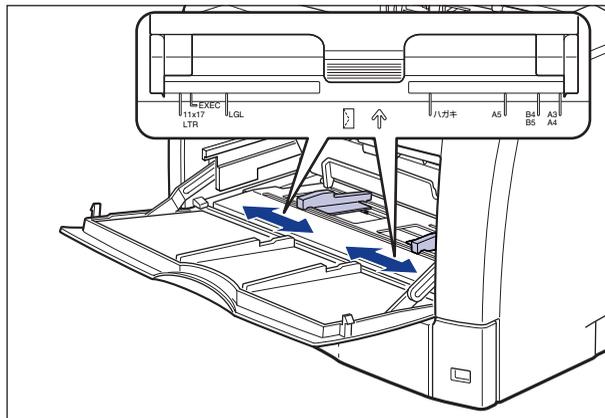
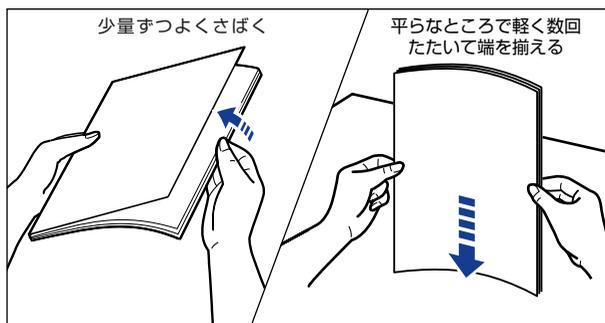
重要 手差しトレイの上には印刷する用紙以外のものは置かないでください。また上から押したり、無理な力を加えないでください。手差しトレイが破損することがあります。

メモ 手差しトレイを閉めるときは、セットされている用紙を取り除いて閉めます。
手差しトレイを使わないときは、閉めておいてください。

用紙（はがき、封筒以外）に印刷する場合

手差しトレイに普通紙や厚紙、OHP フィルム、ラベル用紙などをセットするときは、次の手順でセットします。

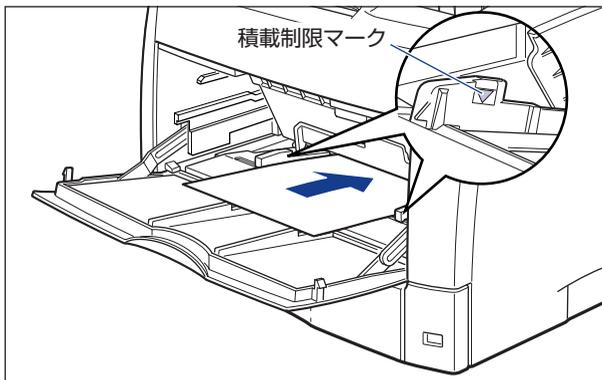
重要
- OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 OHP フィルム A4」を使用してください。
- OHPフィルムどうしが離れにくい場合があるので、手差しトレイにセットする前に1枚ずつよくさばいてから使用してください。
- 次のようなラベル用紙は使用しないでください。仕様に合わない用紙をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ラベルが剥がれていたり、一部使いかけている用紙
  - ・台紙から剥がれやすいコート紙でできている用紙
  - ・糊がはみ出ている用紙

1 手差しトレイを開けます。

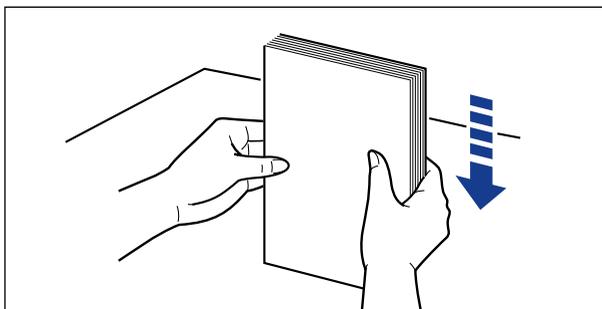
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 用紙押さえレバーを上げます。

3 用紙ガイドの幅を紙幅より少し広めにセットします。

4 OHP フィルムやラベル用紙をセットする場合は、用紙を少量ずつさばき、端を揃えます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

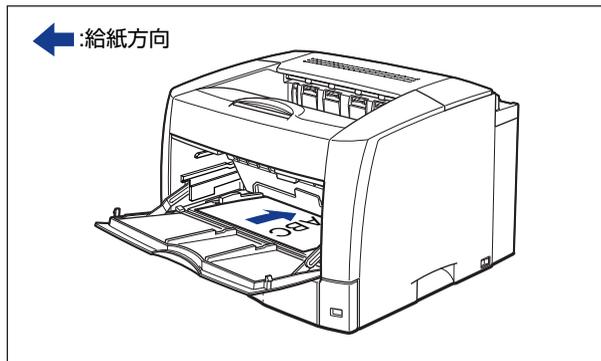
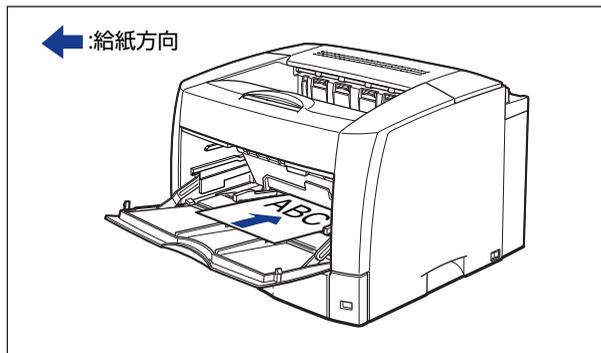
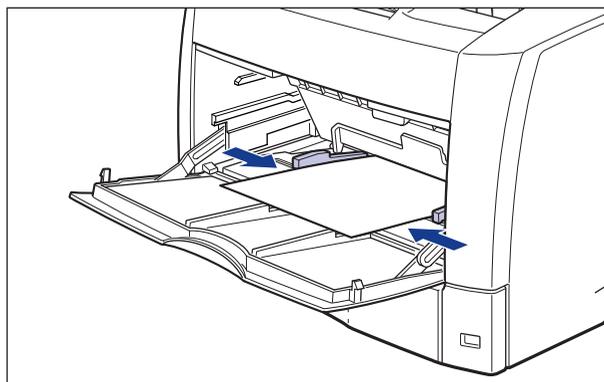
重要

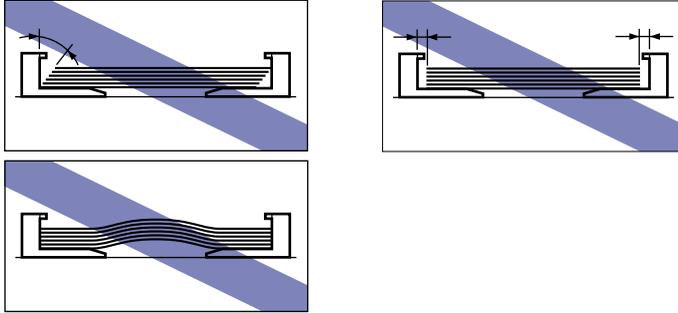
- OHP フィルムやラベル用紙は、よくさばいてからセットしてください。十分にさばけていないと、重送されて、紙づまりの原因になります。
- OHP フィルムをさばいたり、揃えたりするときは、できるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。
- OHP フィルムに手あかや指紋、ホコリや油分などが付着しないようにしてください。印字不良の原因になります。

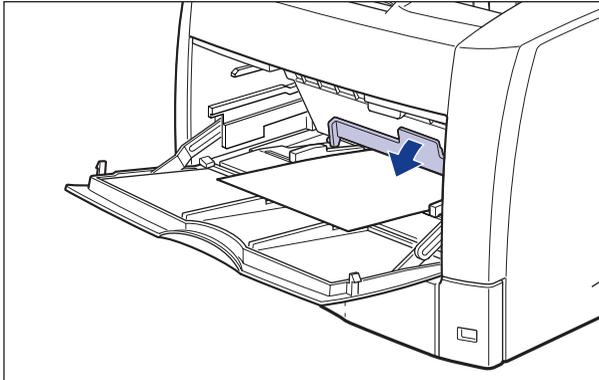
5 用紙の印刷する面を上にして、奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要

- 手差しトレイには、次の枚数までセットできます。用紙束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
  - ・普通紙　　　　：約 100 枚（64g/m^2）
  - ・厚紙　　　　　：約 50 枚（128g/m^2）
  - ・OHP フィルム ：約 50 枚
  - ・ラベル用紙　　：約 50 枚
- 用紙を斜めにセットしないでください。
- 用紙の後端が不揃いになっていると、給紙不良や紙づまりの原因になります。
- 用紙の先端が折れ曲がっていたりカールしている場合は、端を伸ばしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪い用紙を使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、用紙を平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

メモ　レターヘッドやロゴ付きの用紙などに印刷する場合は、次の指示にしたがって正しい向きに用紙をセットしてください。

・A4、B5、A5、レター、エグゼクティブサイズのように用紙を横置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

・A3、B4、レジャー、リーガルサイズのように用紙を縦置きでセットする場合は、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタ前面から見て奥側になるようにセットします。

6 用紙ガイドを、用紙の左右にぴったりと合わせます。

重要

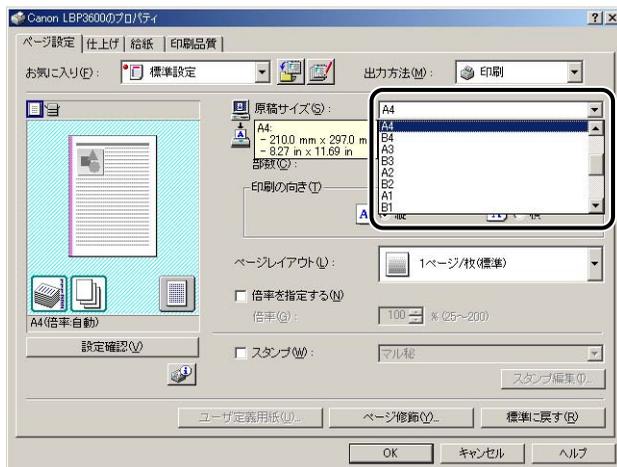
- 必ず用紙ガイドを用紙の幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。

- 印刷中は、手差しトレイの用紙に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

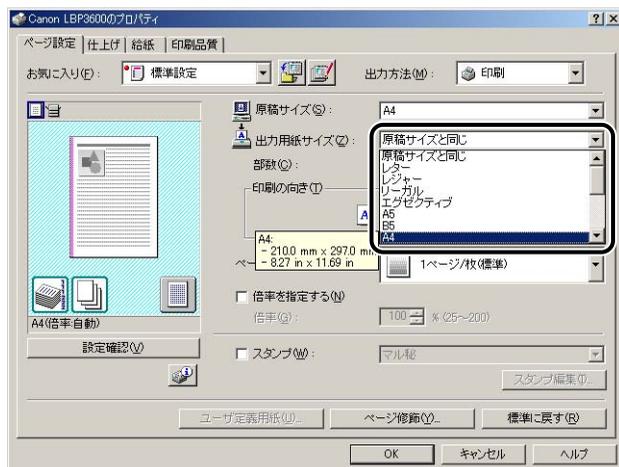
7 用紙押さえレバーを下げます。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

8 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

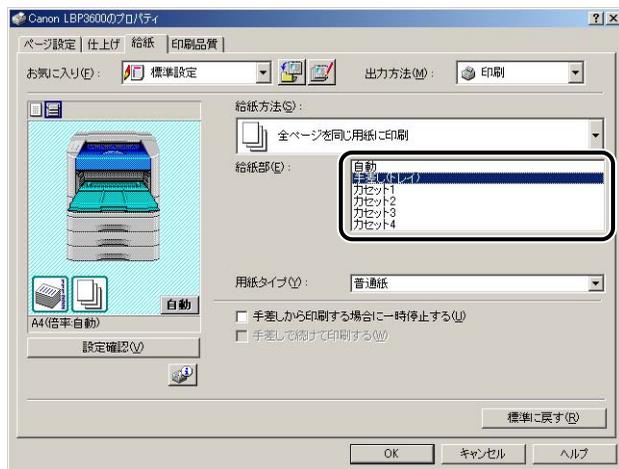
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

9 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

10 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

OHP フィルム、ラベル用紙は［A4］または［レター］を選択します。
原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要 ［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

11 ［給紙］ページを表示して、［給紙部］で［手差し（トレイ）］を選択します。

［給紙方法］を［全ページを同じ用紙に印刷］以外に設定している場合は、［給紙部］の設定が［最初のページ］や［その他のページ］などに変わりますが、［給紙部］の設定と同様に設定します。

メモ　［給紙方法］から［OHP フィルムの間に用紙をはさむ］を選択すると、OHP フィルムの間に用紙をはさむことができます。

12 ［用紙タイプ］でセットした用紙のタイプを選択します。

普通紙の場合は［普通紙］、厚紙（81 ～ 105g/m²）の場合は［厚紙 L］、厚紙（106 ～ 128g/m²）とラベル用紙の場合は［厚紙］、OHP フィルムの場合は［OHP フィルム］を選択してください。

13 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

14 [OK]をクリックして、印刷を実行します。

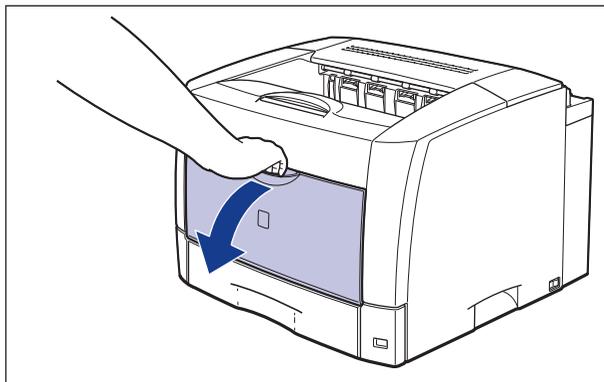
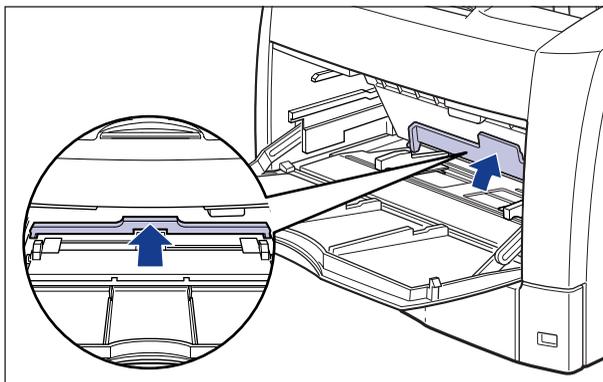
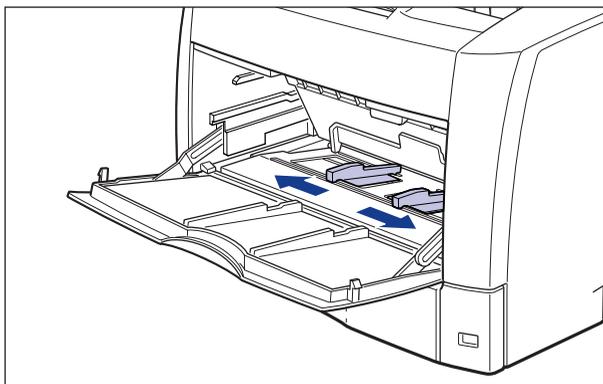
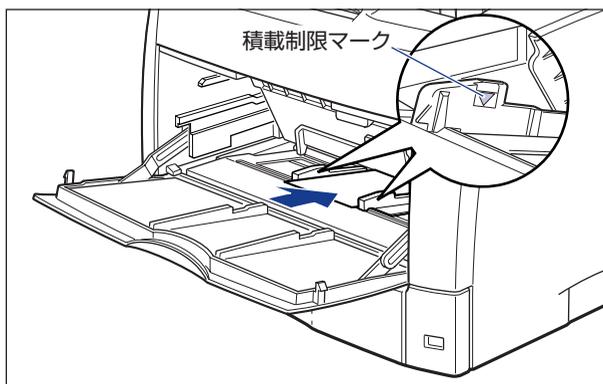
はがきに印刷する場合

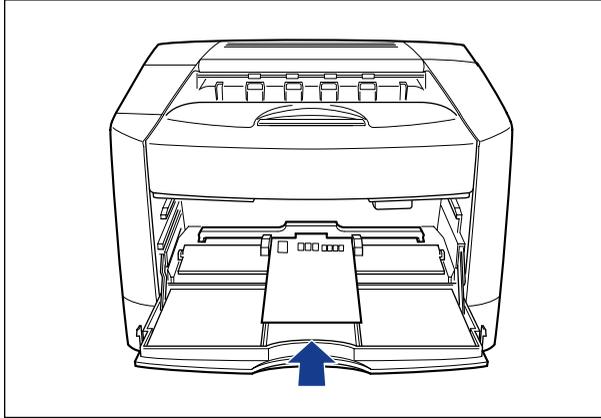
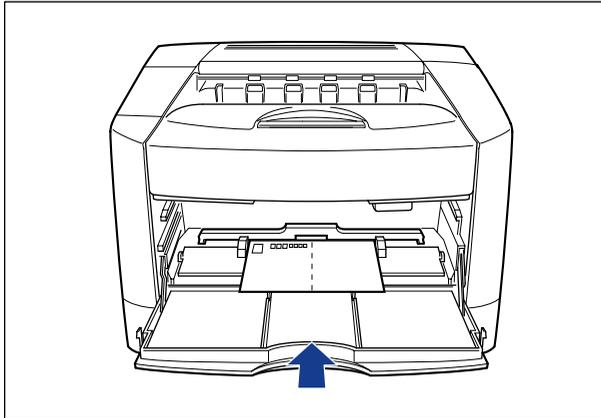
手差しトレイには、官製はがき、官製往復はがき、４面はがきをセットできます。はがきを手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

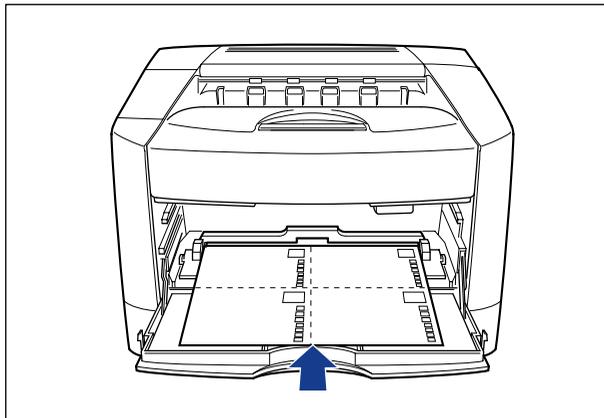
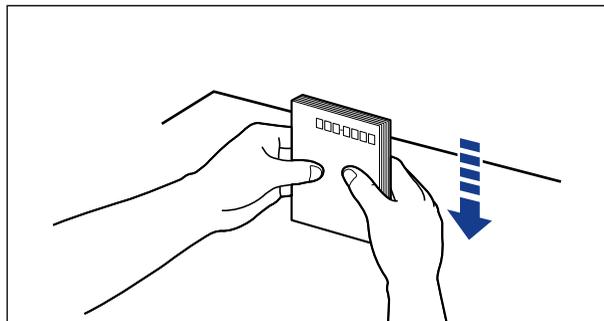
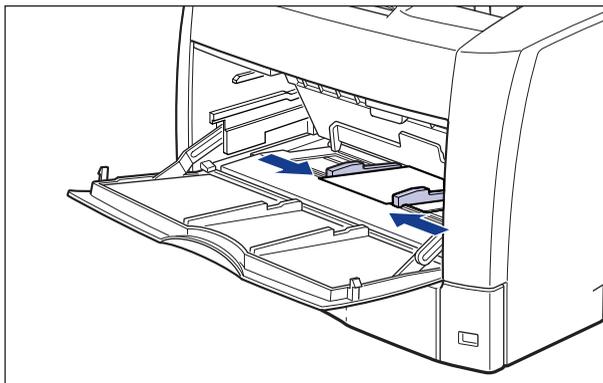
重要

- ４面はがきは、キヤノン推奨の４面はがきをご使用ください。
- 官製はがき、官製往復はがき、およびキヤノン推奨の ４ 面はがき以外のはがきへの印刷は、印字品質が低下したり、紙づまりの原因となることがあります。
- 印刷可能な往復はがきは、折り目なしのもののみです。
- インクジェット用の官製はがき、官製往復はがきを使用することはできません。
- はがきや往復はがきに印刷する場合、印刷速度が遅くなります。

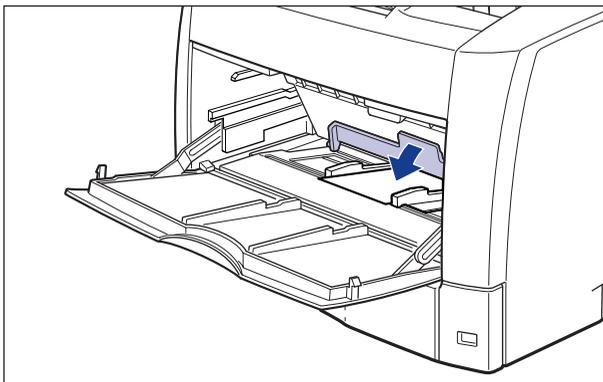
1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 用紙押さえレバーを上げます。

3 用紙ガイドの幅をはがきの幅より少し広めにセットします。

4 はがきの印刷する面を上向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

重要
- 手差しトレイには、はがき、往復はがきを約 40 枚、4 面はがきを約 50 枚までセットできます。はがき束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- はがきをセットする場合は、必ず縦置きで、はがきの表面（印刷する面）を上に向け、はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

- 往復はがきをセットする場合は、必ず横置きで、往復はがきの表面（印刷する面）を上に向け、往復はがきの上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

- 往復はがきに印刷するときは、アプリケーションソフトの用紙設定と印字方向をセットする用紙の方向に合わせて設定してください。（例：Windows 2000/XP/Server 2003 の場合は、「往復はがき横」を選択してください。）

- 4 面はがきをセットする場合は、必ず横置きで、用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

- はがきがカールしているときは、逆向きに曲げて反りをなおしてからセットしてください。
- 裁断状態の悪いはがきを使用すると、重送しやすくなる場合があります。そのような場合は、はがきを平らな場所でよく揃えてからセットしてください。

5 用紙ガイドを、はがきの左右にぴったりと合わせます。

重要

- 必ず用紙ガイドをはがきの幅に合わせてください。ゆるすぎたりきつすぎたりすると、正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 印刷中は、手差しトレイのはがきに触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

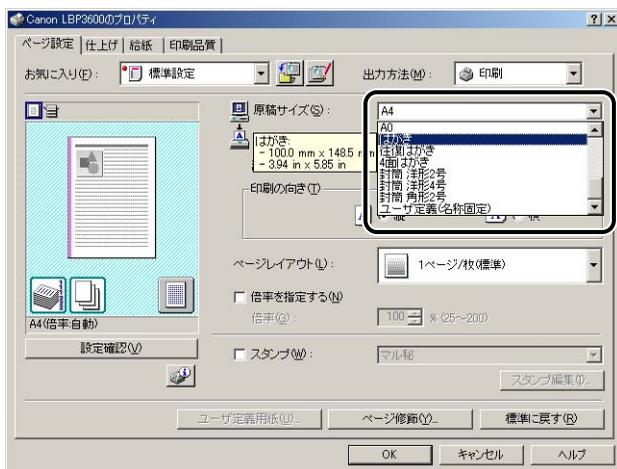
6 用紙押さえレバーを下げます。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

7 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

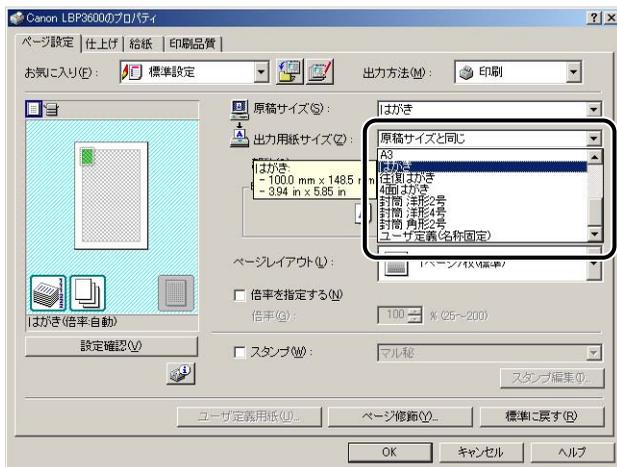
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

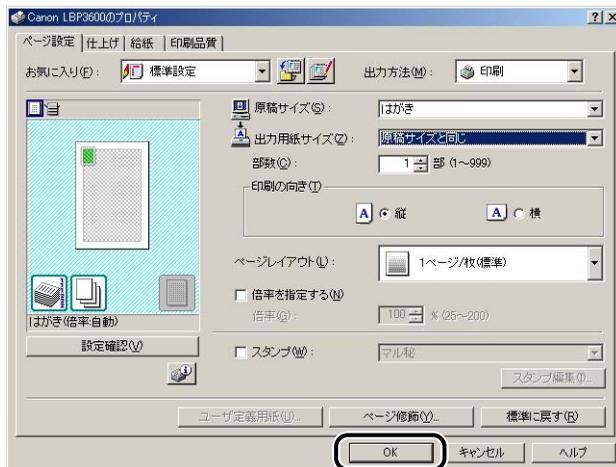
メモ

ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

8 [ページ設定]ページを表示して、[原稿サイズ]からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ　原稿サイズを[はがき]、[往復はがき]、[4 面はがき]に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。

9 必要に応じて[出力用紙サイズ]でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、[原稿サイズと同じ]に設定しておきます。

重要　[原稿サイズ]と[出力用紙サイズ]の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

10 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

11 [OK] をクリックして、印刷を実行します。

封筒に印刷する場合

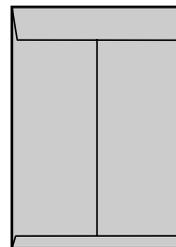
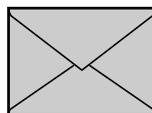
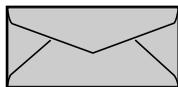
手差しトレイには、洋形４号、洋形２号、角形２号の封筒をセットできます。封筒を手差しトレイにセットするときは、次の手順でセットします。

重要

- 本プリンタで使用できる封筒は、洋形４号、洋形２号、角形２号で次のような構造のものに限ります。

洋形4号（105mm×235mm）
（キヤノンLBP用封筒Y401／推奨品）

洋形2号（114mm×162mm）
（キヤノンLBP用封筒Y201／推奨品）

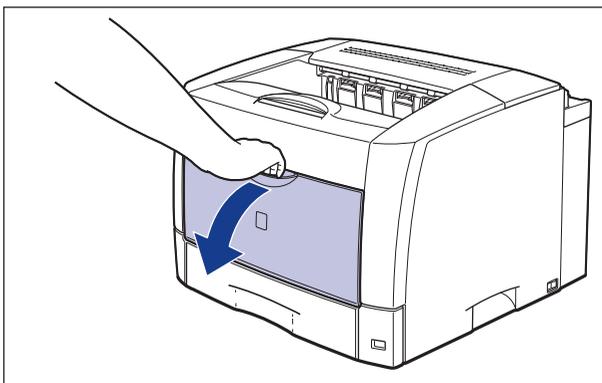
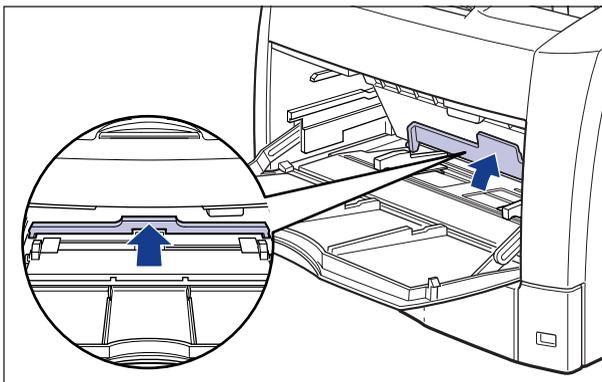
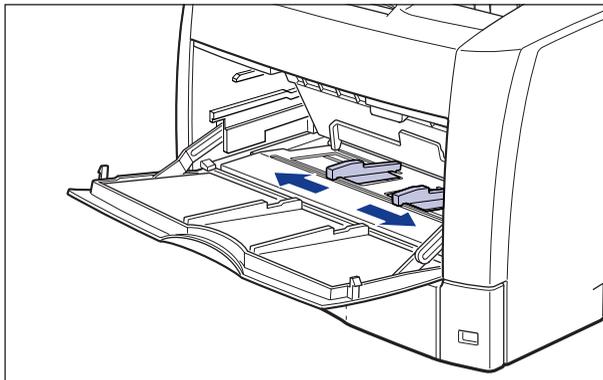
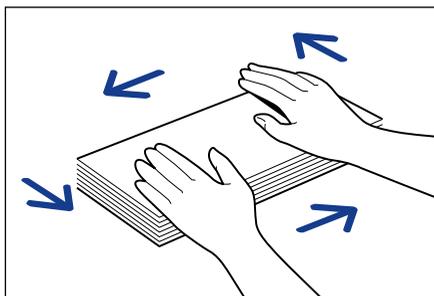
角形2号（240mm×332mm）

※洋形4号および洋形2号の封筒は、
短辺にふたが付いているものは使用できません。

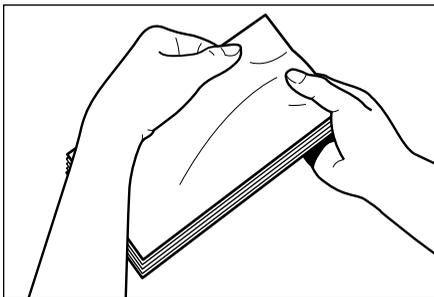
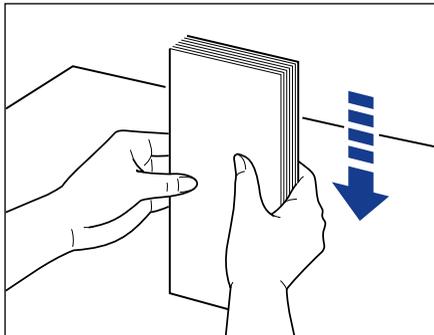
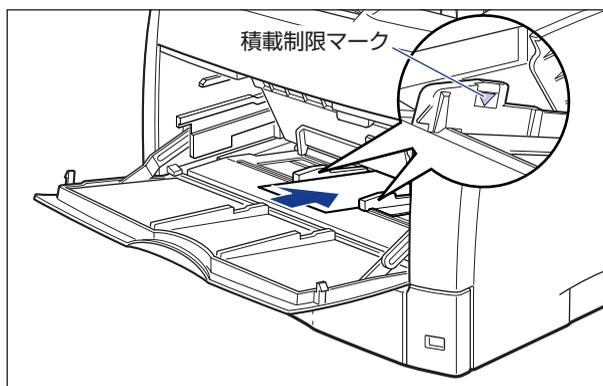
- 次のような封筒は使用しないでください。仕様に合わない封筒をお使いになると、復旧の困難な紙づまりやプリンタ故障の原因になります。
  - ・ファスナーや留め具の付いている封筒
  - ・窓付きの封筒
  - ・糊付きの封筒
  - ・しわになっていたり、折れ曲がっている封筒
  - ・折り目や貼り合わせ部分の凹凸が大きい封筒
  - ・長方形でない封筒や不規則な形の封筒
  - ・セットする前に、上から手で押さえて封筒内部の空気を抜き取り、折り目をよく押さえてください。
- 裏面（貼り合わせのある面）には印刷しないでください。
- 封筒に印刷する場合は、印刷速度が遅くなります。

メモ

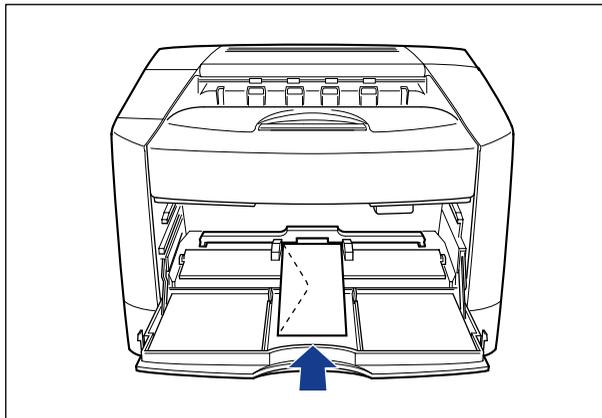
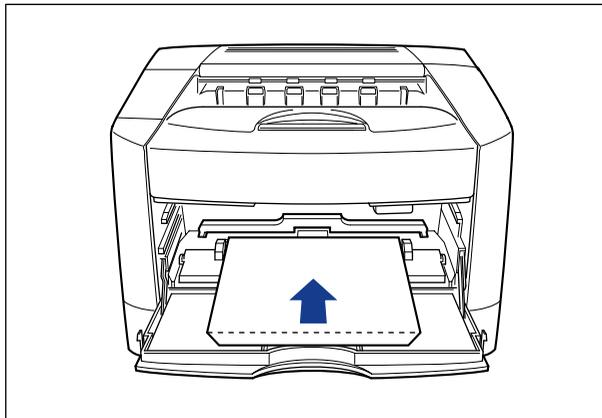
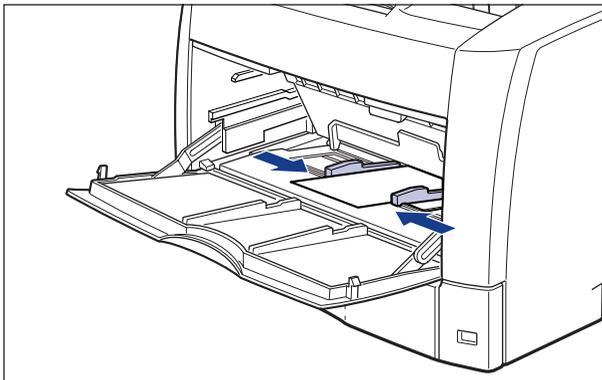
封筒に印刷した場合、しわがよる場合があります。

1 手差しトレイを開けます。

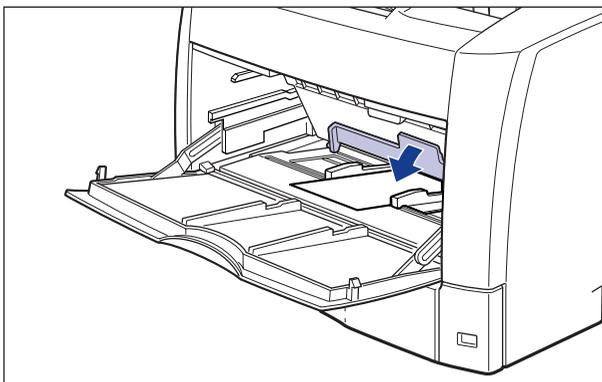
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

2 用紙押さえレバーを上げます。

3 用紙ガイドの幅を封筒の幅より少し広めにセットします。

4 封筒の束を平らな場所へ置き、上面を押して空気を抜いてから、縁の折り目をきちんと付けて、平らにします。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

5 封筒の四隅の固い部分を図のように取り除き、カールをなおします。

6 封筒を平らな場所で揃えます。

7 封筒の宛名を書く面を上向きにして、図のように手差しトレイの奥に当たるまでゆっくりと差し込みます。

重要

- 手差しトレイには、封筒を約 10 枚までセットできます。封筒束の高さが積載制限マークを超えていないことを確認してください。
- 封筒は、裏面（貼り合わせのある面）には印刷できません。

- 洋形 4 号、洋形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたがプリンタを前面から見て左側になるようにセットします。

- 角形 2 号の封筒をセットする場合は、ふたを開けたまま、底辺がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

8 用紙ガイドを封筒の左右にぴったりと合わせます。

重要

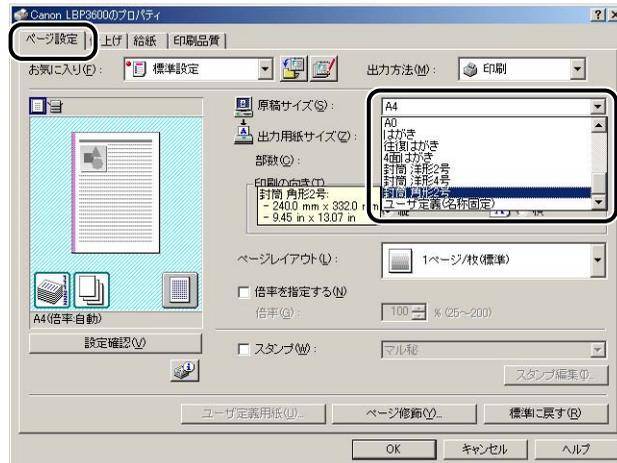
- 用紙ガイドと封筒の間にすき間があいたり、強く押しすぎて封筒がゆがんだりしないようにしてください。正しく送られなかったり、紙づまりの原因になります。
- 印刷中は、手差しトレイの封筒に触れたり、引き抜いたりしないでください。動作異常の原因になります。

9 用紙押さえレバーを下げます。

続けて、プリンタドライバの設定を行います。

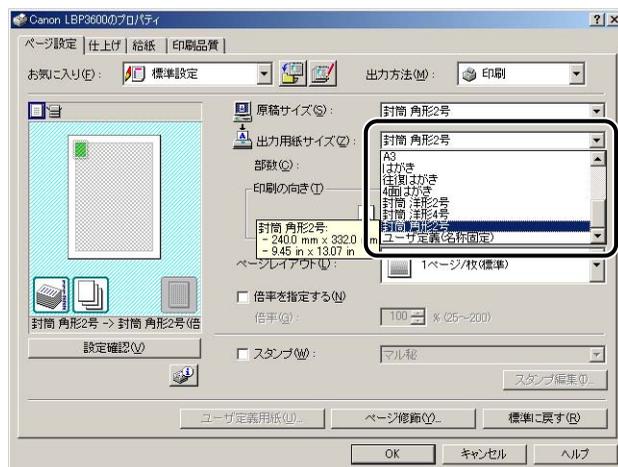
10 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

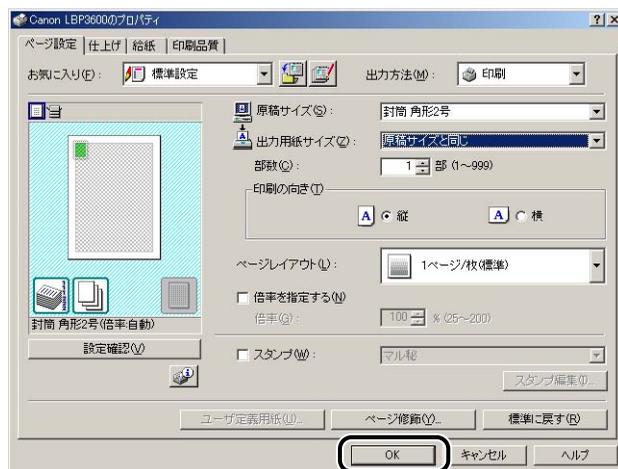
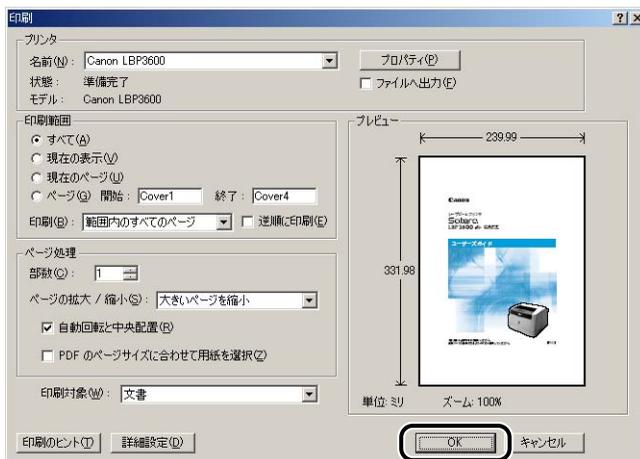
プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

11 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

メモ　原稿サイズを［封筒 洋形 2 号］、［封筒 洋形 4 号］、［封筒角形 2 号］に設定すると、メッセージが表示され自動的に用紙タイプが設定されます。

12 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

13 ［OK］をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

14 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

両面に印刷する

本プリンタはオプションの両面ユニットを取り付けると、自動で両面印刷することができます。自動両面印刷で使用できる用紙は、A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー、レター、エグゼクティブサイズの普通紙(64～80g/m^2)および厚紙(81～90g/m^2)です。

重要

- 定形外の用紙（ユーザ定義用紙）や厚紙（91 ～ 128g/m^2)、OHP フィルム、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒には、自動両面印刷できません。
- 両面印刷中は排紙トレイに用紙が完全に排紙されるまで用紙に触れないでください。両面印刷中は表面を印刷したあと一度途中まで排紙され、裏面を印刷するために再度給紙されます。
- 厚紙（81 ～ 90g/m^2）を両面印刷する場合は、以下の設定を行ってください。

  Windows の場合；

  ① [給紙］ページの［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

  ② [仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、[仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、[処理オプション］ダイアログボックスにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

  Macintosh の場合；

  ① [給紙］パネルの［用紙タイプ］の設定を［普通紙］にする

  ② [仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］をクリックして、[仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］をクリックし、[処理オプション］ダイアログにある［特殊定着モード］の設定を［モード 4］にする

メモ

- [両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］にチェックマークを付けると、両面印刷ジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。ただし、パンチ紙やプレプリント紙（あらかじめ印刷している紙）に両面印刷する場合、最後のページの向きや表裏が他のページと異なることがあります。そのときはチェックマークを消してください。[両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する］は、以下の画面で設定します。

  · Windows の場合：
  [仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックし、[仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックすると表示される［処理オプション］ダイアログボックス

  · Macintosh の場合：
  [仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］ボタンをクリックし、[仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］ボタンをクリックすると表示される［処理オプション］ダイアログ

- 両面印刷時に紙づまりが頻繁に起こる場合は、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）を表示し、[オプション］メニューから［デバイス設定］を選択して、[両面特殊処理］にチェックマークを付けます。ただし、通常の両面印刷よりも、印刷速度が遅くなります。

自動で両面に印刷する

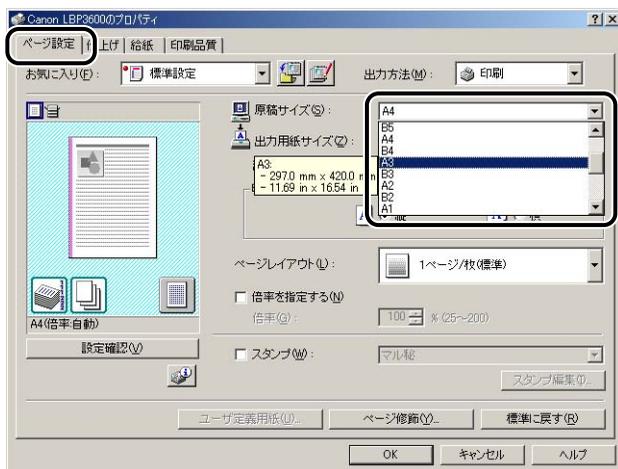
1 手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。

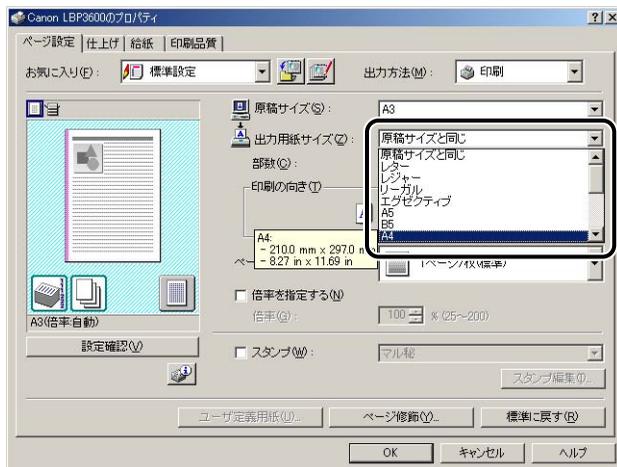
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは、「自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた」（➞P.2-80）を参照してください。

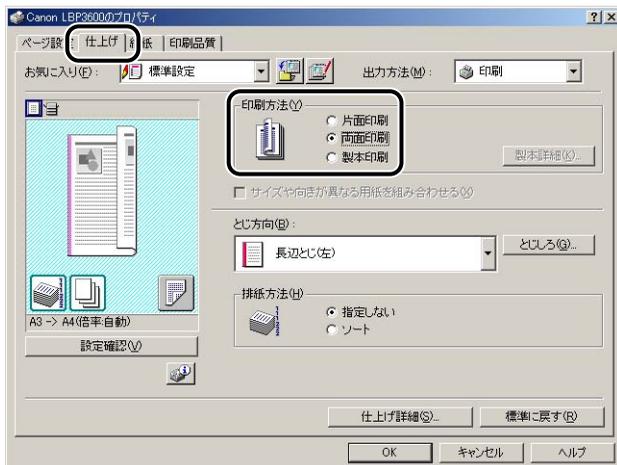
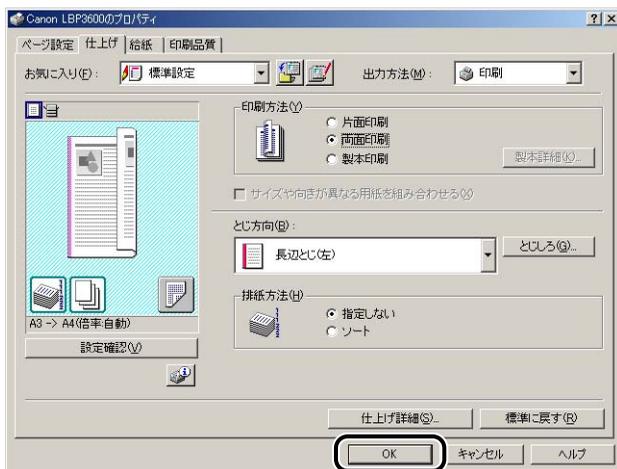
2 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。次に［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

プリンタの［プロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ
ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

3 ［ページ設定］ページを表示して、［原稿サイズ］からアプリケーションソフトで作成した原稿のサイズを選択します。

4 必要に応じて［出力用紙サイズ］でセットした用紙のサイズを選択します。

原稿サイズと手差しトレイにセットした用紙サイズが同じ場合は、設定を変更する必要はありませんので、［原稿サイズと同じ］に設定しておきます。

重要　［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］の設定が異なると、自動的に拡大または縮小して印刷されます。

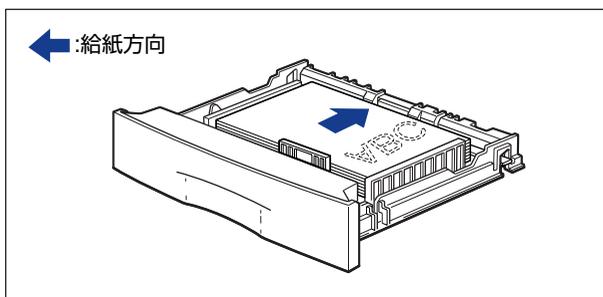
5 [仕上げ] ページを表示して、[印刷方法] で [両面印刷] を選択します。

6 [OK] をクリックして、プロパティダイアログボックスを閉じます。

7 ［OK］をクリックして、印刷を実行します。

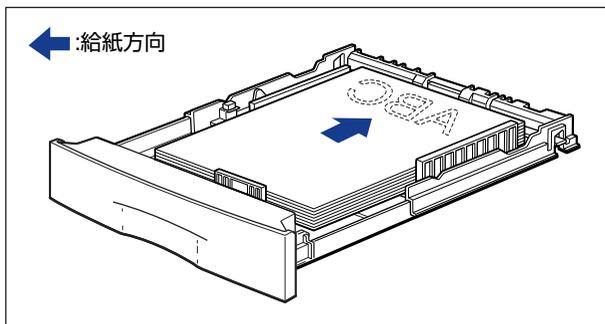
自動両面印刷するときの用紙のセットのしかた

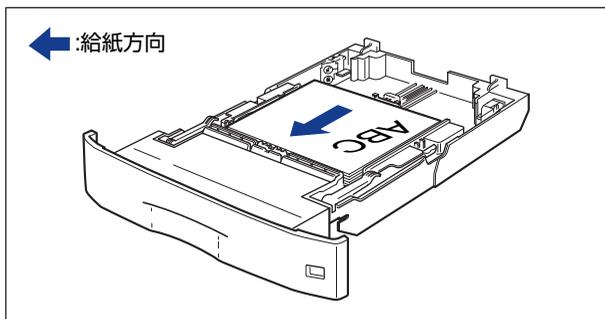
自動両面印刷では、裏面から印刷されますので、用紙をセットする向きが片面印刷のときと逆になります。レターヘッドなど、用紙の表裏や向きのある用紙に印刷するときは次のように用紙をセットします。

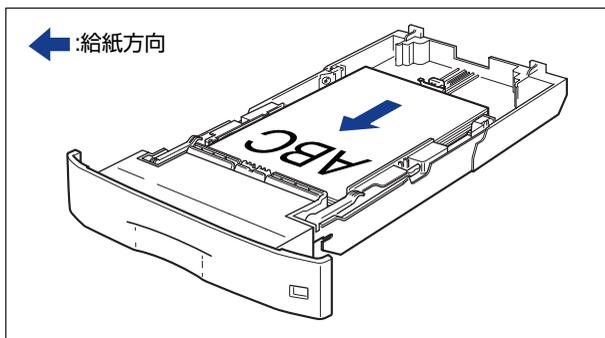
給紙カセットから給紙する場合

■ **標準カセット（カセット 1）に A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合**

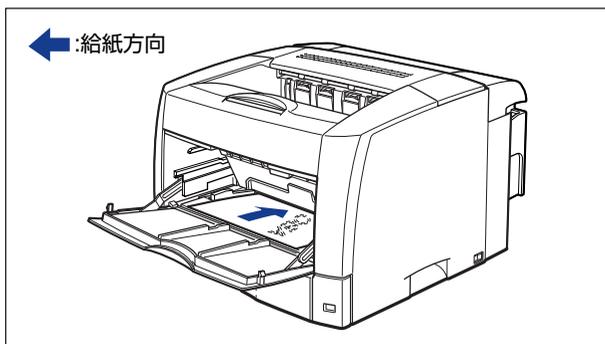
用紙の表面を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

■ 標準カセット（カセット 1）に A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

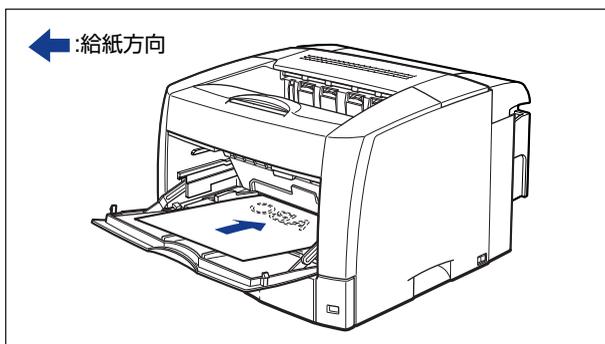
用紙の表面を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

■ ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、カセット 3、カセット 4）に A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

用紙の表面を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

■ ペーパーフィーダの給紙カセット（カセット 2、カセット 3、カセット 4）に A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て手前になるようにセットします。

手差しトレイから給紙する場合

■ A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

用紙の表面を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

■ B4 や A3 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面を下に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

手動で両面に印刷する

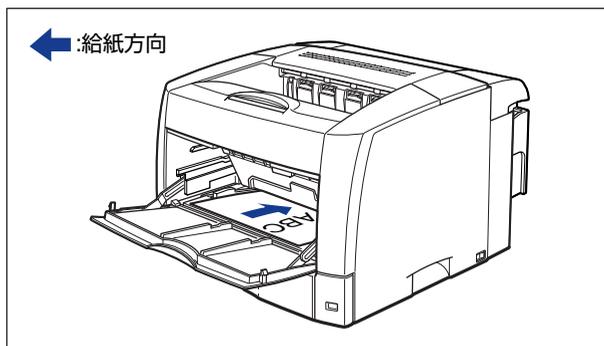
本プリンタは、裏面に印刷済みの用紙にも対応しており、自動両面できない用紙にも両面印刷することが可能です。

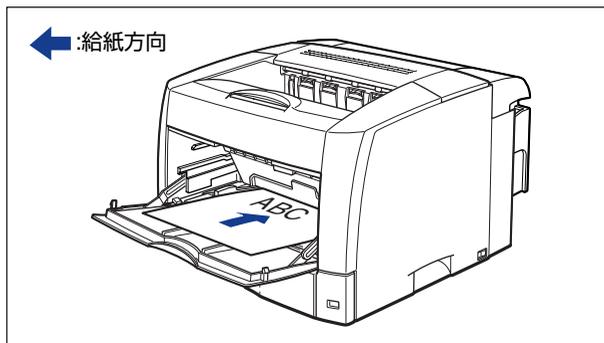
メモ

印刷済みの用紙の裏面に印刷する場合に紙づまりが起こるときは、以下の設定を行ってください。

- Windows の場合：
  ［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスの［印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する］にチェックマークを付けます。
- Macintosh の場合：
  ［仕上げ］パネルの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログの［印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する］にチェックマークを付けます。

■ 手差しトレイに A4 やレターなど用紙を横置きでセットする場合

用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て右側になるようにセットします。

■ 手差しトレイに A3 や B4 など用紙を縦置きでセットする場合

用紙の表面（印刷する面）を上に向け、用紙の上端がプリンタを前面から見て奥側になるようにセットします。

Windows の印刷環境を設定するには

3

CHAPTER

この章では、Windows にプリンタドライバをインストールする手順、プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷するための設定について説明しています。

印刷するときに必要な作業 3-2
- プリンタを設置したあとに行う作業 3-2
- 印刷のたびに行う作業 3-2
- 必要なシステム環境 3-3

CAPT ソフトウェアをインストールする 3-4
- Windows 98/Me の場合 3-4
- Windows 2000 の場合 3-21
- Windows XP/Server 2003 の場合 3-36

インストールが完了すると 3-51

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する 3-53

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する 3-56
- プリントサーバの設定 3-57
- クライアントへのインストール 3-67

CAPT ソフトウェアの削除 3-77

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで印刷に関する設定を行います。プリンタドライバのインストール方法はご使用の環境によって異なります。

- プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続して、印刷する場合（→P.3-4）
- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続し、印刷する場合（→ ネットワークガイド／本編）

■ コンピュータでプリンタの共有機能を使用する（→P.3-56）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、本プリンタをネットワーク上のコンピュータから使用する場合に、コンピュータの設定やクライアントへプリンタドライバをインストールします。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷設定をする

プリンタの用紙サイズ、原稿サイズ、印刷部数などをプリンタドライバで設定します。これらの設定が適切でないと、期待した結果が得られない場合があります。

■ 印刷を実行する

アプリケーションソフトから印刷するためのメニューを選択します。この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OSソフトウェア環境

- Microsoft Windows 98 日本語版
- Microsoft Windows Me 日本語版
- Microsoft Windows 2000 Server/Professional 日本語版
- Microsoft Windows XP Professional/Home Edition 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003 日本語版（32ビットプロセッサバージョンのみ）

重要　日本語以外のOSには対応していません。

・動作環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium II 300MHz以上	Pentium II 300MHz以上
メモリ（RAM）*	64MB以上	128MB以上
ハードディスク	40MB以上	Windows 2000：60MB以上 Windows XP/Server 2003：70MB以上

（IBM-PC互換機）

* お使いのコンピュータのシステム構成や使用するアプリケーションにより実際に使用できるメモリ容量が異なるため、上記の環境はどんな場合でも印字を保証するものではありません。

・推奨環境

	Windows 98/Me	Windows 2000/XP/Server 2003
CPU	Pentium III 600MHz以上	Pentium III 600MHz以上
メモリ（RAM）	128MB以上	256MB以上

■ インタフェース環境

- USB：USB 2.0 High-Speed（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）、USB Full-Speed（USB1.1 相当）

メモ

- サウンドをお使いになる場合は、PC音源（およびPCM音源のドライバ）が組み込まれている必要があります。PCスピーカードライバ（speaker.drv）はお使いにならないでください。
- お使いの環境が双方向通信に対応している必要があります。

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタをお使いのコンピュータに USB ケーブルで直接接続するときの、ソフトウェアのインストール方法を説明します。

- Windows 98/Me の場合（→P.3-4）
- Windows 2000 の場合（→P.3-21）
- Windows XP/Server 2003 の場合（→P.3-36）

重要

- CAPT ソフトウェアは本プリンタを使用して印刷するために必要です。必ずインストールしてください。
- ハードディスクの空き容量が不足している場合は、インストールの途中で次のようなダイアログボックスが表示されます。[OK] をクリックしてインストールを中止し、ディスクの空き容量を増やしたあとインストールをやりなおしてください。

メモ

- オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとコンピュータを LAN で接続するときの、ソフトウェアのインストール方法は「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- コンピュータでプリンタの共有機能を使用して、ネットワーク上のコンピュータから印刷するときの、ソフトウェアのインストール方法は、「プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する」（→P.3-56）を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。

Windows 98/Me の場合

ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 **プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタが USB ケーブルで接続されていないことを確認します。**

重要

- インストールの手順の途中（手順 11→P.3-8）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows 98/Me を起動します。

3 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要　CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAB1MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ドライバインストール］をクリックします。

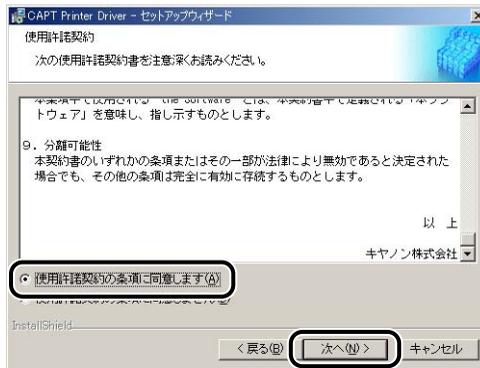
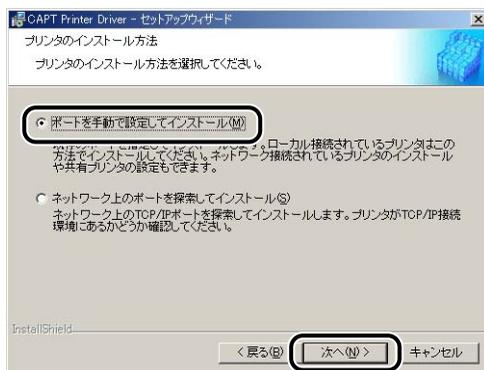
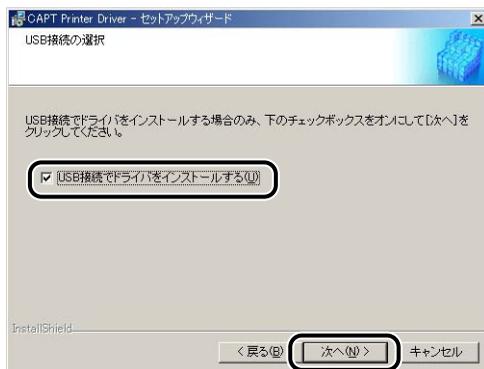
言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 言語を確認し、［はい］をクリックします。

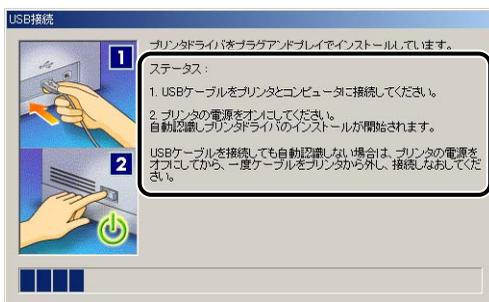
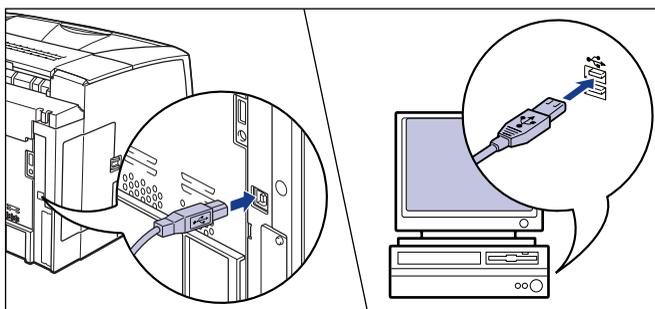
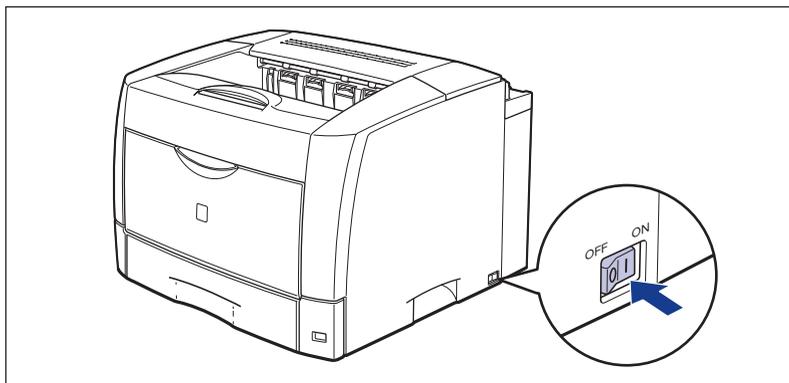
インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［次へ］をクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

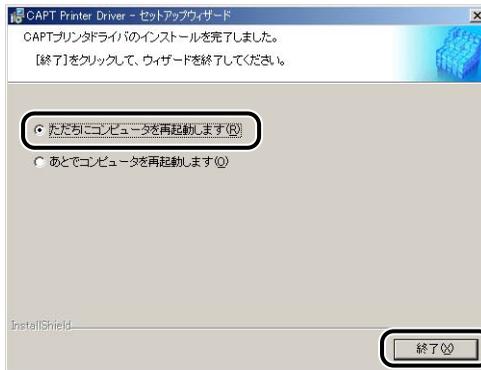
7 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

8 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

9 ［USB 接続でドライバをインストールする］にチェックマークを付けたあと、［次へ］をクリックします。

お使いの環境によっては、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示される場合があります。その場合は、コンピュータの再起動後にインストールを続けてください。

10 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

11 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。

プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続します。

電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

USBクラスドライバおよびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USBケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」（→P.8-49）を参照してください。

12 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

13 インストール完了の画面が表示されますので、［ただちにコンピュータを再起動します］を選択し、［終了］をクリックします。

Windows が再起動します。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

 プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 98/Me を起動します。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

● Windows Me の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 2 へ進みます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、手順 9 へ進みます。

● Windows 98 の場合

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 2 へ進みます。

次のダイアログボックスが表示された場合は、［次へ］をクリックし、手順 9 へ進みます。

2 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

3 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

4 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

5 ［D:¥Japanese¥USBPORT¥WinMe］を選択し、［OK］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［D:¥Japanese¥USBPORT¥Win98］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

6 ［検索場所の指定］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

7 ［次へ］をクリックします。

USBクラスドライバのインストールがはじまります。

8 ［完了］をクリックします。

プリンタを自動で検知します。しばらくお待ちください。

［新しいハードウェアの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。Windows 98 の場合は［次へ］をクリックします。

9 ［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows 98 の場合は、［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［次へ］をクリックします。

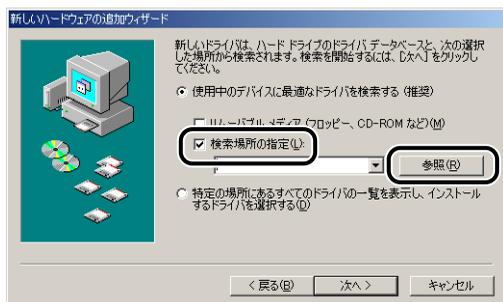
検索場所を指定するダイアログボックスが表示されます。

10 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」が CD-ROM ドライブに入っていない場合は、付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

11 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

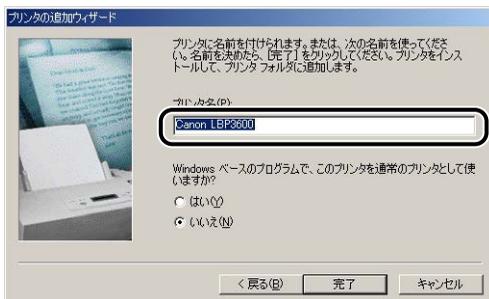
Windows 98 の場合は、［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［検索場所の指定］にチェックマークを付け、［参照］をクリックします。

12 ［D:¥Japanese¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

13 ［検索場所の指定］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

14 ［次へ］をクリックします。

15 プリンタ名を変更する場合は、［プリンタ名］に新しい名前を入力します。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」が表示されますので、［はい］または［いいえ］を選択します。

16 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

17 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

18 ［完了］をクリックします。

USB クラスドライバとプリンタドライバのインストールが完了しました。

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

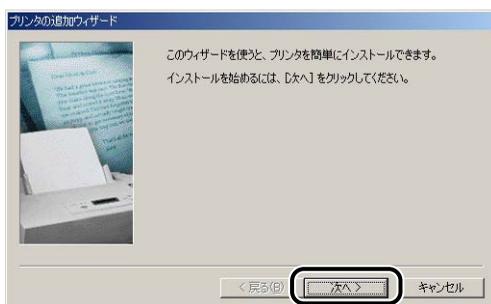
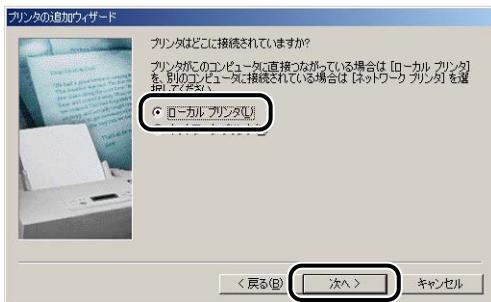
メモ　［プリンタの追加ウィザード］からインストールする場合は、本プリンタを接続するためのUSBポートがすでに登録されている必要があります。

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択して［プリンタ］フォルダを開き、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

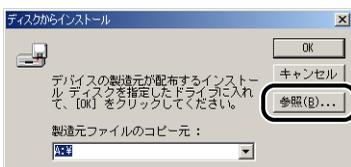
メモ　［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスは、以下の方法でも表示できます。

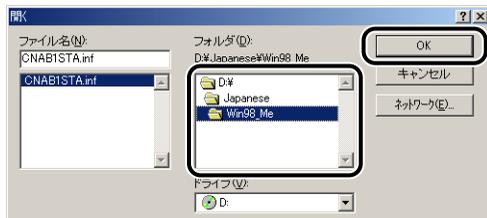
- ［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［プリンタ］→［プリンタの追加］の順にダブルクリックします（Windows Meの場合）。
- ［マイコンピュータ］→［プリンタ］→［プリンタの追加］の順にダブルクリックします（Windows 98の場合）。

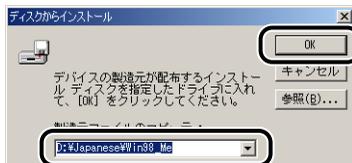
2 ［次へ］をクリックします。

3 [ローカルプリンタ] を選択して [次へ] をクリックします。

メモ　ネットワークの設定を行っていないときは、この画面は表示されません。

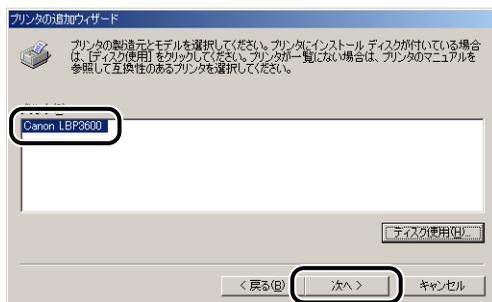
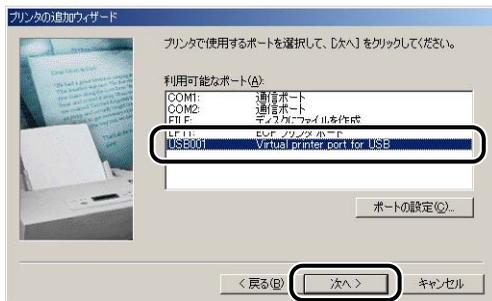
4 [ディスク使用] をクリックします。

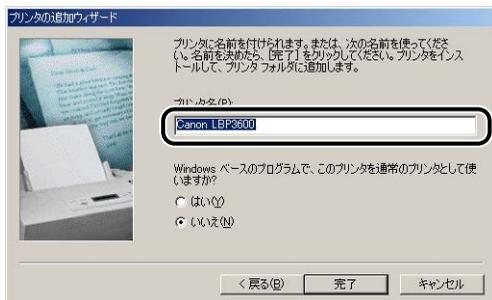
5 付属のCD-ROM「LBP3600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、[参照] をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、[終了] をクリックします。

6 [D:¥Japanese¥Win98_Me] を選択し、[OK] をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

7 [製造元ファイルのコピー元]（Windows 98 は [配布ファイルのコピー元]）の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win98_Me] と表示されます。

[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスに「Canon LBP3600」が表示されます。

8 [プリンタ] で本プリンタを選択し、[次へ] をクリックします。

9 本プリンタを接続するUSBポートを選択し、[次へ]をクリックします。

10 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名]に新しい名前を入力します。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows ベースのプログラムで、このプリンタを通常のプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい]または[いいえ]を選択します。

11 [完了]をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

12 インストール完了のダイアログボックスが表示されたら、[OK]をクリックします。

13 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USBケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows 2000 の場合

CD-ROM Setup からインストールする

1 プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。

重要

- インストールの手順の途中（手順 12➞P.3-24）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 コンピュータの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。

3 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

4 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要

CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAB1MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

5 ［ドライバインストール］をクリックします。

言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 言語を確認し、［はい］をクリックします。

インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

8 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

9 [ポートを手動で設定してインストール]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

10 [USB接続でドライバをインストールする]にチェックマークを付けたあと、[次へ]をクリックします。

11 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

12 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。

プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続します。

電源スイッチの“ I ”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

USB クラスドライバ（OS 標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USB ケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」（➞P.8-49）を参照してください。

13 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

14 インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します]を選択し、[終了]をクリックします。

Windows が再起動します。

USB クラスドライバ(OS 標準)とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

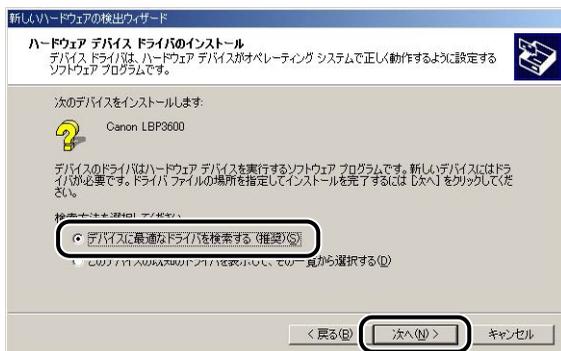
1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

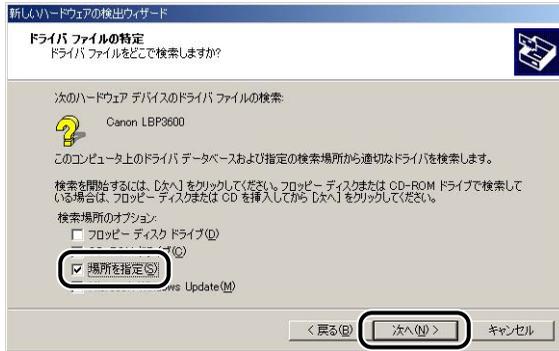
2 Administrators のメンバとしてログオンします。

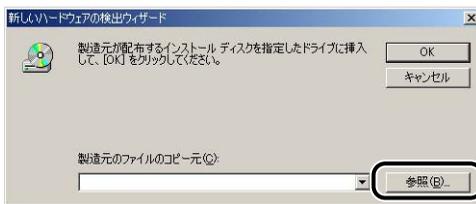
メモ

プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

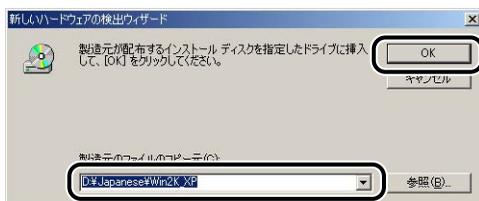
3 ［次へ］をクリックします。

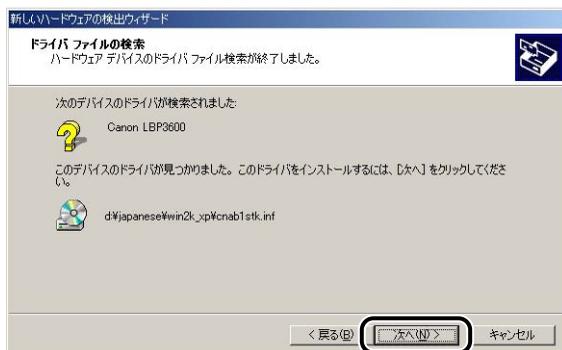
4 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨)］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　デバイスの名称が「不明」と表示されることがあります。

5 ［フロッピーディスクドライブ］と［CD-ROM ドライブ］のチェックマークを消し、［場所を指定］にチェックマークを付け、［次へ］をクリックします。

6 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットし、［参照］をクリックします。

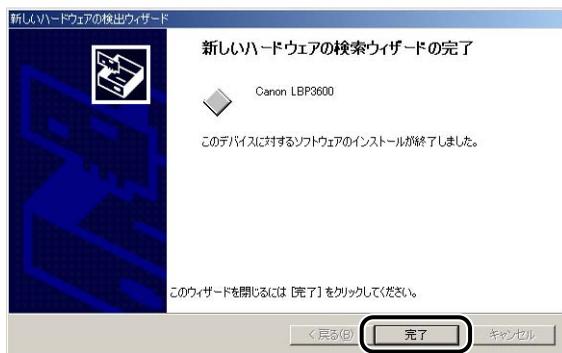
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

7 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAB1STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

8 ［製造元のファイルのコピー元］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［OK］をクリックします。

ドライバファイルの検索終了のダイアログボックスが表示されます。

9 ［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。
続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

10 ［完了］をクリックします。

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows 2000 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

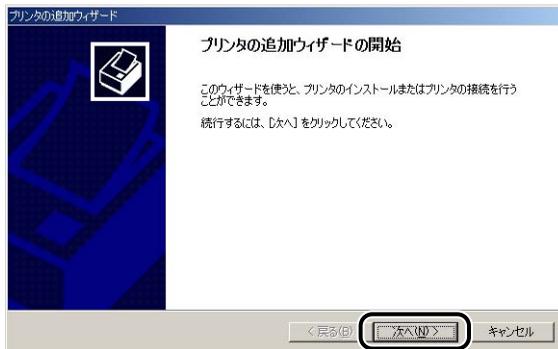
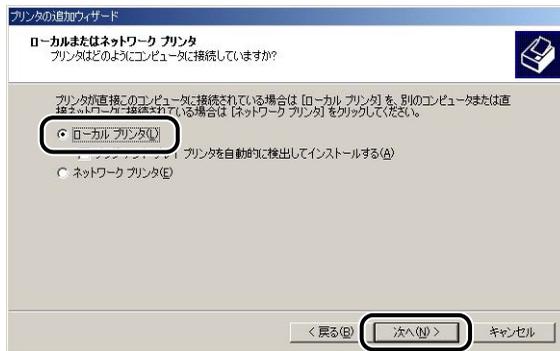
重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、[キャンセル] をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

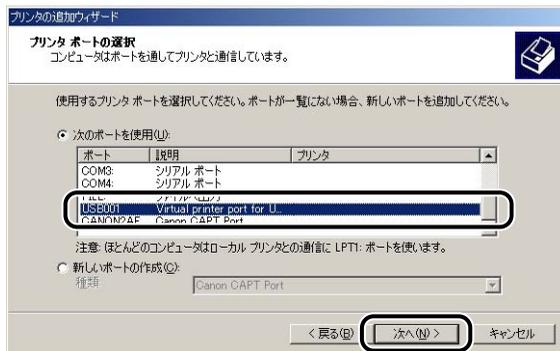
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

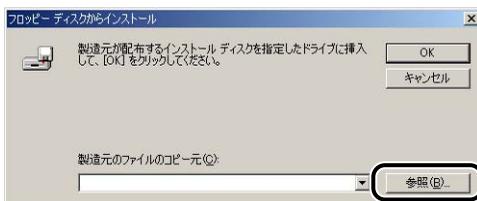
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

メモ　[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスは、[マイコンピュータ] → [コントロールパネル] → [プリンタ] → [プリンタの追加] の順にダブルクリックして表示させることもできます。

4 [次へ] をクリックします。

5 ［ローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

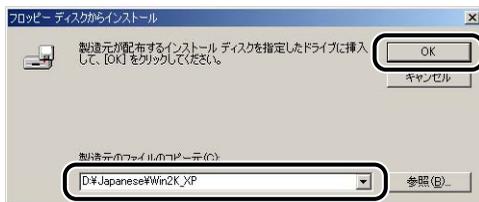
6 本プリンタを接続するUSBポートを選択し、［次へ］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 付属のCD-ROM「LBP3600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

9 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAB1STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

10 [製造元のファイルのコピー元] の表示内容を確認し、[OK] をクリックします。

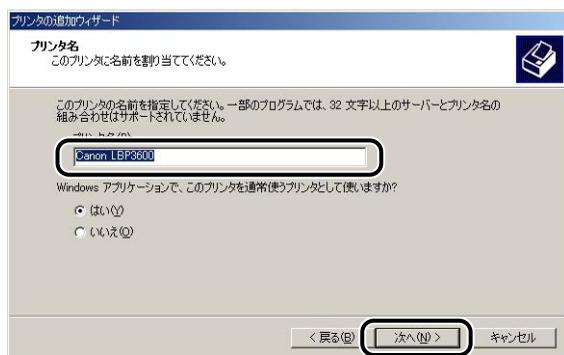
例えば、CD-ROM ドライブが [D:] のときは [D:¥Japanese¥Win2K_XP] と表示されます。

[プリンタの追加ウィザード]ダイアログボックスに「Canon LBP3600」が表示されます。

11 [次へ] をクリックします。

3

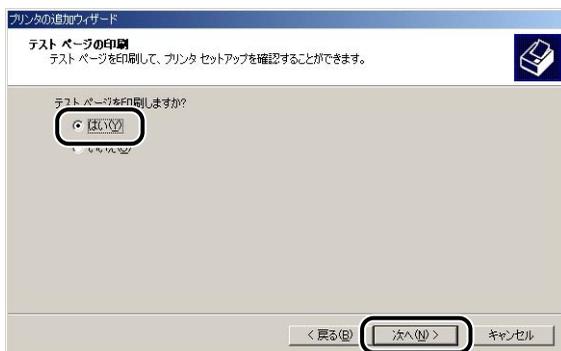
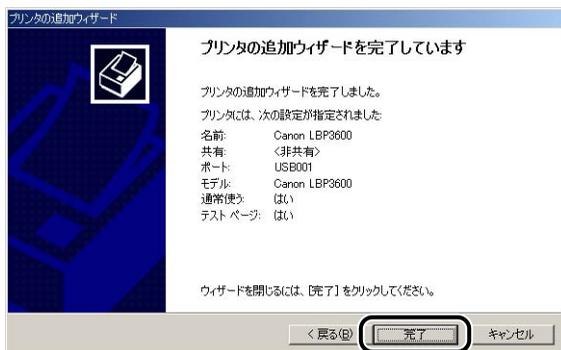
Windowsの印刷環境を設定するには

12 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] に新しい名前を入力して [次へ] をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「Windows アプリケーションで、このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい] または [いいえ] を選択します。

13 [次へ] をクリックします。

メモ

本プリンタをネットワークで共有する場合には、[共有する] を選択して [次へ] をクリックします。[場所] と [コメント] を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し [次へ] をクリックします。

14 テストページを印刷する場合は、[はい]を選択して[次へ]をクリックします。

15 [完了]をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

メモ [デジタル署名が見つかりませんでした]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックします。

16 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

プリンタドライバのインストールが完了しました。

Windows XP/Server 2003 の場合

ここでは、Windows XP の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 **プリンタがオフになっていることを確認し、コンピュータとプリンタがUSB ケーブルで接続されていないことを確認します。**

重要
- インストールの手順の途中（手順 12→P.3-40）で USB ケーブルを接続し、電源をオンにします。
- プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

2 **コンピュータの電源を入れ、Windows XP/Server 2003 を起動します。**

3 **Administrators のメンバとしてログオンします。**

メモ
プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

4 **付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要
CD-ROM Setup が表示されない場合は、［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:¥Japanese¥CNAB1MNU.exe」と入力し、［OK］をクリックします。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

5 ［ドライバインストール］をクリックします。

言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 言語を確認し、［はい］をクリックします。

インストールの準備のあと、CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストーラが起動し、［セットアップウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

7 ［次へ］をクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

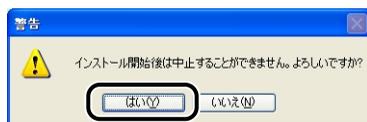
8 内容を確認して、[使用許諾契約の条項に同意します]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

9 [ポートを手動で設定してインストール]を選択したあと、[次へ]をクリックします。

10 [USB 接続でドライバをインストールする]にチェックマークを付けたあと、[次へ]をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、[はい]または[いいえ]をクリックします。

[はい]をクリックすると、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除することができます。インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合に選択してください。
[いいえ]をクリックするとWindowsファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されます。

11 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか?」というメッセージが表示されますので、[はい]をクリックします。

12 次の画面が表示されたら、プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続したあと、プリンタの電源を入れます。

プリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続します。

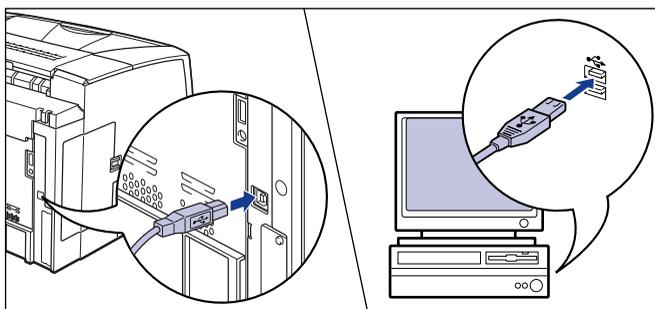
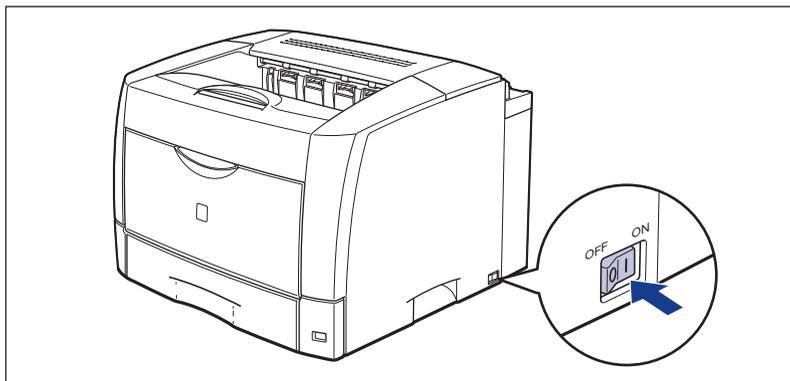
電源スイッチの“I”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

USBクラスドライバ（OS標準）およびプリンタドライバのインストールが自動的に開始されます。

メモ　USBケーブルを接続しても自動認識されない場合は、「インストールのトラブル」（→P.8-49）を参照してください。

13 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、[はい] をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

14 インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します] を選択し、[終了] をクリックします。

Windows が再起動します。

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

プラグ・アンド・プレイでインストールする

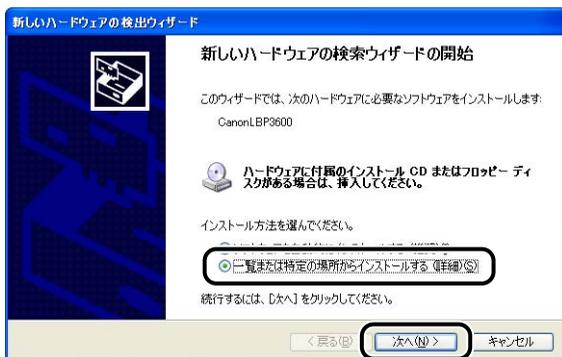
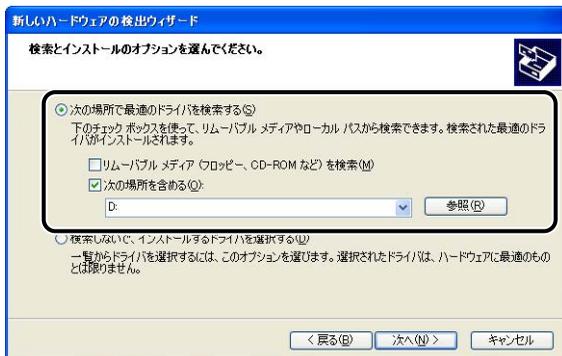
重要　プラグ・アンド・プレイで CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

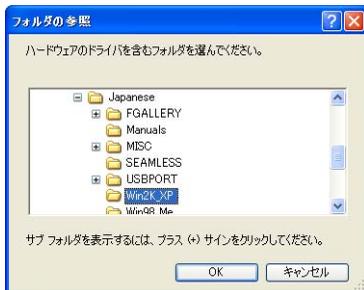
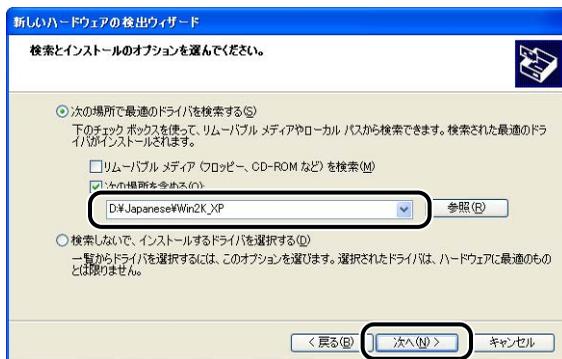
1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

2 Administrators のメンバとしてログオンします。

メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 付属のCD-ROM「LBP3600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、[一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択して[次へ]をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、[終了]をクリックします。

4 [次の場所で最適のドライバを検索する]を選択し、[リムーバブルメディア(フロッピー、CD-ROMなど)を検索]のチェックマークを消し、[次の場所を含める]にチェックマークを付け、[参照]をクリックします。

5 [D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択し、［OK］をクリックします。

ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

6 ［次の場所を含める］に参照するフォルダが表示されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

インストール中の画面が表示されます。

続いて［新しいハードウェアの検索ウィザードの完了］が表示されます。

メモ　［デジタル署名が見つかりませんでした］ダイアログボックスが表示された場合は、［はい］をクリックします。

7 ［完了］をクリックします。

重要　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞P.9-10）

USB クラスドライバ（OS 標準）とプリンタドライバのインストールが完了しました。

［プリンタの追加ウィザード］からインストールする

重要　テストページを印刷する場合は、CAPT ソフトウェアをインストールする前に、本プリンタがコンピュータに正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

メモ　［プリンタの追加ウィザード］からインストールする場合は、本プリンタを接続するための USB ポートがすでに登録されている必要があります。

1 コンピュータの電源を入れて、Windows XP/Server 2003 を起動します。

重要　プラグアンドプレイの自動セットアップにより、ウィザードが表示された場合は、［キャンセル］をクリックして、本手順でインストールを行ってください。

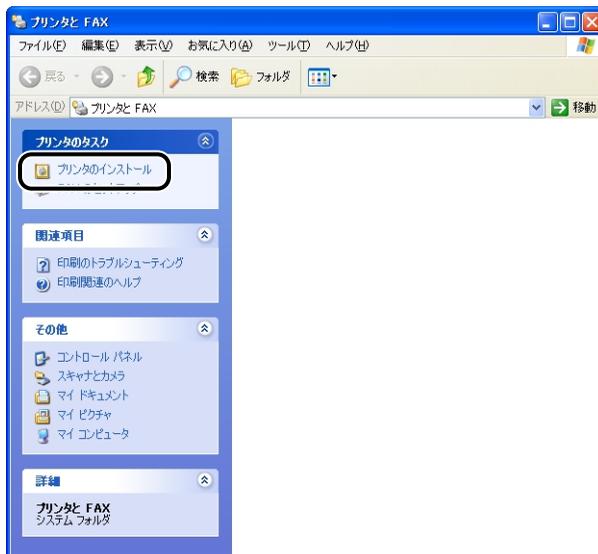
2 Administrators のメンバとしてログオンします。

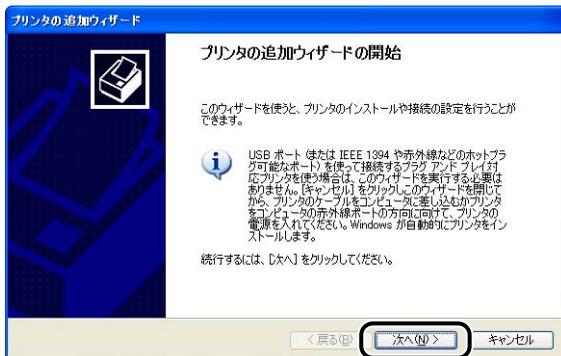
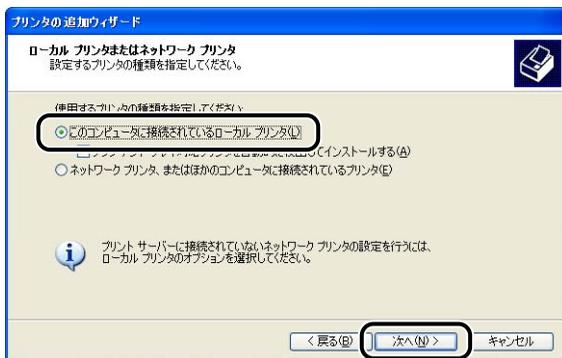
メモ　プリンタドライバのインストールを行うためには、プリンタに関するフルコントロールアクセス権が必要です。

3 ［プリンタとFAX］フォルダを表示します。

Windows XP Professional/Server 2003の場合
［スタート］メニューから［プリンタとFAX］を選択します。
Windows XP Home Editionの場合
［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタとFAX］の順にクリックします。

4 ［プリンタのインストール］をクリックします。

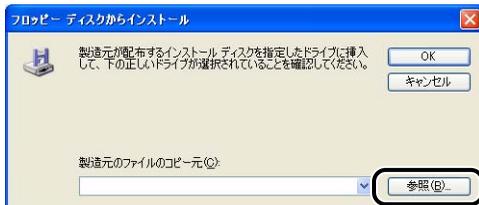
Windows Server 2003の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［次へ］をクリックします。

6 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］が選択されていることを確認し、［次へ］をクリックします。

メモ　［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］は選択しないでください。

7 ［次のポートを使用］が選択されていることを確認し、本プリンタを接続するUSBポートを選択して［次へ］をクリックします。

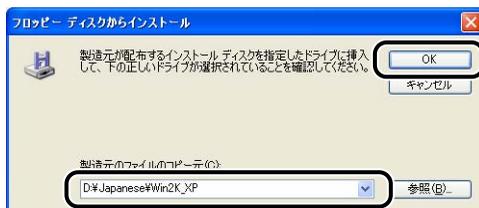
8 ［ディスク使用］をクリックします。

9 付属のCD-ROM「LBP3600 User Software」をCD-ROMドライブにセットし、［参照］をクリックします。

CD-ROM Setupが表示された場合は、［終了］をクリックします。

10 ［D:¥Japanese¥Win2K_XP］を選択します。［CNAB1STK.INF］を選択し、［開く］をクリックします。

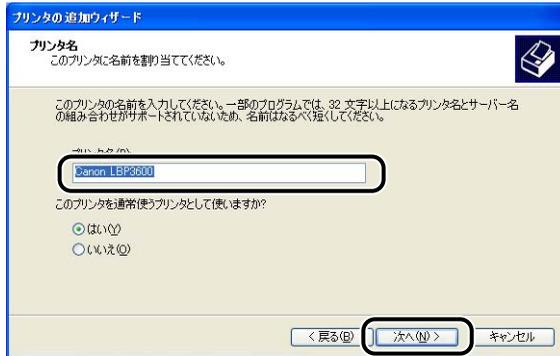
ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。

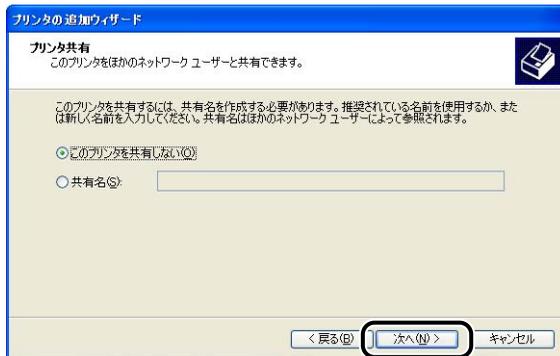
11 ［製造元のファイルのコピー元］の表示内容を確認し、［OK］をクリックします。

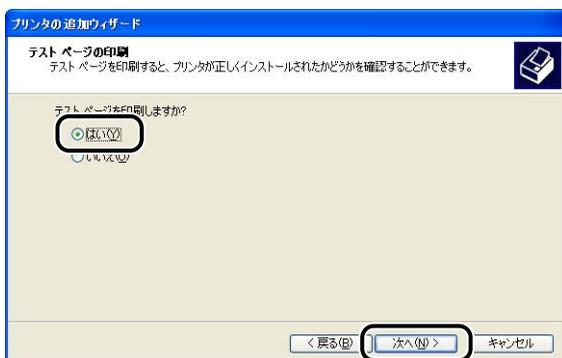
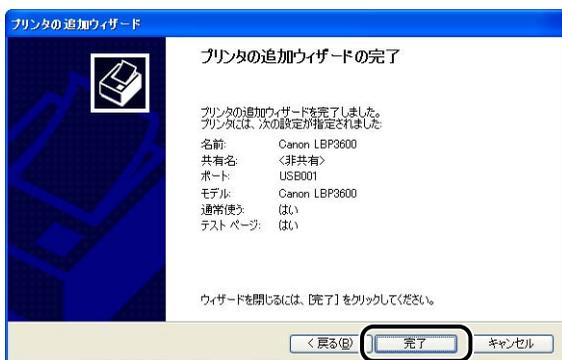
例えば、CD-ROM ドライブが［D:］のときは［D:¥Japanese¥Win2K_XP］と表示されます。

［プリンタの追加ウィザード］ダイアログボックスに「Canon LBP3600」が表示されます。

12 ［次へ］をクリックします。

13 プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名]に新しい名前を入力して[次へ]をクリックします。

すでにコンピュータに他のプリンタドライバがインストールされている場合は、「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」が表示されますので、[はい]または[いいえ]を選択します。

14 [次へ]をクリックします。

メモ

本プリンタをネットワークで共有する場合には、[共有名]を選択して[次へ]をクリックします。[場所]と[コメント]を入力する画面が表示されますので、必要に応じて入力し[次へ]をクリックします。

15 テストページを印刷する場合は、［はい］を選択して［次へ］をクリックします。

16 ［完了］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

テストページを印刷する場合は、印刷終了後にダイアログボックスが表示されます。[OK]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

17 プリンタとコンピュータが接続されていない場合は、USB ケーブルで接続し、プリンタの電源を入れます。

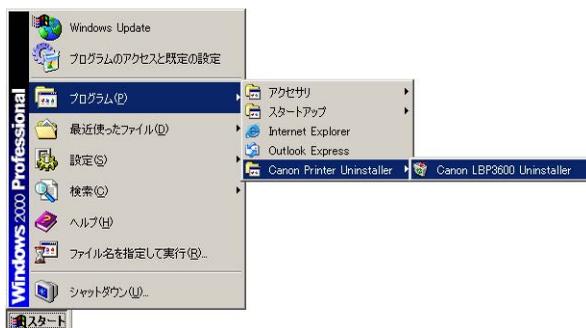
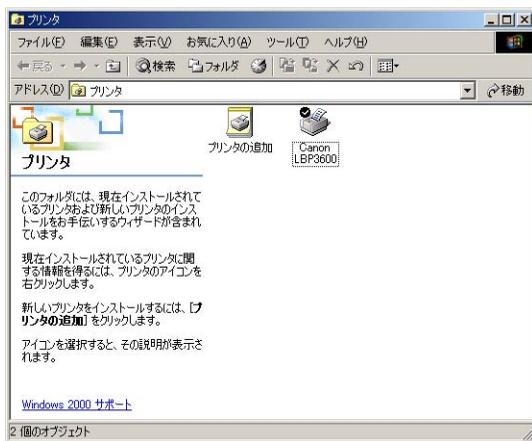
Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（→P.9-10）

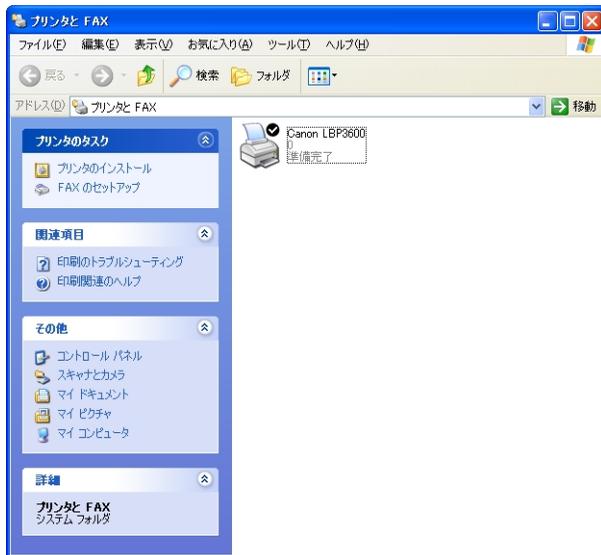
プリンタドライバのインストールが完了しました。

インストールが完了すると

CAPT ソフトウェアのインストールが完了すると、以下のように本プリンタのアイコンやフォルダが作成されます。

■ Windows 98/Me/2000 の場合

- [プリンタ] フォルダに本プリンタのアイコンが表示されます。
- [スタート] メニューの [プログラム] に [Canon Printer Uninstaller] が追加されます。

■ Windows XP/Server 2003 の場合

- ［プリンタと FAX］フォルダに本プリンタのアイコンが表示されます。
- ［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に［Canon Printer Uninstaller］が追加されます。

プリンタステータスプリントを印刷して動作を確認する

初めてプリンタをご使用になる前には、次の手順で必ずプリンタステータスプリントを印刷して動作を確認してください。プリンタステータスプリントには、プリンタのオプション設定や総プリントページ数などのプリンタの情報が印字されます。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ここでは、Windows 2000 の画面例で説明します。

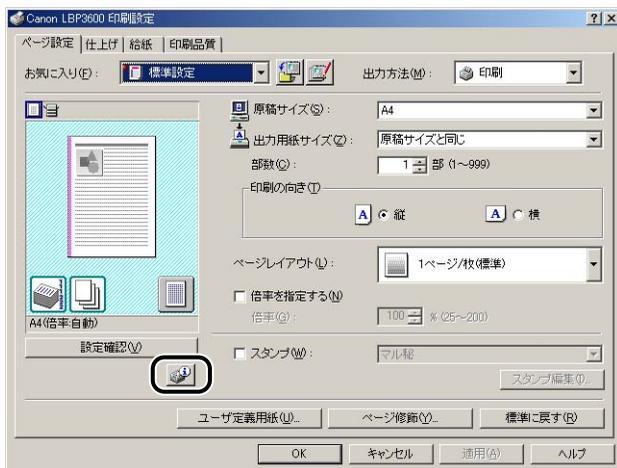
1 ［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダを表示します。

Windows 98/Me/2000 の場合は、［スタート］メニューから［設定］➞［プリンタ］を選択します。
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［プリンタと FAX］の順にクリックします。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［印刷設定］を選択します。

Windows 98/Me の場合は、本プリンタのアイコンを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

3 ［ページ設定］ページを表示させ、［ ］（プリンタステータスウィンドウを表示する）をクリックして、プリンタステータスウィンドウを起動します。

メモ　プリンタステータスウィンドウについては、「プリンタステータスウィンドウについて」（➞P.4-73）を参照してください。

4 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］➞［プリンタステータスプリント］を選択します。

5 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

Canon ステータスプリント

オプション機器

カセット2	：あり
カセット3	：あり
カセット4	：あり
両面ユニット	：なし
ネットワークボード	：あり

デバイス設定

両面特殊処理	：しない
グラフィックス特殊処理	：しない
ちらつき軽減処理	：しない
低温定着モード	：使わない
印刷位置調整	
手差し（トレイ）	：0.0 mm
カセット1	：0.0 mm
カセット2	：0.0 mm
カセット3	：0.0 mm
カセット4	：0.0 mm
両面ユニット	：0.0 mm

製品名	：LBP3600
コントローラバージョン	：
エンジンバージョン	：
ドライババージョン	：

USB

ベンダーID	：0x04a9
プロダクトID	：0x2654
シリアルナンバー	：

カウンタ

日時	：2005/01/20 23:57
総プリントページ数	：11770 ページ
両面印刷枚数	：475 枚
ジョブ数	：1877 ジョブ

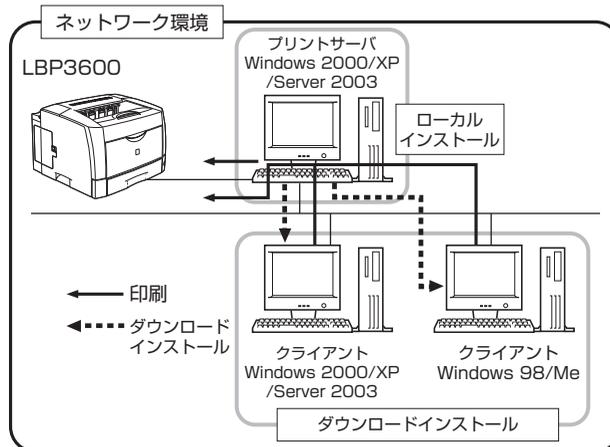
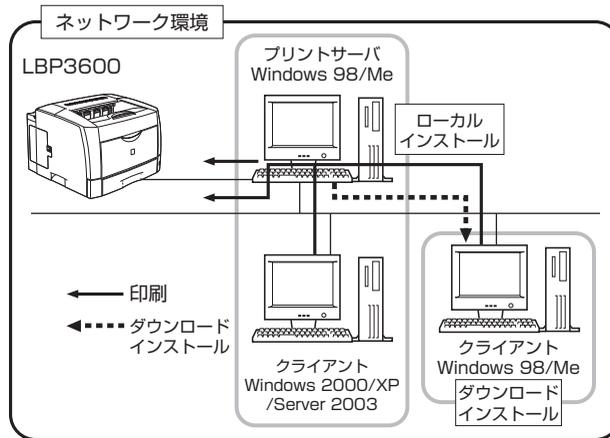
Canon および Canon ロゴ はキヤノン株式会社の商標です。

重要 ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

メモ プリンタステータスプリントが正しく印刷されなかった場合は、「第８章 困ったときには」を参照してください。

プリンタの共有機能を使用してネットワーク上のコンピュータから印刷する

プリンタを共有プリンタとして設定しておくと、本プリンタに直接接続されていない他のコンピュータからも印刷できます。

本プリンタを共有としてお使いになる場合は、下記の設定を行います。ここでは、プリンタを直接接続するコンピュータをプリントサーバ、ネットワークを経由してプリンタを利用する他のコンピュータをクライアントと呼びます。

プリントサーバ環境を使用する場合は次の設定を行ってください。

	設定内容	参照先
1	**プリントサーバへのプリンタドライバをインストールする**	
	・プリンタとプリントサーバを USB ケーブルで接続している場合	→P.3-4
	・オプションのネットワークボードを装着して、プリンタとプリントサーバを LAN ケーブルで接続している場合	→ ネットワークガイド／本編
2	**プリントサーバの設定**	
	・Windows 98/Me の場合	→P.3-57
	・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合	→P.3-61
3	**クライアントへのインストール**	→P.3-67

メモ　プリントサーバ、クライアントは共に、Windows 98/Me または Windows 2000/XP/Server 2003 の OS が動作している必要があります。

プリントサーバの設定

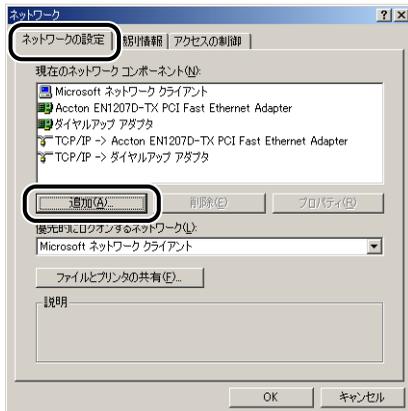
Windows 98/Me の場合

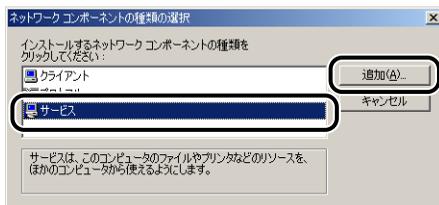
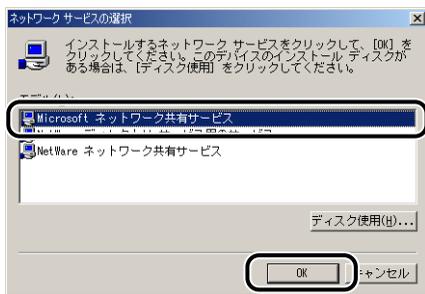
メモ　ここでは、Windows Me の画面例で手順を説明します。

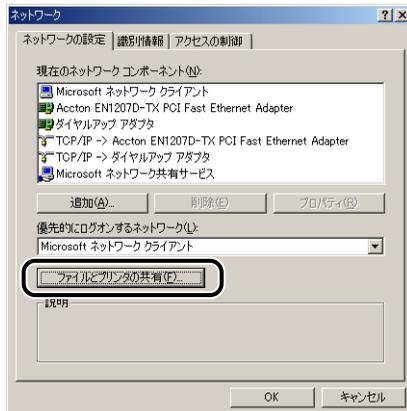
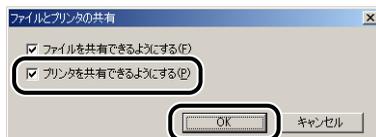
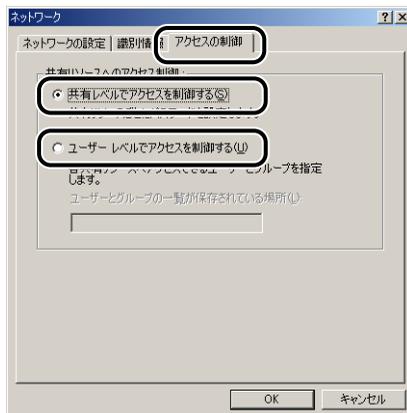
■ネットワークの設定

1 **［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］→［ネットワーク］アイコンの順にダブルクリックします。**

［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［ネットワークの設定］ページを表示して、［追加］をクリックします。

［ネットワークコンポーネントの選択］ダイアログボックスが表示されます。

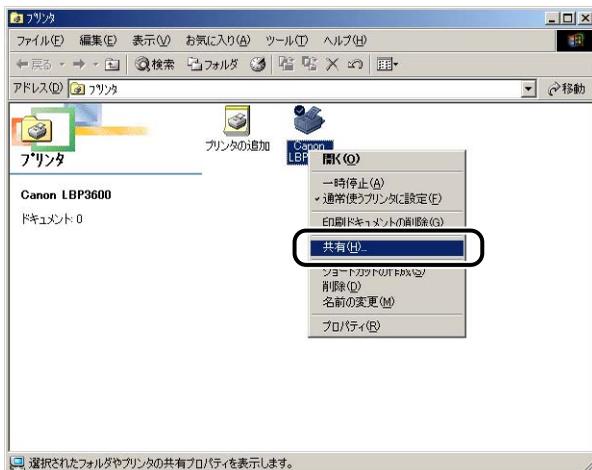
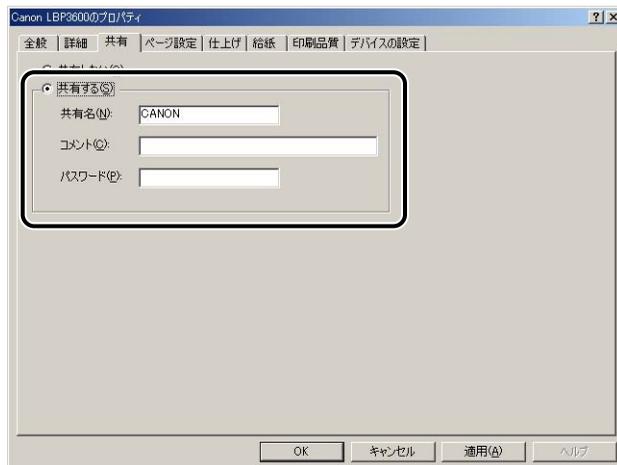
3 ［サービス］アイコンを選択し、［追加］をクリックします。

4 ［Microsoft ネットワーク共有サービス］を選択し、［OK］をクリックします。

［ネットワークコンポーネントの種類の選択］ダイアログボックスが一度表示され、［ネットワーク］ダイアログボックスに戻ります。

5 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックします。

6 ［プリンタを共有できるようにする］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

7 ［アクセスの制御］ページを表示して、［共有レベルでアクセスを制御する］または［ユーザーレベルでアクセスを制御する］のどちらかを選択します。

8 ［OK］をクリックし、Windows を再起動します。

■プリンタの共有設定

1 [スタート] メニューから [設定] → [プリンタ] を選択します。

[プリンタ] フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [共有] を選択します。

3 [共有する] を選択します。必要に応じて [共有名] を変更し、[コメント]、[パスワード] を入力します。

メモ

- 「ネットワークの設定」の手順 7（➞P.3-59）で、[ユーザーレベルでアクセス制御する] を選択している場合は、[追加] をクリックしてプリンタを使用するユーザを選択します。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 [OK] をクリックします。

プリンタアイコンが、プリンタ共有アイコンに変更されます。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

メモ

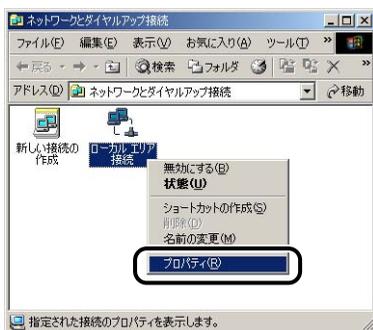
ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

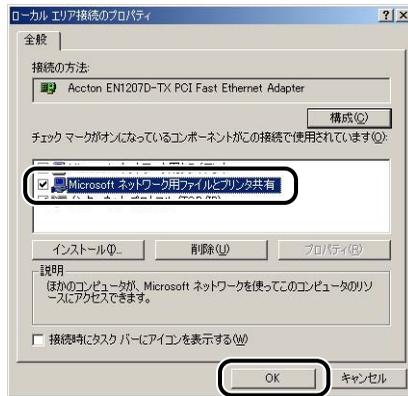
■ネットワークの設定

1 [スタート] メニューから [設定] ➞ [ネットワークとダイヤルアップ接続] を選択します。

Windows XP の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] ➞ [ネットワーク接続] の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] ➞ [ネットワーク接続] ➞ [ローカルエリア接続] を選択し、手順 3 へ進みます。

Windows 2000 の場合は、[ネットワークとダイヤルアップ接続] フォルダが表示されます。
Windows XP の場合は、[ネットワーク接続] フォルダが表示されます。

2 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから [プロパティ] を選択します。

[ローカルエリア接続のプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

3 ［Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有］が選択されていることを確認し、［OK］をクリックします。

■プリンタの共有設定

メモ

Windows XP の場合、初期設定（インストール直後の設定）ではプリンタの共有設定はできません。
共有設定をお使いになる場合は、［ネットワークセットアップウィザード］を実行して、プリンタの共有を有効に設定する必要があります。
詳しくは、Windows のオンラインヘルプを参照してください。

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［共有］を選択します。

3 ［共有する］を選択します。必要であれば共有名を変更します。

Windows XP/Server 2003 の場合は［このプリンタを共有する］を選択します。

メモ

- プリンタの共有設定は、ローカルインストールの途中で選択することもできます。
- 共有名に、スペースや特殊文字は使わないでください。

4 ［追加ドライバ］をクリックします。

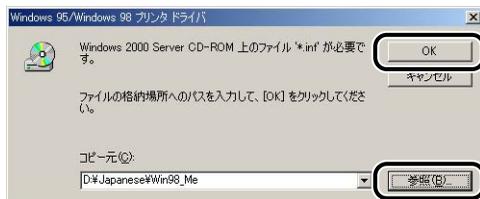
［追加ドライバ］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［Windows 95 または 98］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

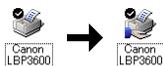
Windows XP/Server 2003 の場合は、［Windows 95、98 および Me］にチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

6 付属のCD-ROM「LBP3600 User Software」をCD-ROMドライブにセットします。

［ディスクの挿入］ダイアログボックスが表示された場合は、［OK］をクリックします。

7 [参照]をクリックし、CD-ROM ドライブが[D:]のときは、[D:¥Japanese ¥Win98_Me］を選択し、［OK］をクリックします。

ファイルのコピーがはじまります。

8 ［閉じる］をクリックします。

プリンタアイコンがプリンタ共有アイコンに変更されます。

重要 プリンタの共有設定を解除するには、［共有］ページで［共有しない］（Windows XP/Server 2003 は［このプリンタを共有しない］）を選択します。その際、Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS でプリンタの共有設定を解除した場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、Windows ファイアウォールに登録されている設定を削除する必要があります。（➞P.9-10）

■Windows ファイアウォール機能の設定

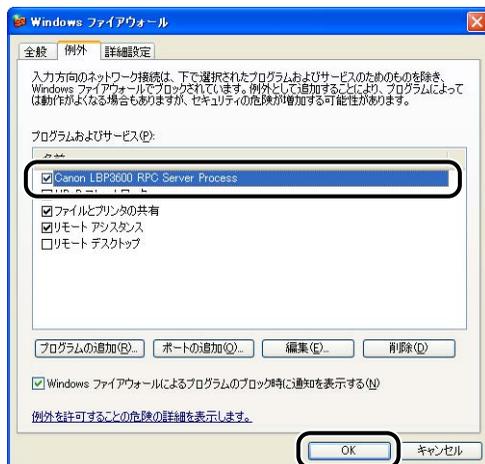
Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS をプリントサーバとして使用する場合は、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する必要があります。

以下の方法で、Windows ファイアウォールのブロックが解除されていることを確認してください。

- CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールしたときに、[警告] ダイアログボックスが表示されます。

・[はい]を選択した場合は、クライアント側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックは解除されています。

・[いいえ]を選択した場合は Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断されていますので、以下の方法でブロックを解除してください。

1. [スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[ネットワークとインターネット接続] ➞ [Windows ファイアウォール] の順にクリックします。
2. [Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページで、[Canon LBP3600 RPC Server Process] のチェックボックスにチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

- CD-ROM Setup 以外の方法で CAPT ソフトウェアをインストールした場合は、ユーティリティソフトウェアを使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。(➞P.9-10)

クライアントへのインストール

クライアントへのプリンタドライバのインストール方法について説明します。

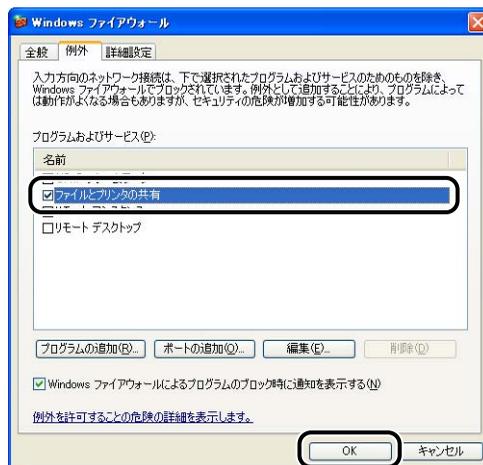
プリンタドライバのインストール方法には、ローカルインストールとダウンロードインストールがあります。

■ ローカルインストール（→P.3-68）
付属の CD-ROM を使って、プリンタドライバをインストールします。

■ ダウンロードインストール
付属の CD-ROM を使わずに、プリントサーバからプリンタドライバをダウンロードしてインストールします。ダウンロードインストールには以下の 2 種類があります。

- ［プリンタの追加ウィザード］からインストールする（→P.3-73）
- ［エクスプローラ］からインストールする（→P.3-76）

重要

- Windows 2000/XP/Server 2003 をお使いの場合、起動した際に、必ずAdministrators のメンバとしてログオンしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合、以下の設定を行ってください。クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。
  1. ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［Windows ファイアウォール］をクリックします。
  2. ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

メモ

- クライアントは、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 のどちらでも利用できます。
- プリントサーバが Windows 98/Me の場合、Windows 2000/XP/Server 2003 へのダウンロードインストールはできません。
- ここでは、Windows 2000 の画面例で手順を説明します。

CD-ROM Setup からインストールする

1 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

すでに CD-ROM がセットされている場合は、いったん CD-ROM を取り出してもう一度セットします。

CD-ROM Setup が自動的に表示されます。

重要 CD-ROM Setup が表示されない場合は、[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択して「D:¥Japanese¥CNAB1MNU.exe」と入力し、[OK]をクリックします。(ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。)

2 [ドライバインストール]をクリックします。

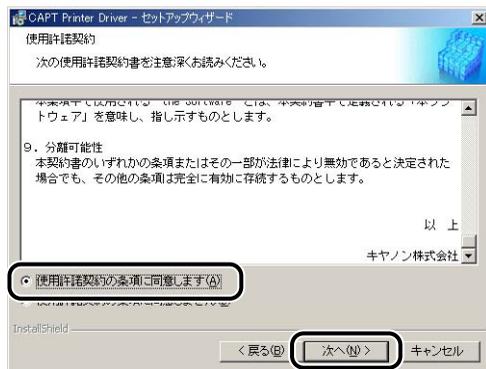
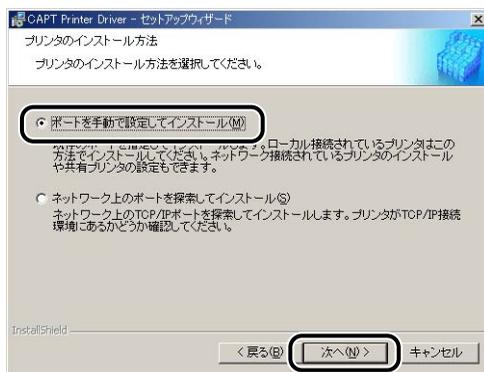
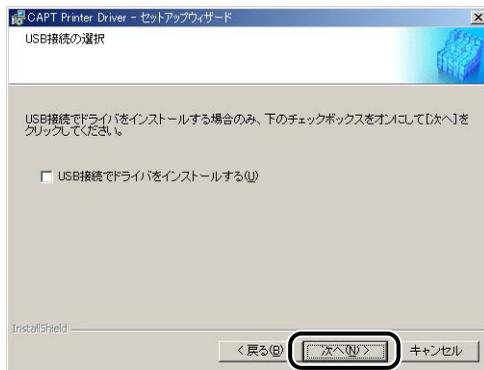
言語を確認するダイアログボックスが表示されます。

3 言語を確認し、[はい]をクリックします。

インストールの準備のあと、CAPT(Canon Advanced Printing Technology)ソフトウェアのインストーラが起動し、[セットアップウィザード]ダイアログボックスが表示されます。

4 ［次へ］をクリックします。

［使用許諾契約］ダイアログボックスが表示されます。

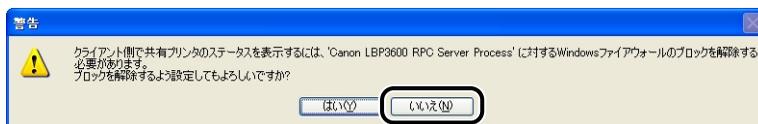
5 内容を確認して、［使用許諾契約の条項に同意します］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

6 ［ポートを手動で設定してインストール］を選択したあと、［次へ］をクリックします。

7 ［次へ］をクリックします。

メモ　［USB 接続でドライバをインストールする］は選択しないでください。

8 ［ポートの設定］の［ネットワーク］を選択して、［設定］をクリックします。

9 プリントサーバのディレクトリを選択して、［OK］をクリックします。

10 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

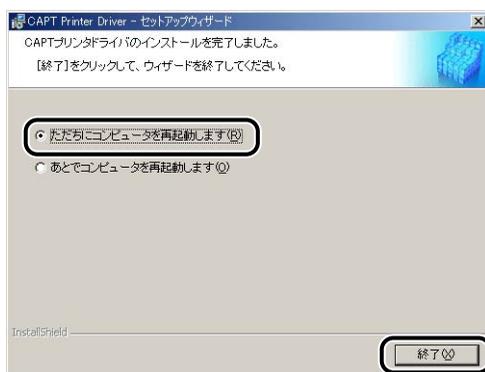
11 ［開始］をクリックします。

Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSを使用している場合、以下の画面が表示されますので、［いいえ］をクリックします。

［はい］は、インストール中のコンピュータをプリントサーバとして使用する場合にのみ選択してください。

12 「インストール開始後は中止することができません。よろしいですか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

13 「README ファイルを読みますか？」というメッセージが表示されますので、［はい］をクリックして、README ファイルの内容を確認したあと閉じます。

14 インストール完了の画面が表示されますので、[ただちにコンピュータを再起動します] を選択し、[終了] をクリックします。

Windows が再起動します。

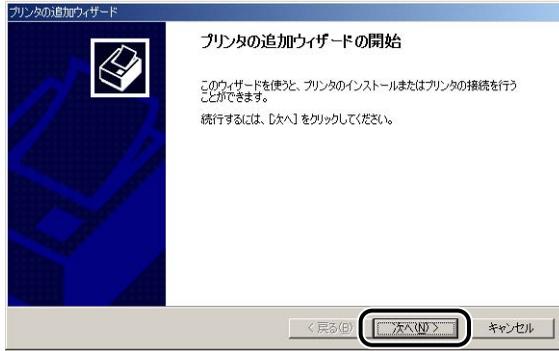
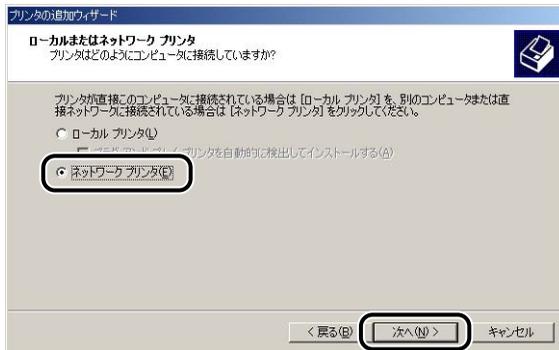
Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(➞P.9-10)

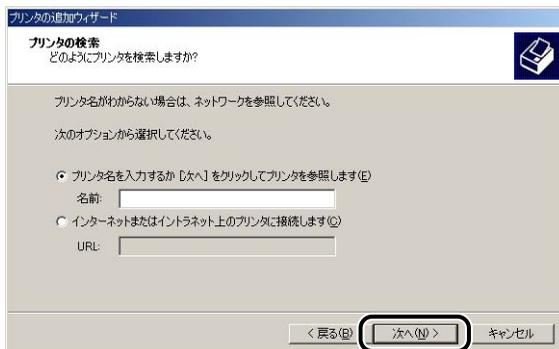
[プリンタの追加ウィザード] からインストールする

1 [スタート] メニューから [設定] ➞ [プリンタ] を選択して [プリンタ] フォルダを開き、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

Windows XP Professional の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] ➞ [プリンタのインストール] を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート] メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] ➞ [プリンタと FAX] ➞ [プリンタのインストール] の順にクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選択し、[プリンタの追加] をダブルクリックします。

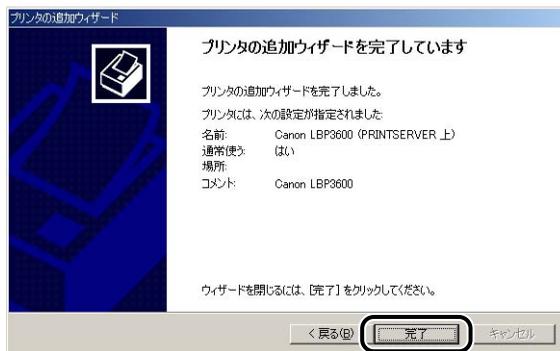
[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスが表示されます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択して［次へ］をクリックします。

4 ［次へ］をクリックします。

Windows98/Meの場合は、［参照］をクリックします。

5 プリントサーバのディレクトリを選択して、[次へ]をクリックします。

Windows 98/Me の場合は、手順 7 へ進みます。

6 通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、[次へ]をクリックします。

7 [完了]をクリックします。

重要　Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(→P.9-10)

メモ　[デジタル署名が見つかりませんでした]ダイアログボックスが表示された場合は、[はい]をクリックします。

[エクスプローラ]からインストールする

1 **[スタート]メニューから[プログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を選択します。**

Windows XP/Server 2003の場合は[スタート]メニューから[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エクスプローラ]を選択します。
Windows 98の場合は、[スタート]メニューから[プログラム]→[エクスプローラ]を選択します。

[エクスプローラ]ダイアログボックスが表示されます。

2 **[マイ　ネットワーク](Windows 98の場合は[ネットワークコンピュータ])からプリントサーバを選択し、本プリンタのアイコンをダブルクリックします。**

または、本プリンタのアイコンを[プリンタ]フォルダにドラッグ･アンド･ドロップします。

3 **[プリンタ]ダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従って操作してください。**

重要　Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSをクライアント側で使用する場合は、サーバ側との通信に対するWindowsファイアウォールのブロックを解除してください。ブロックを解除しないとプリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。(→P.9-10)

CAPT ソフトウェアの削除

ソフトウェアを削除して、インストール前の状態に戻すことをアンインストールといいます。CAPT ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順で行います。

重要

- プリンタドライバが Administrators の権限でWindows 2000/XP/Server 2003 にインストールされている場合、Administrators 以外の権限ではアンインストールできません。必ず、Administrators の権限でログインしてからアンインストールしてください。
- Windows XP Service Pack 2などのWindowsファイアウォール機能を持っているOSのコンピュータを使用している場合、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページに本プリンタが登録されています。
アンインストーラでCAPTソフトウェアのアンインストールを行なうことで、[Windows ファイアウォール] ダイアログボックスの [例外] ページの本プリンタの設定も削除されます。

1 **次のファイルやプログラムをすべて閉じてください。**

- ヘルプファイル
- プリンタステータスウィンドウ
- コントロールパネル
- その他のアプリケーションプログラム

2 **[スタート] メニューから [プログラム] → [Canon Printer Uninstaller] → [Canon LBP3600 Uninstaller] を選択します。**

Windows XP/Server 2003 の場合は、[スタート] メニューから [すべてのプログラム] → [Canon Printer Uninstaller] → [Canon LBP3600 Uninstaller] を選択します。

[プリンタの削除] ダイアログボックスが表示されます。

3 本プリンタを選択します。

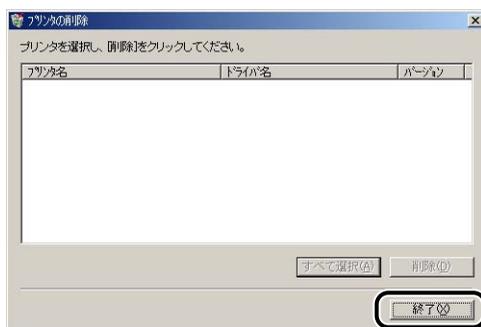
4 ［削除］をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

メモ　［プリンタの削除］ダイアログボックス内のリストに［Canon LBP3600］が表示されていない場合でも、［削除］ボタンをクリックすると本プリンタに関連するファイルおよび情報を削除することができます。

5 ［はい］をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

6 ［終了］をクリックします。

［プリンタの削除］ダイアログボックスが閉じます。

メモ　アンインストールができなかった場合は、「アンインストールできなかったときは」(→P.8-50)を参照してください。

Windows から印刷するには

4
CHAPTER

この章では、Windows から印刷する方法、および本プリンタの機能について説明しています。

アプリケーションソフトから印刷する 4-3

ジョブを操作する. 4-7

印刷条件を設定する 4-9

Windows 98/Meの場合 4-9

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合. 4-12

印刷前のプリンタ情報設定. 4-18

いろいろな印刷機能を使用する 4-20

プリンタドライバのページについて 4-20

プレビュー画面について. 4-38

用紙1枚に複数ページを印刷する 4-39

拡大／縮小して印刷する. 4-41

ポスター印刷を行う 4-43

スタンプを付けて印刷する 4-44

任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定する 4-49

ページに枠や日付を付けて印刷する 4-50

印刷方法を選択して印刷する 4-52

サイズや向きが異なる用紙を組み合わせて印刷する 4-54

とじしろを付けて印刷する 4-56

印刷の仕上げ方法を設定する 4-57

給紙方法を選ぶ 4-60

印刷の品質を設定する 4-61

グレーの設定をする 4-62

お気に入りを設定する 4-66

ジョブを編集する. 4-69

設定を確認する／設定を標準値に戻す. 4-71

プリンタステータスウィンドウについて. 4-73

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能 4-73

プリンタステータスウィンドウの表示方法 4-75

環境設定メニューについて. 4-75

[ユーティリティ] メニューについて 4-77

アプリケーションソフトから印刷する

CAPT ソフトウェアをインストールしたら、印刷してみましょう。

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

1 手差しトレイまたは給紙カセットに用紙をセットします。（手差しトレイから印刷する →P.2-51、給紙カセットから印刷する →P.2-16）

2 印刷する PDF ファイルを Adobe Reader で開き、［ファイル］メニューの［印刷設定］を選択します。

3 印刷する原稿の用紙サイズ、印刷の向きを設定して［OK］をクリックします。

4 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

プリンタドライバが起動し、［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、印刷条件を設定します。

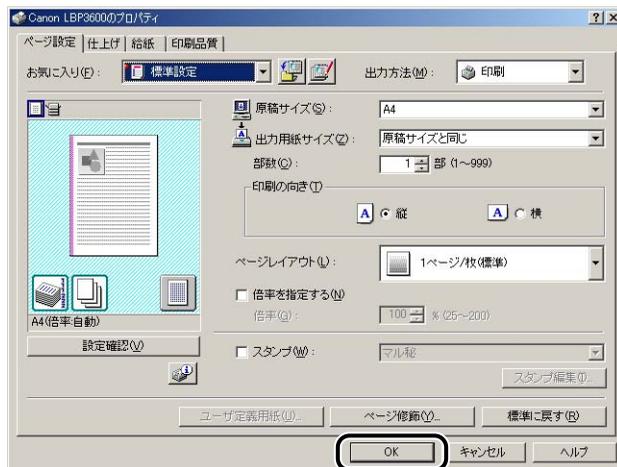
メモ

ここに表示されるプリンタ名は、［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 の場合は、［プリンタと FAX］フォルダ）で変更することができます。

6 さらに詳しい印刷条件を設定したい場合は、［プロパティ］をクリックします。

［Canon LBP3600 のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　プリンタプロパティダイアログボックスは、お使いのアプリケーションソフトによって表示する手順が異なる場合があります。

7 ［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の各ページで印刷条件を設定したあと、［OK］をクリックします。

［印刷］ダイアログボックスに戻ります。

メモ　［ページ設定］ページと［給紙］ページの内容は、印刷するたびに確認することをおすすめします。

8 ［OK］をクリックします。

印刷がはじまります。

メモ

- 正常に印刷できないときは、「第８章 困ったときには」を参照してください。
- 「いろいろな印刷機能を使用する」（➞P.4-20）では、プリンタとプリンタドライバの機能を利用することについて説明しています。印刷する原稿と目的に合わせて、プリンタとプリンタドライバを設定して、活用してください。

ジョブを操作する

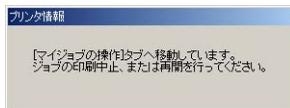
本プリンタでは、プリンタステータスウィンドウを使って印刷を中止、一時停止、再開することができます。

1 **印刷を開始します。**

プリンタステータスウィンドウが表示されます。

メモ　プリンタステータスウィンドウの［環境設定］メニューの［プリンタステータスウィンドウの表示］の設定によっては、プリンタステータスウィンドウが表示されない場合があります。（➞ 環境設定メニューについて：P.4-75）

2 **印刷の中止や一時停止をする場合は、［印刷中ジョブ］タブもしくは［マイジョブの操作］タブの［一時停止］ボタンをクリックします。**

［印刷中ジョブ］タブの［一時停止］ボタンをクリックすると、以下のメッセージが表示され、［マイジョブの操作］タブに移動します。

3 ［ジョブ操作］ボタンで行いたい操作のボタンをクリックします。

● **印刷を中止する**

❑ ［ ］（印刷中止）をクリックします。

● **印刷を一時停止する**

❑ ［ ］（一時停止）をクリックします。

● **印刷を再開する**

❑ ［ ］（再開）をクリックします。

印刷条件を設定する

LBP3600 では、CAPT ソフトウェアを使用して、さまざまな印刷条件を設定できます。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示させ、それぞれのダイアログボックスにある各ページの機能を設定します。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってプロパティダイアログボックスを表示してください。

Windows 98/Me の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタのオプションなどを設定したり、すべてのジョブに対しての初期設定を指定したりすることができます。

メモ　プリンタのオプションを設定する［デバイスの設定］ページは、「［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」(➞P.4-11）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

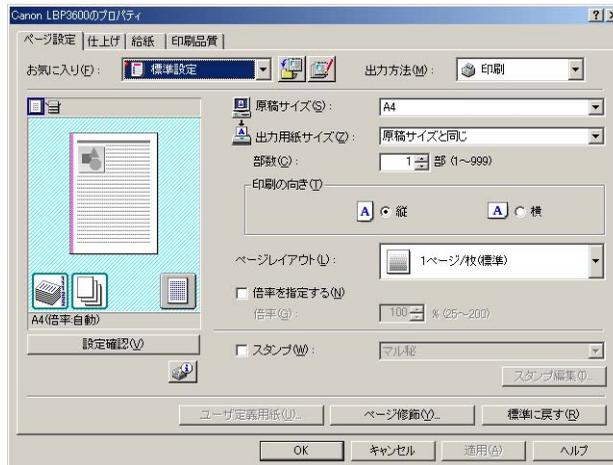
ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

1 **アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**

［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　お使いのアプリケーションソフトにより、印刷操作は異なります。詳しくは、アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

2 ［名前］または［プリンタ名］で本プリンタを選択し、［プロパティ］をクリックします。

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、そのジョブのみに対して設定項目を指定できます。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、すべてのジョブに対しての初期設定を指定することができます。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示した場合、プリンタのオプションの設定やよく使う機能をお気に入りとして登録することができます。

メモ

- ［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダの設定は、プリンタのフルコントロールアクセス権を持っている必要があります。［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示できない場合は、アプリケーションソフトから表示してください。
- プリンタのオプションを設定する［デバイスの設定］ページは、「［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する」（➞P.4-16）の手順でのみ表示可能です。

アプリケーションソフトから［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示する

ここでは、Adobe Reader 6.0 を例に手順を説明します。

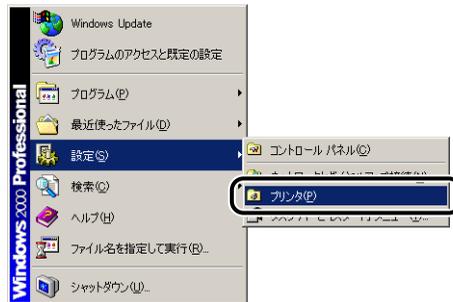
1 アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［印刷］を選択します。

2 プリンタ名を確認し、［プロパティ］をクリックします。

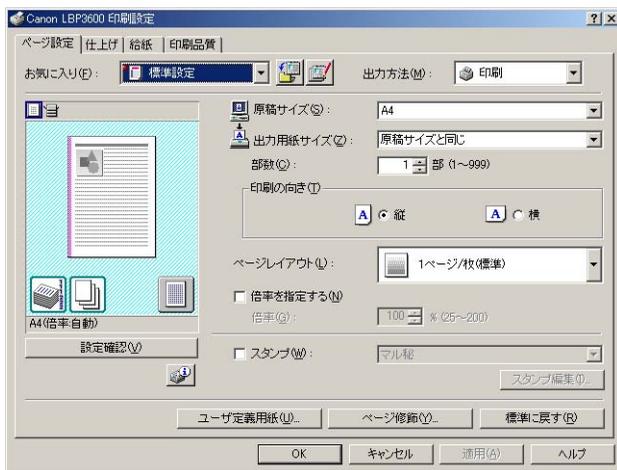
[ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

[プリンタ] フォルダから [ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスを表示する

1 [スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

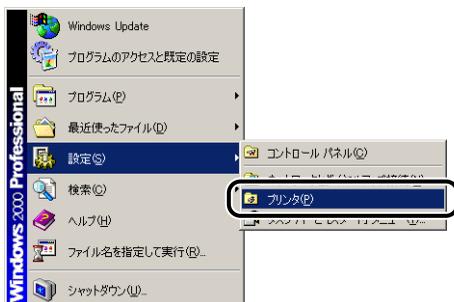
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート］メニューから [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタと FAX]の順にクリックします。

[プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから、［印刷設定］を選択します。

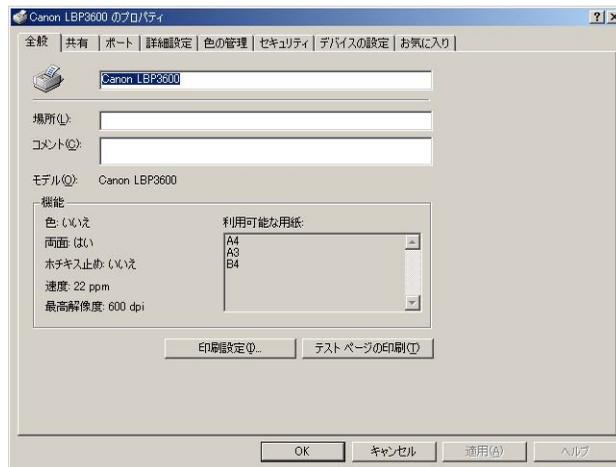
［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［印刷設定］を選択しても表示できます。

［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示する

1 ［スタート］メニューから［設定］→［プリンタ］を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］→［プリンタと FAX］の順にクリックします。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダが表示されます。

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

印刷前のプリンタ情報設定

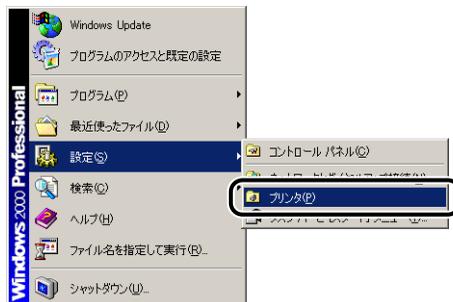
印刷前に、給紙オプションや両面ユニットの設定をしてください。オプションを装着するたびに、必ず設定してください。

1 [スタート]メニューから[設定]→[プリンタ]を選択します。

Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、[スタート]メニューから[プリンタと FAX]を選択します。
Windows XP Home Edition の場合は、[スタート]メニューから[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]→[プリンタと FAX]の順にクリックします。

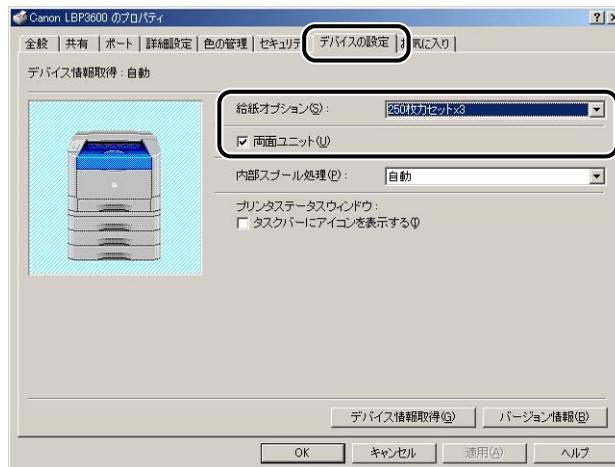
[プリンタ]または[プリンタと FAX]フォルダが表示されます。

4

Windowsから印刷するには

2 本プリンタのアイコンを選択したあと、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択します。

［プリンタプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

メモ　［プリンタプロパティ］ダイアログボックスは、本プリンタのアイコンを右クリックして、ポップアップメニューから［プロパティ］を選択しても表示できます。

3 ［デバイスの設定］ページを表示して、［給紙オプション］、［両面ユニット］で設定します。

メモ　［デバイス情報取得］をクリックして、給紙オプションなどのデバイス情報を自動的に取得することもできます。

4 ［OK］をクリックします。

いろいろな印刷機能を使用する

プリンタドライバのページについて

［プリンタプロパティ］ダイアログボックス、［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスには次のようなページがあり、いろいろな印刷機能を設定できます。ページのタブをクリックすると、表示されるページが切り替わります。

ここでは、どのページでどのような印刷条件が設定できるかを説明します。

■ Windows 98/Me の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［詳細］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
  - ・［デバイスの設定］ページ

■ Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

- ［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［ページ設定］ページ
  - ・［仕上げ］ページ
  - ・［給紙］ページ
  - ・［印刷品質］ページ
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックス
  - ・［全般］ページ
  - ・［共有］ページ
  - ・［ポート］ページ
  - ・［詳細設定］ページ

・[セキュリティ]ページ
・[デバイスの設定]ページ
・[お気に入り]ページ

メモ　操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。
オンラインヘルプは次の方法で表示できます。表示したオンラインヘルプを閉じるときはオンラインヘルプ内をクリックします。
・コンピュータのキーボードの[Tab]キーを押して表示させたい項目を選択し、[F1]キーを押します。
・表示させたい項目を右クリックし、ポップアップメニューの[ヘルプ]をクリックします。
・[タイトルバー]の[?](ヘルプ)をクリックし、[?]のついたカーソルを表示させたい項目の上に移動してクリックします。

[ページ設定]ページ

[ページ設定]ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 原稿サイズ

[原稿サイズ]プルダウンメニューを表示し、適切なサイズをクリックして選択します。

選択できる[原稿サイズ]は以下のとおりです。

- 定形サイズの用紙(A0 サイズ～ A5 サイズ、レジャーサイズ～エグゼクティブサイズ)
- はがき(はがき、往復はがき、4 面はがき)
- 封筒(洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号)
- ユーザ定義用紙(➞P.4-49)

メモ　[原稿サイズ]でプリンタで使用できる用紙サイズより大きい用紙を設定し、[出力用紙サイズ]で[原稿サイズと同じ]を選択した場合、A0、A1、A2 サイズは A3 用紙に、B1、B2、B3 サイズは B4 用紙に縮小されて印刷されます。

■ 出力用紙サイズ

［出力用紙サイズ］プルダウンメニューを表示し、実際に印刷する用紙のサイズを選択します。

選択できる［出力用紙サイズ］は以下のとおりです。

- 原稿サイズと同じ
- 定形サイズの用紙（A3 サイズ～ A5 サイズ、レジャーサイズ～エグゼクティブサイズ）
- はがき（はがき、往復はがき、4 面はがき）
- 封筒（洋形 4 号、洋形 2 号、角形 2 号）
- ユーザ定義用紙（→P.4-49）

メモ

- ［原稿サイズ］と同じサイズの用紙に印刷する場合は、［原稿サイズと同じ］を選択してください。
- ［原稿サイズ］と異なるサイズの用紙を選択した場合は、原稿を拡大または縮小して印刷します。
- アプリケーションソフトで複数の用紙サイズが設定されているデータを印刷する場合、プリンタドライバの［出力用紙サイズ］で特定の用紙サイズを指定すると、［出力用紙サイズ］で指定された用紙サイズに統一されて印刷されます。
- アプリケーションソフトで原稿サイズ、部数、印刷の向きなどを設定できる場合は、［ページ設定］ページで設定する必要はありません。

■ 部数

印刷する部数を設定します。

［部数］スピンボタンをクリックするか、スピンボックスに数字を入力します。設定できる部数は、1 ～ 999 部です。

■ 印刷の向き

印刷する用紙を縦長に使うか、横長に使うかを設定します。

［印刷の向き］で［縦］または［横］をクリックします。

■ ページレイアウト（→P.4-39）

- N ページ／（枚）
  1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。
  選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16 ページ／枚のいずれかです。
  2、4、6、8、9、16 ページ／枚を選択すると、［配置順］プルダウンメニューが表示され、ページを並べる順番を選択できます。
- ポスター
  1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷します。
  選択できる分割ページ数は、2 × 2、3 × 3、4 × 4 のいずれかです。

■ 倍率を指定する／配置順（→P.4-41）

［ページレイアウト］で 1 ページ／枚を選択しているときは［倍率を指定する］が表示されます。2、4、6、8、9、16 ページ／枚を選択しているときは［配置順］が表示されます。

- 倍率を指定する：[原稿サイズ] と [出力用紙サイズ] が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。倍率を任意に設定する場合は、[倍率を指定する] を選択し、スピンボックスの数値を変更します。設定できる倍率は 25 ～ 200% です。
- 配置順：1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷するとき、ページを並べる順番を選択できます。

■ ユーザ定義用紙（→P.4-49）

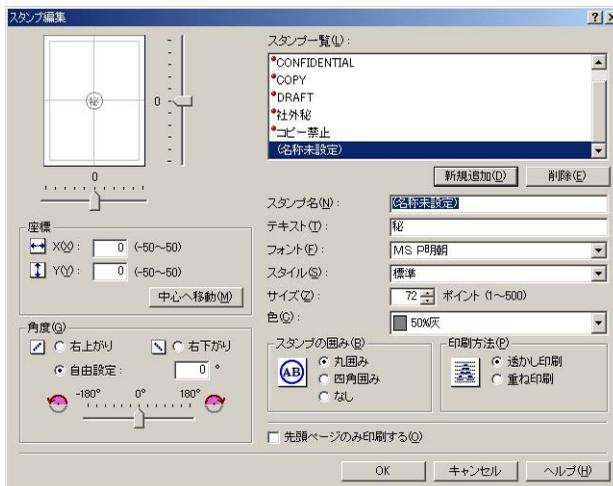
[ユーザ定義用紙] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、印刷に使用する定形サイズ以外のユーザ定義用紙の幅と高さを設定します。
登録できるユーザ定義用紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合はご使用のシステム環境によって異なります。

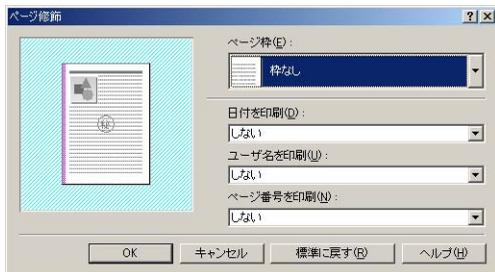
■ スタンプ（→P.4-44）

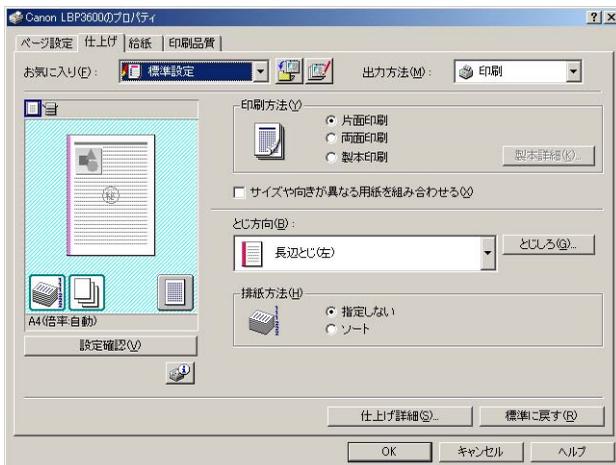
原稿にスタンプを重ね合わせて印刷するかしないかを設定できます。

■ スタンプ編集（→P.4-46）

[スタンプ編集] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しくスタンプを登録したり、登録済みのスタンプの設定項目を編集することができます。

■ ページ修飾（→P.4-50）

［ページ修飾］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスでは、出力する用紙に印刷する枠、日付、ページ番号などを設定します。

［仕上げ］ページ

［仕上げ］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 印刷方法（→P.4-52）

印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。両面印刷、製本印刷をする場合は、オプションの両面ユニットが必要です。

■ 製本詳細（→P.4-53）

［印刷方法］で［製本印刷］を選択して、［製本詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、製本印刷の詳細設定を行います。

■ サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる（→P.4-54）

1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合、［サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる］にチェックマークを付けて、［詳細設定］ダイアログボックスで排紙時の用紙の揃え方やとじしろの設定を行います。

■ 詳細設定（→P.4-54）

［サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる］にチェックマークを付けて、［詳細設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合の、排紙時の用紙の揃え方などを設定します。

■ とじ方向（→P.4-56）

印刷原稿のとじかた（どの辺をとじるか）を設定します。

■ とじしろ指定（→P.4-56）

［とじしろ指定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、とじしろの幅と画像の処理方法を設定します。

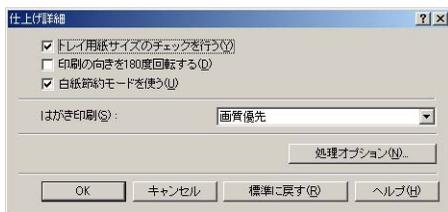
■ 排紙方法

排紙方法を以下の項目から設定します。

- 指定しない：ページごとに指定された部数を印刷します。
- ソート：ページ順に指定された部数を繰り返して印刷します。

■ 仕上げ詳細（→P.4-57）

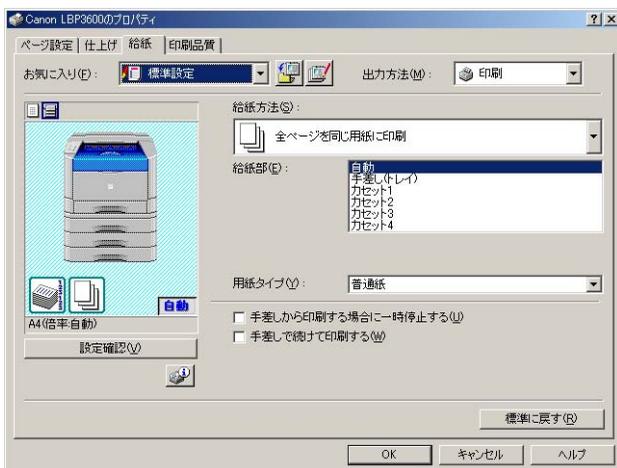
［仕上げ詳細］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、印刷処理に適用するさまざまな項目を設定します。

■ 処理オプション（→P.4-58）

［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、仕上げに関する詳細な設定を行います。

［給紙］ページ

［給紙］ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ **給紙方法（→P.4-60）**

給紙方法を以下の項目の中から選択することができます。

- 全ページを同じ用紙に印刷
  出力するすべての用紙を同じ給紙部から給紙します。
- 最初と最後の用紙を指定して印刷
  最初のページ、その他のページ、最後のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。
- 最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷
  最初のページ、2 枚目のページ、その他のページ、最後のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。
- 表紙の用紙を指定して印刷
  製本印刷を行うときの表紙、その他のページをそれぞれ別の給紙部から給紙します。この項目は、[仕上げ] ページの [印刷方法] の設定が [製本印刷] の場合のみ選択できます。
- OHP フィルムの間に用紙をはさむ
  OHP フィルムに出力するときに、それぞれの OHP フィルムの間に別の用紙をはさんで出力します。この項目は、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定が［A4］または［レター］の場合のみ選択できます。

■ **給紙部（→P.4-60）**

［給紙方法］で選択した項目に応じて各ページの用紙を指定します。

■ 用紙タイプ

プリンタで使用する用紙の種類を設定します。
次のように設定してください。

ドライバの設定	用紙の種類
[普通紙]	普通紙（64 ～ 80g/m^2）
[普通紙 L]	[普通紙]に設定して印刷した結果、用紙のカールが目立つ場合に設定します。
[厚紙]	厚紙（106 ～ 128g/m^2）、ラベル用紙
[厚紙 L]	厚紙（81 ～ 105g/m^2）
[OHP フィルム]	OHP フィルム

* はがきや封筒の場合は、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] を設定すると自動的に各用紙タイプに適した印刷モードで印刷されます。

重要　厚紙 (81 ～ 90g/m^2) をカセットから印刷する場合や両面印刷する場合は、以下の設定を行ってください。

① [用紙タイプ] の設定を [普通紙] にする

② [仕上げ] ページの [仕上げ詳細] ボタンをクリックして、[仕上げ詳細] ダイアログボックスの [処理オプション] ボタンをクリックし、[処理オプション] ダイアログボックスにある [特殊定着モード] の設定を [モード 4] にする

■ 手差しから印刷する場合に一時停止する

手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、メッセージを表示して一時停止します。手差しトレイにセットされている用紙とプリンタドライバで設定した用紙の設定が一致していることを確認して、プリンタステータスウィンドウの [エラー復帰] ボタンをクリックします。

■ 手差しで続けて印刷する

カセットからの給紙中に用紙がなくなり、[ページ設定] ページの [出力用紙サイズ] で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

[印刷品質] ページ

[印刷品質] ページでは、次の印刷条件を設定できます。

■ 印刷目的（→P.4-61）

原稿の内容に合わせて以下の項目から適切な印刷目的を選択すると、内容に合った最適な設定で印刷を行うことができます。

- 一般：一般の文書や表の印刷に適したモードで印刷します。
- グラフィックス：グラフィックスの印刷に適したモードで印刷します。
- 写真：写真画像やグラフィックスなどが混在した文書の印刷に適したモードです。より画面に近い印刷結果が得られます。
- CAD：色付きの細い線などの印刷に適したモードです。写真画像やグラフィックスを濃い目に印刷するため、細い線がより明瞭に印刷されます。
- Web ページ：Web ページ上のイラストなどの印刷に適したモードです。通常印刷では粗くなったり、ギザギザになったりする低解像度のイメージデータをなめらかに印刷します。

■ 詳細（→P.4-61）

[詳細] をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは印刷設定をお好みに合わせて変更することができます。

重要　トナー節約モードを使用すると、印字濃度が薄くなり、文字がかすれる場合があります。

4

Windowsから印刷するには

■ **グレーの設定を行う（→P.4-62）**

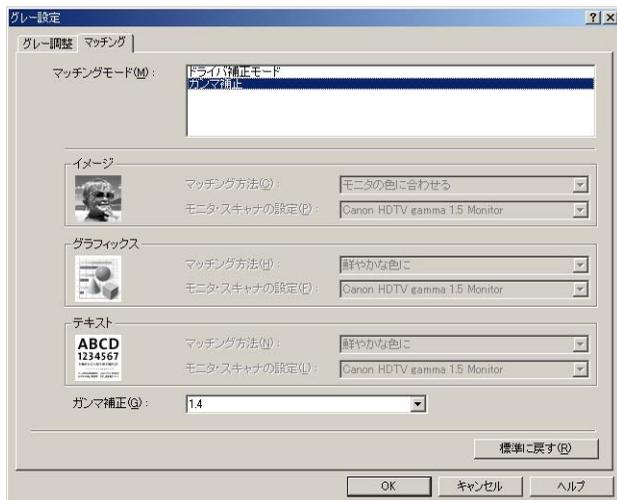
グレーに関して独自の設定をするときにチェックマークを付けます。グレーに関して詳細設定を行うには、［グレー設定］ボタンをクリックして［グレー設定］ダイアログボックスを表示します。

■ **グレー設定（→P.4-62）**

［グレー設定］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスには［グレー調整］ページと［マッチング］ページがあります。

- ［グレー調整］ページ
  このページでは、印刷するときの明るさやコントラストを設定します。

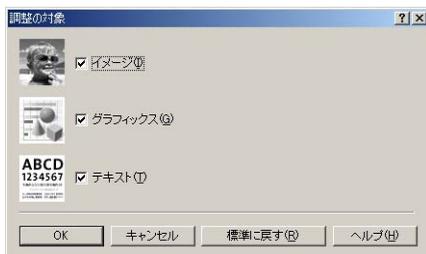
- ［マッチング］ページ
  このページでは、原稿を印刷するときの色補正の処理方法を設定します。
  プリンタドライバ側で色補正を行う場合は、イメージデータ（写真画像など）、グラフィックスデータ（図形、表、グラフなど）、テキストデータ（文字など）のそれぞれに対して補正を行うことができます。色補正を行わない場合は、原稿の明るさを調節するガンマ補正を設定します。

■ 調整の対象

［グレー設定］ダイアログボックスの［グレー調整］ページにある［調整の対象］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

グレーの調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、調整を行う前に、設定の対象を選択してください。それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

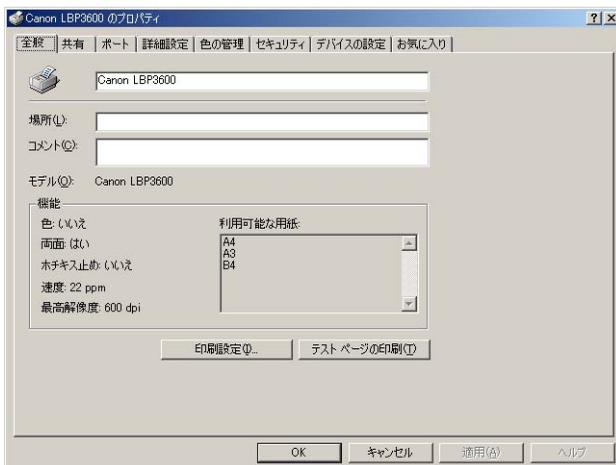
イメージ：写真画像などのイメージデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

グラフィックス：図形、表、グラフなどのグラフィックスデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

テキスト：文字などのテキストデータに対する調整を行う場合はチェックマークを付けます。

■ グレー調整サンプルプリント（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

［グレー設定］をクリックしたときに表示される［グレー調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに［明るさ］と［コントラスト］をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。

［全般］ページ

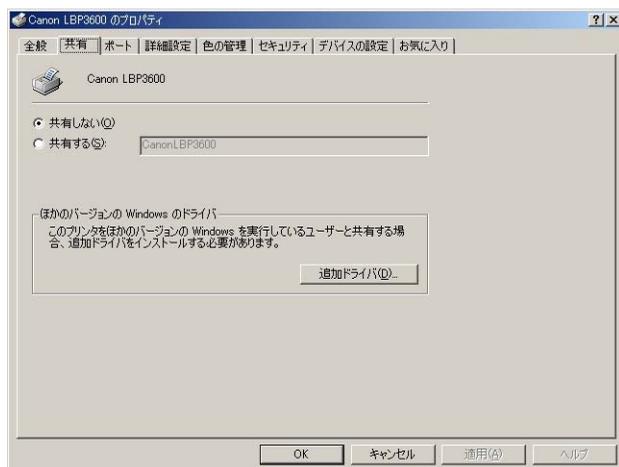
プリンタ名が表示されます。プリンタの印字テストをすることができます。

［詳細］ページ（Windows 98/Me のみ）

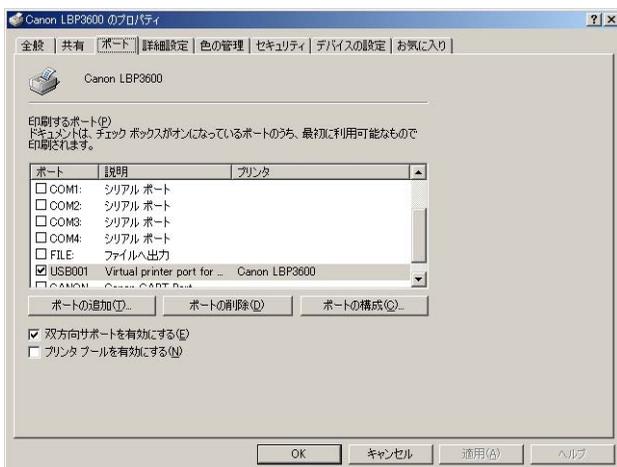
プリンタポートの設定やドライバの追加、スプールの設定などができます。

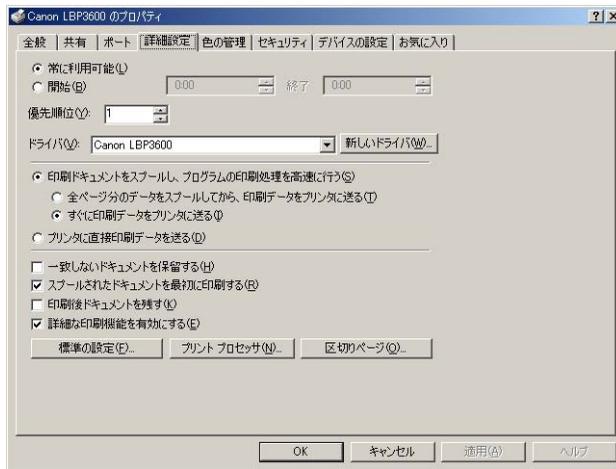
[共有] ページ

プリンタを共有するかしないかを設定できます。

メモ

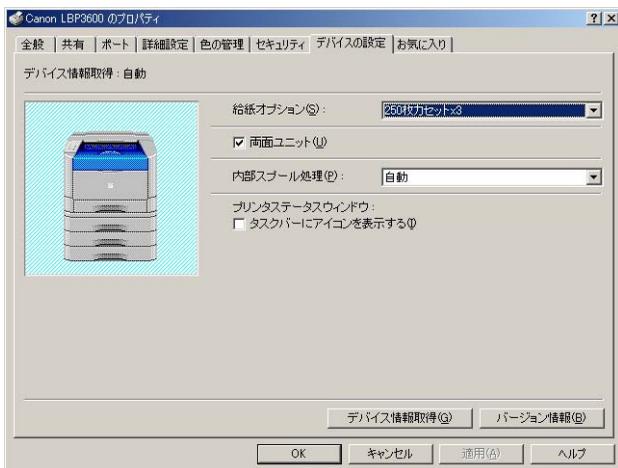
- Windows 98/Me の場合は、ネットワークの設定で [Microsoft ネットワーク共有サービス] の追加を行っていないときは、[共有] ページは表示されません。(➞P.3-57)
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、ネットワークの設定を行っていないときは、[共有] ページは表示されません。(➞P.3-61)

[ポート] ページ (Windows 2000/XP/Server 2003 のみ)

プリンタポートの追加、削除、構成などができます。

[詳細設定］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

プリンタの利用可能時間、スプールの処理など詳細な設定ができます。

[セキュリティ]ページ(Windows 2000/XP/Server 2003のみ)

ログオンユーザー名ごとのアクセス許可の状況が確認できます。

［デバイスの設定］ページ

［デバイスの設定］ページでは、プリンタの給紙オプションやプリンタステータスウィンドウの表示のしかたなどを設定できます。

■ **給紙オプション（→P.4-18）**

オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、適切な項目を選択します。

■ **両面ユニット（→P.4-18）**

オプションの両面ユニットを装着している場合は、チェックマークを付けます。

■ **内部スプール処理（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）**

内部スプール処理を行うかどうかを設定します。

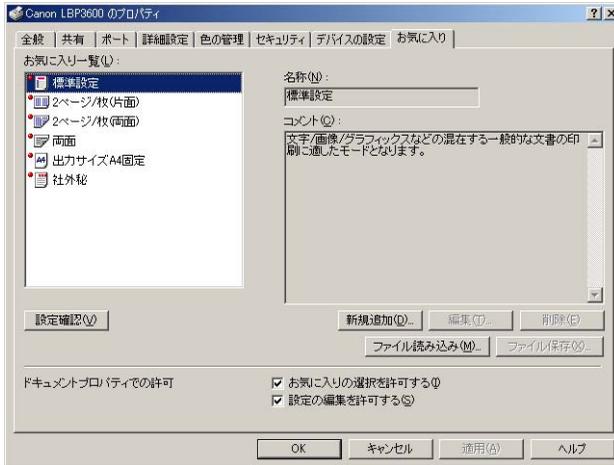
■ **タスクバーにアイコンを表示する（→P.4-75）**

この項目にチェックマークを付けると、Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウを起動するためのアイコンが追加されます。

■ **デバイス情報取得**

［デバイス情報取得］をクリックすると、プリンタからデバイス情報などが自動的に取得され、プリンタドライバの設定値に反映されます。

［お気に入り］ページ（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

新しい「お気に入り」を追加したり、すでに登録済みの「お気に入り」を編集することができます。

■ **お気に入り一覧**

「お気に入り」として登録されている項目を一覧表示します。

■ **名称**

［お気に入り一覧］で選択されている項目の名前を表示します。

■ **コメント**

［お気に入り一覧］で選択されている項目に対するコメントを表示します。

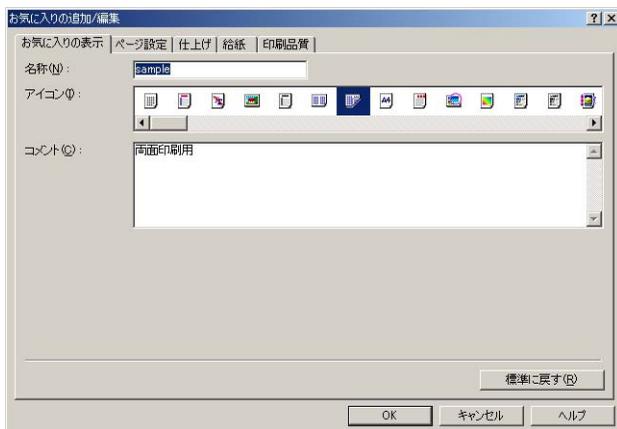
■ 新規追加（→P.4-66）

［新規追加］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の［名称］、［アイコン］、［コメント］や印刷条件を設定します。

■ 編集（→P.4-68）

［編集］をクリックすると、以下のダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスでは、新しく追加する「お気に入り」または編集対象となる「お気に入り」の［名称］、［アイコン］、［コメント］や印刷条件を設定します。

■ 削除（→P.4-68）

登録した「お気に入り」を削除します。

■ ファイル読み込み（→P.4-68）

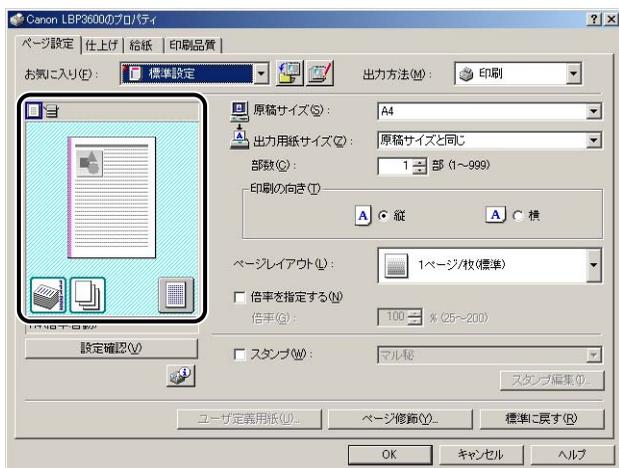
ファイルとして保存した「お気に入り」を読み込んでプリンタドライバに登録することができます。

■ ファイル保存（→P.4-68）
登録または編集した「お気に入り」をファイルとして保存することができます。

■ お気に入りの選択を許可する
［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスで「お気に入り」を選択できるようになります。

■ 設定の編集を許可する
［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスであらかじめ登録されている「お気に入り」の設定のほかに、さらに任意の設定を追加できるようになります。

プレビュー画面について

［ページ設定］、［給紙］、［仕上げ］ページにあるプレビュー画面には、現在の設定が表示されます。また、プレビュー画面をクリックすることによって［とじ方向］、［ページレイアウト］、［排紙方法］などの設定を行うことができます。

プレビュー画面の左上にあるアイコン（、）のどちらを選択しているかで、プレビュー画面での操作が以下のように異なります。

■ を選択している場合
［とじ方向］、［ページレイアウト］、［印刷方法］（［片面印刷］、［両面印刷］のみ）の設定ができます。

プレビューのページ枠を左クリックすると、［とじ方向］を設定できます。

プレビューのページ枠内を繰り返し左クリックすると、［ページレイアウト］の設定が［1 ページ / 枚 (標準)］、［2 ページ / 枚］、［4 ページ / 枚］の順に繰り返し変更されます。

両面ユニットを装着している場合は、プレビューの右下にあるアイコンを左クリックすると、［片面印刷］と［両面印刷］の切り替えができます。

また、プレビューを右クリックすると、[1 ページ / 枚 (片面)]、[2 ページ / 枚 (片面)]、[4 ページ / 枚 (片面)] を選択できます。オプションの両面ユニットを装着している場合は、[1 ページ / 枚 (両面)]、[2 ページ / 枚 (両面)]、[4 ページ / 枚 (両面)] も選択できます。

■ を選択している場合

給紙部の指定や [排紙方法] が設定できます。

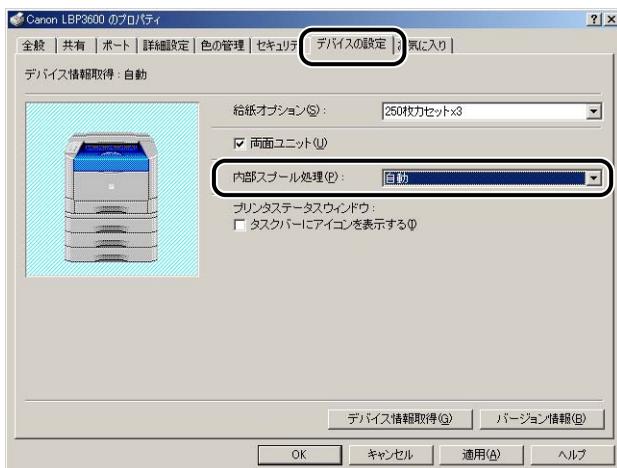
プレビューのプリンタの給紙部 (手差しトレイや給紙カセット) を左クリックすると、給紙部を指定することができます。印刷する用紙のサイズやタイプに応じて、給紙部を自動的に切り替えたい場合は、プレビューの右下にある [自動] を左クリックします。

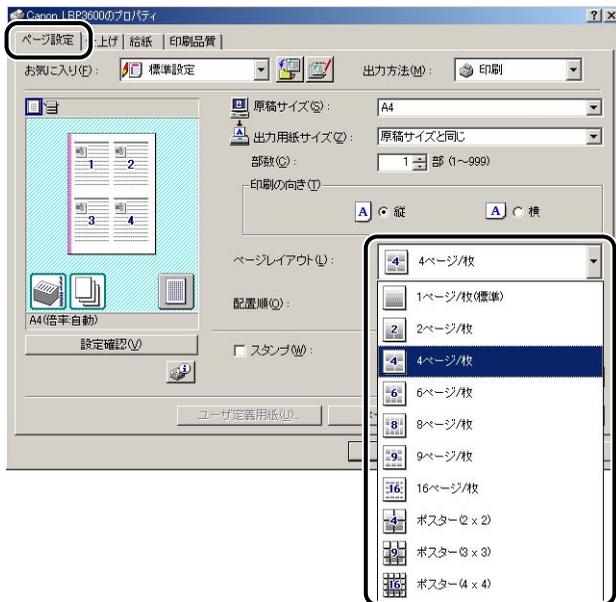
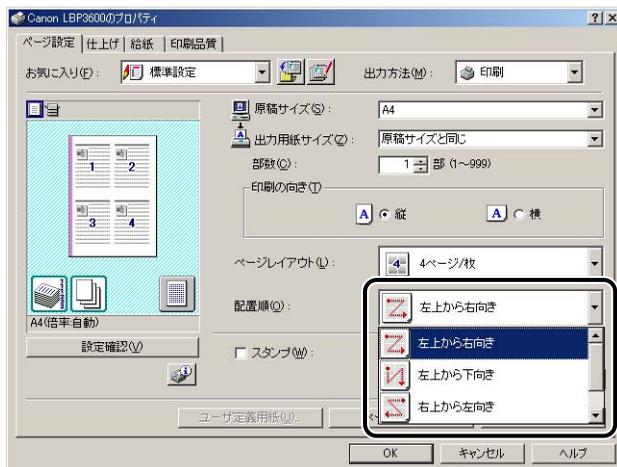
また、プレビューを右クリックすると、[排紙方法] を設定することができます。

[給紙方法] で [最初と最後の用紙を指定して印刷]、[最初と 2 枚目、最後の用紙を指定して印刷] 、[表紙の用紙を指定して印刷] のどれかを選択した場合は、各ページの給紙部の指定ができます。

用紙 1 枚に複数ページを印刷する

1 枚の用紙に複数ページのデータを印刷します。

1 **Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。**

2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］で１枚に収めるページ数を選択します。

選択できるページ数は、1、2、4、6、8、9、16ページ／枚のいずれかです。

3 2、4、6、8、9、16ページ／枚を選択すると、［配置順］が表示されます。ページを並べる順番を選択します。

メモ

［配置順］プルダウンメニューの選択肢は、印刷する用紙の向きや１枚に収めるページ数によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

拡大／縮小して印刷する

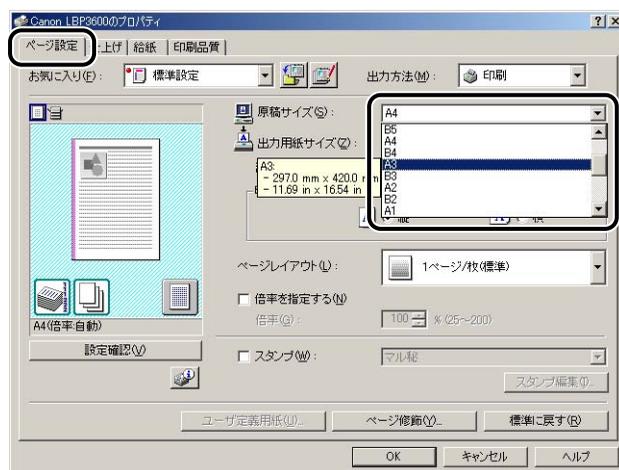
［ページレイアウト］が［1 ページ／枚（標準)］に設定されているとき選択できます。

［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］が異なる場合は、自動的に倍率を設定して、拡大／縮小印刷を行います。

倍率を任意に設定することもできます。

設定できる倍率は 25 〜 200% です。

自動で倍率を設定する

1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

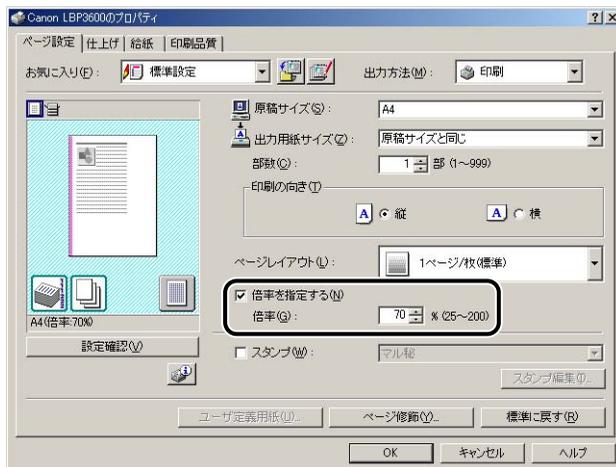
3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

指定した［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に合わせて、自動的に倍率が設定されます。

任意に倍率を設定する

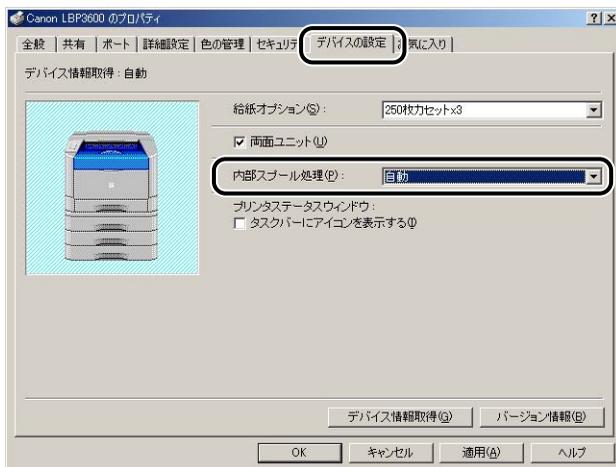
1 ［ページ設定］ページを表示し、［原稿サイズ］を指定します。

2 ［出力用紙サイズ］を指定します。

3 ［倍率を指定する］にチェックマークを付けて、スピンボックスの数値を変更します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

ポスター印刷を行う

1 ページ分の画像を拡大して、複数枚の用紙上に分割して印刷することができます。この複数枚の出力用紙を貼り合わせて、ポスターのような大きなプリントを作成します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページレイアウト］から［ポスター（N x N）］（N = 2、3、4）を選択します。

印刷後のレイアウトイメージがプレビュー画面に表示されます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

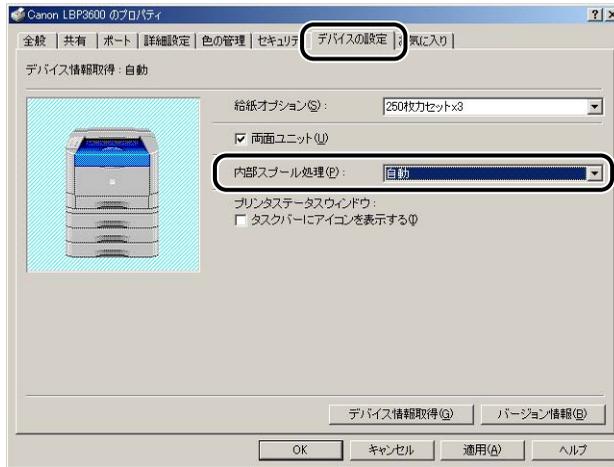
重要

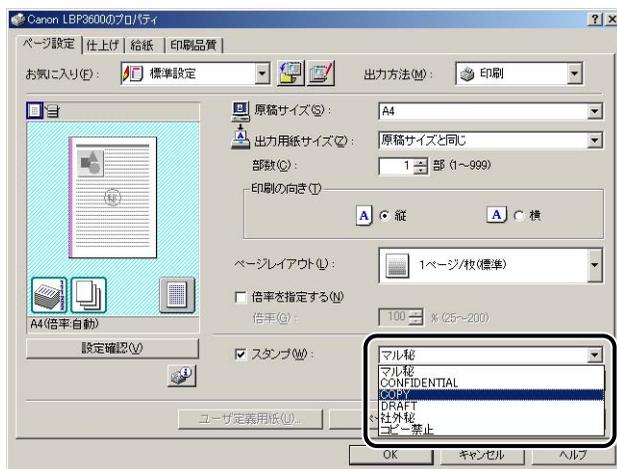
- 出力用紙（複数枚に分割された用紙）の印刷順序は、「左上から右方向」になります。
- ポスター印刷を行うときは、スタンプ印刷とページ修飾の機能は設定できません。
- ポスター印刷を行う場合、［配置順］の設定はできません。

スタンプを付けて印刷する

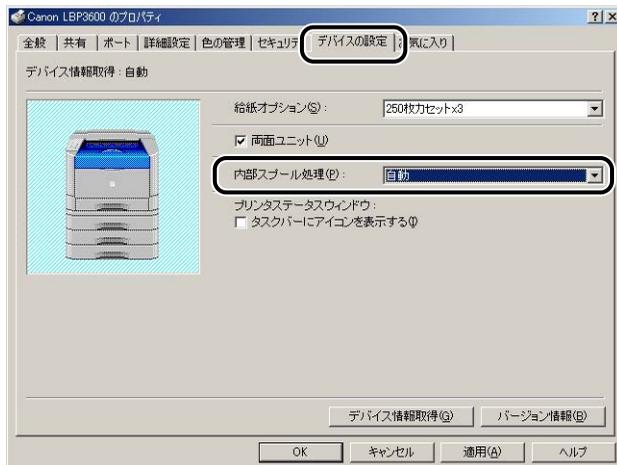
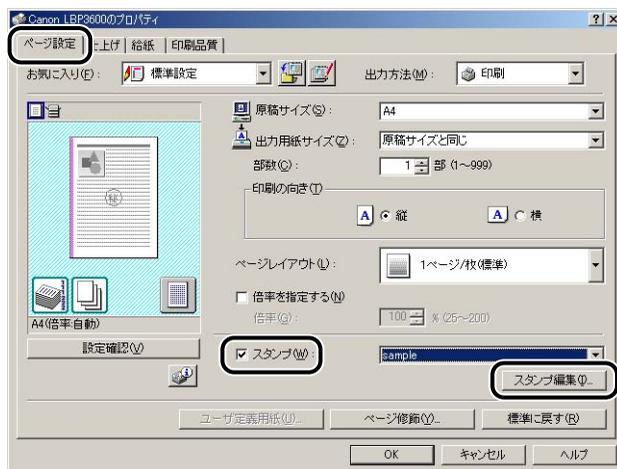
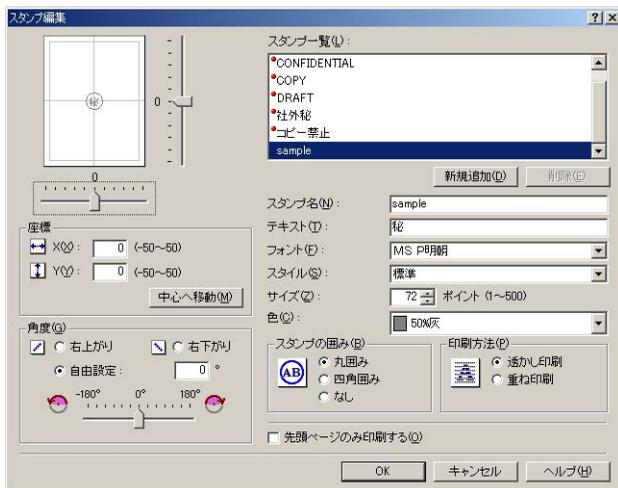
アプリケーションソフトで作成した原稿に、スタンプ（「COPY」や「社外秘」などの透かし文字）を重ね合わせて印刷します。スタンプとして登録されている文字列のリストから使用する文字列を選択します。また、［ページ設定］ページの［スタンプ編集］をクリックして、新しいスタンプを登録したり、すでにあるスタンプを編集したりすることもできます。

スタンプを付けて印刷する

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。

2 [ページ設定] ページを表示し、[スタンプ] にチェックマークを付けます。

3 ［スタンプ］の右側にあるリストから、スタンプとして印字する文字列を選択します。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

スタンプを編集する

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［スタンプ］にチェックマークを付けて［スタンプ編集］をクリックします。

［スタンプ編集］ダイアログボックスが表示されます。

3 必要に応じて以下の項目を設定します。

[座標]：	スタンプを印字する位置を縦横それぞれ -50 〜 50 の範囲で設定します。
[角度]：	スタンプを印字する角度を設定します。
[スタンプ名]：	新しいスタンプを登録するときに、[ページ設定] ページの [スタンプ] に表示するスタンプ名を入力します。
[テキスト]：	スタンプとして印刷する文字列を入力します。
[フォント]：	スタンプとして印刷する文字列のフォントの種類（TrueType フォントのみ）を選択します。
[スタイル]：	フォントのスタイルを選択します。
[サイズ]：	スタンプとして印刷する文字列のフォントサイズを設定します。
[色]：	スタンプとして印刷する文字列の色を選択します。ただし、本プリンタはモノクロ機のため、スタンプの色はすべてグレースケールで印刷されます。
[スタンプの囲み]：	スタンプとして印刷する文字列の周囲に枠を付けるかどうかを設定します。
[印刷方法]：	スタンプの印刷方法を [透かし印刷]、[重ね印刷] の 2 種類から選択します。
[先頭ページのみ印刷する]：	スタンプを 1 ページ目だけに印刷する場合にチェックマークを付けます。

メモ

- 新しくスタンプを登録する場合は、[新規追加] をクリックします。
- あらかじめ登録されているスタンプの変更はできません。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[ページ設定] ページに戻ります。

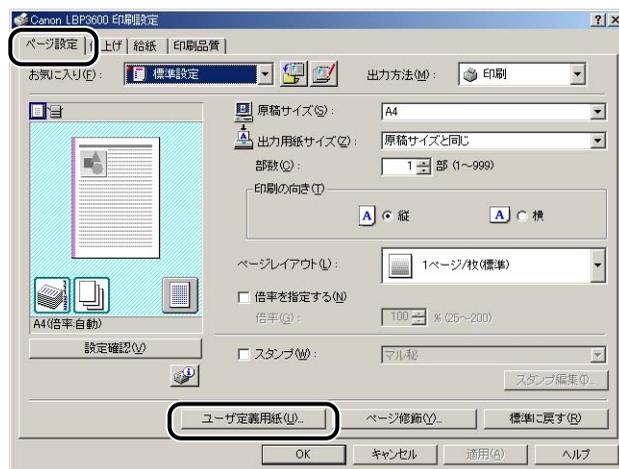
任意の用紙サイズ（ユーザ定義用紙）を設定する

用紙サイズを任意に設定します。

メモ　ユーザ定義用紙の設定は、以下のダイアログボックスを表示して行います。

・Windows 2000/XP/Server 2003 の場合
　［プリンタ］フォルダ（Windows XP/Server 2003 は［プリンタと FAX］フォルダ）から［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

・Windows 98/Me の場合
　［プリンタ］フォルダから［プリンタプロパティ］ダイアログボックスを表示して設定します。

1 ［ページ設定］ページを表示し、［ユーザ定義用紙］をクリックします。

［ユーザ定義用紙］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[用紙一覧]：	定形用紙と登録済みのユーザ定義用紙の名称とサイズが表示されます。
[ユーザ定義用紙名]：	登録するユーザ定義用紙の名称を入力します。Windows 98/Meの場合は、半角 31 文字 / 全角 15 文字まで、Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、半角/全角31文字まで入力できます。
[単位]：	ユーザ定義用紙のサイズを設定するときに使用する単位（ミリメートルまたはインチ）を選択します。
[用紙サイズ]：	ユーザ定義用紙の高さと幅（高さ≧幅）を設定します。用紙サイズは、縦長（高さ≧幅）かつ、定義可能な範囲内で指定してください。

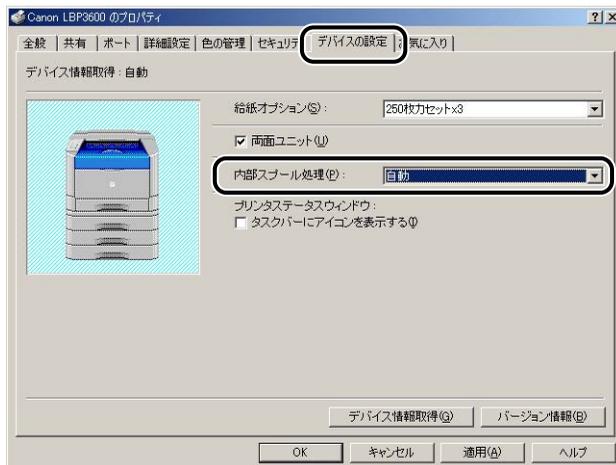
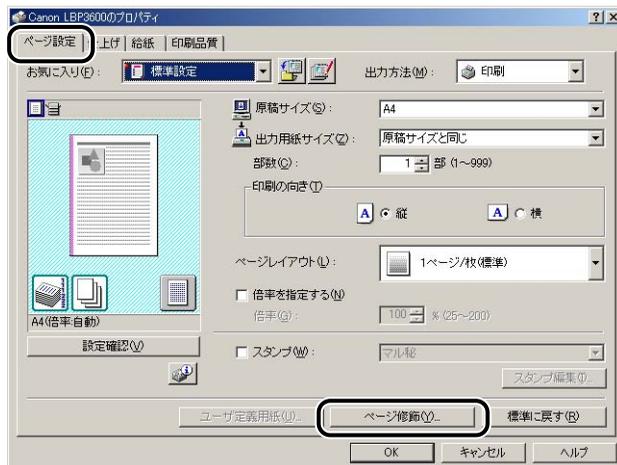
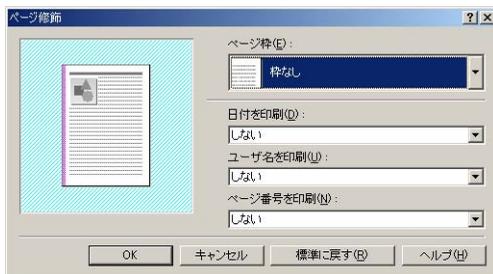
3 [登録] をクリックします。

メモ　登録できるユーザ定義用紙は、Windows 98/Me の場合は最大 30 個まで、Windows 2000/XP/Server 2003 の場合はご使用のシステム環境によって異なります。

4 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

ページに枠や日付を付けて印刷する

出力する用紙に枠や日付、ページ番号などを一緒に印刷します。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、[デバイスの設定] ページを表示し、[内部スプール処理] から [自動] を選択します。

2 ［ページ設定］ページを表示し、［ページ修飾］をクリックします。

［ページ修飾］ダイアログボックスが表示されます。

3 必要に応じて以下の項目を設定します。

［ページ枠］：　用紙の周囲に印刷するページ枠の種類を選択します。

［日付を印刷］：　日付を印刷します。印刷する位置をリストから選択します。

［ユーザ名を印刷］：　コンピュータに登録されているユーザ名を印刷します。印刷する位置をリストから選択します。

［ページ番号を印刷］：　ページ番号を印刷します。印刷する位置をリストから選択します。

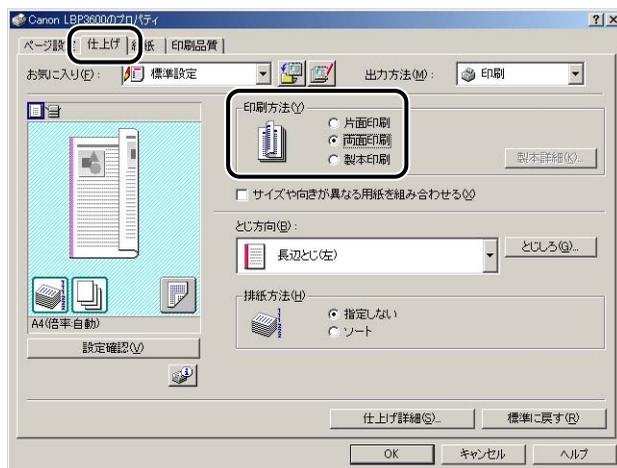
4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［ページ設定］ページに戻ります。

印刷方法を選択して印刷する

印刷方法（片面印刷、両面印刷、製本印刷）を設定します。両面印刷、製本印刷をする場合は、オプションの両面ユニットが必要です。

重要 Windows 2000/XP/Server 2003の場合、［デバイスの設定］ページの［内部スプール処理］が［ホスト側での処理を無効にする］に設定されていると、［製本印刷］の機能は使用できません。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［印刷方法］で［片面印刷］、［両面印刷］、［製本印刷］のいずれかを選択します。

［片面印刷］：　用紙の片面に印刷を行います。

［両面印刷］：　オプションの両面ユニットを使用して、用紙の両面に印刷を行います。

［製本印刷］：　オプションの両面ユニットを使用して、製本印刷を行います。製本印刷とは、用紙を2つ折りにしてひとつの本になるように、1枚の用紙の表と裏にそれぞれ2ページ分のデータを並べて印刷する処理です。製本印刷の詳細設定を行う場合は、［製本詳細］ボタンをクリックします。

2 [製本印刷] を選択した場合、必要に応じて [製本詳細] をクリックして、以下の項目を設定します。

[製本印刷の方法]：　製本印刷の単位（まとめて印刷するページ数）を設定します。

[開き方向]：　製本印刷を行うときのとじる方向を設定します。[ページ設定] ページの [印刷の向き] の設定が [縦] の場合は [左開き] または [右開き] を選択できます。また、[印刷の向き] が [横] の場合は [上開き] または [下開き] を選択できます。

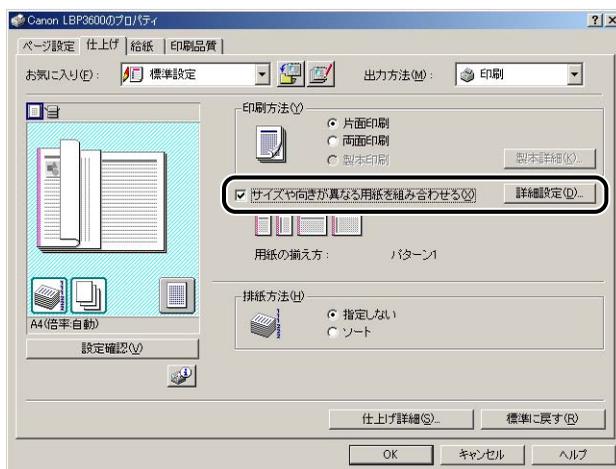
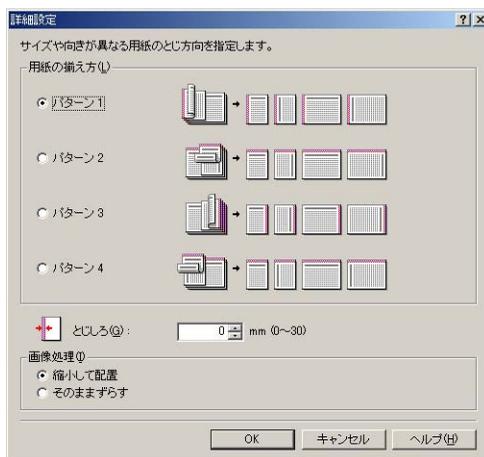
[製本とじしろを指定する]：　製本印刷を行うときのとじしろの幅を設定するときにチェックマークを付けます。用紙の中央部（折り目の位置）からの距離（0 ～ 30mm）を入力します。
* 印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小して印刷します。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[仕上げ] ページに戻ります。

サイズや向きが異なる用紙を組み合わせて印刷する

1 つのジョブに異なる用紙サイズや異なる向きのデータを印刷する場合の、排紙時の用紙の揃え方などを設定することができます。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる］にチェックマークを付けて、［詳細設定］をクリックします。

［詳細設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 サイズや向きの異なる用紙を組み合わせるときの、用紙の揃え方のパターンを選択します。

必要に応じて以下の項目を設定します。

[とじしろ]：　この項目を設定すると、印刷物の片側に余白が作成されます（この余白を［とじしろ］と呼びます）。この余白は印刷物をとじるときに役立ちます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。とじしろを設定すると、印字領域は狭くなります。

[画像処理]：　［とじしろ］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。[縮小して配置］を選択すると、画像をずらすときに印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小します。[そのままずらす］を選択すると、画像を縮小しないでそのままずらします。画像が印字領域からはみ出した場合は、画像が欠けて印刷されます。

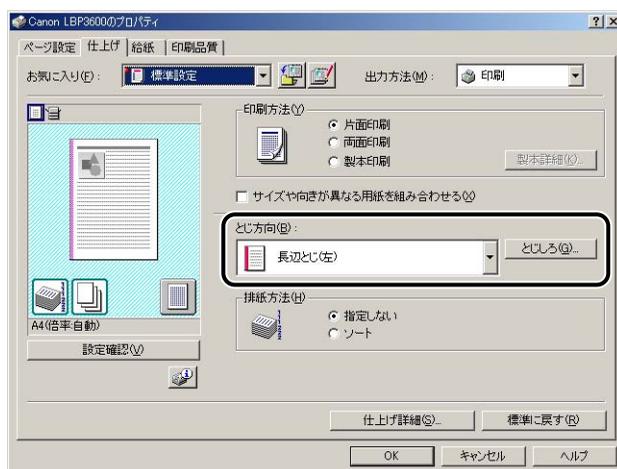
3 設定内容を確認し、[OK］をクリックします。

[仕上げ］ページに戻ります。

とじしろを付けて印刷する

出力する用紙にとじしろを付けて印刷することができます。とじしろとして設定できる範囲は 0 ～ 30mm です。

また、とじしろを設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを設定することもできます。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［とじ方向］でとじしろを付ける方向を設定し［とじしろ］をクリックします。

［とじしろ指定］ダイアログボックスが表示されます。

2 スピンボックスの数値を設定します。

必要に応じて以下の項目を設定します。

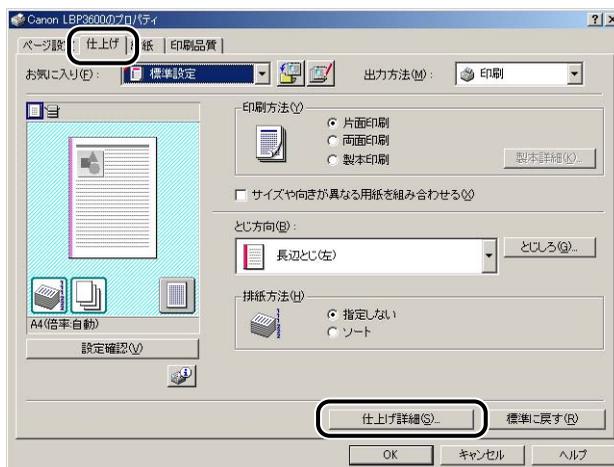
［画像処理］： ［とじしろ］を設定すると、指定した用紙の辺に余白を作成するために画像をずらします。このときに、画像を縮小するかしないかを指定することができます。［縮小して配置］を選択すると、画像をずらすときに印字領域から画像がはみ出さないように画像を自動的に縮小します。［そのままずらす］を選択すると、画像を縮小しないでそのままずらします。画像が印字領域からはみ出した場合は、画像が欠けて印刷されます。

3 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［仕上げ］ページに戻ります。

印刷の仕上げ方法を設定する

印刷処理に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［仕上げ］ページを表示し、［仕上げ詳細］をクリックします。

［仕上げ詳細］ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[トレイ用紙サイズのチェックを行う]：
この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブの［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］の設定と直前に印刷したジョブの［出力用紙サイズ］の設定が異なる場合、メッセージが表示され、プリンタが停止します。印刷を再開する場合は、プリンタステータスウィンドウの［エラー復帰］ボタンをクリックするか、正しい用紙にセットしなおします。ただし、電源のオフ／オンやセットしていた用紙を取り除いた直後のジョブは［出力用紙サイズ］の設定に関わらず、メッセージは表示されずに、現在セットしている用紙で印刷します。

[印刷の向きを 180 度回転する]：
画像を 180 度回転させて用紙に印字します。特定方向のみでしか給紙できない封筒やインデックス紙などを印刷するときに便利な機能です。

[白紙節約モードを使う]：
この項目にチェックマークを付けると、印刷するジョブに白紙ページがある場合、白紙ページは排出されません。

[はがき印刷]：
はがきを印刷するときの印刷方法を選択します。［画質優先］を選択した場合は、きれいに印刷されますが印刷に時間がかかります。[スピード優先] を選択した場合は、印字速度を上げて印刷します。ただし、［スピード優先］を選択した場合は、［印刷品質］ページの［グレー設定］ダイアログボックスにある［マッチング］ページの［ガンマ補正］を［2.2］に設定してください。はがきがカールする場合は［薄紙印刷］を選択します。

3 ［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］をクリックします。

［処理オプション］ダイアログボックスが表示されます。

4 必要に応じて以下の項目を設定します。

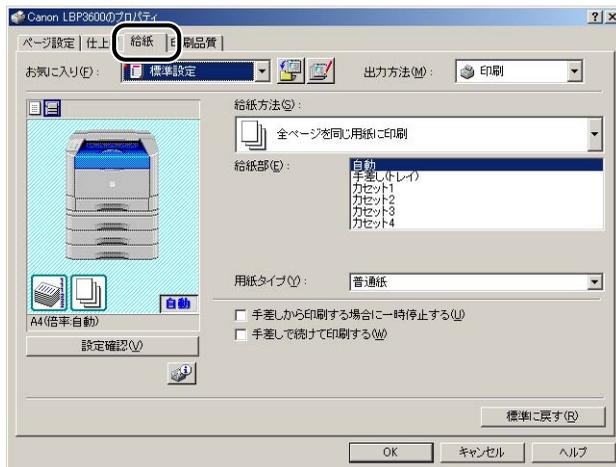
[スーパースムーズ]：	スムージング処理を行うかどうかを設定します。スムージング処理を行うと、文字や図形のギザギザの輪郭がなめらかに印刷されます
[特殊定着モード]：	トナーの定着状態が良くないときに、プリンタの定着モードを切り替えて印刷します。[モード 3] でトナーの定着性が最も高くなり、[モード 2]、[モード 1] の順に定着性が低くなり、[モード 4] で最も低くなります。
[定着オフセット]：	幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷する場合に、印刷待ち時間を短くして、印刷速度を優先したいときに [スピード優先 1] または [スピード優先 2] に設定します。ただし、[スピード優先 1] または [スピード優先 2] に設定した場合、画質より印刷速度が優先されるため、用紙の両側に一度印字した文字や画像の残像が印字されることがあります。 [スピード優先 1] に設定すると、印刷環境や印刷条件に関わらず、最も印刷速度を優先したモードで印刷します。 [スピード優先 2] は、印刷環境や印刷条件によっては印刷待ち時間がかかる場合があります。
[メタファイルスプーリングを行う](Windows 2000/XP/Server 2003のみ)：	印刷データを EMF（メタファイル）形式でスプールするかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、EMF 形式でスプーリングが行われます。
[両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する]：	この項目にチェックマークを付けると、両面印刷のジョブの最後のページが片面の場合、通常の両面印刷時よりも速く印刷することができます。
[印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する]：	印刷済みの用紙の裏面に印刷する場合に紙づまりが起こるときは、この項目にチェックマークを付けて印刷します。

5 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

[仕上げ詳細] ダイアログボックスに戻ります。

給紙方法を選ぶ

用紙の給紙方法に適用するさまざまなオプションを設定します。

1 ［給紙］ページを表示させます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

［給紙方法］：	給紙方法を設定することができます。
［給紙部］： ・［最初のページ］ ・［2 枚目のページ］ ・［表紙］ ・［その他のページ］ ・［最後のページ］ ・［中差し用紙］	給紙部を選択することができます。また、［給紙方法］で選択した項目に応じて設定できる内容が異なります。
［用紙タイプ］：	プリンタで使用する用紙の種類を選択します。
［手差しから印刷する場合に一時停止する］：	手差しトレイから印刷するとき、メッセージを表示して一時停止するか、そのまま印刷するかどうかを設定します。この項目にチェックマークを付けると、メッセージを表示して一時停止します。手差しトレイにセットされている用紙とプリンタドライバで設定した用紙の設定が一致していることを確認して、プリンタステータスウィンドウの［エラー復帰］ボタンをクリックします。
［手差しで続けて印刷する］：	カセットからの給紙中に用紙がなくなり、［ページ設定］ページの［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズがどのカセットにもセットされていない場合、給紙部を自動的に切り替えて手差しトレイから給紙するかどうかを設定します。

3 設定内容を確認し、[OK]をクリックします。

印刷の品質を設定する

[印刷目的]の中から項目を選択するだけで、原稿の内容に適した適切な印刷を行うことができます。

1 [印刷品質]ページを表示し、[印刷目的]を設定します。

詳細な設定を行う場合は、[詳細]ボタンをクリックします。

[詳細設定]ダイアログボックスが表示されます。

2 必要に応じて以下の項目を設定します。

[モノクロ中間調]：　モノクロデータの微妙な階調（中間の階調）の表現方法を選択します。

[色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する]：　色付きの文字や CAD 画像などの細線が破線で出力される場合は、本項目にチェックマークを付けてください。細い線などがきれいに印刷できる場合があります。

[イメージデータを補正する]：　写真画像などのイメージデータをアプリケーションソフト上で拡大して印刷すると、粗くなったり、ギザギザになったりすることがあります。そのような低解像度のイメージデータをなめらかにして印刷するときに設定してください。

[トナー濃度]：　印刷するトナーの濃度を調節します。[トナー濃度] のつまみを左右にドラッグして調節します。

[トナー節約モードを使う]：　トナー節約機能を使用すると、データを間引いて印刷が行われるため印刷時のトナー使用量を節約することができます。

3 設定内容を確認し、[OK] をクリックします。

グレーの設定をする

グレーの設定をする

1 [印刷品質] ページを表示し、[グレーの設定を行う] にチェックマークを付け、[グレー設定] をクリックします。

［グレー設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 ［グレー調整］ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

［調整の対象］：　グレーの調整をどの種類の印刷データに対して行うかを選択します。1 つの原稿中にイメージ部分、グラフィックス部分、テキスト部分がある場合は、調整を行う前に、設定の対象を選択してください。それぞれに調整を行うかどうかを設定できます。

［明るさ］：　印刷するときの明るさを調整します。［明るさ］のつまみを左右にドラッグして調整します。

［コントラスト］：　印刷するときのコントラストを調整します。［コントラスト］のつまみを左右にドラッグして調整します。

3 ［マッチング］ページを表示し、必要に応じて以下の項目を設定します。

［マッチングモード］：　色補正の処理方法を設定します。

［マッチング方法］：　マッチングを行うときに、どの要素を優先させるかを設定します。イメージ、グラフィックス、テキストのデータごとに設定することができます。

［モニタ・スキャナの設定］：　使用中のモニタまたはスキャナに合わせて適切な項目（コンピュータに登録されているプロファイルが表示されます）を選択します。

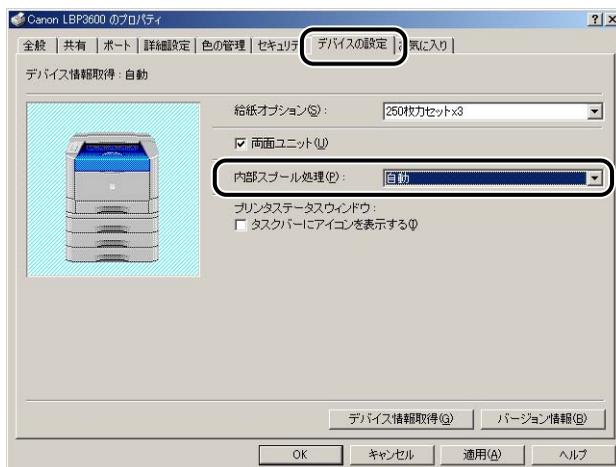
［ガンマ補正］：　［マッチングモード］を［ガンマ補正］に設定した場合は、マッチングを行わずに明るさの強弱で色の調節を行います。

4 設定内容を確認し、［OK］をクリックします。

［印刷品質］ページに戻ります。

グレー調整サンプルを印刷する（Windows 2000/XP/Server 2003 のみ）

［グレー調整］ページで設定を行ったあと、調整した画像のサンプルを印刷することができます。用紙の中央に調整後の画像が印刷され、調整後の画像の周りに［明るさ］と［コントラスト］をそれぞれ 1 目盛り分変更した画像が印刷されます。出力を調整するのに役立ちます。

1 Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、［デバイスの設定］ページを表示し、［内部スプール処理］から［自動］を選択します。

2 ［印刷品質］ページを表示し、［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け、［グレー設定］をクリックします。

3 [グレー設定] ダイアログボックスで、必要に応じて項目を設定し、[OK] をクリックします。

4 [印刷品質] ページに戻り、[グレー調整サンプルプリント] にチェックマークを付けます。

5 設定内容を確認し、[OK] ボタンをクリックします。

重要 グレー調整サンプルプリントをする場合は、[ページ設定] ページの [ページレイアウト] は必ず [1 ページ / 枚(標準)] を選択してください。

6 [OK] または [印刷] をクリックします。

グレー調整サンプルが印刷されます。

重要 グレー調整サンプルプリントを終了したあとは、[グレー調整サンプルプリント] のチェックマークを消してください。

お気に入りを設定する

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］の 4 つのページで設定した印刷条件を、まとめて保存／読み込みできます。また、設定を追加、編集、選択することができます。

印刷条件を［お気に入り］として保存するときは、次の手順で行います。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

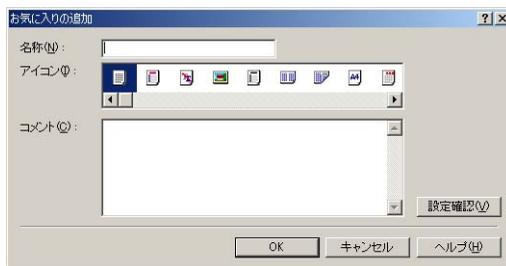
メモ
- Windows 98/Me の場合、お気に入りは最大 50 まで設定できます。ただし、［マイコンピュータ］➞［コントロールパネル］➞［パスワード］をダブルクリックし、［ユーザー別の設定］ページを表示させ［ログオン時に各ユーザーのデスクトップ設定に変更する］を選択した場合は、ログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- Windows 2000/XP/Server 2003の場合、お気に入りはログオンユーザー名ごとに最大 50 まで設定できます。
- プリンタの名称を変更すると、保存したお気に入りが読み込めなくなります。名称を元に戻すと読み込み可能になります。
- プリンタドライバをアンインストールしても、お気に入り情報は削除されません。もう一度プリンタドライバをインストールしたあと、使用できるようになります。
- Windows 98/Meで保存したお気に入り情報のファイルをWindows 2000/XP/Server 2003で使用したり、Windows 2000/XP/Server 2003で保存したお気に入りの情報のファイルを Windows 98/Me で使用することはできません。
- ［原稿サイズ］の設定は、お気に入りを選択しても変更されません。

お気に入りの新規追加

1 **［ ］（お気に入りの追加）をクリックします。**

［お気に入りの追加］ダイアログボックスが表示されます。

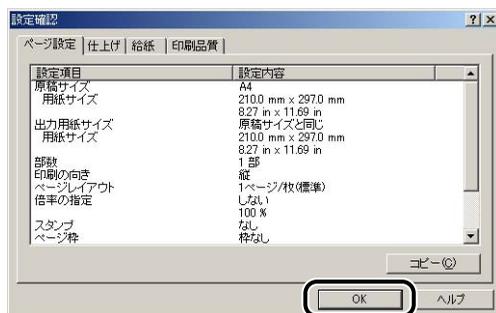
2 ［名称］にお気に入りの名前を入力します。

［アイコン］では、アイコンを選択できます。メモしておきたいことがあれば、［コメント］に入力します。

メモ

- Windows 98/Me の場合、［名称］には全角で 15 文字（半角 31 文字）まで、［コメント］には全角で 127 文字（半角 255 文字）まで入力できます。
- Windows 2000/XP の場合、［名称］には全角、半角にかかわらず 31 文字まで、［コメント］には全角、半角にかかわらず 255 文字まで入力できます。

● 設定内容の確認

❑ ［設定確認］をクリックします。

❑ ［OK］をクリックすると、［お気に入りの追加］ダイアログボックスに戻ります。

3 ［OK］をクリックします。

最初のページに戻ります。

設定したお気に入りの名称が、［お気に入り］のリストに追加されていることを確認します。

お気に入りの編集／削除

お気に入り情報の変更や保存、［お気に入り一覧］リストからの削除などができます。

1 ［　］（お気に入りの編集）をクリックします。

［お気に入りの編集］ダイアログボックスが表示されます。

2 お気に入り情報を編集します。

● 編集のしかた

❑ [名称]、[アイコン]、[コメント] の登録内容を変更できます。

❑ [ ]、[ ] をクリックすると、選択されているお気に入りを並べ替えることができます。

❑ [ファイル読み込み] をクリックすると、あらかじめ保存しておいたファイルからお気に入りの情報を読み込みます。

❑ [ファイル保存] をクリックすると、選択されているお気に入りの情報をファイルに保存します。ファイルに保存しておくと、いったんリストから削除したお気に入りをもう一度使うことができます。

❑ [アプリケーションの設定を優先させる] にチェックマークを付けると、アプリケーションソフトで設定した [原稿サイズ]、[印刷の向き]、[部数] の項目を優先して印刷します。お気に入りを変更しても前記の項目は、アプリケーションソフトの設定が有効になります。

● 削除のしかた

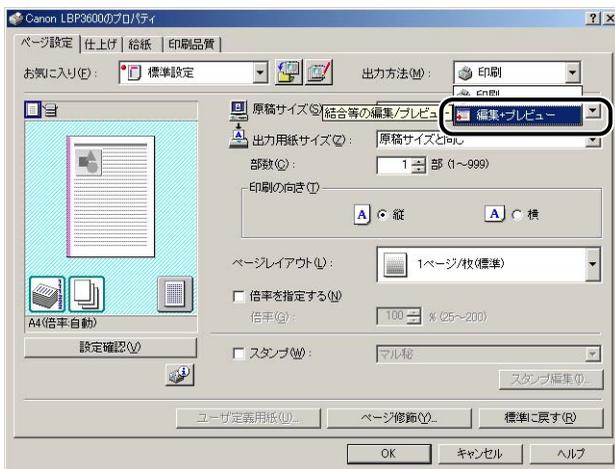
❑ [削除] をクリックすると、お気に入りがリストから削除されます。

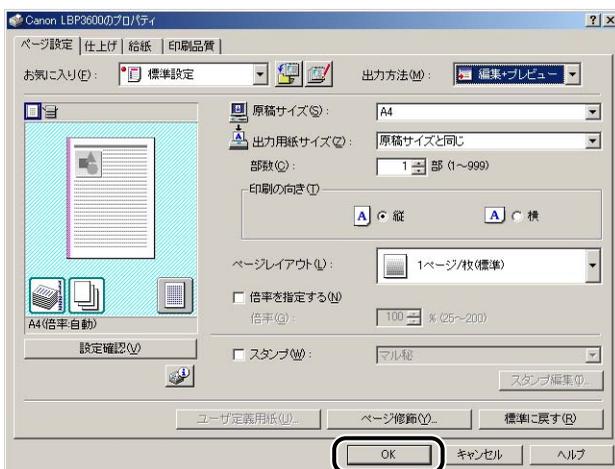
重要 削除できるのは独自に登録した「お気に入り」だけです。あらかじめ用意されている「お気に入り」を削除することはできません。また、各ページで選択中の「お気に入り」も削除することはできません。

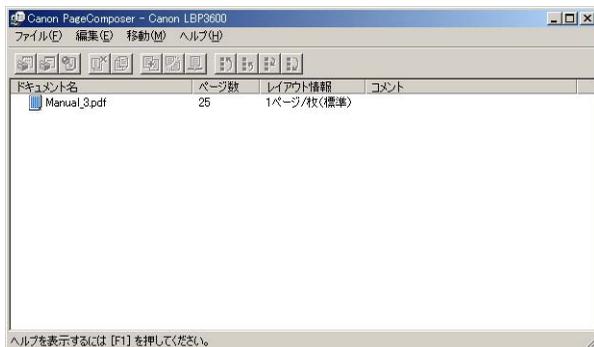
ジョブを編集する

2 つ以上のジョブを 1 つに結合して印刷したり、さらに結合したジョブの設定内容を変更して印刷することができます。異なるアプリケーションのジョブの編集も可能です。
また、ジョブのプレビュー表示もできます。

[ドキュメントプロパティ] ダイアログボックスで [ページ設定]、[仕上げ]、[給紙]、[印刷品質] のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

1 [出力方法] から [編集＋プレビュー] を選択します。

2 [編集＋プレビュー] モードのメッセージが表示されますので [OK] をクリックします。

3 各ページで印刷条件の設定を行い、[OK] をクリックします。

4 ［OK］または［印刷］をクリックします。

［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示され、ジョブがリストに表示されます。

5 編集したいジョブを同様に手順 1 から 4 を繰り返します。

6 ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでリストにあるジョブの編集を行います。

メモ

- ［Canon PageComposer］ダイアログボックスでの詳しい設定方法については、Canon PageComposer のヘルプをご覧ください。
- ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスで［編集＋プレビュー］モードを選択し、［ ］（ロック）を設定している場合は、印刷時に必ず［Canon PageComposer］ダイアログボックスが表示されます。

設定を確認する／設定を標準値に戻す

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各ページで設定した印刷条件を、まとめて確認したり、標準値に戻すことができます。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］のいずれかのページが表示されていることを確認して、操作をはじめます。

メモ

各ページではプレビューが表示されます。プレビューで印刷イメージの確認をすることもできます。

設定を確認する

1 ［設定確認］をクリックします。

［設定確認］ダイアログボックスが表示されます。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の各タブをクリックすると、それぞれのページで設定した印刷条件が一覧表示されます。

2 ［OK］をクリックします。

元のページに戻ります。

設定を標準値に戻す

設定を標準値に戻すには、［標準に戻す］をクリックします。

標準値に戻るのは、［標準に戻す］と同じページまたは同じダイアログボックスで表示されている条件のみになります。

［ページ設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［デバイスの設定］の５つのページの設定が、すべて一度に標準値に戻ることはありません。

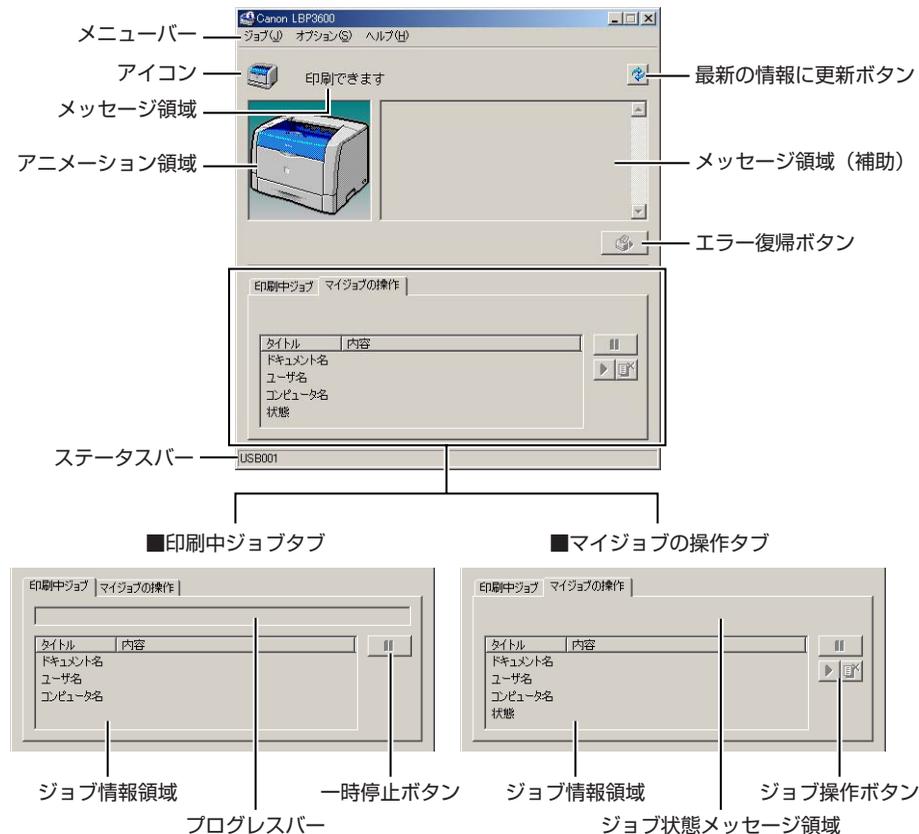
プリンタステータスウィンドウについて

プリンタステータスウィンドウは、LBP3600 プリンタのステータス（操作状況、ジョブ情報など）を、メッセージ、アニメーション、音（サウンド）、アイコンなどで表示します。

メモ　サウンドを使用するには、お使いのコンピュータに PCM 音源があり、サウンドドライバがインストールされていることが必要です。

プリンタステータスウィンドウの各部の名称と機能

プリンタステータスウィンドウの機能は、Windows 98/Me と Windows 2000/XP/Server 2003 で共通です。

各操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

■ メニューバー

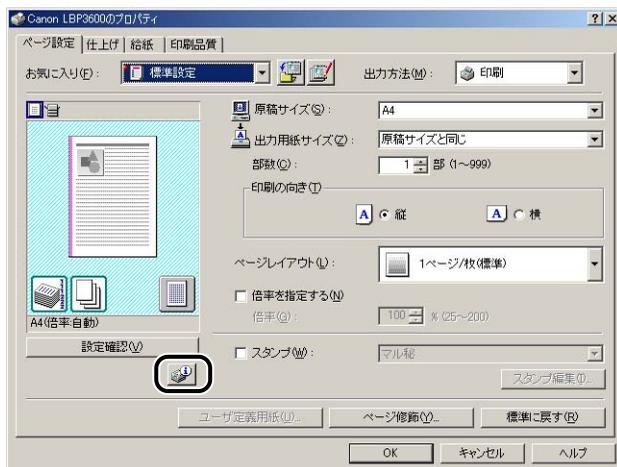
ジョブメニュー	印刷の一時停止／再開／中止を実行します。また、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、［エラー復帰］を選択すると、ジョブを再開することができます。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。
オプションメニュー	プリンタステータスウィンドウの環境の設定やプリンタの定着ローラなどのクリーニング、印字位置の調整などを行います。
ヘルプメニュー	オンラインヘルプを表示します。

■ その他の機能

アイコン	プリンタのステータスをアイコンで表示します。
メッセージ領域	プリンタのステータスを短文で表示します。
メッセージ領域（補助）	エラーが起きたときなど、補助情報を文字で表示します。
アニメーション領域	プリンタのステータスをグラフィックで表示します。背景色は、通常は青、何らかの操作が必要な場合はオレンジ、警告時は赤に変化します。
最新の情報に更新ボタン	プリンタのステータスを取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。
エラー復帰ボタン	印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。
印刷中ジョブタブ	プログレスバー： 印刷中ジョブの進行状況を、ページ数や背景色の変化で表します。 一時停止ボタン： ジョブを一時的に停止します。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名を表示します。
マイジョブの操作タブ	ジョブ状態メッセージ領域： ジョブの状態を表すメッセージが表示されます。 ジョブ操作ボタン： 印刷の一時停止／ 再開／中止を実行します。印刷中のジョブの操作権がない場合は、グレー表示になります。 ジョブ情報領域： ジョブに関するドキュメント名、ユーザ名、コンピュータ名、状態を表示します。
ステータスバー	プリンタの接続先（ローカルまたはネットワーク）を表示します。メニュー操作中は、メニュー操作の説明が表示されます。

プリンタステータスウィンドウの表示方法

プリンタステータスウィンドウの表示のしかたは、次の 2 通りあります。

- [プリンタプロパティ] ダイアログボックスの [ページ設定] ページなどにある [ ] (プリンタステータスウィンドウを表示する) をクリックして起動します。

- [プリンタプロパティ] ダイアログボックスの [デバイスの設定] ページにある [タスクバーにアイコンを表示する] にチェックマークを付けます。Windows のタスクバーにプリンタステータスウィンドウのアイコンが表示されますので、そのアイコンをクリックし、[Canon LBP3600] をクリックして起動します。

プリンタステータスウィンドウは、印刷中やエラー発生時などには自動的に表示されます。プリンタステータスウィンドウの [オプション] メニューの [環境設定] にある、[印刷開始時に表示] を選択していない場合は、印刷中には表示されません。

環境設定メニューについて

環境設定メニューでは、プリンタステータスウィンドウの自動表示、サウンドの設定、ステータスの監視などの設定ができます。

■ [プリンタステータスウィンドウの表示] グループ

- 印刷開始時に表示
  印刷が開始されたときに、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- エラー発生時のみ表示
  印刷中にエラーが発生したときだけ、自動的にプリンタステータスウィンドウが表示されます。
- 自動で表示しない
  プリンタステータスウィンドウを自動的には表示しません。

- 常に手前に表示する
  プリンタステータスウィンドウを常に最前面に表示します。

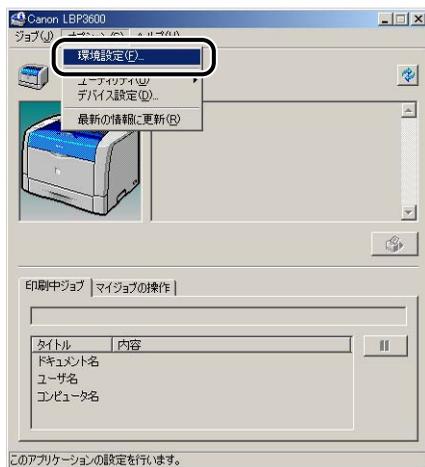
■［プリンタ状態の監視］グループ

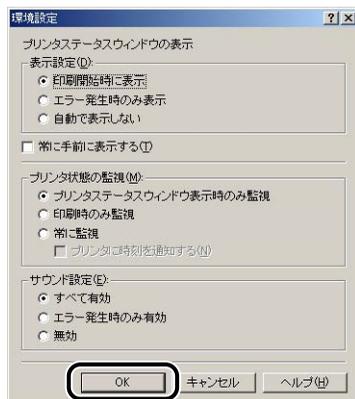
- プリンタステータスウィンドウ表示時のみ監視
  プリンタステータスウィンドウが表示されている間のみプリンタのステータスを監視します。
- 印刷時のみ監視
  印刷時のみプリンタのステータスを監視します。
- 常に監視
  常にプリンタのステータスを監視します。
- プリンタに時刻を通知する
  ［常に監視］を選択した場合、［プリンタに時刻を通知する］にチェックマークを付けると、お使いのコンピュータで設定されている時刻がプリンタに通知されます。オプションのネットワークボードが NTP サーバから時刻を取得できない場合にチェックマークを付けます。

■［サウンド設定］グループ

- すべて有効
  メッセージと共にサウンドが流れます。
- エラー発生時のみ有効
  エラー発生を通知するときのみサウンドが流れます。
- 無効
  サウンドは流れません。

---

1 ［オプション］メニューから［環境設定］を選択します。

［環境設定］ダイアログボックスが表示されます。

2 各設定を確認し、[OK] をクリックします。

メモ　プリンタステータスウィンドウの操作の詳細については、オンラインヘルプをご覧ください。

[ユーティリティ] メニューについて

[ユーティリティ] メニューでは、プリンタの定着ローラのクリーニングやプリンタステータスプリントなどを行います。

■ クリーニング 1

プリンタの定着ローラをクリーニングします。印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合に行ってください。詳しくは、「定着ローラを清掃する」(→P.6-20) を参照してください。

■ クリーニング 2

転写ローラと感光ドラムをクリーニングします。トナーカートリッジを交換したときや印刷した用紙の印字品質が低下している場合に行ってください。詳しくは、「転写ローラと感光ドラムを清掃する」(→P.6-25) を参照してください。

■ プリンタステータスプリント

プリンタのオプション設定や [オプション] メニューの [デバイス設定] の設定値、総プリントページ数などの現在のプリンタの情報が印刷されます。詳しくは、「プリンタの機能を確認したいときには」(→P.8-60) を参照してください。

■ ネットワークステータスプリント

オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が印刷されます。詳しくは、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

■ 印字位置調整プリント

［印字位置調整プリント］ダイアログボックスを表示します。［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで印字位置を確認したい給紙部を選択し、印字位置調整プリントを印刷して、印字位置を確認します。詳しくは、「印字位置を調整する」（➞P.6-27）を参照してください。

［デバイス設定］メニューについて

印刷中のフリッカ現象を軽減させる設定や印字位置がずれているときの調整など、プリンタのトラブルに対する設定を行います。

■ 両面特殊処理

両面印刷をした結果、紙づまりが頻繁に起こる場合は、この項目にチェックマークを付けます。ただし、通常の両面印刷よりも、印刷速度が遅くなります。

■ グラフィックス特殊処理

中間調の多い図形などのグラフィックデータを印刷したとき、画像部分に水玉模様（泡状）の跡が付く場合があります。そのような場合は、この項目にチェックマークを付けます。文字データを印刷したとき、文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が見受けられることがあります。そのような場合は、チェックマークを消します。

■ ちらつき軽減処理

印刷中に近くの蛍光灯やコンピュータ画面がちらつく現象（フリッカ現象）が発生する場合は、この項目にチェックマークを付けます。フリッカ現象を軽減することができます。

■ 低温定着モード

高湿度環境でプリンタを使用している場合、用紙の種類によっては、印刷した用紙がカールし、排紙時に紙づまりが頻繁に発生することがあります。そのような場合は、［給紙］ページの［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定して印刷してください。それでも、カールが目立つときは本項目を［モード 1］または［モード 2］に設定してください。

カールを低減するには、本項目と［用紙タイプ］の設定を以下のように組み合わせて印刷します。

○：用紙のカールが小さいときに設定します。
◎：用紙のカールが大きいときに設定します。

［低温定着モード］／［用紙タイプ］	［使わない］＊	［モード1］	［モード2］
［普通紙］＊	―	―	◎
［普通紙L］	○	◎	◎

＊：初期値

本項目を［モード 1］または［モード 2］に設定すると、低温度環境でプリンタを使用している場合、用紙の種類によっては、トナーがうまく定着せずに印字がかすれたりすることがあります。

■ 印字位置調整

［オプション］メニューの［ユーティリティ］にある［印字位置調整プリント］で出力した印字位置調整プリントで印字位置を確認し、この項目で印字位置（横位置）を調整します。詳しくは、「印字位置を調整する」（➞P.6-27）を参照してください。

［最新の情報に更新］について

［オプション］メニューから［最新の情報に更新］を選択すると、プリンタの最新の情報を取得し、プリンタステータスウィンドウの表示を更新します。

プリンタステータスウィンドウ上の［　］（最新の情報に更新）をクリックしても同様の操作ができます。

［エラー復帰］について

［ジョブ］メニューから［エラー復帰］を選択すると、印刷中に何らかの理由でジョブが停止した場合、ジョブを再開することができます。ただし、［エラー復帰］を選択して、ジョブを再開した場合、正しく印刷されないことがあります。以下の場合は［エラー復帰］の機能は使用できません。

- 紙づまりが起こった、用紙がなくなったなどのプリンタ本体の問題で印刷が停止している場合
- 他のユーザのジョブが停止している場合（ただし、コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリントサーバ上では［エラー復帰］の機能は使用可能）

プリンタステータスウィンドウ上の［　］（エラー復帰）をクリックしても同様の操作ができます。

プリンタステータスウィンドウに、「ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されている場合は、不要なファイルを削除してから、［エラー復帰］を選択してください。

プリントサーバを使用しているときの表示

ネットワークプリンタのステータスは、プリントサーバだけでなく、クライアントのプリンタステータスウィンドウにも表示されます。

また、プリンタステータスウィンドウの起動時にプリントサーバが立ち上がっていない場合は、プリントサーバが立ち上がると自動的に表示されます。

- プリントサーバのプリンタステータス

・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

［印刷中ジョブ］タブ		［マイジョブの操作］タブ		ジョブの動作
［ジョブ情報領域］	［一時停止］ボタン	［ジョブ情報領域］	［ジョブ操作］ボタン	
先頭のジョブが表示される	有効 *1	先頭のジョブが表示される *2	有効	一時停止：すべてのジョブが一時停止する 再開：すべてのジョブが再開する 印刷中止：先頭のジョブが中止される

*1：［一時停止］ボタンをクリックすると、［マイジョブの操作］タブに移動します。

*2：プリントサーバとなるコンピュータ上で印刷した場合は、そのジョブが表示されます。

・サウンドを流します。

・プリントサーバが Windows 2000/XP/Server 2003 の場合、誰もログオンしていないとステータスは表示されません。

• クライアントのプリンタステータス

・プリンタステータスウィンドウの表示とジョブの動作

［印刷中ジョブ］タブ		［マイジョブの操作］タブ		ジョブの動作
［ジョブ情報領域］	［一時停止］ボタン	［ジョブ情報領域］	［ジョブ操作］ボタン	
プリントサーバにある先頭のジョブが表示される	自分のジョブが［ジョブ情報領域］に表示されている場合：有効 * 他のユーザのジョブが［ジョブ情報領域］に表示されている場合：無効	自分のジョブの先頭のジョブが表示される	有効	一時停止：すべての自分のジョブが一時停止する 再開：すべての自分のジョブが再開する 印刷中止：自分の先頭のジョブが中止される

*：［一時停止］ボタンをクリックすると、［マイジョブの操作］タブに移動します。

・［エラー復帰］ボタンは他のユーザのジョブが停止している場合、使用できません。

・プログレスバーは他のユーザのジョブが印刷されている場合、グレー表示になります。

・ユーザが一致するクライアントのみ、サウンドを流します。

メモ　ネットワーク印刷時のステータス表示を行うには、TCP/IP プロトコルが使用できる環境が必要です。

Macintoshから印刷するには

5
CHAPTER

この章では、Macintoshにプリンタドライバをインストールする手順、および印刷する方法について説明しています。

印刷するときに必要な作業 5-2
プリンタを設置したあとに行う作業 5-2
印刷のたびに行う作業 5-2
必要なシステム環境 5-2
CAPT ソフトウェアをインストールする 5-4
Mac OS 8/9の場合 5-4
Mac OS Xの場合 5-7
印刷先を設定する 5-11
Mac OS 8/9の場合 5-11
Mac OS Xの場合 5-12
CAPT ソフトウェアの削除 5-15
Mac OS 8/9の場合 5-15
Mac OS Xの場合 5-17
アプリケーションソフトから印刷する 5-21
Mac OS 8/9の場合 5-21
Mac OS Xの場合 5-24
オンラインマニュアルを表示する 5-27
Mac OS 8/9の場合 5-27
Mac OS Xの場合 5-28
プリンタドライバヘルプを表示する 5-30

印刷するときに必要な作業

プリンタを設置したあとに行う作業

プリンタを設置したあとに行う作業は、次のとおりです。

■ プリンタドライバをインストールする（→P.5-4）

プリンタドライバは、アプリケーションソフトから印刷するときに必要なソフトウェアです。プリンタドライバで、印刷に関する設定を行います。プリンタに発生したエラーや、プリンタに関する情報を取得するためのソフトウェア「プリントモニタ」もインストールされます。

また、必要なソフトウェアだけを選択して、カスタムインストールができます。

印刷のたびに行う作業

印刷のたびに行う作業は、次のとおりです。

■ 印刷先を設定する（→P.5-11）

アプリケーションソフトから印刷する前に、印刷するプリンタを登録する必要があります。

■ 印刷する（→P.5-21）

アプリケーションソフトから、プリンタドライバを使用して印刷を行います。

この操作は、アプリケーションソフトごとに異なりますので、各アプリケーションソフトに付属の取扱説明書を参照してください。

必要なシステム環境

Macintosh 用プリンタドライバを利用するには、次のシステム環境が必要です。

■ OS ソフトウェア環境

- Mac OS 8/9
- Mac OS X（ネイティブ）

メモ

- OSソフトウェア環境の詳細については、付属のCD-ROMの以下のフォルダに収録されている「お読みください」を参照してください。
  - ・Mac OS 8/9：[プリンタドライバ MacOS8_9] フォルダ
  - ・Mac OS X：[プリンタドライバ MacOSX] フォルダ
- 最新のプリンタドライバは、キヤノンホームページより入手することができます。
- Mac OS X の Classic 環境には対応していません。
- 日本語版以外の Mac OS には対応していません。

■ インタフェース環境

- USB：USB 2.0 High-Speed（Mac OS X 10.3.3 以降のみ）/USB Full-Speed（USB1.1 相当）

■ 動作コンピュータ環境

- USB ポートを標準で搭載する機種

■ ハードディスク / メモリ

- 上記 OS が十分に動作する容量

CAPT ソフトウェアをインストールする

本プリンタを使用するときには、CAPT ソフトウェアのインストールが必要です。以下の手順に従って、インストールしてください。

Mac OS 8/9 の場合

CAPT ソフトウェアをインストールし、Macintosh と本プリンタを USB ケーブルで接続します。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ
- プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属の CD-ROM に収録されている［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダ内の「お読みください」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、Macintosh を購入された販売店にお問い合わせください。

---

1 **Mac OS 9 以降でマルチユーザ機能をご利用の場合は、「所有者」ユーザでログインします。**

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 **付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

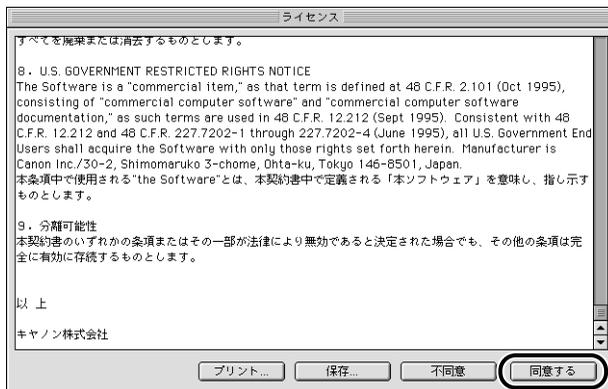
3 **CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、［プリンタドライバ MacOS8_9］フォルダを開きます。**

4 **［CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。**

［ライセンス］ダイアログが表示されます。

5

Macintoshから印刷するには

5 内容を確認し、［同意する］をクリックします。

［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

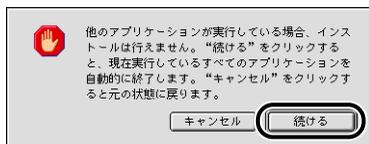
メモ
- ［プリント］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- ［保存］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

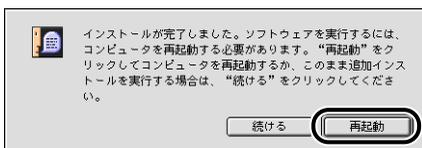
6 プルダウンメニューから［簡易インストール］を選択して、［インストール］をクリックします。

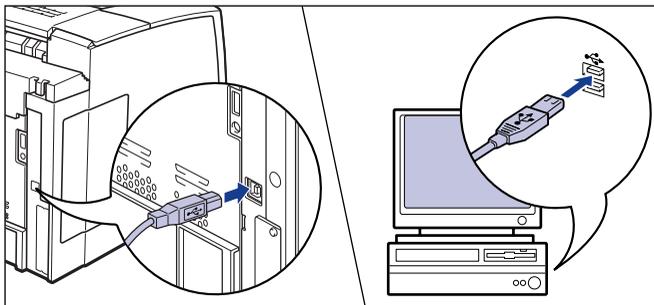
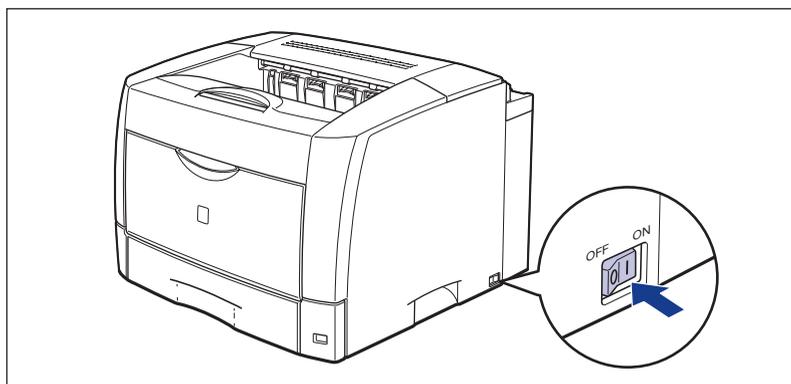
メモ
［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

7 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ
- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。

- ユーティリティソフトウェアの「プリントモニタ」も、同時にインストールされます。

8 インストール完了のメッセージが表示されますので、［再起動］をクリックします。

Macintosh が再起動します。

9 Macintosh の起動後、Macintosh とプリンタを USB ケーブルで接続します。

10 プリンタの電源スイッチの“I”側を押し、プリンタの電源をオンにします。

メモ

- プリンタドライバの使用方法については「オンラインマニュアル」を参照してください。（➞ オンラインマニュアルを表示する：P.5-27）
設定項目の詳細については、「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。（➞ プリンタドライバヘルプを表示する：P.5-30）
- Mac OS 8/9 用プリンタドライバについてのご質問は、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

インストールが完了しました。

Mac OS X の場合

CAPT ソフトウェアをインストールし、Macintosh と本プリンタを USB ケーブルで接続します。

重要　インストール前に、他のアプリケーションソフトウェアをすべて終了してください。

メモ

- プリンタドライバをインストールする前には、必ず付属のCD-ROMに収録されている［プリンタドライバ MacOSX］フォルダ内の、「お読みください」を参照してください。
- 本プリンタには USB ケーブルは付属していません。お使いのコンピュータに合わせてご用意ください。お使いのコンピュータに対応した USB ケーブルがおわかりにならない場合は、 Macintosh を購入された販売店にお問い合わせください。

1　マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2　付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

3　CD-ROMのアイコンをダブルクリックし、［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

4　［CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。

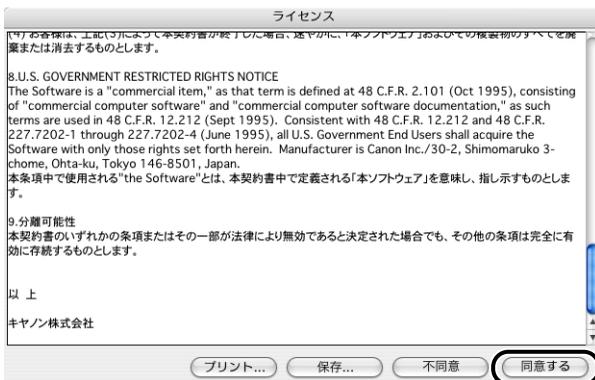
［認証］ダイアログが表示されます。

メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 6 へ進んでください。

5 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［ライセンス］ダイアログが表示されます。

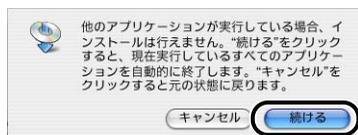
メモ　ここで入力する［名前］と［パスワード］は Mac OS で設定したものです。

6 内容を確認し、［同意する］をクリックします。

［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

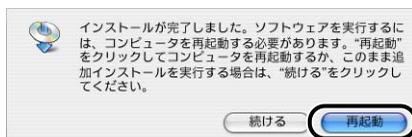
メモ
- ［プリント］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書を印刷します。
- ［保存］をクリックすると、ソフトウェア使用許諾契約書をテキスト形式で保存します。

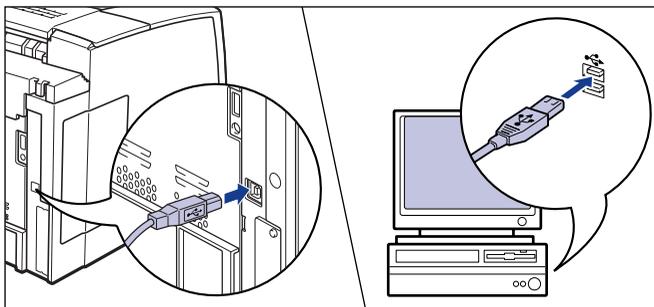
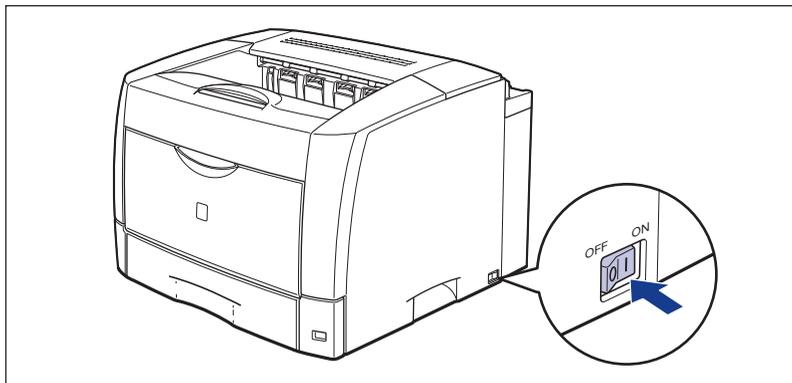
7 プルダウンメニューから［簡易インストール］を選択して、［インストール］をクリックします。

メモ　［カスタムインストール］を選択すると、インストールする項目を選択できます。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

インストールが開始されます。

メモ
- ［キャンセル］をクリックするとインストールを中止します。
- ユーティリティソフトウェアの「プリントモニタ」も、同時にインストールされます。

9 インストール完了のメッセージが表示されますので、［再起動］をクリックします。

Macintosh が再起動します。

10 Macintosh の起動後、Macintosh とプリンタをUSB ケーブルで接続します。

11 プリンタの電源スイッチの“ I ”側を押し、プリンタの電源をオンにします。

メモ

- プリンタドライバの使用方法については「オンラインマニュアル」を参照してください。（→ オンラインマニュアルを表示する：P.5-27）
  設定項目の詳細については、「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。（→ プリンタドライバヘルプを表示する：P.5-30）
- Mac OS X 用プリンタドライバについてのご質問は、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

インストールが完了しました。

印刷先を設定する

プリンタドライバをインストールしたら、印刷先を設定します。

印刷先を設定するには、本プリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続し、プリンタの電源をオンにしておいてください。

Mac OS 8/9 の場合

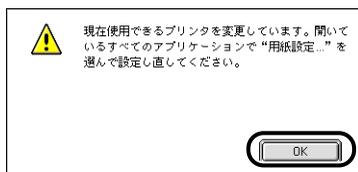
1 アップルメニューから［セレクタ］を選択します。

2 ［CAPT Printer］をクリックし、［出力先の選択］のリストから［LBP3600］を選択します。

メモ

- ［出力先の選択］のリストにプリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。
- ［オ プション］をクリックすると、お使いのプリンタの解像度（アプリケーションの解像度）を設定できます。

3 ［セレクタ］を閉じます。

4 ［OK］をクリックします。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

Mac OS X の場合

1 お使いのハードディスク →［アプリケーション］（[Applications]）→［ユーティリティ］（［Utilities］）フォルダにある［プリントセンター］（[Print Center]）アイコンをダブルクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログが表示されます。

メモ　Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合は、［ユーティリティ］フォルダにある［プリンタ設定ユーティリティ］アイコンをダブルクリックするか、［システム環境設定］の［プリントとファクス］アイコンをクリックし、［プリンタを設定］をクリックしてください。

2 ［プリンタリスト］に［LBP3600］が表示されている場合は、プリンタの準備は終了ですので［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。［LBP3600］が表示されていない場合は、手順 3 に進んでください。

重要　以下の条件を満たしている場合は、プリンタが［プリンタリスト］ダイアログに自動的に追加されます。ただし、Mac OS X 10.3 以降では自動的に追加されない場合がありますので、その場合、［プリンタ設定ユーティリティ］からプリンタを登録してください。

- ・プリンタドライバがインストールされている
- ・プリンタとコンピュータが接続されている
- ・プリンタの電源がオンになっている

3 ［追加］（［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ　［プリンタリスト］ダイアログの画面は、Mac OS X のバージョンによって異なります。

4 ［USB］を選択します。

5 プリンタリストの一覧から［LBP3600］を選択し、［追加］をクリックします。

［プリンタリスト］ダイアログに戻ります。

メモ　プリンタ名が表示されないときは、本プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているか、プリンタの電源がオンになっているかを確認してください。

6 ［LBP3600］が表示されていることを確認し、［プリンタリスト］ダイアログを閉じます。

以上で Macintosh から印刷する準備が終了しました。

CAPT ソフトウェアの削除

プリンタドライバが不要になった場合は、以下の手順でアンインストールを行います。

Mac OS 8/9 の場合

1 **Mac OS 9 以降でマルチユーザ機能をご利用の場合は、「所有者」ユーザでログインします。**

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 **すべてのアプリケーションソフトを終了します。**

3 **付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

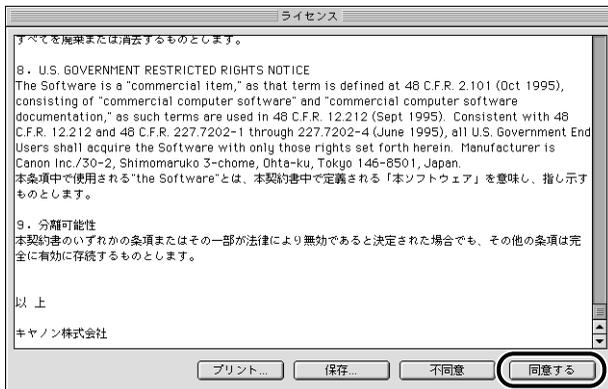
4 **CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOS8_9] フォルダを開きます。**

5 **[CAPT Installer] アイコンをダブルクリックします。**

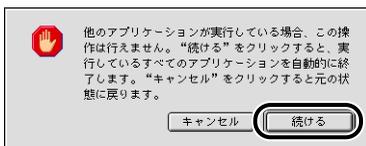
[ライセンス] ダイアログが表示されます。

5

Macintoshから印刷するには

6 内容を確認し、［同意する］をクリックします。

［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

7 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

8 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

9 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。

[CAPT Installer] ダイアログに戻ります。

10 [終了] をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

Mac OS X の場合

1 マルチユーザ機能をご利用の場合は、「管理者」ユーザでログインします。

マルチユーザ機能をご利用でない場合は次の手順に進みます。

2 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

3 付属の CD-ROM 「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

4 CD-ROMのアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOSX] フォルダを開きます。

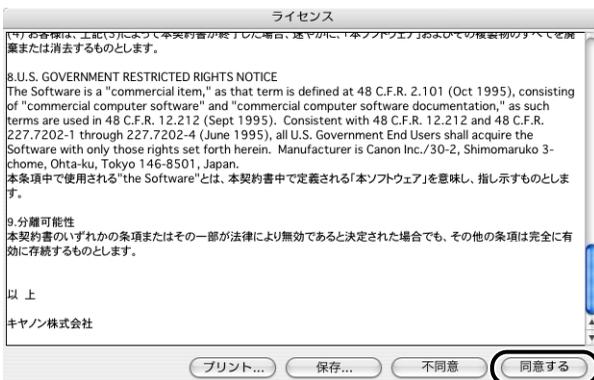
5 ［CAPT Installer］アイコンをダブルクリックします。

［認証］ダイアログが表示されます。

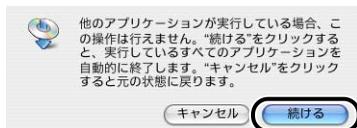
メモ　お使いの環境によっては、［認証］ダイアログが表示されない場合があります。その場合は、手順 7 へ進んでください。

6 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

［ライセンス］ダイアログが表示されます。

7 内容を確認し、［同意する］をクリックします。

［CAPT Installer］ダイアログが表示されます。

8 プルダウンメニューから［アンインストール］を選択し、［アンインストール］をクリックします。

9 メッセージが表示されたら、［続ける］をクリックします。

アンインストールが開始されます。

10 アンインストール完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。

［CAPT Installer］ダイアログに戻ります。

11 ［終了］をクリックします。

メモ

アンインストールしても、[プリンタリスト]に本プリンタが登録されています。[プリンタリスト]から本プリンタを削除してください。[プリンタリスト]は以下の手順で表示できます。

- Mac OS X 10.2.8 以前をお使いの場合：お使いのハードディスク ➞ [アプリケーション]([Applications]) ➞ [ユーティリティ]([Utilities]) フォルダにある [プリントセンター]([Print Center]) アイコンをダブルクリックします。
- Mac OS X 10.3 以降をお使いの場合：お使いのハードディスク ➞ [アプリケーション] ➞ [ユーティリティ] フォルダにある [プリンタ設定ユーティリティ] アイコンをダブルクリックするか、[システム環境設定] の [プリントとファクス] アイコンをクリックし、[プリンタを設定] をクリックしてください。

プリンタドライバのアンインストールが終了しました。

アプリケーションソフトから印刷する

ここでは、Adobe Acrobat Reader を例に、アプリケーションソフトから印刷する手順を簡単に説明します。

Mac OS 8/9 と Mac OS X で手順が異なります。

Mac OS 8/9 の場合

1 Adobe Acrobat Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。

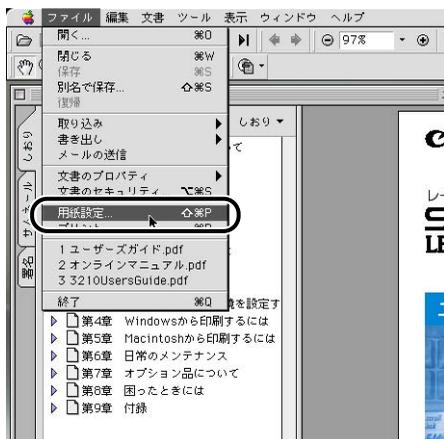
2 ［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。

［用紙設定］ダイアログが表示されます。

3 ［ページ属性］が選択されていることを確認して、原稿サイズ、印刷の向き、倍率を設定します。

4 ［用紙設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

5 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

メモ　［プリント］ダイアログは、お使いのアプリケーションソフトによって表示が異なる場合があります。

6 ［プリンタ］に［LBP3600］が表示されていることを確認します。

7 ページ範囲、部数などを設定して、［プリント］をクリックします。

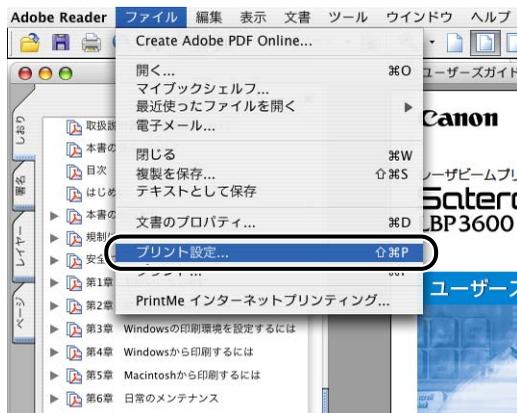
印刷が開始されます。

メモ

- プリンタドライバの使用方法については「オンラインマニュアル」を参照してください。（→ オンラインマニュアルを表示する：P.5-27）
  設定項目の詳細については、「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。（→ プリンタドライバヘルプを表示する：P.5-30）
- 印刷を途中でキャンセルしたときは、プリンタにデータが残ることがあります。このような場合、次の印刷を行う前にプリンタの電源を入れなおし、Macintoshの再起動を行ってください。

Mac OS X の場合

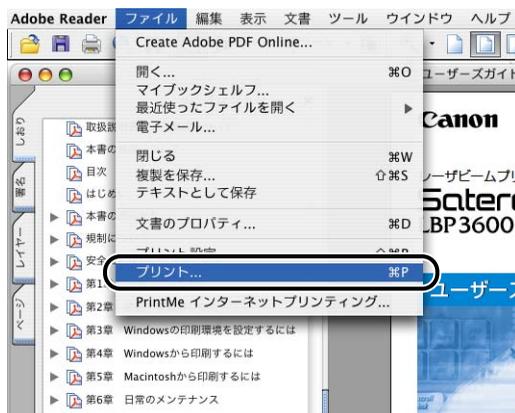
1 Acrobat Reader を起動して、印刷する原稿を表示します。

2 ［ファイル］メニューから［ページ設定］（または［プリント設定］）を選択します。

［ページ設定］ダイアログが表示されます。

3 ［設定］で［ページ属性］が選択されていることを確認して、［対象プリンタ］（または［フォーマット］）から［LBP3600］を選択します。

4 用紙サイズ、印刷方向、拡大縮小率を設定します。

5 ［ページ設定］ダイアログの［OK］をクリックします。

6 ［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。

［プリント］ダイアログが表示されます。

7 ［プリンタ］から［LBP3600］を選択します。

8 ページ範囲、部数などを設定したあと、［プリント］をクリックします。

印刷が開始されます。

メモ

- お使いのプリンタが表示されない場合は、［プリンタリストを編集］を選択して、［プリントセンター］（［Print Center］）／［プリンタ設定ユーティリティ］のプリンタリストでご使用のプリンタを追加してください。

- プリンタドライバの使用方法については「オンラインマニュアル」を参照してください。(→ オンラインマニュアルを表示する：P.5-27)
設定項目の詳細については、「プリンタドライバヘルプ」を参照してください。(→ プリンタドライバヘルプを表示する：P.5-30)
- 印刷処理中は、CAPT Gauge が表示され、印刷状況を確認することができます。CAPT Gauge を表示させたくないときは、[プリント] ダイアログの [特別処理] パネルで、[印刷ジョブの進行状況を表示する] のチェックマークを消します。
- 印刷を途中でキャンセルしたときは、プリンタにデータが残ることがあります。このような場合、次の印刷を行う前にプリンタの電源を入れなおし、Macintosh の再起動を行ってください。

オンラインマニュアルを表示する

プリンタドライバの使用方法については、オンラインマニュアルを参照してください。
オンラインマニュアルは、次の手順で表示できます。

メモ　オンラインマニュアルを表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader がインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

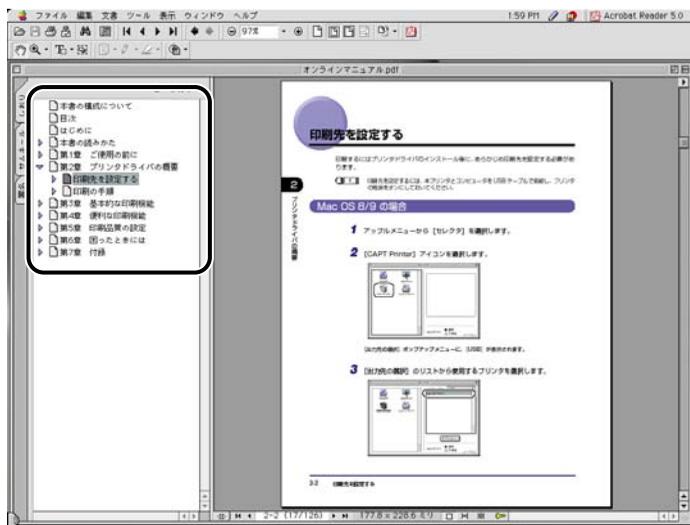
Mac OS 8/9 の場合

1 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、[プリンタドライバ MacOS8_9] フォルダを開きます。

3 [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックします。

オンラインマニュアルが起動します。

4 ［しおり］から参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

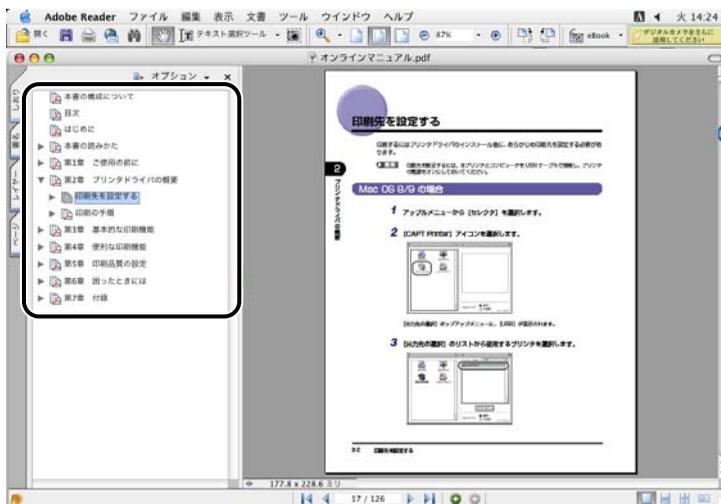
Mac OS X の場合

1 付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。

2 CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、［プリンタドライバ MacOSX］フォルダを開きます。

3 ［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックします。

オンラインマニュアルが起動します。

4 ［しおり］から参照するトピックを選択します。

選択したトピックに関する説明が、画面に表示されます。

プリンタドライバヘルプを表示する

プリンタドライバの設定項目の詳細については、プリンタドライバヘルプを参照してください。プリンタドライバヘルプは、以下のように表示できます。

ここでは Mac OS X の画面例で説明します。

1 ダイアログ内の［?］をクリックします。

2 各ダイアログのヘルプが表示されます。

日常のメンテナンス

この章では、トナーカートリッジの交換や清掃のしかたなど、メンテナンスのしかたについて説明しています。

トナーカートリッジを交換する 6-2
- メッセージが表示されたときは 6-2
- トナーを使い切るには 6-3
- トナーカートリッジの交換 6-8
- 使用済みトナーカートリッジ回収のお願い 6-17
- トナーカートリッジの取り扱いのご注意 6-17
- トナーカートリッジの保管について 6-19

定着ローラを清掃する 6-20

転写ローラと感光ドラムを清掃する 6-25

印字位置を調整する 6-27
- 印字位置の確認 6-27
- 印字位置の調整 6-29

プリンタを清掃する 6-34

プリンタを移動する 6-36

プリンタの取り扱いについて 6-44
- プリンタの取り扱いのご注意 6-44
- プリンタ保管時のご注意 6-45

トナーカートリッジを交換する

トナーカートリッジの交換方法や取り扱い、保管時のご注意について説明しています。

メッセージが表示されたときは

トナーカートリッジは消耗品です。トナーカートリッジが寿命に近づくと、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されますので、メッセージに応じて対処してください。

メッセージ	表示される時期	内容および対処
・Windowsの場合 トナーカートリッジの交換時期が近づいています。 ・Macintoshの場合 ブラックのトナーの残量が少なくなりました。	トナーカートリッジの交換時期が近づいたとき	・印刷は継続できます ・新品のトナーカートリッジを用意してください ・大量の印刷をするときは、トナーカートリッジを交換することをおすすめします

重要　印字がかすれたり、印字むらが出るときは、メッセージが表示されなくても、トナーカートリッジの寿命がきていることが原因です。印字品質が低下したら、そのまま使い続けずに新品のトナーカートリッジと交換してください。

メモ　本プリンタ用 トナーカートリッジ（EP-66 Cartridge）の寿命は、A4 サイズを横置きにセットした用紙の場合で約 10,000 枚です。この枚数は一般的な印刷（印字比率：約5%、印字濃度：工場出荷初期設定値）の場合です。トナーの消費量は、印刷する書類の内容によって異なります。図・表・グラフなどのように空白部分が少ない書類はトナー消費量が多くなるので、このような書類を多く印刷する場合はトナーカートリッジの寿命が短くなります。

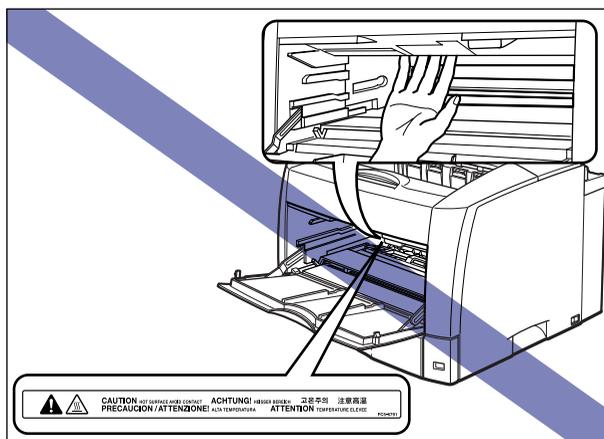
トナーを使い切るには

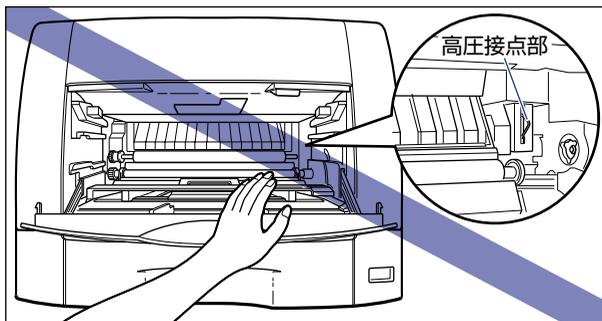
メッセージが表示されたときは、トナーカートリッジを交換する前に次のような操作をしてみてください。メッセージが消え、トナーが完全になくなるまで、しばらくの間印刷できることがあります。

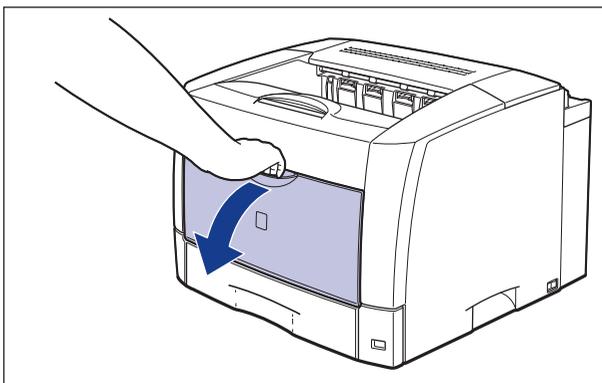
警告

- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

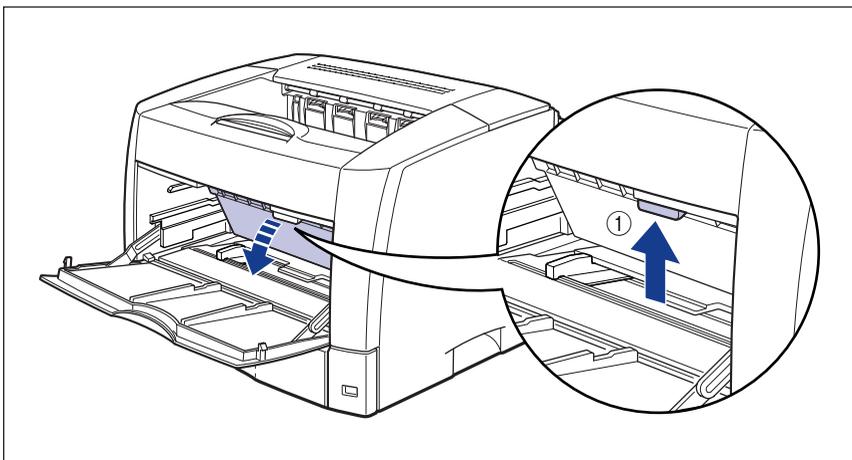
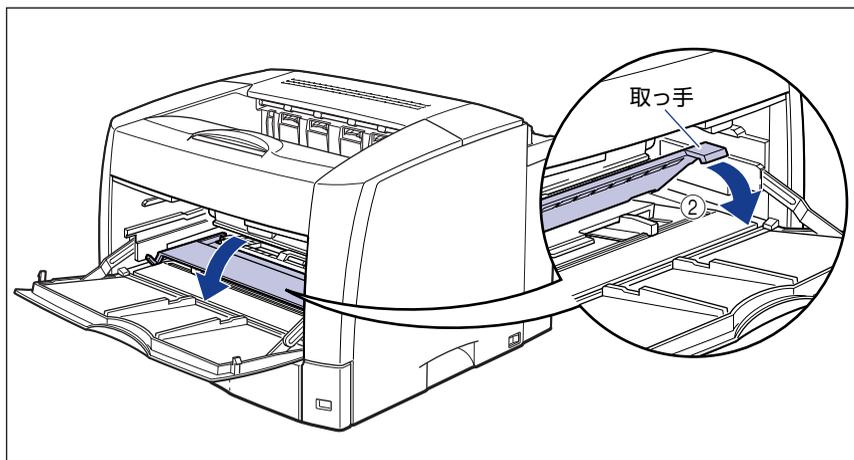
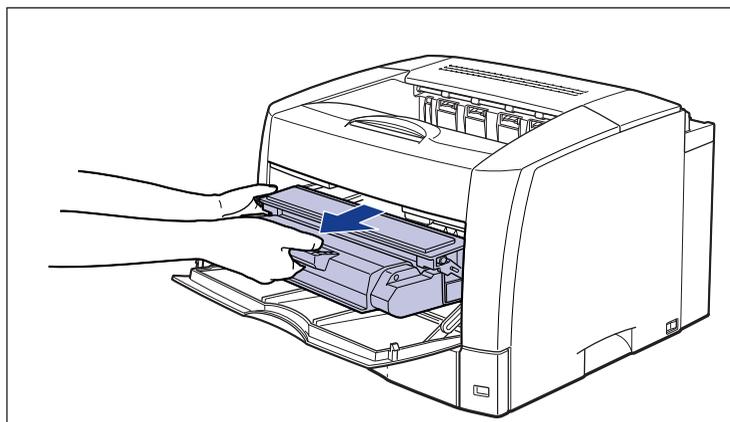
注意

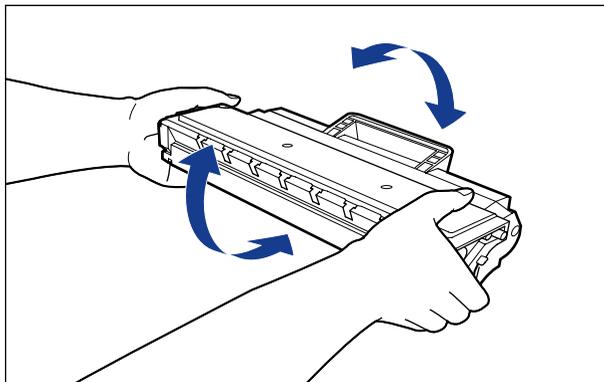
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。 やけどの原因になることがあります。

重要

トナーカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

1 手差しトレイを開けます。

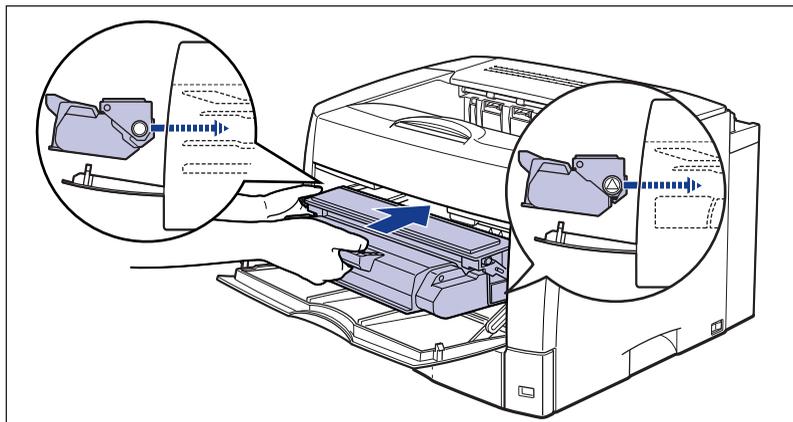
手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

メモ　手差しトレイを使用している場合は、セットしている用紙を取り除きます。

2 トナーカバーを開けます。

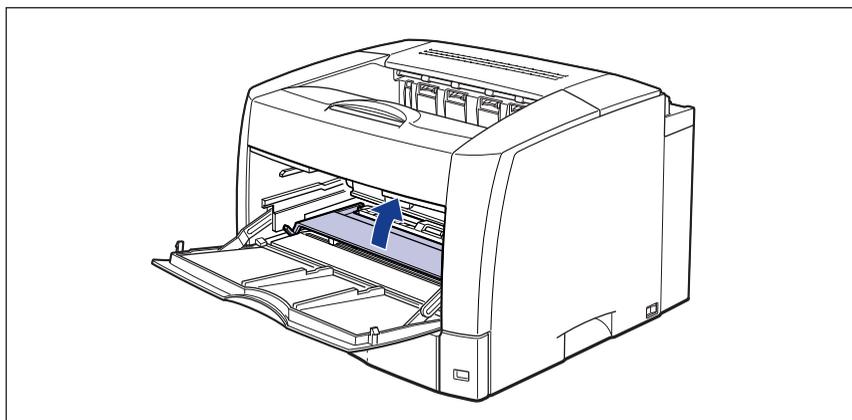
図のように緑色のトナーカバーオープンボタンを押します ①。

トナーカバーは、緑色の取っ手を持って、カチッと音がするまでしっかりと開けます ②。

3 **トナーカートリッジの取っ手を持って途中まで取り出し、途中から図のように両手で取り出します。**

4 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

トナーがこぼれないように振ってください。

重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないと、トナーがこぼれることがあります。

5 トナーカートリッジを図のように持ち、本体に取り付けます。

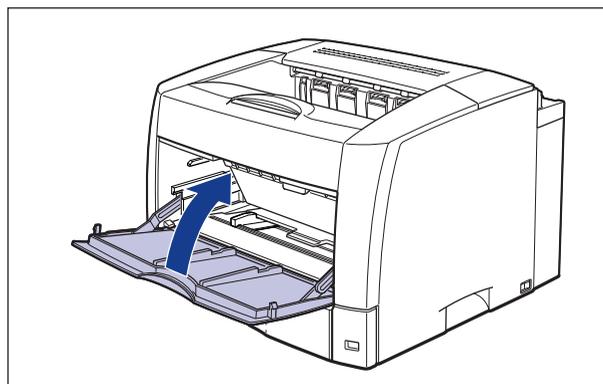
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。

重要
トナーカートリッジを挿入するときは、トナーカバーを完全に開けてから挿入してください。トナーカバーを途中までしか開けていない状態で、トナーカートリッジを挿入することはできません。

6 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーの中央部を持って、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

7 手差しトレイを閉めます。

重要

手差しトレイが閉まらないときは、トナーカバーが完全に閉まっているかどうかを確認してください。無理に手差しトレイを閉めると故障の原因になります。

上記のような操作をしてもメッセージが消えなかったり、印刷がかすれるときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

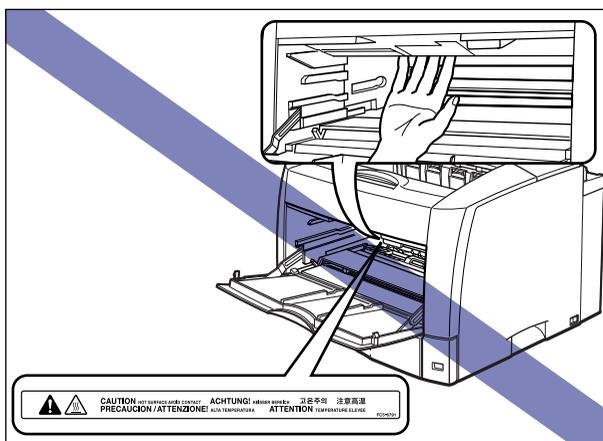
トナーカートリッジの交換

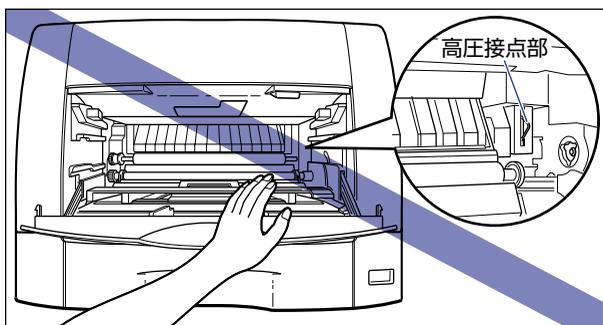
次の手順で搬送ローラ付近の清掃をしたあと、新しいトナーカートリッジと交換してください。

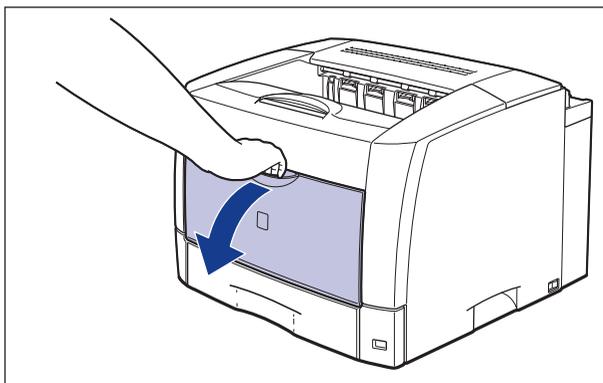
警告

- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

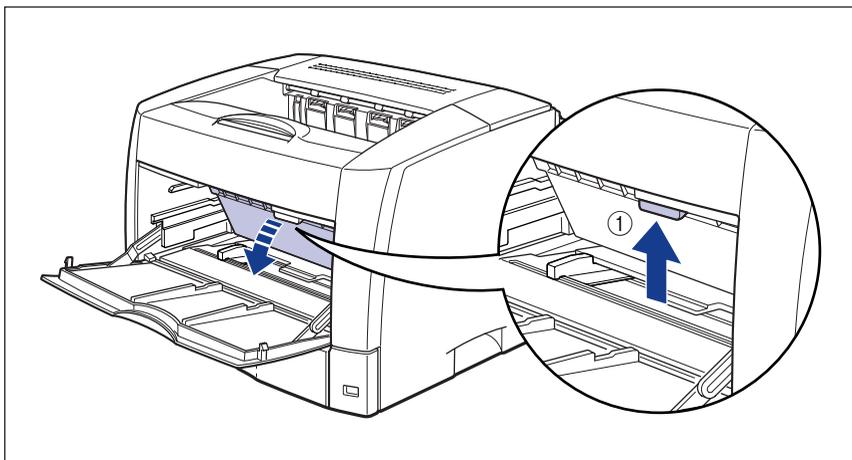
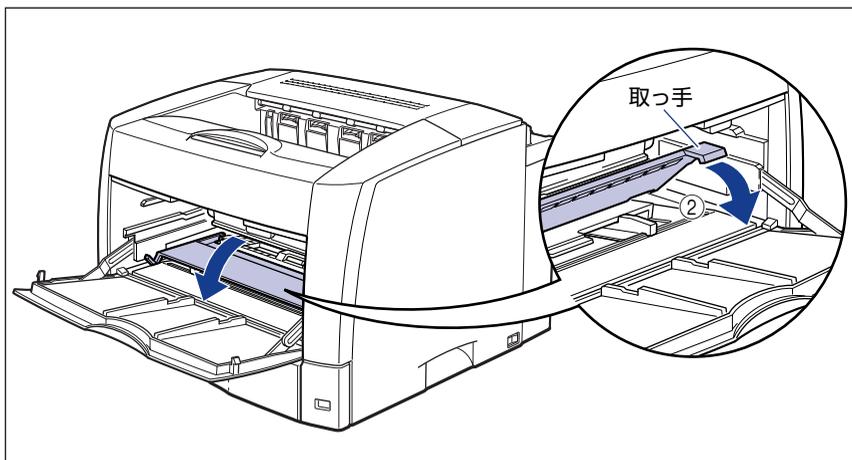
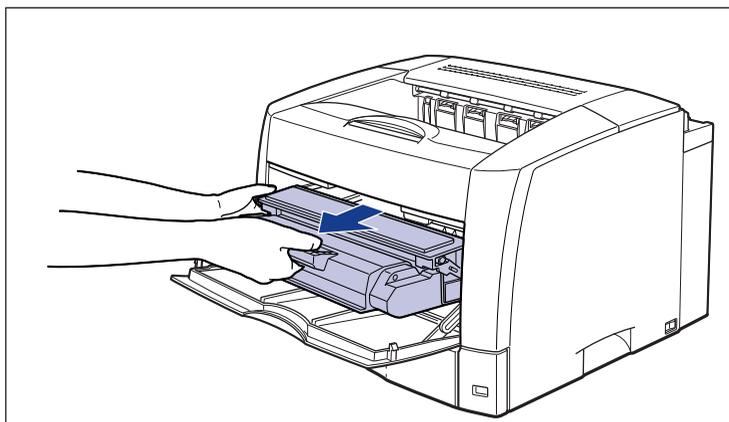
注意

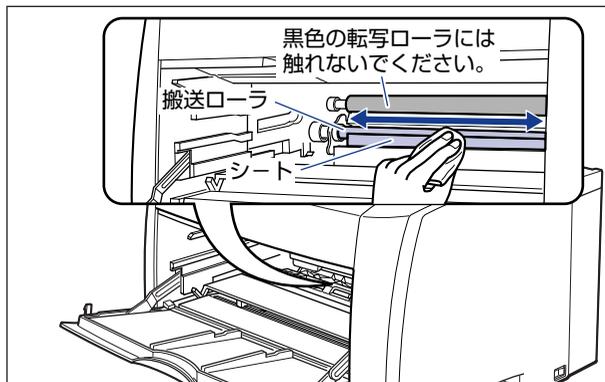
- トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- プリンタ使用中は定着器周辺が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になることがあります。

重要

- 必ず本プリンタ専用のトナーカートリッジを使用してください。
- トナーカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

1 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

メモ　手差しトレイを使用している場合は、セットしている用紙を取り除きます。

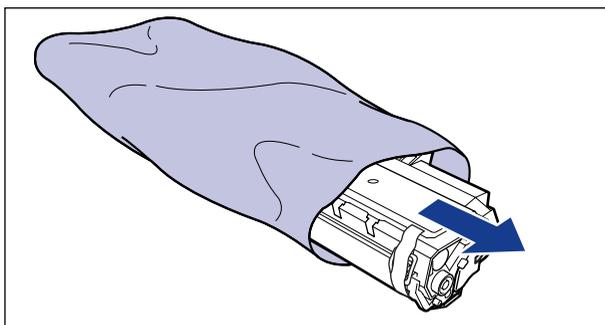
2 トナーカバーを開けます。

図のように緑色のトナーカバーオープンボタンを押します ①。

トナーカバーは、緑色の取っ手を持って、カチッと音がするまでしっかりと開けます ②。

3 **トナーカートリッジの取っ手を持って途中まで取り出し、途中から図のように両手で取り出します。**

4 水を含ませて固く絞った布で、透明のシートと銀色の搬送ローラ付近に付いている紙粉やトナーをふき取ります。

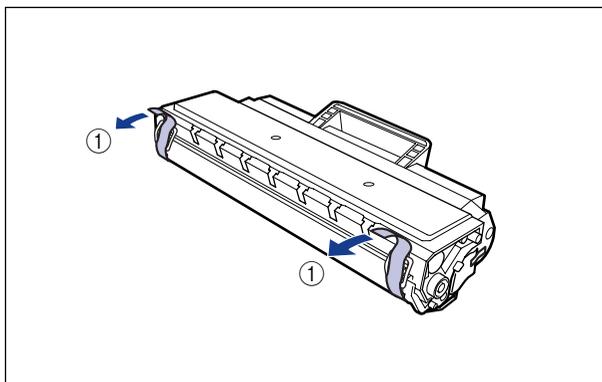
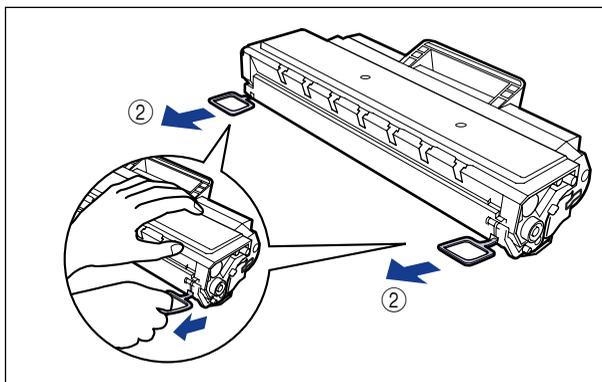
ふき取ったら、乾いたやわらかい布でからぶきしてください。

警告 清掃のときは、必ず水を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

重要
- 黒色の転写ローラには触れないでください。印字品質が低下することがあります。
- 透明のシートは、無理にめくったり傷つけたりしないようにしてください。
- 中性洗剤などのクリーニング溶液は、絶対に使用しないでください。
- 透明のシートや搬送ローラに水分や紙粉が残らないようにしてください。
- 必ず最後にからぶきしてください。内部に水分が残ると、故障の原因になります。
- 搬送ローラには、素手で触れないでください。給紙不良の原因になります。

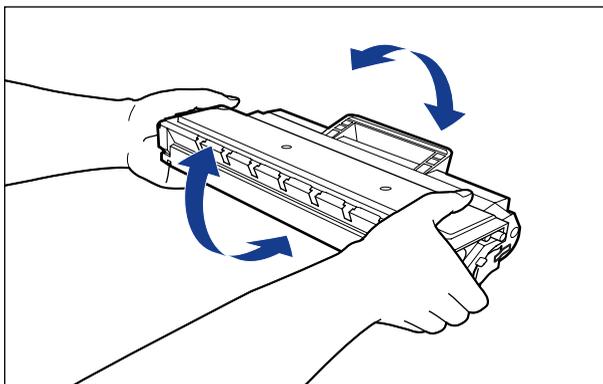
5 新しいトナーカートリッジを保護袋から取り出します。

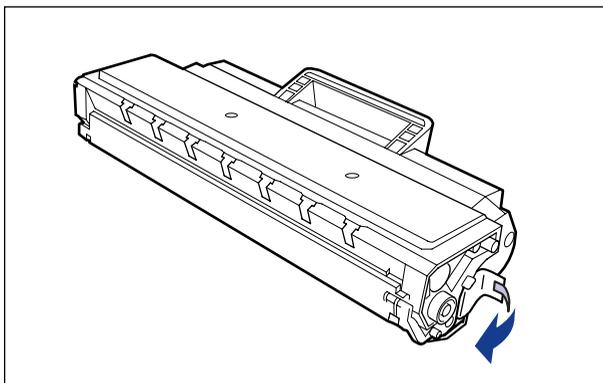
保護袋はトナーカートリッジを傷つけないように、はさみなどで切って開けます。

重要 トナーカートリッジが入っていた保護袋は、捨てずに保管しておいてください。プリンタのメンテナンスなど、トナーカートリッジを取り出すときに必要になります。

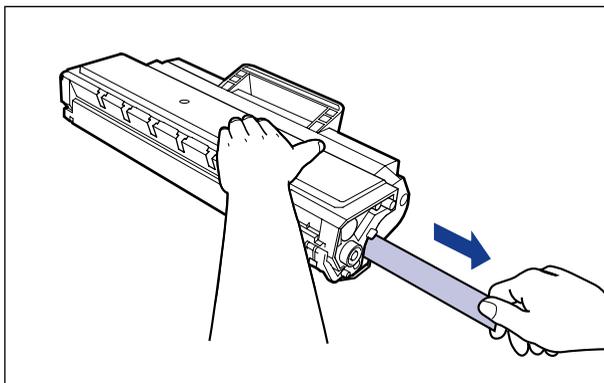
6 トナーカートリッジに付いているテープと梱包材を取り外します。

梱包材を止めているテープを取り外します ①。

梱包材は、タブに指をかけ、まっすぐ引いて外します ②。

重要

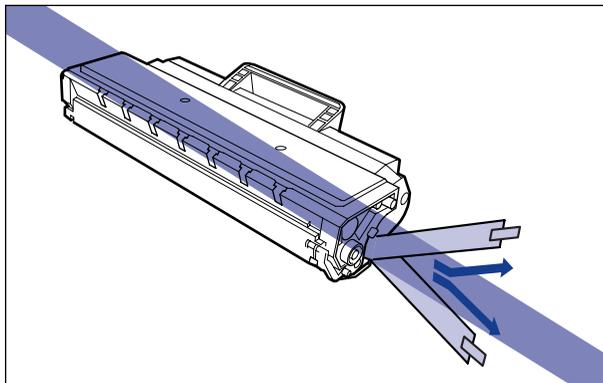
- トナーカートリッジ内部の感光ドラムには絶対に触れないでください。手で触れたり、傷をつけたりすると、印字品質低下の原因になります。
- 取り外した梱包材は、地域の条例にしたがって処分してください。

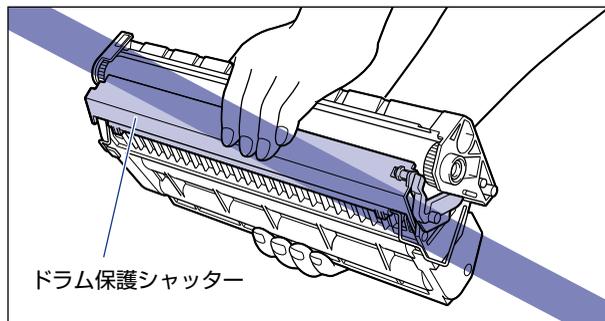
7 トナーカートリッジを図のように持ち、ゆっくりと５～６回振って、内部のトナーを均一にならします。

重要
- トナーが均一になっていないと、印字品質が低下します。この操作は必ず行ってください。
- トナーカートリッジはゆっくり振ってください。ゆっくり振らないと、トナーがこぼれることがあります。

8 トナーカートリッジを平らな場所に置き、シーリングテープを止めているテープを取り外します。

9 トナーカートリッジを押さえながらシーリングテープ(長さ約70cm)をゆっくりと引き抜きます。

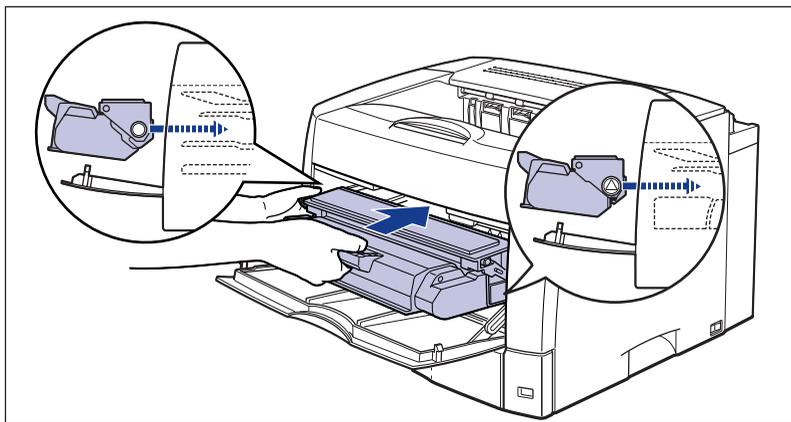
シーリングテープを引き抜くときは、シーリングテープの端を持って、矢印の方向にまっすぐ引き抜きます。

⚠注意 シーリングテープを勢いよく引き抜いたり、途中で止めたりするとトナーが飛び散ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要

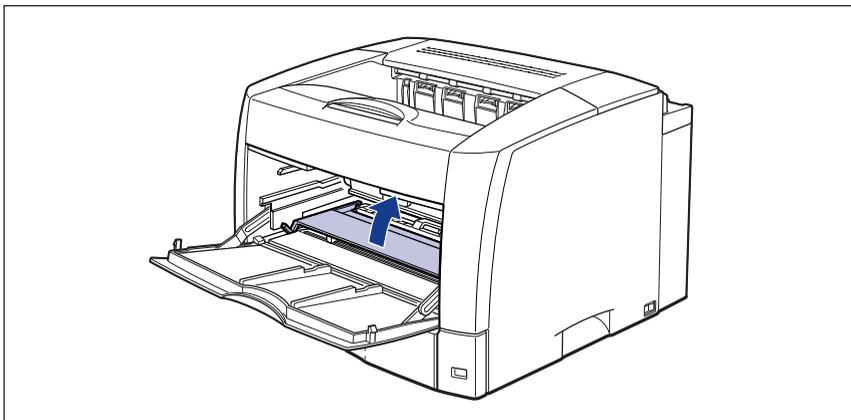
- 曲げて引いたり、上向きや下向きに引っ張らないでください。シーリングテープが途中で切れ、完全に引き抜けなくなることがあります。

- シーリングテープは最後まで完全に引き抜いてください。シーリングテープがトナーカートリッジ内に残っていると、印字不良の原因になります。

- シーリングテープを引き抜くときは、ドラム保護シャッターを手で押さえつけないように気を付けて作業を行ってください。

- 引き抜いたシーリングテープは、 地域の条例にしたがって処分してください。

10 トナーカートリッジを図のように持ち、本体に取り付けます。

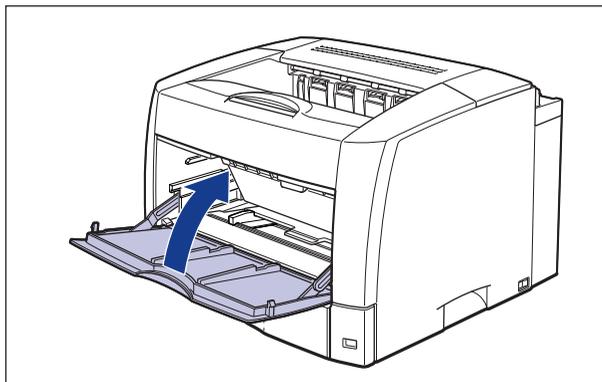
トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。

重要　トナーカートリッジを挿入するときは、トナーカバーを完全に開けてから挿入してください。トナーカバーを途中までしか開けていない状態で、トナーカートリッジを挿入することはできません。

11 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーの中央部を持って、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

12 手差しトレイを閉めます。

重要

手差しトレイが閉まらないときは、トナーカバーが完全に閉まっているかどうかを確認してください。無理に手差しトレイを閉めると故障の原因になります。

使用済みトナーカートリッジ回収のお願い

キヤノンでは地球環境保全と資源の有効活用を目的といたしまして、使用済みカートリッジの回収を行っております。
この回収活動は、お客さまのご協力によって成り立っております。
キヤノンによる”環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、使用済みカートリッジを下記の方法でご返却いただきますようご協力をお願いいたします。

※回収窓口へお持ち込みの場合
　キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

※回収専用箱による宅配便利用の場合
　使用済みトナーカートリッジの数が多いお客さまには、回収専用箱をご用意させていただいております。

回収窓口の検索および回収専用箱のご注文方法につきましては下記キヤノンホームページをご覧ください。

キヤノンサポートページ　**canon.jp/support**

トナーカートリッジの取り扱いのご注意

トナーカートリッジは、光に敏感な部品や精密な機構の部品で構成されています。粗雑な取り扱いは、破損や印字品質低下の原因になることがあります。トナーカートリッジの取り付けや取り外しを行うときは、次の点に気を付けて取り扱ってください。

警告

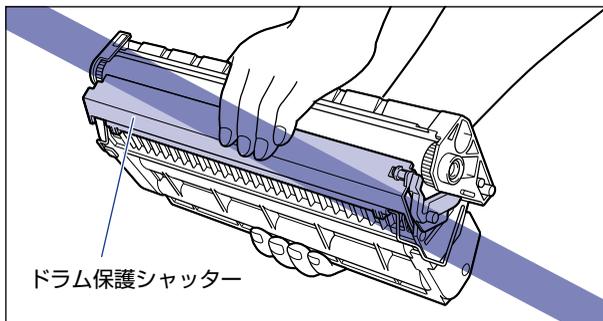
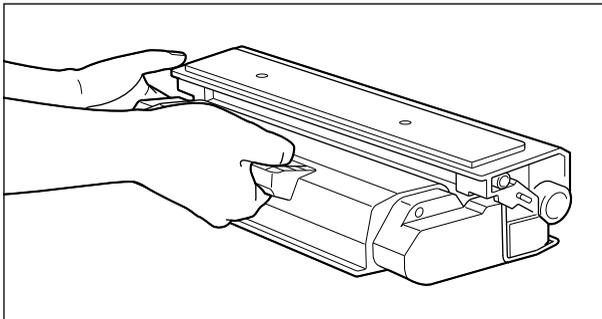
- 使用済みのトナーカートリッジを火中に投じないでください。トナーカートリッジ内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れてください。すぐに、医師にご相談ください。

注意

トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

重要

- 絶対に直射日光や強い光に当てないでください。
- トナーカートリッジをディスプレイやコンピュータ本体など、磁気を発生する装置に近付けないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気を嫌う製品には近付けないでください。データ破損などの原因になることがあります。
- 紙づまりやプリンタの修理のためにトナーカートリッジをプリンタから取り出したときは、すみやかにトナーカートリッジを梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んでください。

- 内部の感光ドラムを手で触れたり、傷を付けたりすると、印字品質が低下します。絶対に手で触れたり、ドラム保護シャッターを開けないでください。また、指示された以外の部分は、持ったり、触れたりしないでください。故障の原因になることがあります。

- トナーカートリッジを取り扱う際は、図のように取っ手を持ち、左右どちらかの手をそえて正しく持って取り扱ってください。立てたり、裏返したりしないでください。

- 絶対に分解や改造などをしないでください。
- トナーカートリッジを急激な温度変化にさらすと、内部や外部に水滴が付着する（結露）ことがあります。寒い場所に保管してあった新品のトナーカートリッジを暖かい場所で取り付けるときなど、保護袋を開封せずに 2 時間以上置き、周囲の温度に慣らしてから開封してください。
- 交換用に購入したトナーカートリッジは、パッケージに記載された有効期間内に使用してください。
- 交換用のトナーカートリッジは、キヤノン純正品をお使いになることをおすすめします。

トナーカートリッジの保管について

交換用にお求めになったトナーカートリッジや、修理や移動時に取り出したトナーカートリッジは、次のような点に気を付けて保管してください。

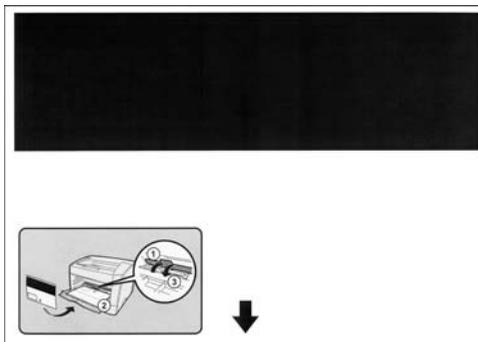
重要

- 新品のトナーカートリッジは、実際に使用するときまで保護袋から取り出さないください。
- メンテナンスなどのために使用中のトナーカートリッジを取り出したときは、すみやかに梱包してあった保護袋に入れるか、厚い布で包んで保管してください。
- 立てたり、裏返しにしないでください。プリンタにセットするときと同じ向きで保管してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 高温多湿の場所や、温度変化や湿度変化の激しい場所は避けてください。
  保管温度範囲：0 ～ 35 ℃
  保管湿度範囲：35 ～ 85%RH（相対湿度・結露しないこと）
- アンモニアなどの腐食性のガスが発生する場所や、空気に塩分が多く含まれている場所、ほこりの多い場所での保管は避けてください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

■ 結露とは

保管湿度範囲内でも、外気との温度差によってトナーカートリッジ外部や内部に水滴が付着することがあります。この水滴が付着する状態を結露といいます。結露はトナーカートリッジの品質に悪影響をおよぼします。

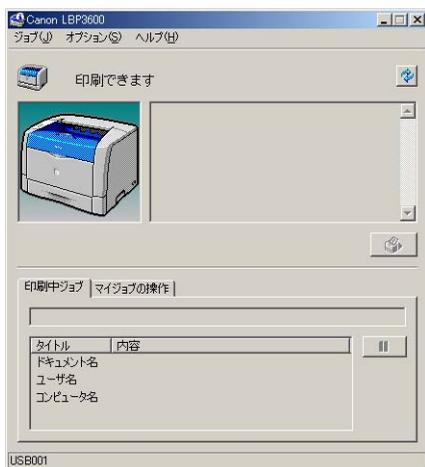
定着ローラを清掃する

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、次の手順で定着ローラを清掃してください。清掃することで、画像不良の発生を防止します。定着ローラの清掃は、まず A4 サイズの用紙に図のようなクリーニングページを印刷します。そのクリーニングページを使って、手差しトレイから給紙し、排紙トレイに排紙します。

- A4 サイズの用紙以外に、クリーニングページを印刷することはできません。A4 サイズの用紙をご用意ください。
- A4サイズの用紙が給紙カセットにセットされていないときは、手差しトレイにA4サイズの用紙を横置きでセットしてください。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

6 日常のメンテナンス

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

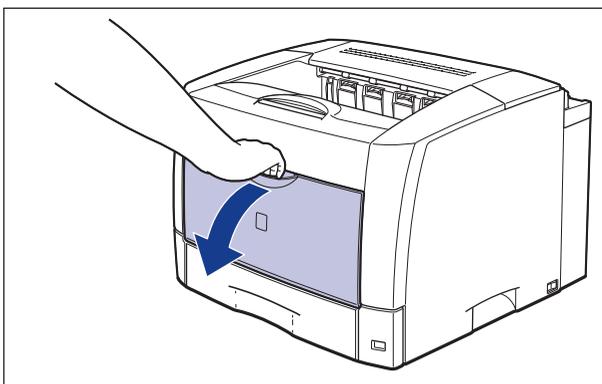
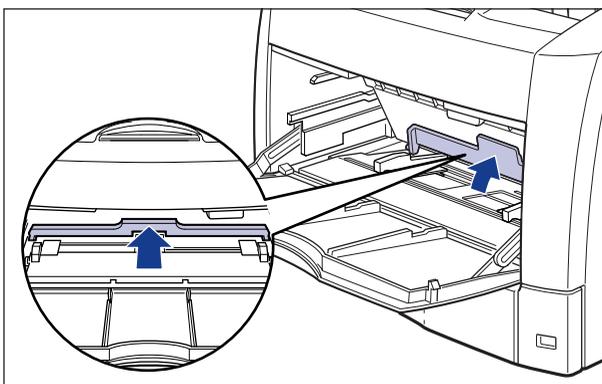
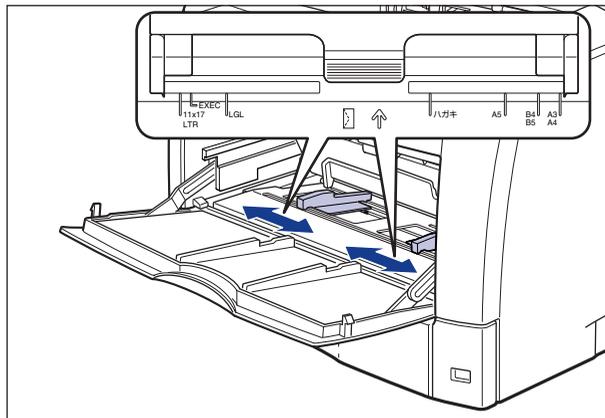
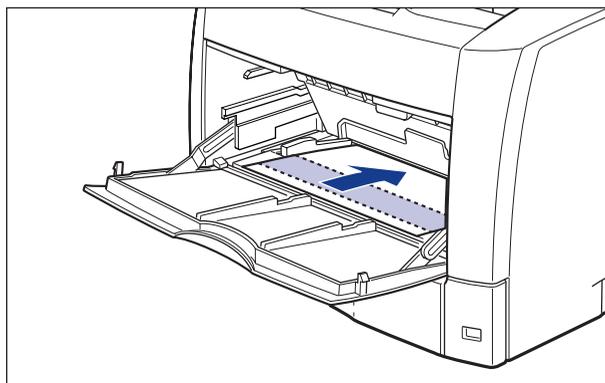
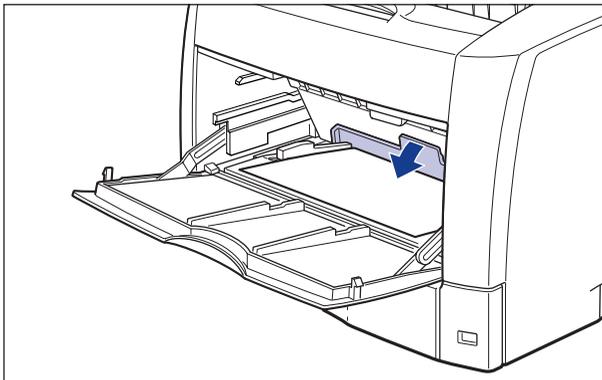
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(→P.4-75)を参照してください。

2 [オプション] メニューから [ユーティリティ] → [クリーニング 1] を選択します。

3 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに「クリーニングページを印刷しています」と表示され、クリーニングページが印刷されます。

メモ　A4 サイズの用紙がいずれの給紙部にもセットされていないときは、用紙交換要求のメッセージが表示されます。手差しトレイに用紙をセットしてください。

4 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

5 用紙押さえレバーを上げます。

6 用紙ガイドを A4 に合わせます。

7 クリーニングページの印刷された面を下にして、矢印が奥になるように手差しトレイにセットします。

8 用紙押さえレバーを下げます。

用紙がゆっくりと送られて、定着ローラの清掃を開始します。

メモ

- クリーニングの実行には、約 2 分かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。
- 上記の操作をしても印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着するような場合は、［クリーニング 1］を再度行ってください。

転写ローラと感光ドラムを清掃する

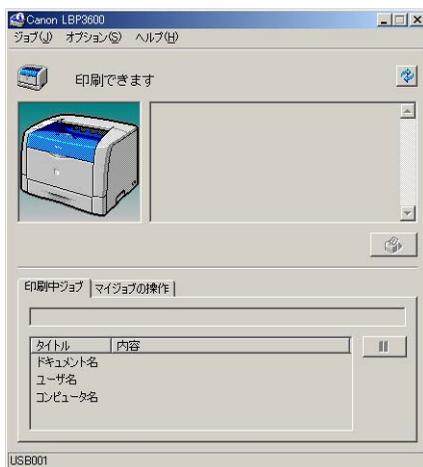
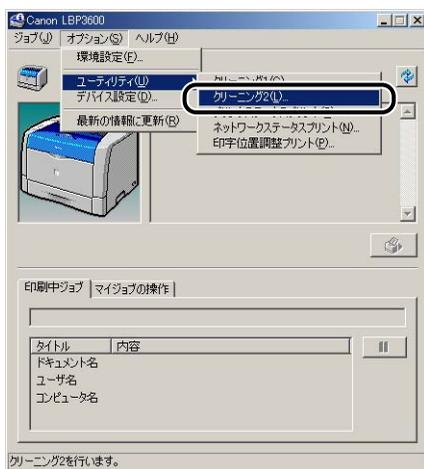
印刷した用紙の印字品質が低下している場合は、次の手順で転写ローラと感光ドラムを清掃してください。清掃することで、印字不良の発生を防止します。

重要　転写ローラと感光ドラムの清掃を頻繁に行うと、転写ローラ、感光ドラムの寿命が短くなる場合があります。

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-75）を参照してください。

6
日常のメンテナンス

2 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［クリーニング 2］を選択します。

3 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスウィンドウに「クリーニング中です」と表示され、転写ローラと感光ドラムの清掃を開始します。

メモ
- クリーニングの実行には、約 15 秒かかります。
- クリーニングは中止することができません。完了するまでお待ちください。

印字位置を調整する

特定の給紙部からの印字位置がずれている場合にプリンタステータスウィンドウから印字位置を調整することができます。

重要　印字位置を調整した結果、印字データが有効印字領域をはみ出る場合は、その部分が欠けて印字されます。

メモ
- 両面印刷時の 2 面目の画像の向きは、印刷する用紙の向きや［仕上げ］ページの［とじ方向］の設定によって変わりますので、印字位置の調整をするときは気を付けてください。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

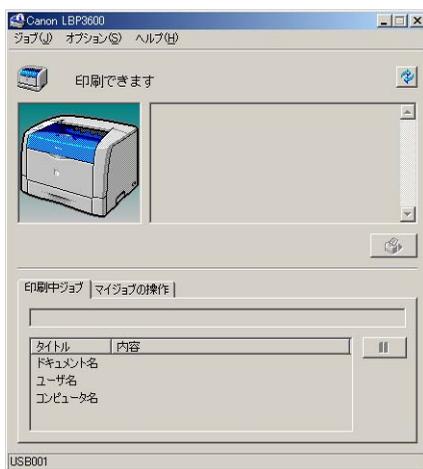
印字位置の確認

印字位置調整プリントを印刷し、調整する位置を確認します。

1 **プリンタステータスウィンドウを表示します。**

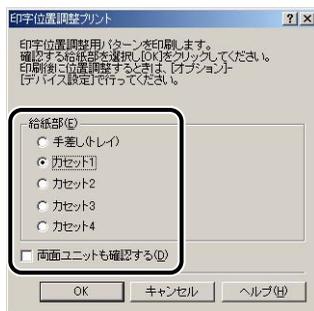
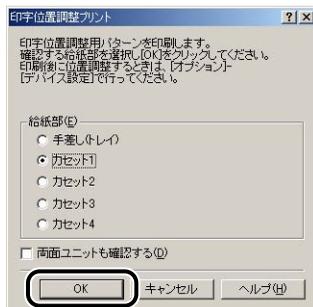
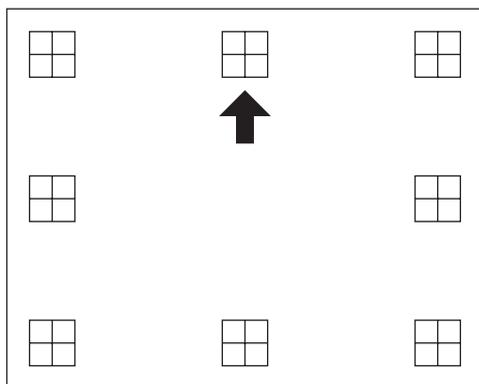
プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（➞P.4-75）を参照してください。

6

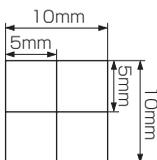
日常のメンテナンス

2 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

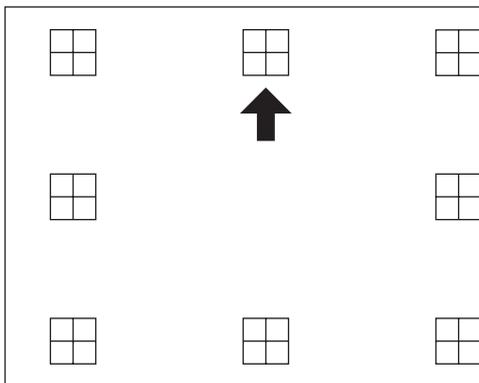
［印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を確認したい給紙部を選択します。

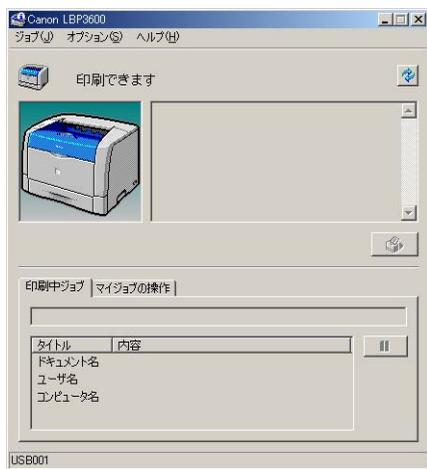
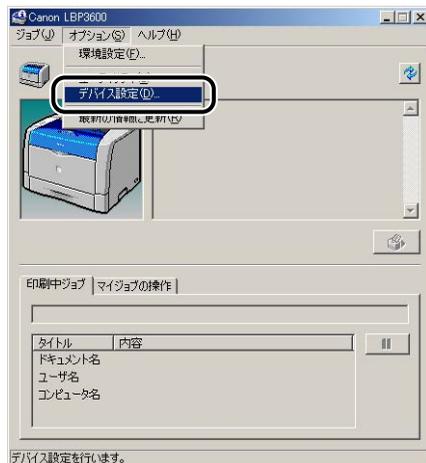
両面印刷時の印字位置を調整する場合は、［両面ユニットも確認する］にチェックマークを付けます。

4 ［OK］をクリックします。

以下のような印字位置調整プリントが印刷されます。印字された矢印の先端が、印字位置調整プリントの上端になります。

次に印刷結果を見て、「印字位置の調整」（➞P.6-29）で、調整する位置を設定します。

印字位置の調整

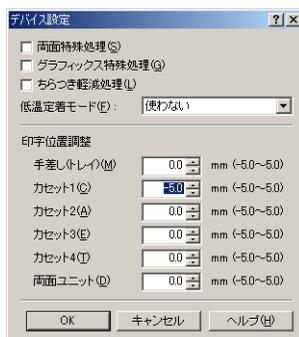
印刷された用紙に印字された"田"は以下の数値で形成されています。

※用紙の端からそれぞれ5mm（封筒は10mm）

ここでは例として、［印字位置調整プリント］ダイアログボックスの［給紙部］で［カセット 1］を選択し、以下の印字位置調整プリントが印刷された場合の設定を行います。
この場合、左方向に -5.0mm の印字位置の調整を行います。

メモ　印字位置が調整できる範囲は、-5.0mm ～ +5.0mm（横方向のみ）です。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」（→P.4-75）を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択します。

［デバイス設定］ダイアログボックスが表示されます。

3 ［デバイス設定］ダイアログボックスの［印字位置調整］で印字位置を調整します。

印字位置調整プリントの印刷結果を見て、調整する数値を選択します。印字位置を調整できる範囲は -5.0 ～ +5.0mm です。数値が小さくなると印字位置は左に、数値が大きくなると印字位置は右に入力した数値だけ移動します。

メモ　印字位置の調整は 0.5mm 単位で設定することができます。

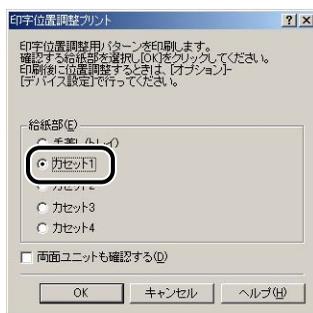
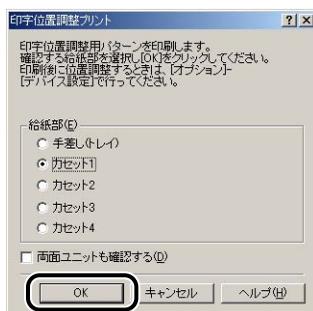
6

日常のメンテナンス

4 [OK］をクリックします。

5 [オプション］メニューから［ユーティリティ］→［印字位置調整プリント］を選択します。

[印字位置調整プリント］ダイアログボックスが表示されます。

6 ［印字位置調整プリント］ダイアログボックスで、印字位置を調整した給紙部を選択します。

7 ［OK］をクリックします。

設定変更された印字位置が印刷されます。印刷結果を見て、印字位置の確認をします。
さらに印字位置の調整を行う場合は、手順 1 ～ 7 を繰り返します。

プリンタを清掃する

本プリンタの最良の印字品質を保つために、定期的に本体外部や吸排気口を清掃してください。本プリンタの清掃は、故障や感電事故を避けるため、次の点に気を付けて清掃を行ってください。

警告

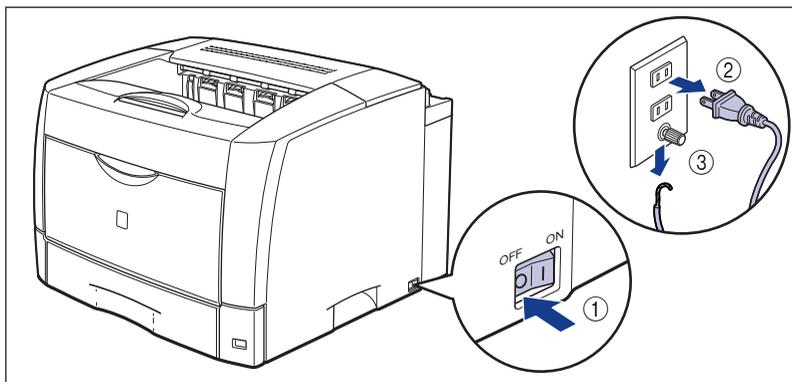
- 清掃のときは、電源をオフにし、電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- アルコールやベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

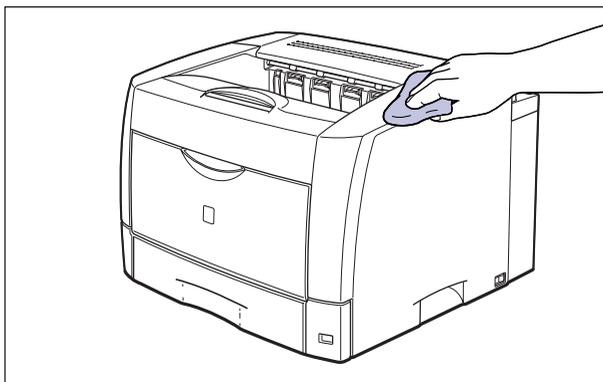
重要

- 本体のプラスチックが変質したり、ひびが入ることがありますので、絶対に水または水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液を使用しないでください。
- 中性洗剤は必ず水で薄めてご使用ください。
- 本プリンタには、注油の必要はありません。絶対に注油しないでください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き ②、アース線を専用のアース線端子から取り外します ③。**

6

日常のメンテナンス

2 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取ります。

中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

3 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取ります。

4 完全に乾いたら、アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

プリンタを移動する

メンテナンスや移転などで本プリンタを移動するときは、必ず以下の内容を守り、手順にしたがって移動させてください。

⚠警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

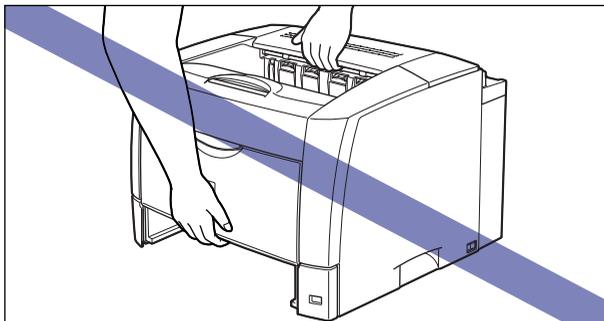
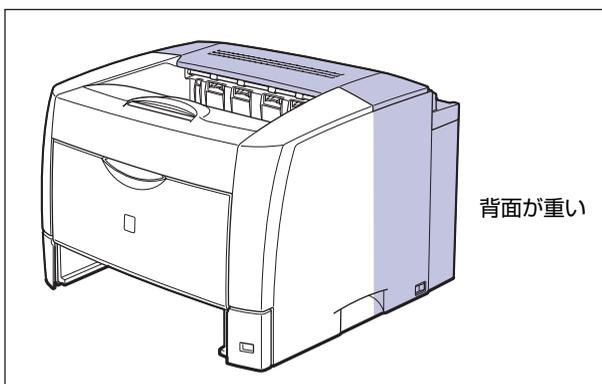
⚠注意

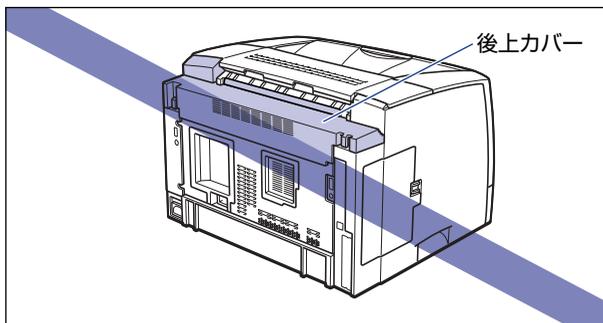
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 20.4kg（本体：約 18.4kg/ トナーカートリッジ：約 2kg）あります。必ず 2 人以上で、腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。
- 絶対に上カバーや手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

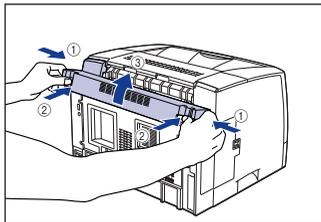
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

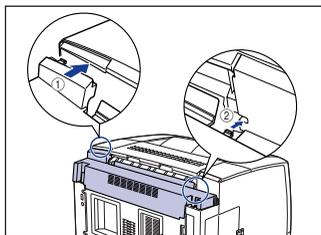
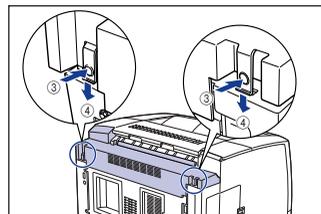
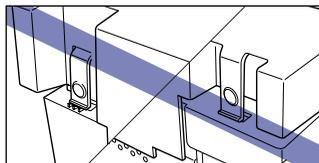
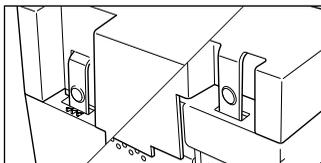
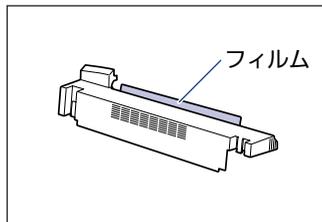
重要

- 必ず上カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。
- プリンタ背面のコネクタには絶対に手を触れないでください。動作不良の原因になります。

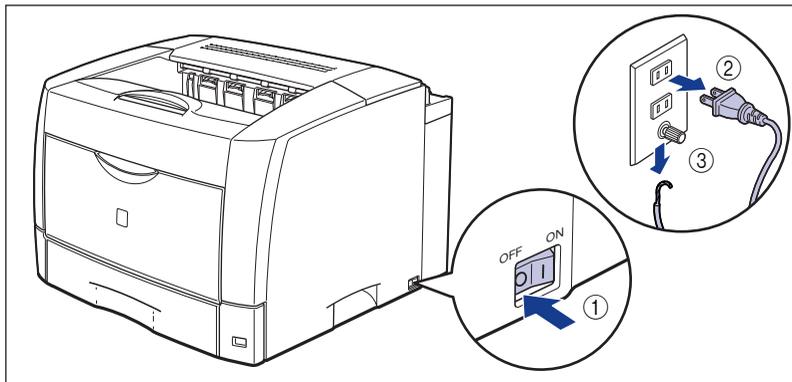
- プリンタ背面の後上カバーには、手を触れずに持ち運んでください。後上カバーが正しく取り付けられていないとプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「両面ユニットが正しくセットされていません」や「トナーカバーが開いています」というエラーメッセージが表示されます。

6
日常のメンテナンス

●後上カバーの取り付けかた

後上カバーが外れたり、正しく取り付けられていない場合は、以下の手順で一度後上カバーを取り外し、正しく取り付けなおしてください。

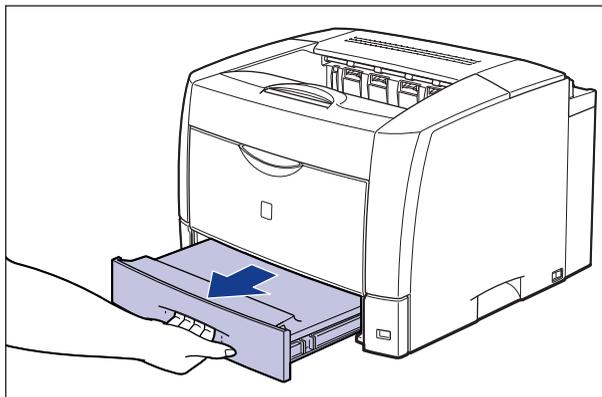
1. 後上カバーの左右を押し①、後上カバーの背面の突起を押しながら②、取り外します③。

2. 後上カバーを取り付けます。

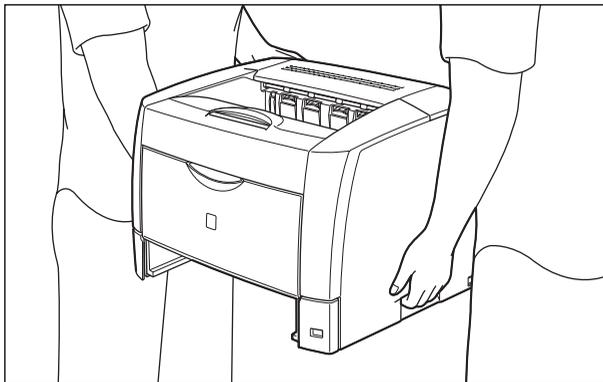
後上カバーの左上を取り付け①、右上の突起を溝に差し込みます②。

後上カバーの背面にある突起を押しながら③、突起を溝に差し込み④、後上カバーを取り付けます。

パチンと音がして、後上カバーが取り付けられます。確実に突起が溝に差し込まれていることを確認してください。

重要　後上カバーを取り付けるときは、後上カバーのフィルムが折れ曲がったりしないように気をつけて、後上カバーを取り付けてください。

メモ　設置場所については、「設置時にお読みください」を参照してください。

1 電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き ②、アース線を専用のアース線端子から取り外します ③。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」（→P.7-35）を参照してください。

3 給紙カセットを引き出します。

引き出しにくい場合は、給紙カセットを少し持ち上げてから水平に引き出します。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

メモ　オプションのペーパーフィーダが取り付けられていたときは、プリンタを移動場所に運ぶ前にペーパーフィーダを移動場所に設置します。取り付けかたについては、「ペーパーフィーダを取り付ける」（➞P.7-20）を参照してください。

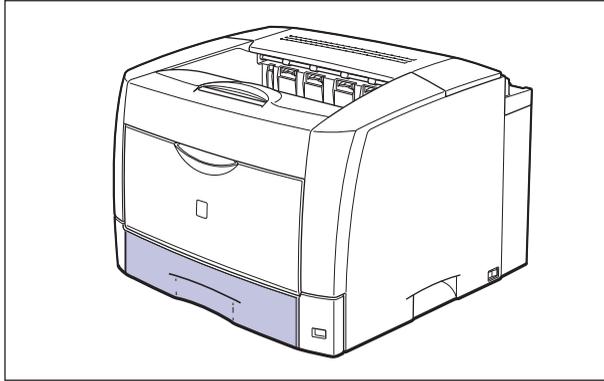
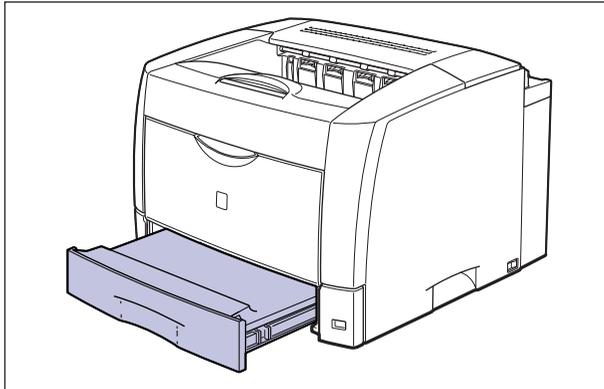
5 移動場所にゆっくりとおろします。

注意　プリンタはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要　設置場所には、オプション品の取り付けやケーブルの接続などを行うためのスペースを確保しておいてください。

6 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

給紙カセットを以下の図を参考にセットしてください。

- 給紙カセットを延長していない場合は、給紙カ セット前面がプリンタの前面と揃うまで、しっかりと奥まで押し込みます。

- 給紙カセットを延長している場合は、給紙カセット前面とプリンタの前面は揃いません。給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで押し込みます。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」(➞P.7-32)を参照してください。

7 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

●プリンタを輸送するときは

移転、引越しなどでプリンタを輸送するときは、輸送中の破損や故障を避けるため、トナーカートリッジを取り外し、購入時に入っていたパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包してください。
本プリンタが入っていたパッケージや梱包材がないときは、適した大きさの段ボールに、適当な梱包材を入れてしっかりと梱包してください。

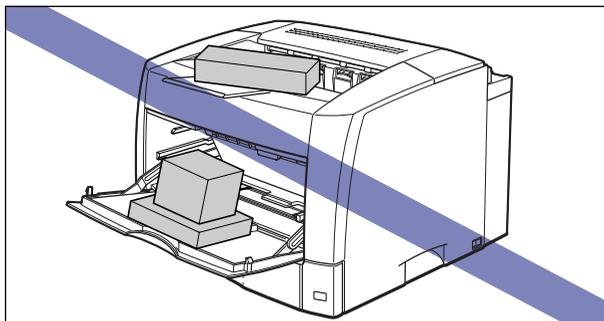
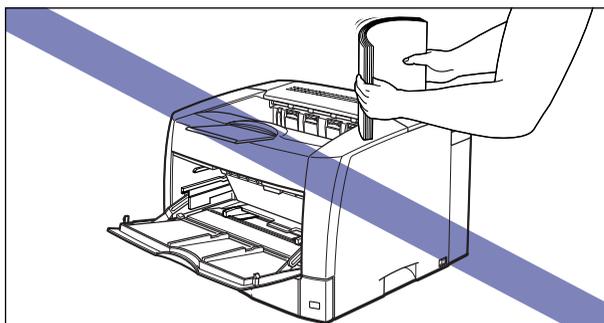
プリンタの取り扱いについて

本プリンタは、いろいろな電子部品や精密な光学部品を多く使用しています。以下の内容をよくお読みいただき、気を付けて取り扱ってください。

重要　本プリンタの取り扱いについては、「安全にお使いいただくために」（➞P.xiv）もお読みください。

プリンタの取り扱いのご注意

つねに最良の状態で印刷できるように、次の注意をお守りください。

重要
- プリンタやトレイ、カバーなどの上に重いものを置かないでください。プリンタが破損する原因になります。

- 各カバーは、必要以上の時間開けたままにしないでください。直射日光や強い光が当たると、印刷品質が低下する原因になります。
- 印刷中に振動を与えないでください。印刷品質が低下することがあります。

- 印刷中は、絶対にプリンタの上カバーを開けないでください。故障の原因になります。
- 上カバーや手差しトレイなどプリンタの各カバーは、ていねいに開閉してください。プリンタ破損の原因になります。

- 本プリンタにホコリ除けのカバーをかけるときは、電源スイッチをオフにして、本体の温度が十分に下がってから行ってください。
- 長期間使用しないときは、電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。
- 化学薬品を使用している場所では、使用・保管しないでください。

プリンタ保管時のご注意

本プリンタを長期間使用しないときは、以下の環境で保管してください。

- 温度が 0 ～ 35 ℃の範囲内の場所
- 湿度が 10 ～ 80%RH（相対湿度）の範囲内で、結露しない場所

オプション品について

この章では、オプション品の紹介と取り付けかたについて説明しています。

オプション品について 7-2
給紙カセット 7-2
ペーパーフィーダ 7-3
両面ユニット 7-4
ネットワークボード（Windows のみ）. 7-5
ペーパーフィーダ 7-6
設置スペース 7-8
各部の名称と機能 7-9
梱包材を取り外す 7-9
プリンタ本体を移動する 7-15
ペーパーフィーダを取り付ける 7-20
ペーパーフィーダを取り外す 7-26
両面ユニット 7-28
設置スペース 7-29
各部の名称と機能 7-30
梱包材を取り外す 7-31
両面ユニットを取り付ける 7-32
両面ユニットを取り外す 7-35
ネットワークボード（Windows のみ）. 7-39
各部の名称と機能 7-40
ネットワークボードを取り付ける 7-41
ネットワークボードを設定する 7-45
ネットワークボードの初期化 7-47
ネットワークボードを取り外す 7-50

オプション品について

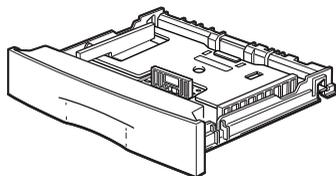
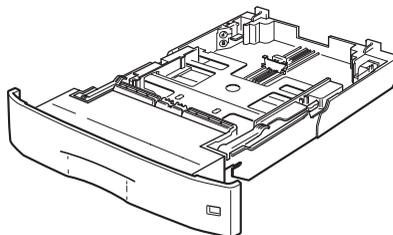
本プリンタの機能をフルに活かしてお使いいただくために、次のようなオプション品を用意しています。必要に応じてお買い求めください。オプション品については、本プリンタをお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

給紙カセット

給紙カセットは、プリンタ本体やオプションのペーパーフィーダに標準で装着されている給紙カセットと差し替えて使用するためのものです。

250 枚ユニバーサルカセット UC-66A は、プリンタ本体の標準カセットと差し替えて使用します。

250 枚ユニバーサルカセット UC-66B は、オプションのペーパーフィーダの給紙カセットと差し替えて使用します。

給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙を最大で約 250 枚（64g/m^2）までセットできます。

250枚ユニバーサルカセットUC-66A　　250枚ユニバーサルカセットUC-66B

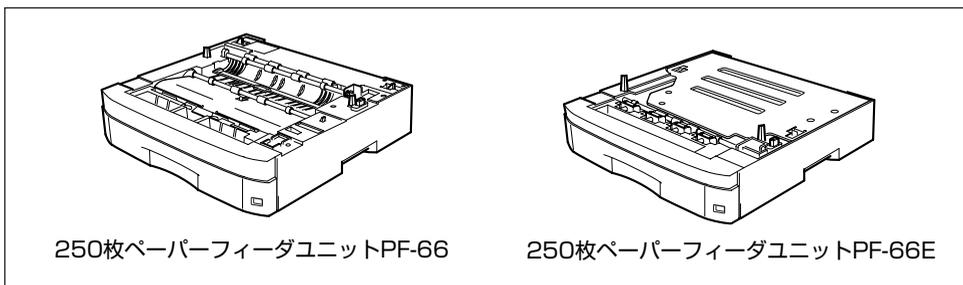
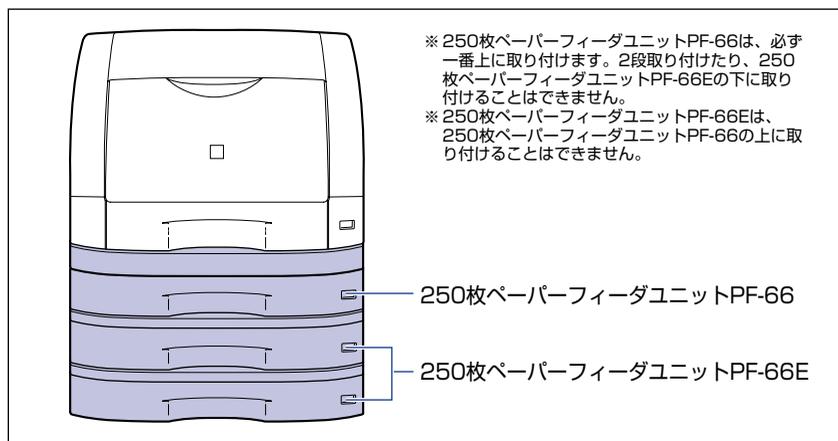
ペーパーフィーダ

本プリンタは、標準状態で給紙カセットと手差しトレイの合計 2 つの給紙部があります。オプションのペーパーフィーダを装着することにより、最大 5 つの給紙部を使用することが可能です。

250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66 は中間搬送部が付いており、250 枚ペーパーフィーダと 250 枚給紙カセットがセットになっています。

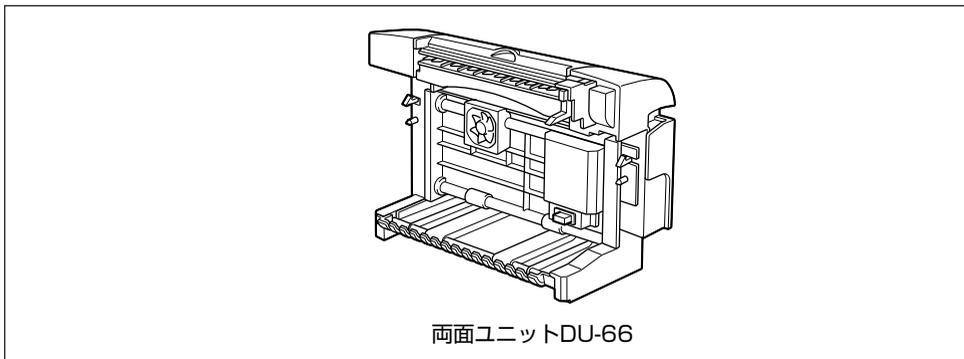
250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66E は、250 枚ペーパーフィーダと 250 枚給紙カセットがセットになっています。

250 枚給紙カセットには、A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙を最大で約 250 枚（64g/m^2）までセットできます。

メモ

- ペーパーフィーダは、図のように最大 3 台まで取り付けることができます。

- ペーパーフィーダは、LBP3800/3700/3600 専用です。他の機種用のペーパーフィーダは使用できません。
- ペーパーフィーダの取り付けかたについては、「ペーパーフィーダ」（➞P.7-6）を参照してください。

両面ユニット

両面ユニット DU-66 は、自動両面印刷を可能にするためのユニットです。両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。定形サイズ（A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ）の用紙に自動両面印刷することができます。

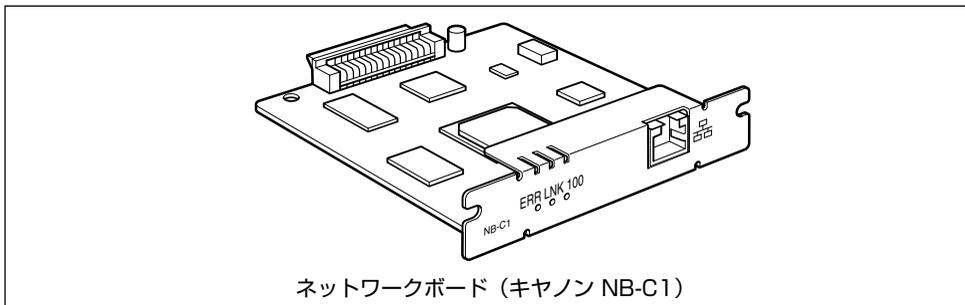
両面ユニットDU-66

重要 厚紙（91 ～ 128g/m²）、OHP フィルム、ラベル用紙、はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒、ユーザ定義用紙には、自動両面印刷できません。

メモ

- 両面ユニットは、LBP3800/3700/3600 専用です。他の機種用の両面ユニットは使用できません。
- 両面ユニットの取り付けかたについては、「両面ユニット」（➞P.7-28）を参照してください。

ネットワークボード（Windows のみ）

ネットワークボードは、本プリンタをLAN に接続するための TCP/IP プロトコルに対応したプリンタ内蔵型ネットワークボードです。ネットワークボードにはブラウザを使ってプリンタの機能が設定できる「リモート UI」を内蔵しており、プリンタの設定・管理をネットワーク上のコンピュータから行えます。また、コンピュータ上でネットワークに接続されたプリンタの設定や管理を行うプリンタ管理ユーティリティ「NetSpot Device Installer」、「NetSpot Console」も提供します。

ネットワークボード（キヤノン NB-C1）

メモ

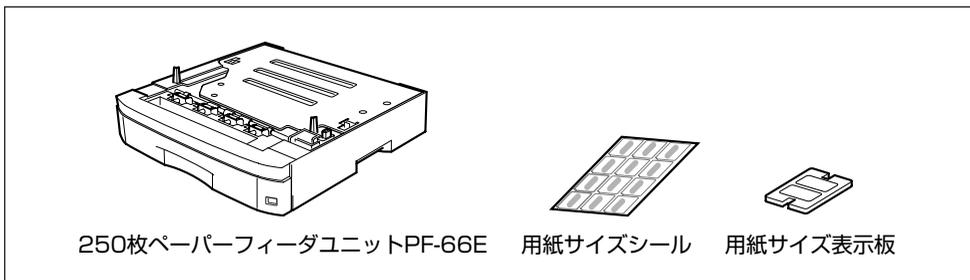
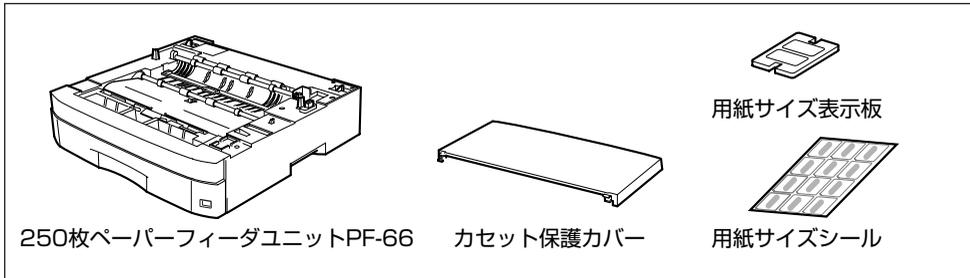
- 「リモート UI」の詳細については、「リモート UI ガイド」を参照してください。
- 「NetSpot Device Installer」、「NetSpot Console」の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。
- ネットワークボードの取り付けかたについては、「ネットワークボード（Windows のみ）」（→P.7-39）を参照してください。

7

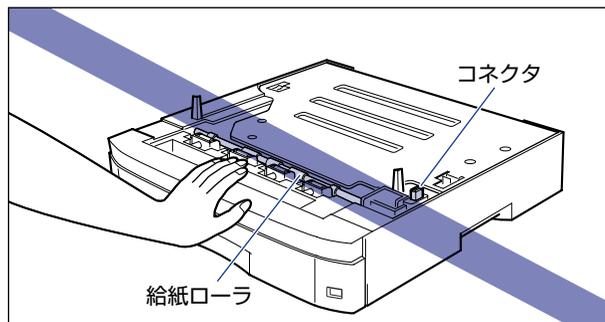
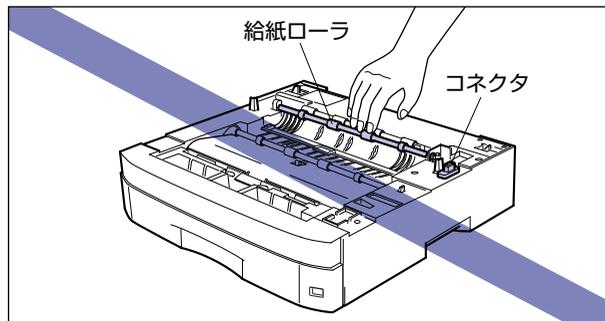
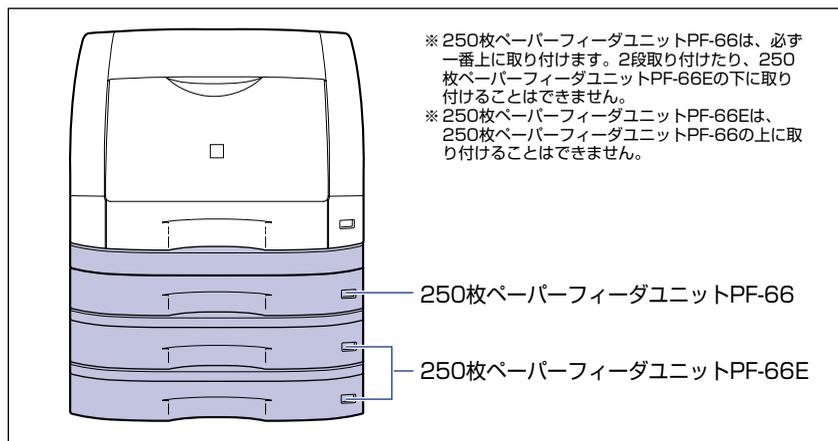
オプション品について

ペーパーフィーダ

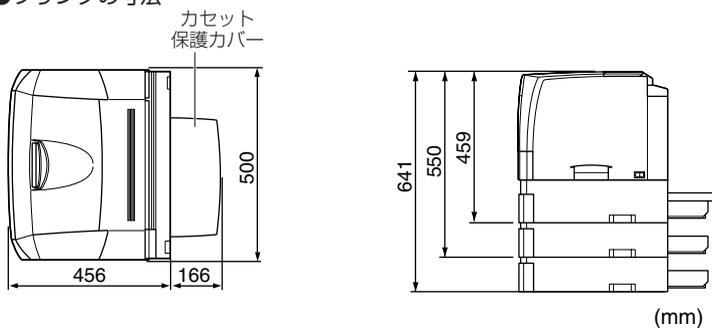
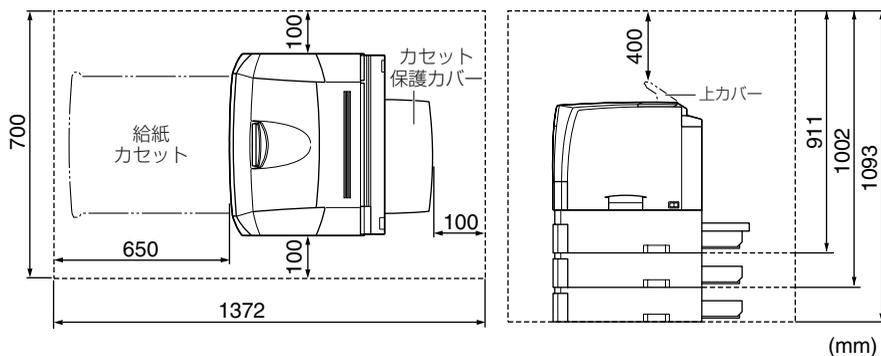
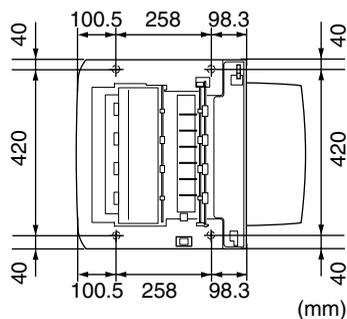
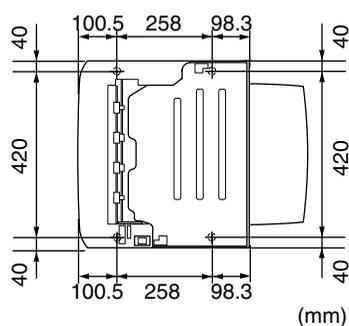
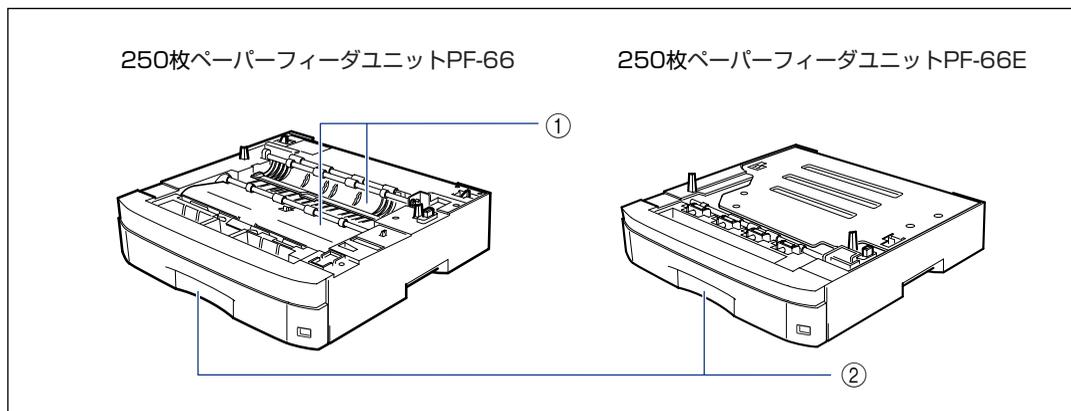
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けて使用します。

ペーパーフィーダを設置する前に、パッケージに以下のものがすべて揃っているかを確認してください。万一不足しているものや破損しているものがあった場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠警告 ペーパーフィーダを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要　ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

メモ

- ペーパーフィーダは、図のように最大 3 台まで取り付けることができます。

- ペーパーフィーダの用紙のセット方法については、「カセット 2、カセット 3、カセット 4 に用紙をセットする」（➞P.2-24）を参照してください。

設置スペース

本プリンタにペーパーフィーダを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法、足の位置は次のようになっています。

各部の名称と機能

① **搬送ガイド**
紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(➞P.8-20)

② **給紙カセット**
最大 250 枚(64g/m² の場合)までの A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブサイズの用紙がセットできます。(➞P.2-17)

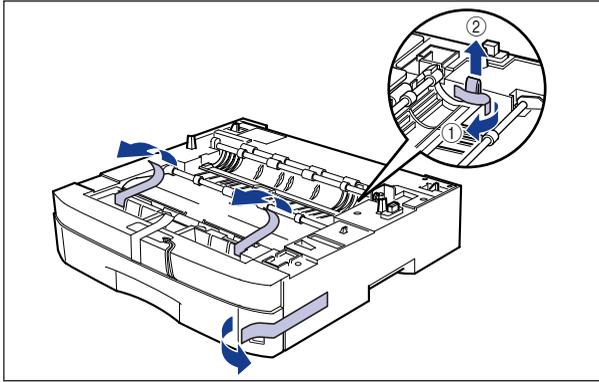
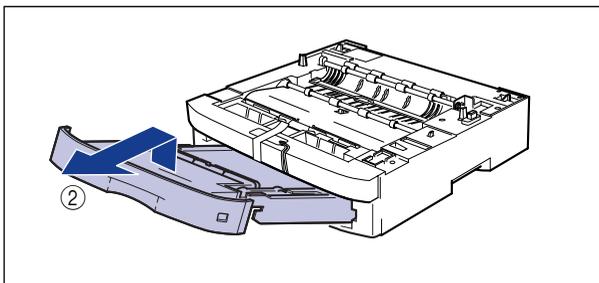
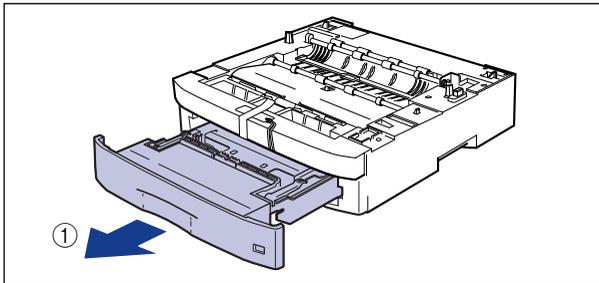
梱包材を取り外す

ペーパーフィーダには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。ペーパーフィーダをプリンタに取り付ける前に、これらのテープや梱包材を取り外してください。

重要
- ペーパーフィーダ内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66 の梱包材を取り外す

1 **ペーパーフィーダを止めているテープ(3箇所)と梱包材を取り外します。**

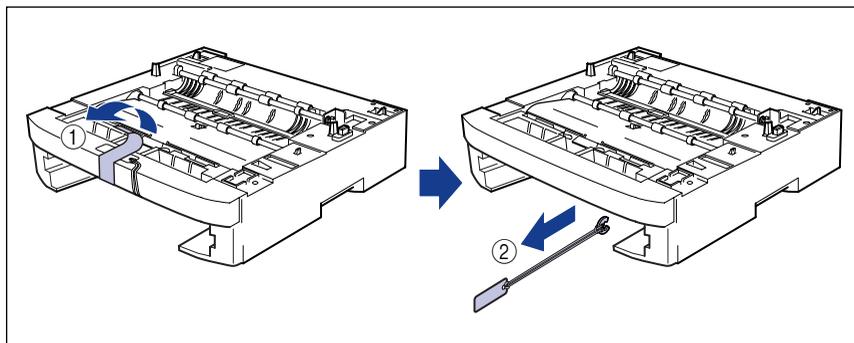
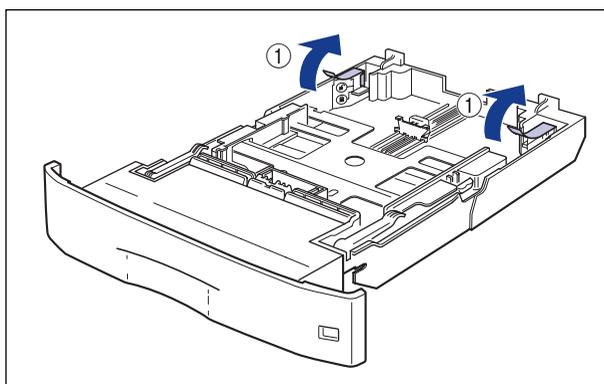
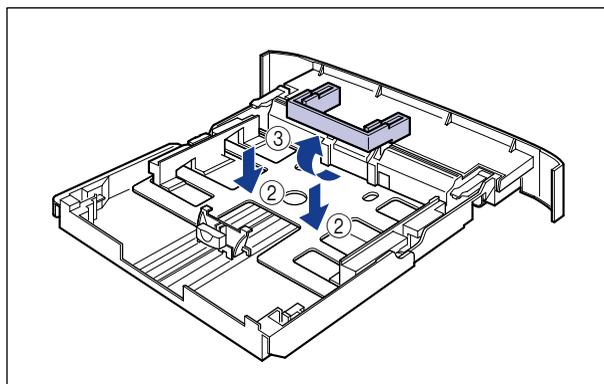
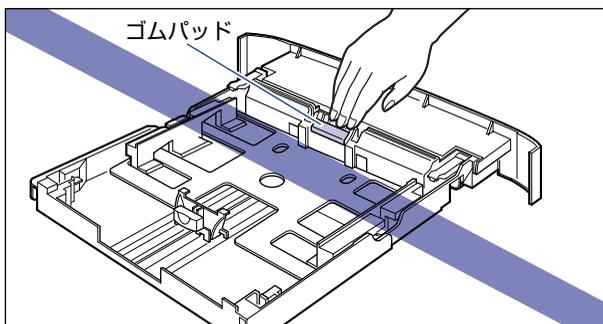
梱包材は、テープを取り外し ①、垂直に引き抜いて取り外します ②。

2 **給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し ①、手前側を持ち上げて取り外します ②。**

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

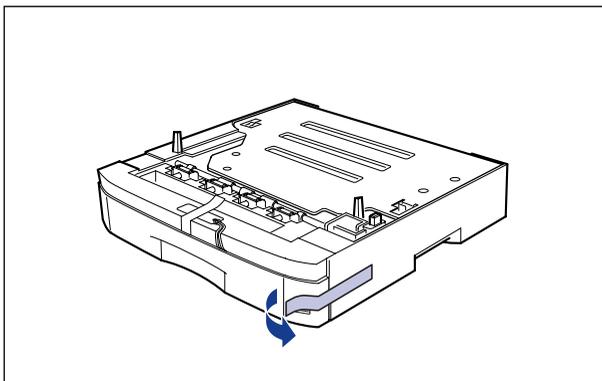
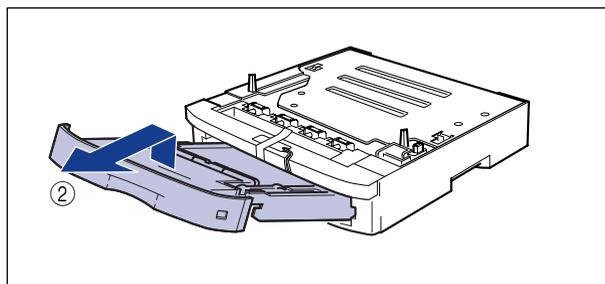
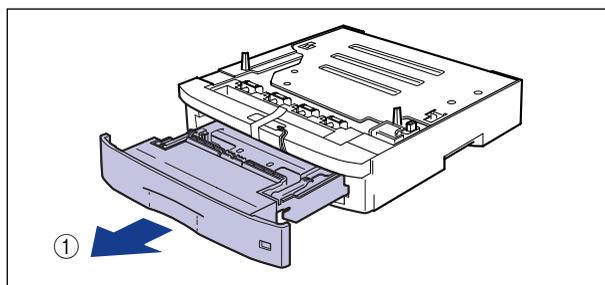
3 テープを外し ①、図に示すようにタグを引っ張って梱包材を取り外します ②。

4 給紙カセット内部のテープや梱包材を取り外します。

2 箇所のテープを取り外します ①。

給紙カセットのプレートを図のように下に押さえ ②、梱包材を取り外します ③。

重要

- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。
- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66E の梱包材を取り外す

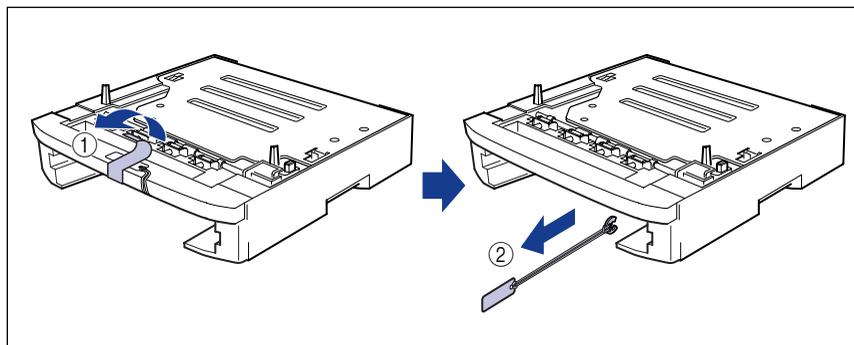
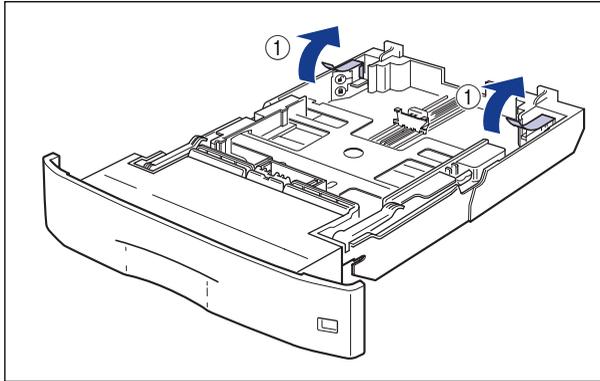
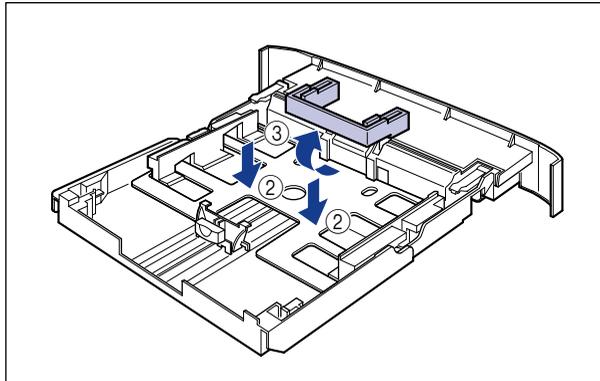
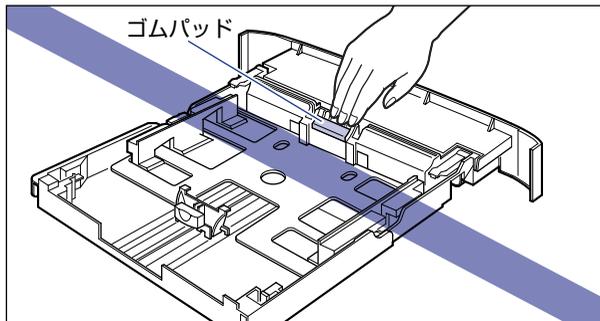
1 ペーパーフィーダを止めているテープ（1 箇所）を取り外します。

2 給紙カセットをゆっくりと止まる位置まで引き出し ①、手前側を持ち上げて取り外します ②。

重要　給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

3 テープを外し ①、図に示すようにタグを引っ張って梱包材を取り外します ②。

4 給紙カセット内部のテープや梱包材を取り外します。

2 箇所のテープを取り外します ①。

給紙カセットのプレートを図のように下に押さえ ②、梱包材を取り外します ③。

重要

- 給紙カセットには、梱包材が取り付けられています。必ず給紙カセットを引き出し、残さずに取り外してください。
- 給紙カセットの黒いゴムパッドには触れないでください。給紙不良の原因になります。

プリンタ本体を移動する

プリンタ設置後に、ペーパーフィーダを取り付けるときは、次の手順でプリンタをいったん適切な場所に移動させます。

警告 プリンタ本体を移動させる場合は、必ず電源をオフにし、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き②、アース線を専用のアース線端子から取り外します③。**

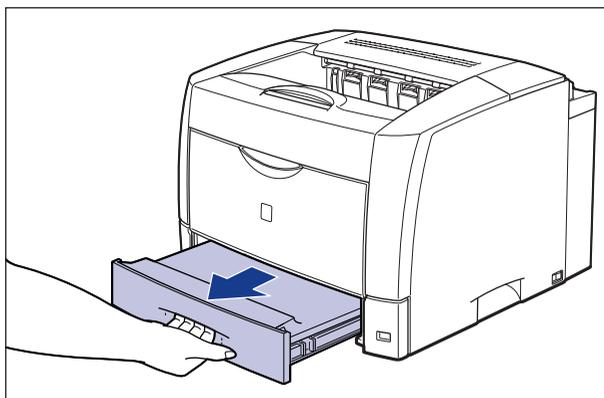
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(→P.7-35)を参照してください。

7

オプション品について

3 給紙カセットを引き出します。

引き出しにくい場合は、給紙カセットを少し持ち上げてから水平に引き出します。

4 プリンタ本体を設置場所から移動します。

プリンタ本体下部にある運搬用取っ手に 2 人以上で手を掛け、同時に持ち上げて運びます。

⚠注意
- 本プリンタは、給紙カセットを取り付けていない状態で約 20.4kg（本体：約 18.4kg/ トナーカートリッジ：約 2kg）あります。必ず 2 人以上で腰などを痛めないように注意して持ち運んでください。

- 絶対に上カバーや手差しトレイなど、運搬用取っ手以外の部分を持たないでください。落としてけがの原因になることがあります。

- 本プリンタは、本体背面側が重くなっています。持ち上げるときにバランスをくずさないよう注意してください。落としてけがの原因になることがあります。

重要

- 必ず上カバーや手差しトレイが閉まっていることを確認してから持ち運んでください。
- プリンタ背面のコネクタには絶対に手を触れないでください。動作不良の原因になります。

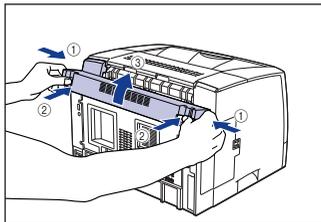
7

オプション品について

- プリンタ背面の後上カバーには、手を触れずに持ち運んでください。後上カバーが正しく取り付けられていないとプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「両面ユニットが正しくセットされていません」や「トナーカバーが開いています」というエラーメッセージが表示されます。

●後上カバーの取り付けかた

後上カバーが外れたり、正しく取り付けられていない場合は、以下の手順で一度後上カバーを取り外し、正しく取り付けなおしてください。

1. 後上カバーの左右を押し①、後上カバーの背面の突起を押しながら②、取り外します③。

2. 後上カバーを取り付けます。

後上カバーの左上を取り付け①、右上の突起を溝に差し込みます②。

後上カバーの背面にある突起を押しながら③、突起を溝に差し込み④、後上カバーを取り付けます。

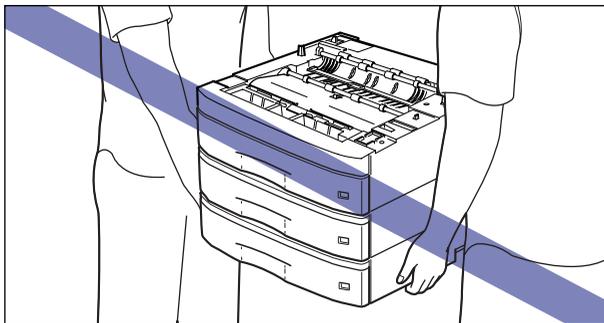
パチンと音がして、後上カバーが取り付けられます。確実に突起が溝に差し込まれていることを確認してください。

重要　後上カバーを取り付けるときは、後上カバーのフィルムが折れ曲がったりしないように気をつけて、後上カバーを取り付けてください。

ペーパーフィーダを取り付ける

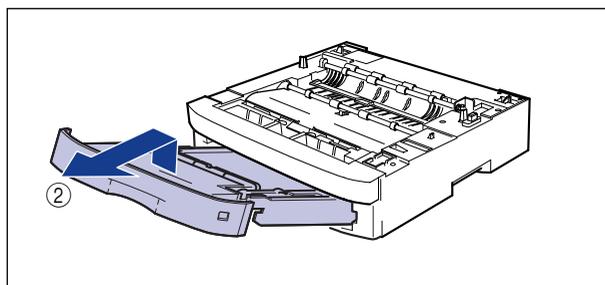
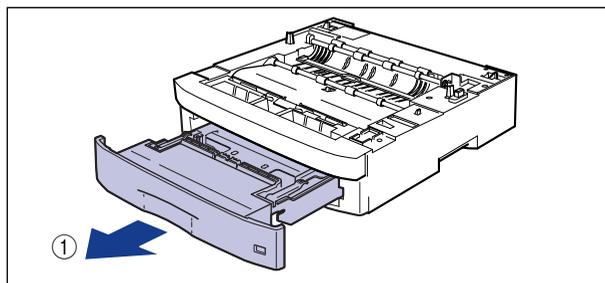
ペーパーフィーダは、プリンタ本体の底面に取り付けます。

注意

- プリンタやペーパーフィーダはゆっくりと慎重におろしてください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要

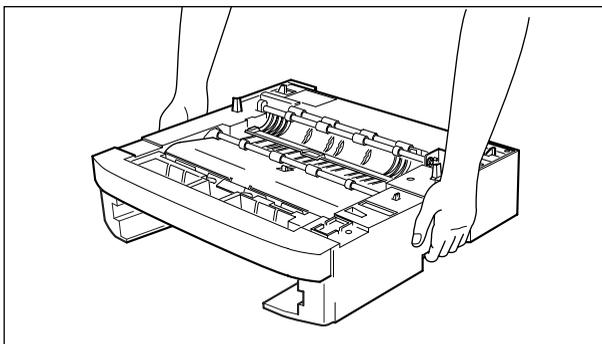
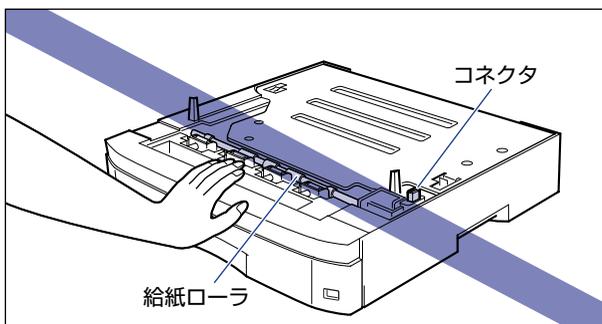
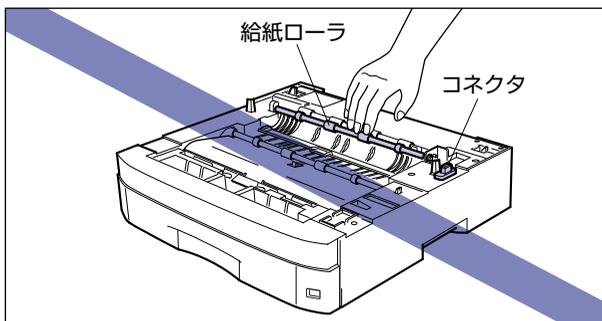
ペーパーフィーダを装着した場合、給紙するペーパーフィーダ（カセット 2、カセット 3、カセット4）より上段の給紙カセットは必ずセットした状態で使用してください。給紙カセットがセットされていないと、下段の給紙部から給紙することはできません。（たとえば、カセット 2 がセットされていない場合、カセット 3 から給紙することはできません。）

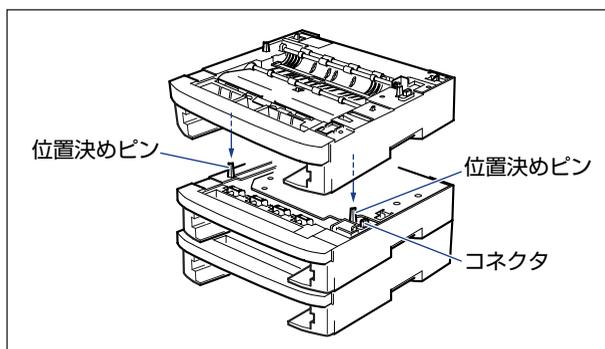
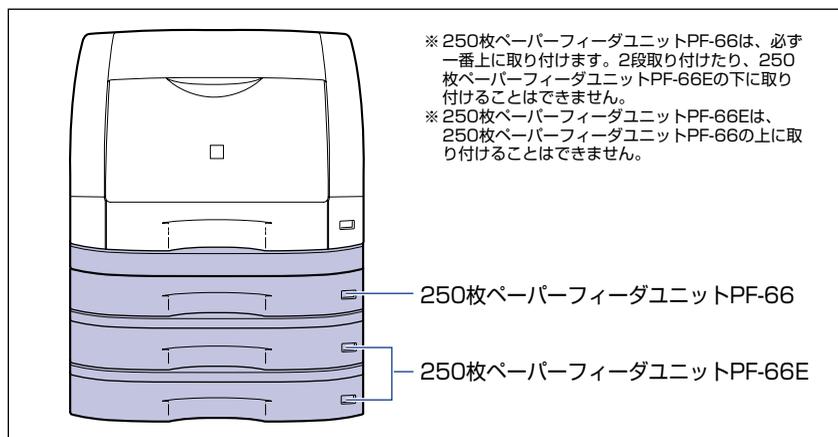
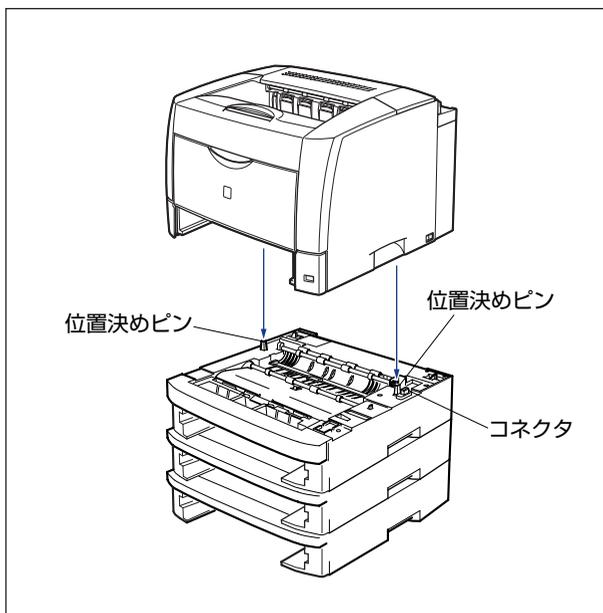
1 すべてのペーパーフィーダから、給紙カセットを引き出します。

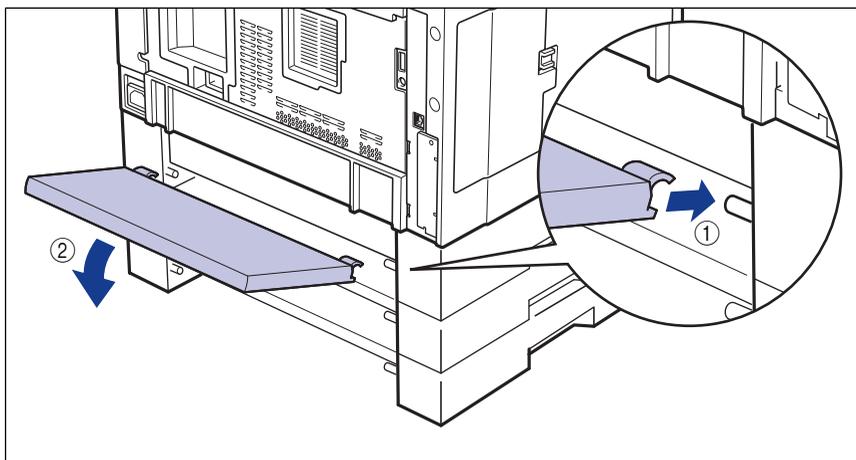
給紙カセットはゆっくりと止まる位置まで引き出し ①、手前側を持ち上げて取り外します ②。

重要 給紙カセットは水平に引き抜くことはできません。無理に引き抜こうとすると給紙カセットを破損することがあります。

2 ペーパーフィーダを設置場所に置きます。

ペーパーフィーダを持ち運ぶときは、両手で左右の運搬用取っ手を持って運んでください。

重要

- ペーパーフィーダのコネクタや給紙ローラには触れないでください。故障や給紙不良の原因になります。

- 本プリンタおよびオプション品の質量で歪んだり、沈む可能性のある場所（じゅうたん、畳などの上）には設置しないでください。
- プリンタ本体を載せたり、電源コードやインタフェースケーブルなどの接続作業ができるように、周囲に十分なスペースを確保しておいてください。

3 ペーパーフィーダとペーパーフィーダを取り付けるときは、ペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

メモ　ペーパーフィーダは、図のように最大 3 台まで取り付けることができます。

4 プリンタ本体をペーパーフィーダの位置決めピンやコネクタに合わせてゆっくりと載せます。

5 カセット保護カバーをペーパーフィーダ背面の突起へ斜め上から差し込み ①、ゆっくりとおろします ②。

カセット保護カバーは、パチンと音がするまでしっかり取り付けます。

重要　カセット保護カバーに手をかけたり、強く押したり、物を置いたりしないでください。カセット保護カバーが破損する恐れがあります。

メモ　カセット保護カバーは、すべてのペーパーフィーダの背面に取り付けることができます。適切な位置に取り付けてください。

6 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」（→P.7-32）を参照してください。

7 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

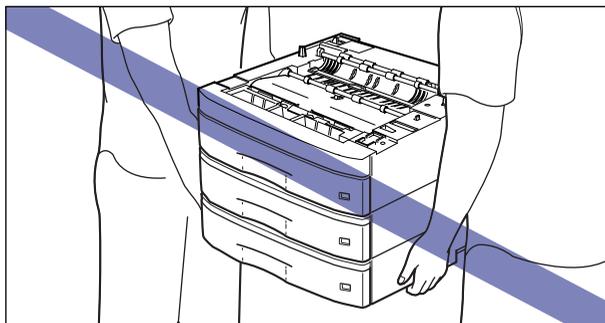
メモ　ペーパーフィーダを装着した後は、オプション機器の設定が必要になります。オプション機器の設定は、プリンタドライバで以下の操作を行うことで自動的に行うことができます。

- Windows の場合
  ［デバイス設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックします。
- Mac OS 8/9 の場合
  ［基本設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。
- Mac OS X の場合
  ［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

ペーパーフィーダを取り外す

ペーパーフィーダの取り外しは、次の手順で行います。

警告 ペーパーフィーダを取り外すときは、必ずプリンタの電源をオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

注意
- 給紙カセットを取り付けた状態で持ち運ばないでください。給紙カセットが落下し、けがの原因になることがあります。
- ペーパーフィーダを取り付けた状態で持ち運ばないでください。ペーパーフィーダが落下し、けがの原因になることがあります。

重要 プリンタの移動や修理の際は、ペーパーフィーダや給紙カセットを取り外してください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(→P.7-35)を参照してください。

3 **プリンタ本体、ペーパーフィーダから給紙カセットを引き出します。**

4 **プリンタを持ち上げて、ペーパーフィーダから取り外します。**

5 ペーパーフィーダを 2 台以上取り付けている場合、上の段から順にペーパーフィーダを取り外します。

6 ペーパーフィーダを移動します。

7 プリンタ本体を設置場所へ戻します。

8 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

メモ

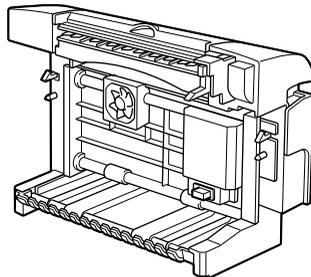
オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」(➞P.7-32)を参照してください。

9 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

10 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

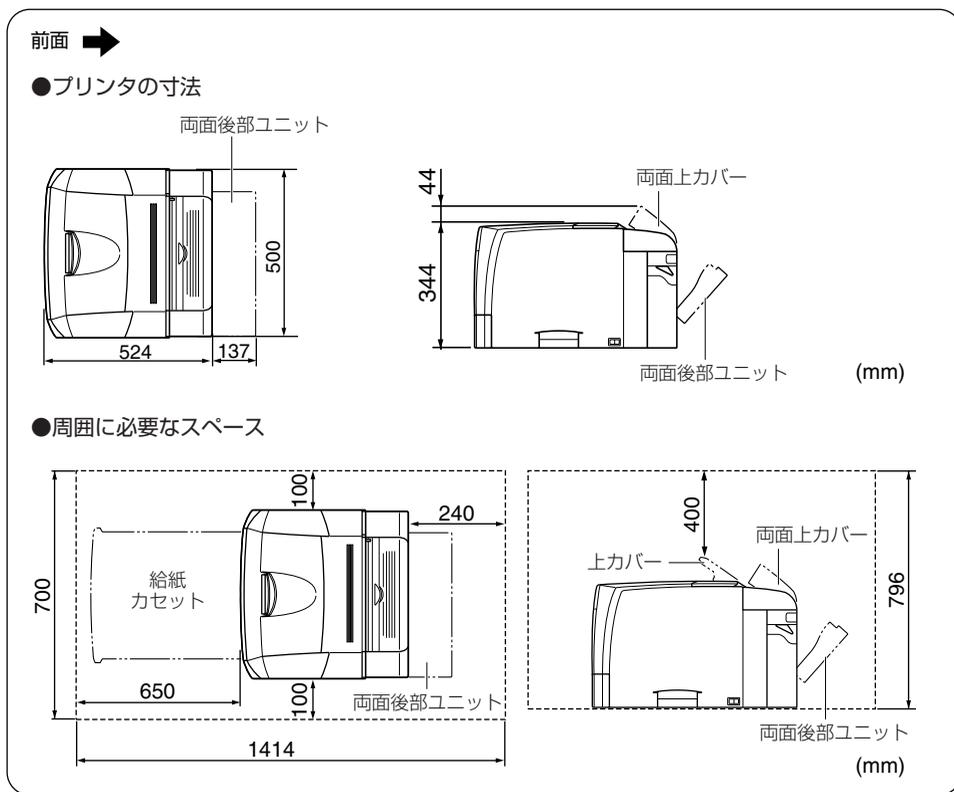
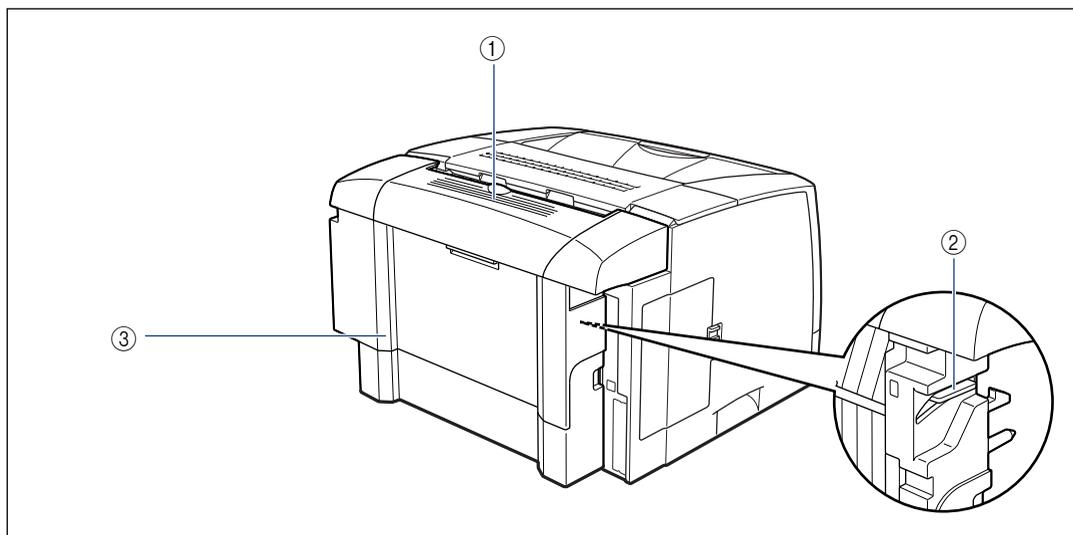
両面ユニット

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けて使用します。

両面ユニットを設置する前に、パッケージの内容を確認してください。万一破損している場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

両面ユニットDU-66

⚠警告 両面ユニットを取り付けるときは、必ずプリンタの電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

設置スペース

本プリンタに両面ユニットを装着して使用する場合の各部の寸法、および周囲に必要な寸法は次のようになっています。

各部の名称と機能

① **両面上カバー**
紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(→P.8-23)

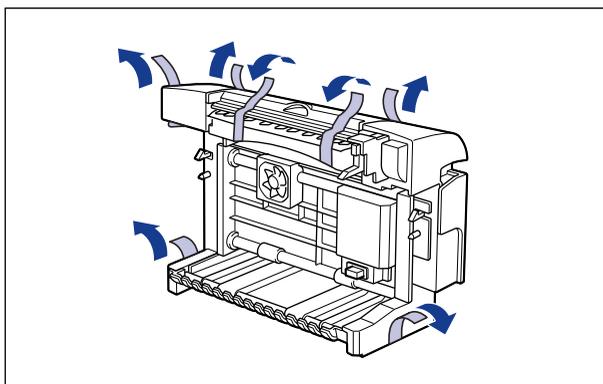
② **ロック解除レバー**
両面ユニットを取り付けるときや取り外すときに操作するレバーです。

③ **両面後部ユニット**
両面ユニットを取り外すときや紙づまりを除去するときに、ここを開けて作業します。(→P.8-23)

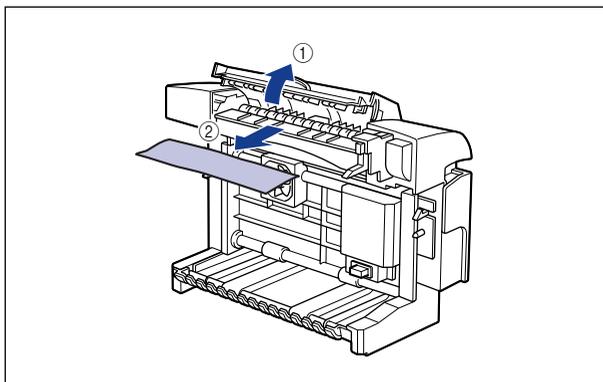
梱包材を取り外す

両面ユニットには、輸送時の振動や衝撃から装置を守るために、テープや梱包材が取り付けられています。両面ユニットをプリンタに取り付ける前に、これらのテープや梱包材を取り外してください。

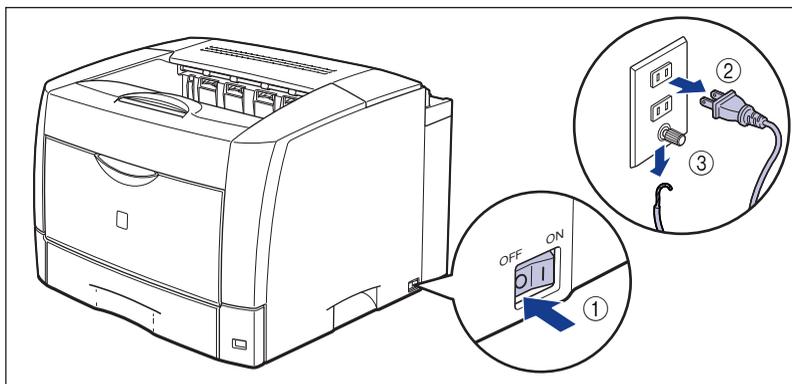
重要
- 両面ユニット内部に梱包材が残っていると、動作時に給紙不良や故障の原因になります。必ず手順にしたがって梱包材を残さずに取り外してください。
- 取り外した梱包材は、移転や移設、修理などの輸送時に必要になります。なくさないよう大切に保管しておいてください。

1 両面ユニットを止めているテープを取り外します。

2 両面上カバーを開け ①、内部の保護シートを取り外します ②。

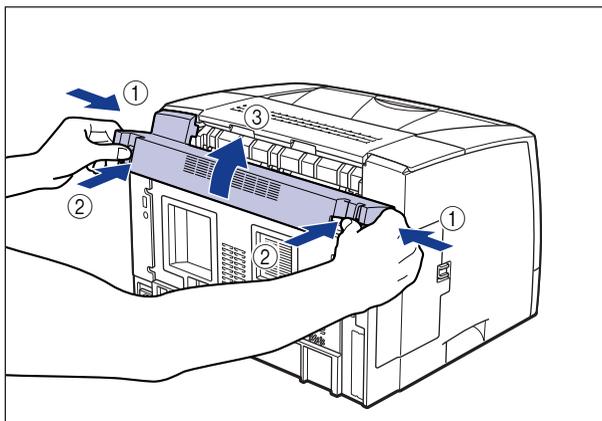
7

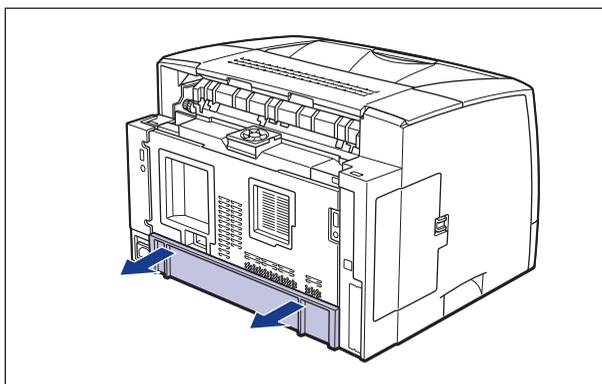
オプション品について

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、プリンタ本体の背面に取り付けます。

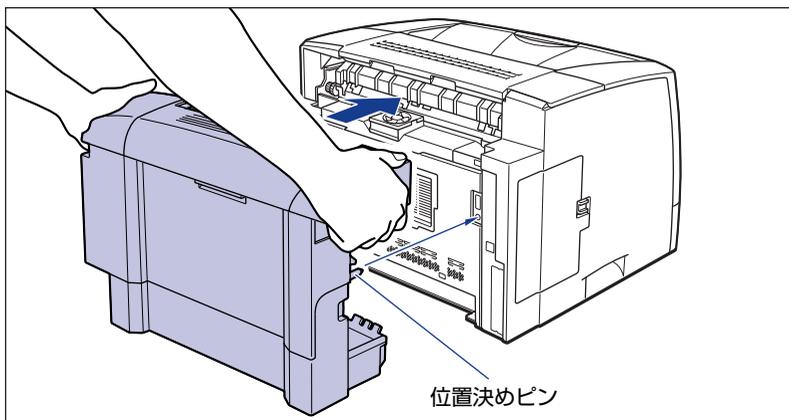
1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き ②、アース線を専用のアース線端子から取り外します ③。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

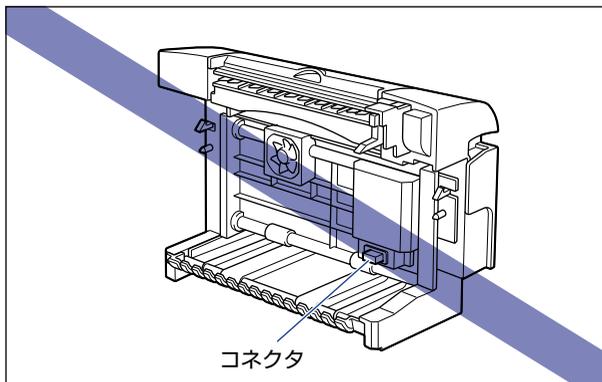
3 プリンタの後上カバーを取り外します。

図のように後上カバーの左右を押し ①、後上カバーの背面の突起を押しながら ②、取り外します ③。

重要　後上カバーは、捨てずに保管しておいてください。両面ユニットを取り外したときに必要になります。

4 プリンタの後下カバーを取り外します。

重要　後下カバーは、捨てずに保管しておいてください。両面ユニットを取り外したときに必要になります。

5 両面ユニットの位置決めピンをプリンタの背面の穴に合わせて取り付けます。

両面ユニットは、カチッと音がするまでしっかり押し込みます。

⚠注意 プリンタと両面ユニットの間に手などを挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

重要 両面ユニットのコネクタには触れないでください。故障や動作不良の原因になります。

6 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

7 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

メモ 両面ユニットを装着した後は、オプション機器の設定が必要になります。オプション機器の設定は、プリンタドライバで以下の操作を行うことで自動的に行うことができます。

・Windows の場合
［デバイス設定］ページの［デバイス情報取得］をクリックします。

・Mac OS 8/9 の場合
［基本設定］、［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

・Mac OS X の場合
［仕上げ］、［給紙］、［印刷品質］、［特別処理］パネルのいずれかを表示し、［プリンタ情報］をクリックします。

両面ユニットを取り外す

両面ユニットの取り外しは、次の手順で行います。両面ユニットを取り付ける際にプリンタ本体から取り外した、後上カバーと後下カバーをご用意ください。

警告 両面ユニットを取り外すときは、必ずプリンタの電源スイッチをオフにし、電源プラグを抜き、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してください。そのまま作業を行うと、電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

重要 プリンタの移動や修理の際は、両面ユニットを取り外してください。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

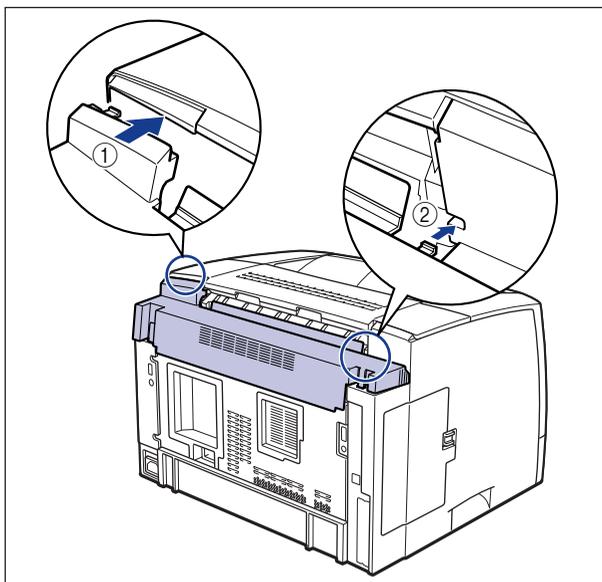
2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

3 **両面後部ユニットを開けます。**

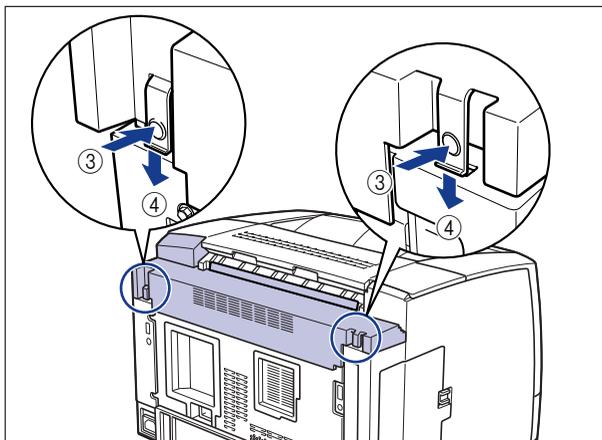
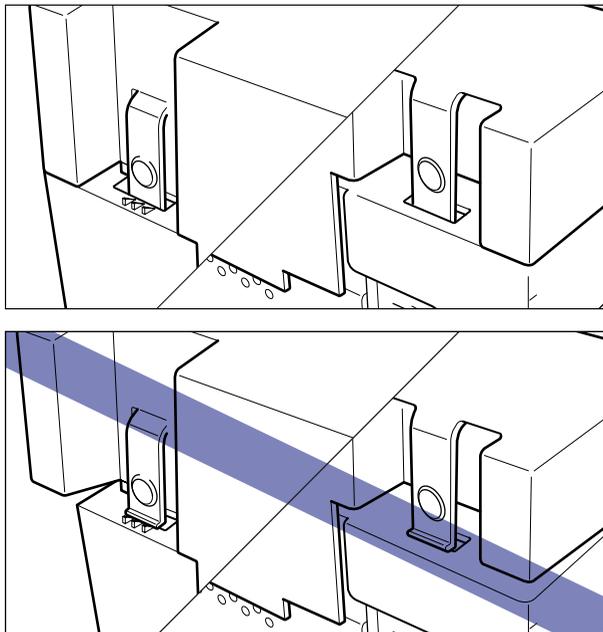
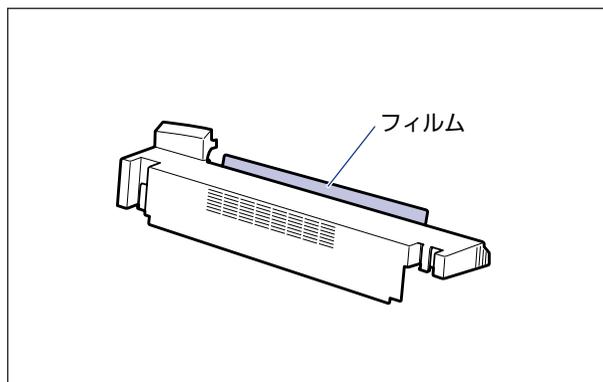
4 **両面ユニットの左右のロック解除レバーを押し上げ、両面ユニットを取り外します。**

5 **両面後部ユニットを閉じます。**

6 プリンタの後上カバーを取り付けます。

後上カバーの左上を取り付け ①、右上の突起を溝に差し込みます ②。

後上カバーの背面にある突起を押しながら ③、突起を溝に差し込み ④、後上カバーを取り付けます。

パチンと音がして、後上カバーが取り付けられます。確実に突起が溝に差し込まれていることを確認してください。

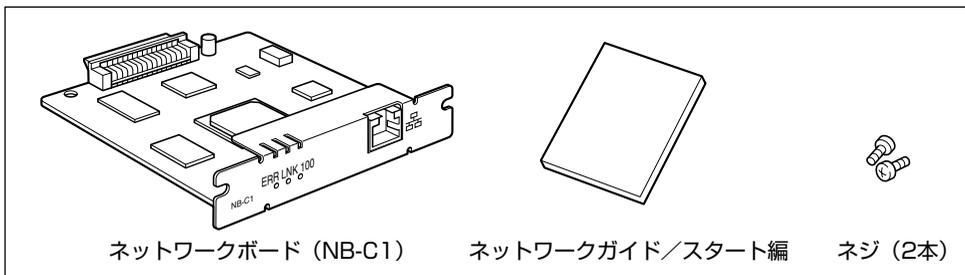
重要

- 後上カバーを取り付けるときは、後上カバーのフィルムが折れ曲がったりしないように気をつけて、後上カバーを取り付けてください。

- 後上カバーは正しく取り付けてください。後上カバーが正しく取り付けられていないとプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「両面ユニットが正しくセットされていません」や「トナーカバーが開いています」というエラーメッセージが表示されます。

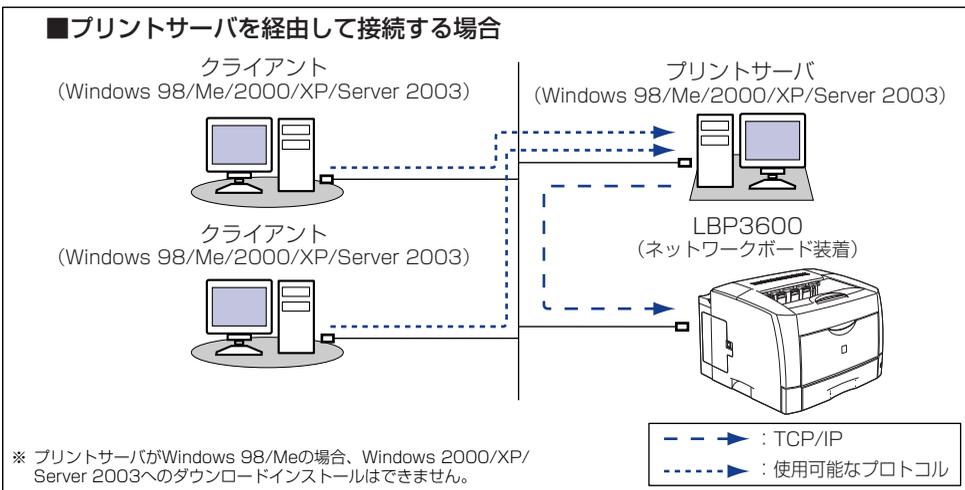
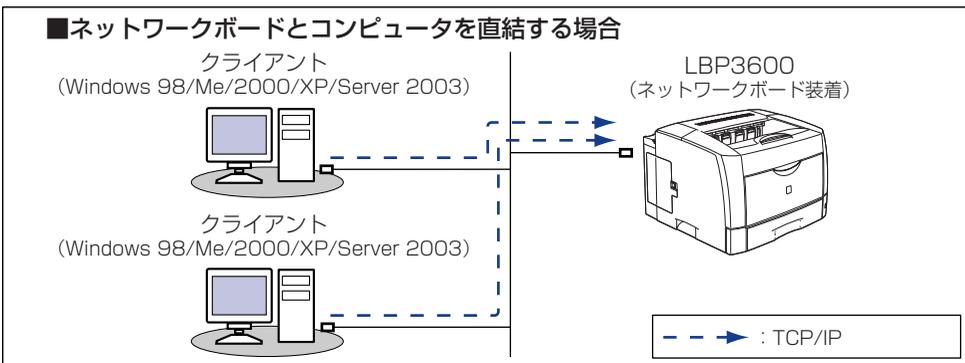
7 プリンタの後下カバーを取り付けます。

8 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ネットワークボード（Windows のみ）

ネットワークボードは、プリンタ背面の拡張ボードスロットへ取り付けます。

オプションのネットワークボードを装着すると、LBP3600 をネットワーク直結プリンタとしてお使いになることができます。

※ プリントサーバがWindows 98/Meの場合、Windows 2000/XP/Server 2003へのダウンロードインストールはできません。

注意

- ネットワークボードを取り付けるときは、必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

重要

ネットワークボードには、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、取り扱いに当たっては次のことをお守りください。

・一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業してください。

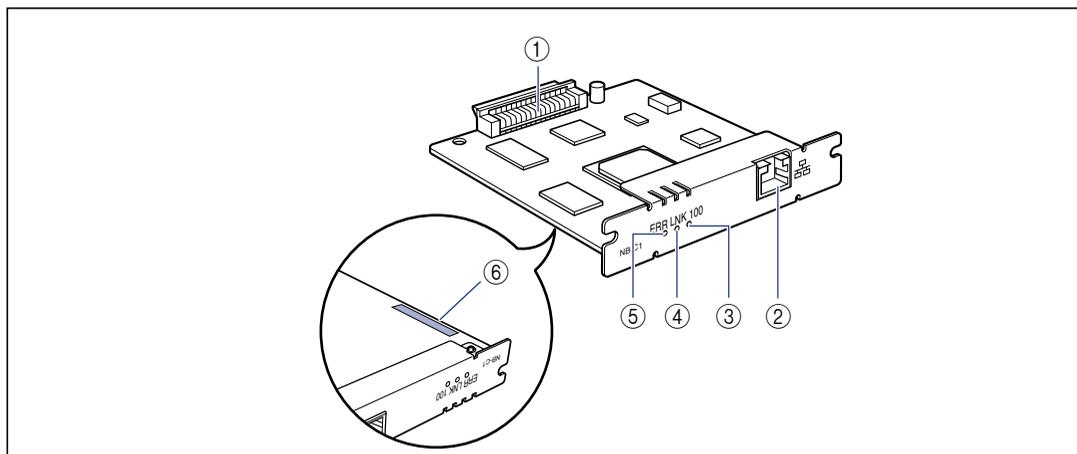
・作業中に、ディスプレイなどの静電気を発生しやすいものに、触れないでください。

・ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

・静電気の影響を避けるために、ネットワークボードは取り付ける直前まで保護袋から取り出さないでください。また、保護袋はネットワークボードを取り外すときに必要になります。捨てないで保管しておいてください。

メモ

本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。

各部の名称と機能

① プリンタ接続コネクタ

プリンタと接続するコネクタです。コネクタには直接手を触れないでください。

② LAN コネクタ

10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブル接続部です。

③ 100 ランプ（緑色）

ネットワークボードが100BASE-TXでネットワークに接続されているときに、点灯します。
10BASE-T 接続の場合は、点灯しません。

④ LNK ランプ（緑色）

ネットワークボードがネットワークに正しく接続されているときに、点灯します。

⑤ ERR ランプ（オレンジ色）

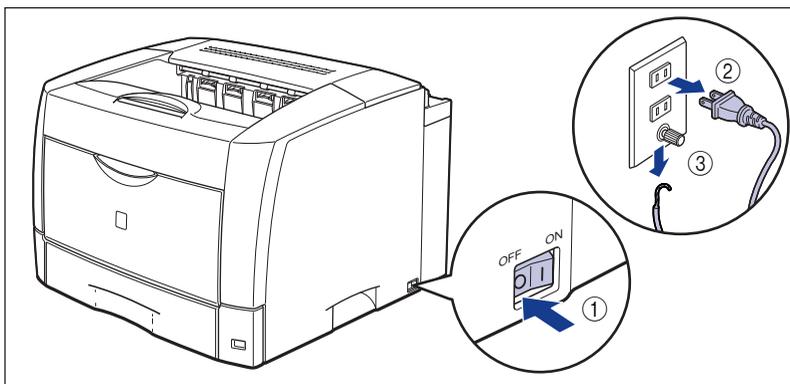
ネットワークボードが正常に動作していないときに、点灯または点滅します。

⑥ MAC アドレス

ARP/PING コマンドを使用して、IP アドレスを設定する場合に必要になります。また、プリンタドライバをインストールする場合に必要になることがあります。

ネットワークボードを取り付ける

ネットワークボードは、次の手順でプリンタ本体の拡張ボードスロットに取り付けます。ネットワークボードの取り付け作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

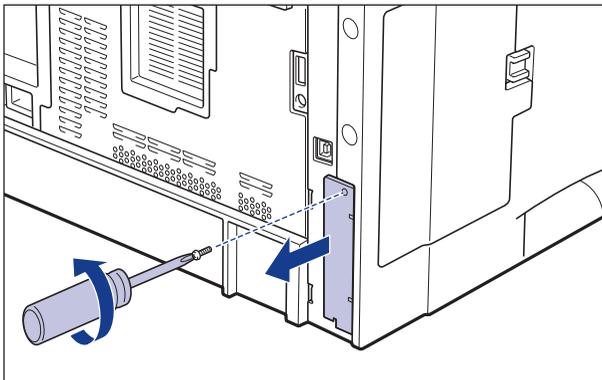
1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き ②、アース線を専用のアース線端子から取り外します ③。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

作業用スペースが十分とれない場合は、作業しやすい場所にプリンタを移動します。

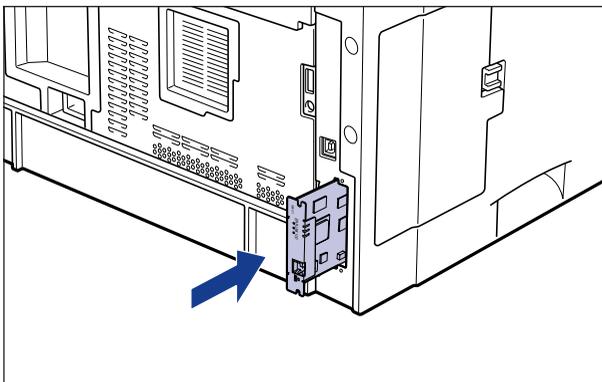
メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(→P.7-35)を参照してください。

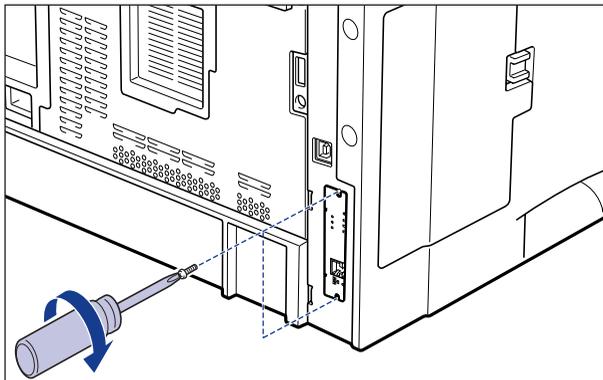
7

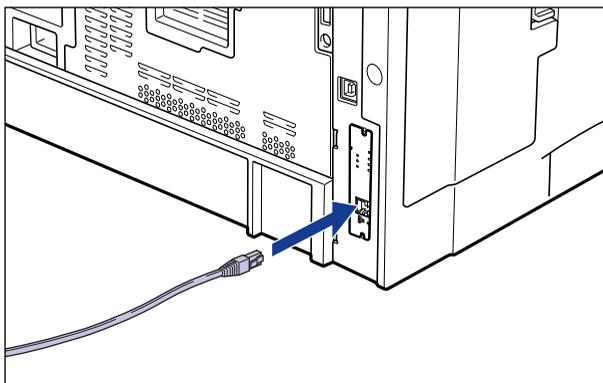
オプション品について

3 ネジを外して、拡張ボードスロットの保護板を取り外します。

重要　取り外した保護板とネジは、ネットワークボードを外したときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

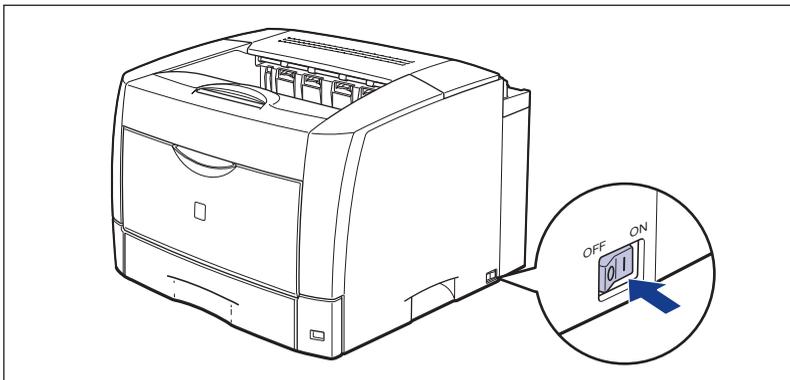
5 ネットワークボードの上下を、付属の２本のネジで固定します。

6 LAN ケーブルを接続します。

お使いのネットワークに合わせて、ネットワークボードの LAN コネクタに対応した LAN ケーブルを接続してください。

メモ

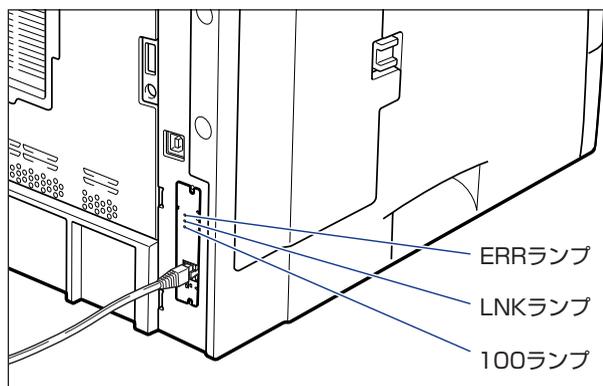
- 本ネットワークボードには、LAN ケーブルは付属していません。本ネットワークボードを装着して、プリンタをネットワークに接続する場合は、カテゴリ 5 対応のツイストペアケーブルが必要です。ケーブルやハブなどは、必要に応じて別途ご用意ください。
- オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」（→P.7-32）を参照してください。

7 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

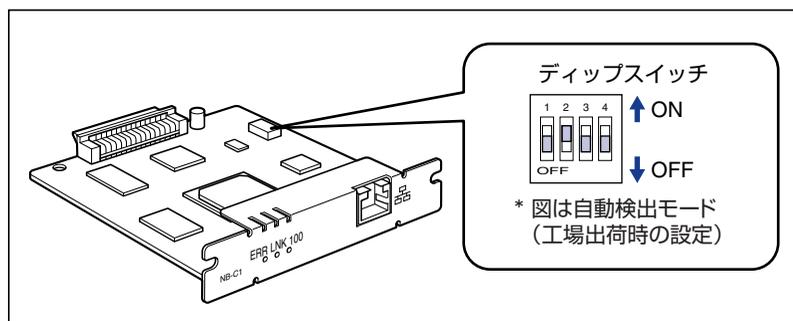
9 電源スイッチの“|”側を押して、プリンタの電源をオンにします。

重要　正しく動作しなかったり、プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されたときは、「困ったときには」（➞P.8-1）を参照してください。

10 ネットワークボードのLNK ランプ（緑）が点灯していることを確認します。

10BASE-T の場合は、LNK ランプが点灯していれば正常です。
100BASE-TX の場合は、LNK ランプと 100 ランプが点灯していれば正常です。

正常に動作していない場合はプリンタの電源をオフにし、LAN ケーブルの接続やハブの動作、ネットワークボードの取り付け状態を確認してください。

ネットワークボードを設定する

ネットワークボードは、工場出荷状態では「自動検出モード」に設定されています。10BASE-T/100BASE-TX の通信速度や転送モードは自動的に検出されるので、通常は設定を変更する必要はありません。ネットワーク側の機器とうまく通信できないときは、ネットワークボードのディップスイッチを設定してください。ディップスイッチの設定は、プリンタの電源をオフにしてネットワークボードを取り外してから行います。ネットワークボードの取り外しの作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。接続したネットワークの通信速度に合わせて、ディップスイッチを次のように設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

■ ネットワークの通信速度／転送モードとディップスイッチの設定

LANの通信速度／転送モード	ディップスイッチの設定
自動検出モード （工場出荷時の設定）	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
10BASE-T／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／半二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF
100BASE-TX／全二重モード に固定する場合	1 2 3 4 OFF ON OFF

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

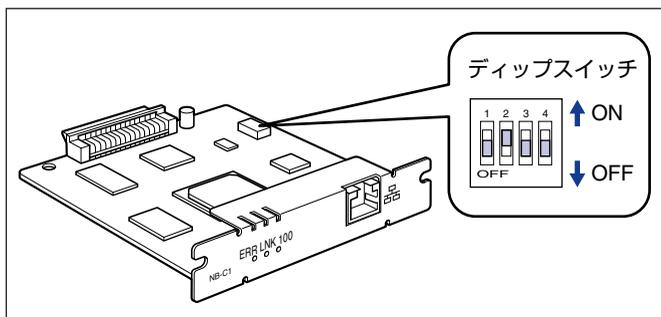
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」（➞P.7-35）を参照してください。

3 2本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

4 ディップスイッチを設定します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。設定方法は P.7-45 の表を参照してください。

5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の2本のネジで固定します。

7 LAN ケーブルを接続します。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」（➞P.7-32）を参照してください。

8 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

9 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

ネットワークボードの初期化

ネットワークボードの設定値を工場出荷時の値に戻したいときは、リモート UI、FTP クライアントのいずれかの方法で行います。リモート UI についてはリモート UI ガイド「第 3 章 リモート UI のいろいろな機能」、FTP クライアントについてはネットワークガイド／本編「第 5 章 付録」を参照してください。

もし、上記のいずれの方法も行えない場合は、次の手順でディップスイッチを操作して、ネットワークボードの設定値をリセットすることができます。ネットワークボードをリセットする作業には、プラスドライバが必要です。あらかじめネジに合ったサイズのものをご用意ください。

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

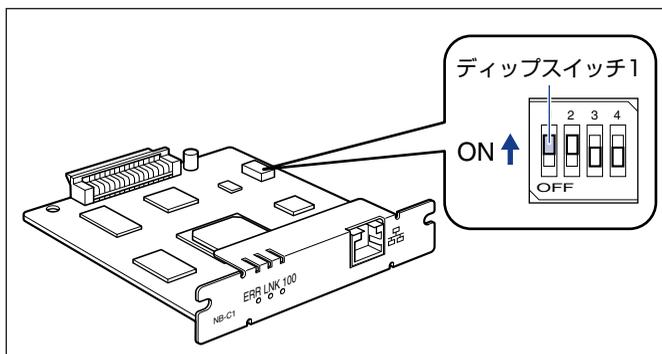
2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

メモ　オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」（➞P.7-35）を参照してください。

3 2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。

重要　ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。

4 ディップスイッチ 1 をオン側に切り替えます。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要　ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

5 ネットワークボードを拡張ボードスロットに差し込みます。

ネットワークボードは、金属製のパネル部分を持ち、ボードを拡張ボードスロット内部のガイドレールに合わせて差し込みます。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- ネットワークボードのプリンタ接続コネクタを、拡張ボードスロット内部のコネクタに、しっかりと確実に押し込んでください。

6 ネットワークボードの上下を、付属の 2 本のネジで固定します。

7 電源コード、アース線を接続します。

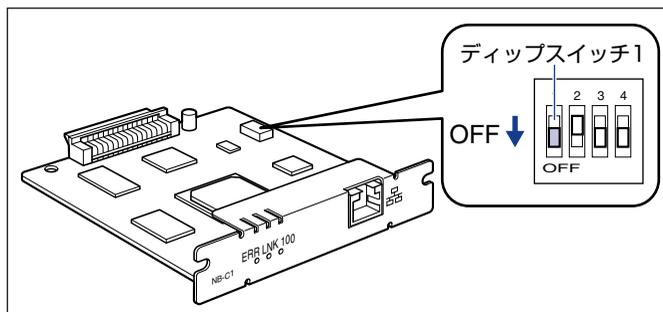
8 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

9 電源スイッチの"|"側を押して、プリンタの電源をオンにし、印刷可ランプが点灯するまで待ってから、電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにします。

10 電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。

11 電源コード、アース線を取り外します。

12 ネットワークボードを取り外し、ディップスイッチ 1 をオフ側に戻します。

ディップスイッチは、ボールペンの先などで設定してください。

重要 ディップスイッチを設定する際は、ボールペンなどの先でメインボードを傷つけないように気を付けてください。また、シャープペンシルなどの先端の鋭利なものは使用しないでください。

13 ネットワークボードを取り付けます。

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」(➞P.7-32)を参照してください。

14 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。

15 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントに接続します。

ネットワークボードを取り外す

ネットワークボードの取り外しは、次の手順で行います。ネットワークボードの取り付けで取り外した拡張ボードスロットの保護板とネジをご用意ください。

注意
- 必ずプリンタの電源をオフにし、プリンタ本体に接続されているすべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外してから作業を行ってください。そのまま作業を行うと、感電の原因になることがあります。
- ネットワークボードの取り扱いには注意してください。ネットワークボードの角や部品の鋭利な部分に触れると、けがの原因になることがあります。

1 **電源スイッチの"○"側を押してプリンタの電源をオフにし、電源プラグを電源コンセントから抜き、アース線を専用のアース線端子から取り外します。**

2 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。**

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられているときは、プリンタから取り外します。取り外しかたについては、「両面ユニットを取り外す」(➞P.7-35)を参照してください。

3 **2 本のネジを外して、ネットワークボードを取り外します。**

取り外したネットワークボードは、購入時に入っていた保護袋に入れて保管してください。

重要
- ネットワークボードの部品やプリント配線、コネクタには直接手を触れないでください。
- 取り外したネジは再度ネットワークボードを取り付けるときに必要になります。なくさないように保管しておいてください。

4 **拡張ボードスロットの保護板を取り付け、ネジで固定します。**

メモ オプションの両面ユニットが取り付けられていたときは、プリンタに取り付けます。取り付けかたについては、「両面ユニットを取り付ける」(➞P.7-32)を参照してください。

5 **すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を接続します。**

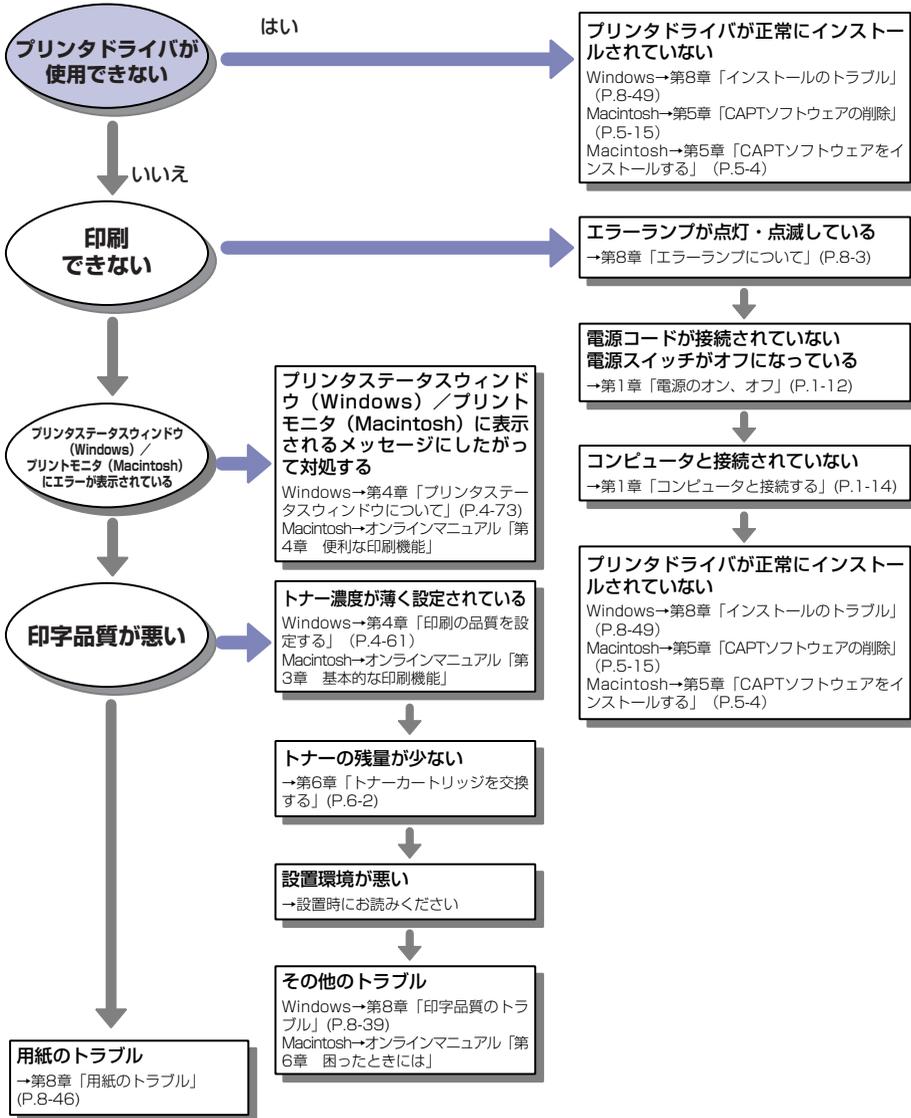
6 **アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。**

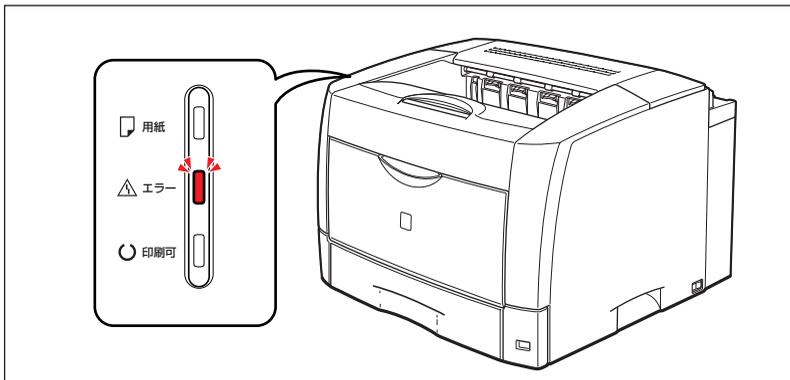
困ったときには

この章では、紙づまりが起こったときや印字品質に問題があるときなどの対処のしかたについて説明しています。

トラブル解決マップ 8-2
エラーランプについて 8-3
紙づまりが起こったときには 8-4
紙づまりの除去手順 8-6
サービスコール表示 8-37
印字品質のトラブル 8-39
用紙のトラブル 8-46
何も印刷されないときは 8-48
インストールのトラブル 8-49
アンインストールできなかったときは 8-50
USB クラスドライバの削除 8-52
ローカルインストール時のトラブル 8-55
プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル 8-56
その他のトラブル 8-57
プリンタの機能を確認したいときには 8-60

トラブル解決マップ

本プリンタを使用中に異常が発生したときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

エラーランプについて

プリンタに何らかのトラブルが起こると、エラーランプ（赤色）が点灯または点滅します。

エラーランプが点灯しているときは、サービスエラーが発生していますので、「サービスコール表示」（→P.8-37）を参照してください。

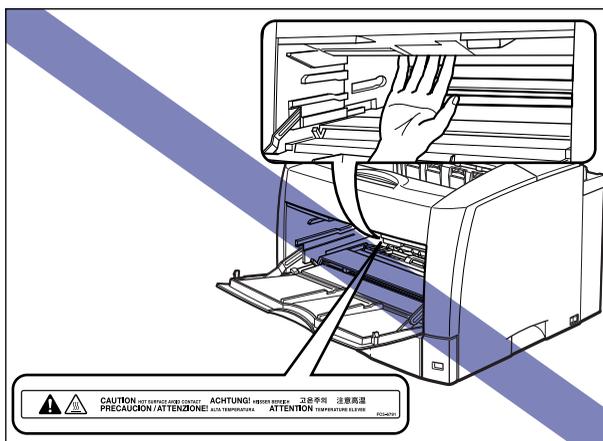
エラーランプが点滅しているときは、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）の表示にしたがって対処してください。

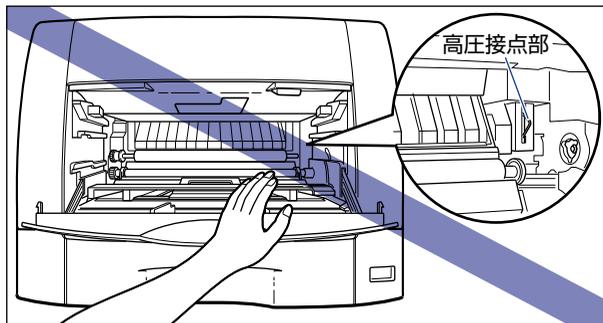
紙づまりが起こったときには

印刷中に紙づまりが起こると、Windowsをお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のメッセージが表示されます。Macintosh をお使いの場合は、プリントモニタにメッセージが表示されます。

例）プリンタステータスウィンドウ（Windows）

⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。

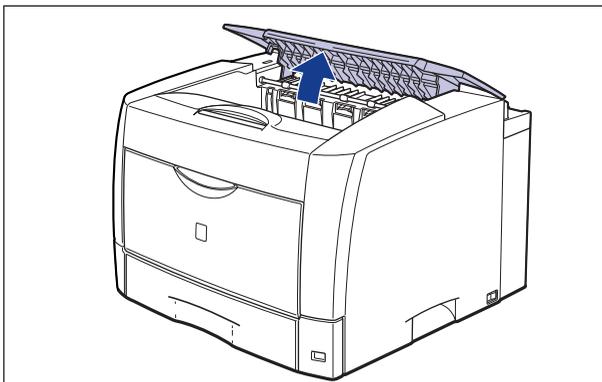
⚠注意　• プリンタ使用中は定着器が高温になっています。定着器周辺には触れないように注意してください。やけどの原因になります。

- 紙づまりの処理をするときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください、温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。

- トナーカバー内部の高圧接点部には、絶対に触れないでください。プリンタ故障の原因になることがあります。

- つまっている用紙を取り除くときは、必ず先にトナーカートリッジと給紙カセットを取り出し、プリンタの上カバーを止まる位置まで完全に開けてから紙づまり除去作業を行ってください。
- つまっている用紙を取り除くときは、本プリンタの電源をオンのままで作業を行ってください。電源をオフにすると、印刷中のデータが消去されてしまいます。ただし、両面ユニットを取り外して紙づまりの処理を行う場合は、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。
- 無理に取り除くと、用紙が破れたり、内部の装置を傷めることがあります。用紙を取り除くときは、 位置ごとに正しい方向へ引き出してください。
- 用紙が破れているときは、 残りの紙片も探して取り除いてください。
- 上カバーを開けずにつまった用紙を取り除いた場合は、エラーメッセージが消えないことがあります。 このような場合は、上カバーを一度開閉してください。

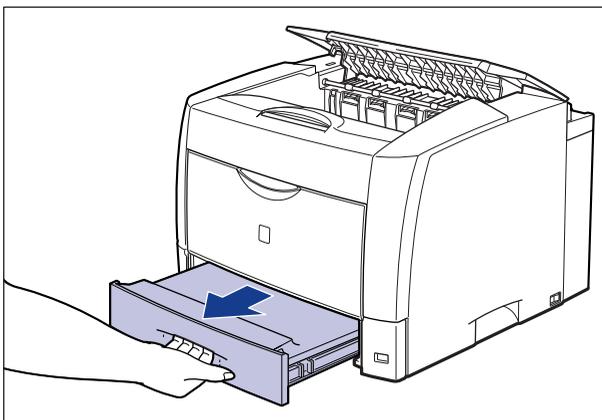
メモ　プリントモニタについては、オンラインマニュアル「第 4 章　便利な印刷機能」を参照してください。

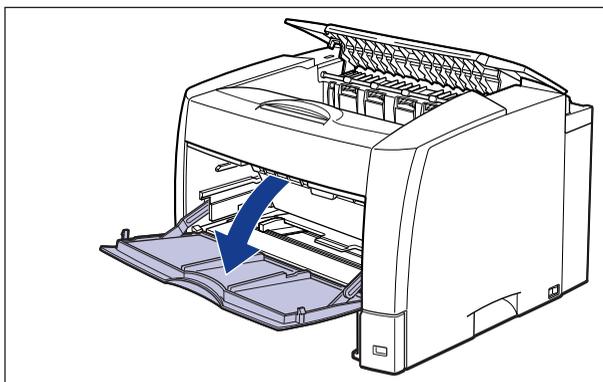
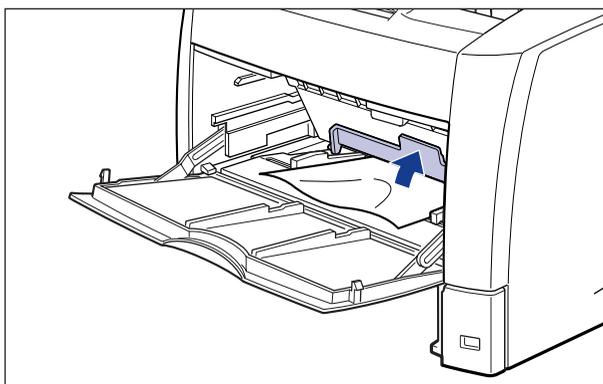
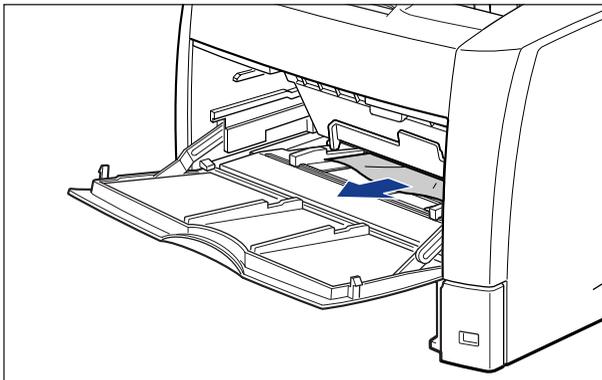
紙づまりの除去手順

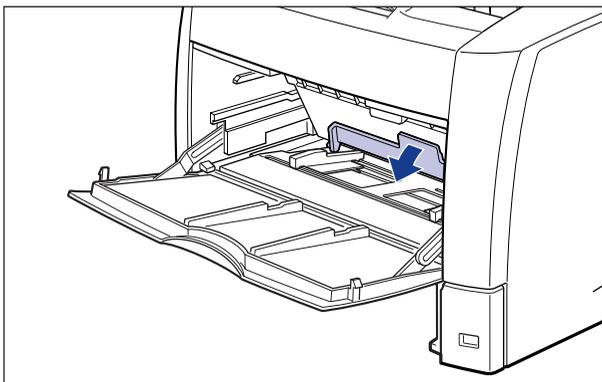
次の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除きます。

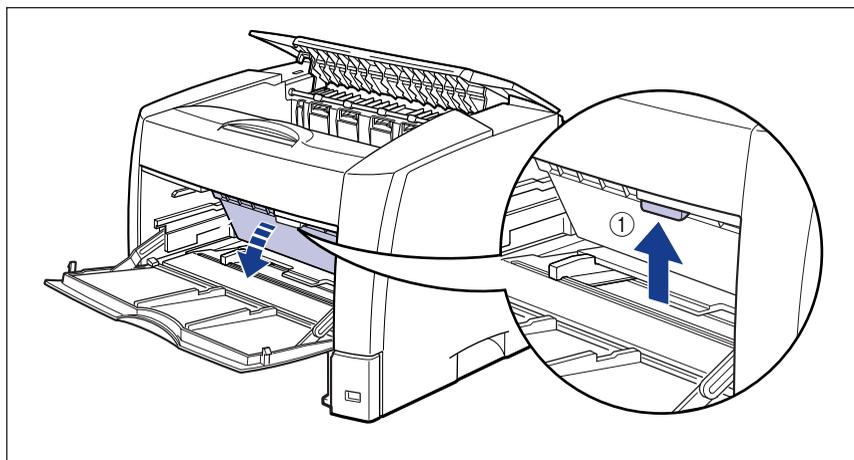
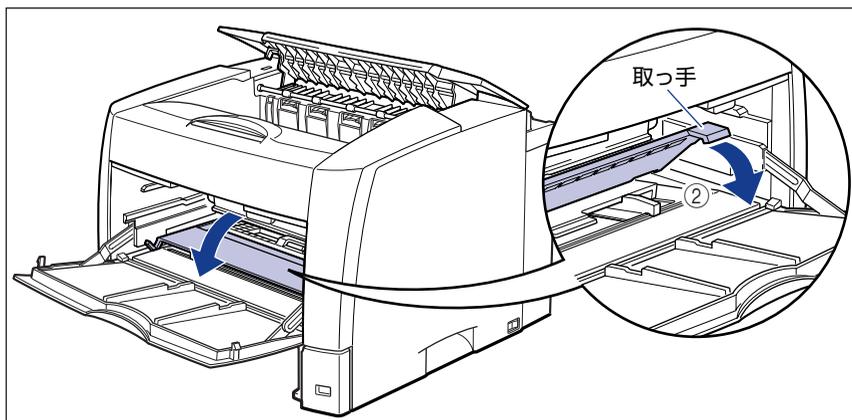
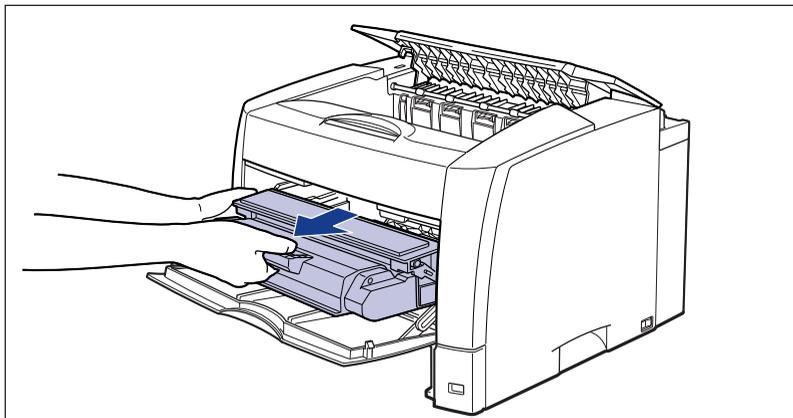
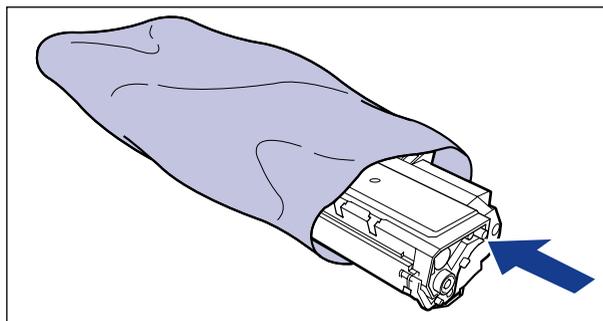
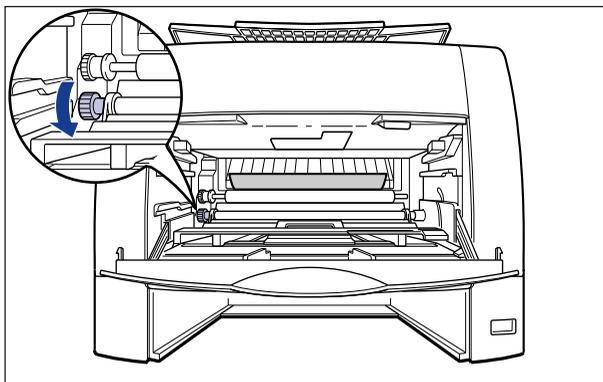
1 上カバーを開けます。

重要　上カバーはゆっくりと強く押し上げ、必ず止まる位置まで完全に開けてください。上カバーが完全に開いていない状態で、つまっている用紙を取り除くとプリンタ故障の原因になります。

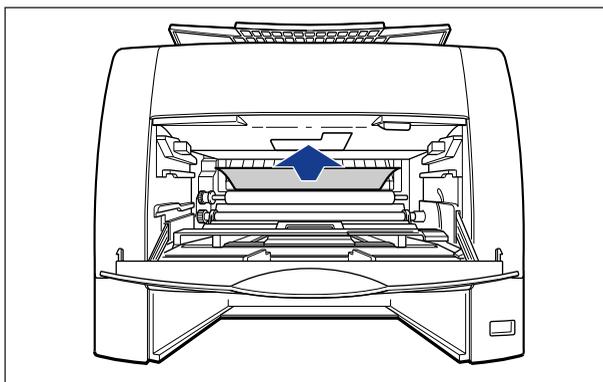
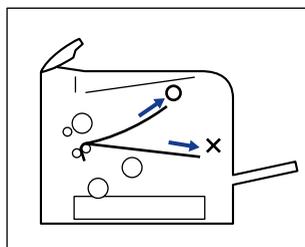
2 給紙カセットを引き出します。

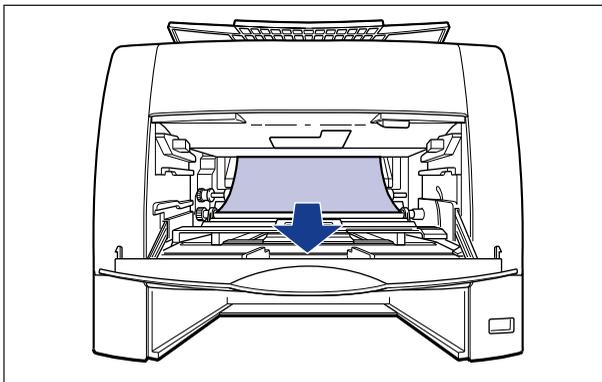
引き出しにくい場合は、給紙カセットを少し持ち上げてから水平に引き出します。

3 手差しトレイを開けます。

手差しトレイは中央の取っ手を持って開けます。

4 手差しトレイを使用している場合は、用紙押さえレバーを上げ、セットしている用紙を取り除きます。

5 手差しトレイにつまっている用紙を取り除きます。

重要 つまった用紙が簡単に取り除けない場合は、無理に引っぱらずに次の手順に進んでください。

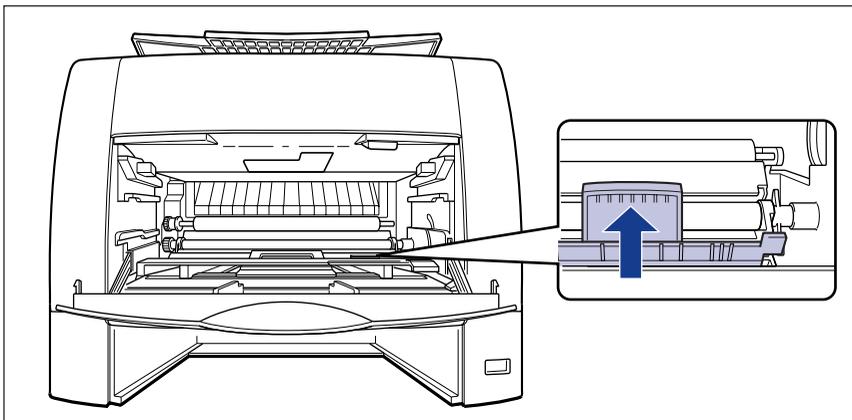
6 用紙押さえレバーを下げます。

7 トナーカバーを開けます。

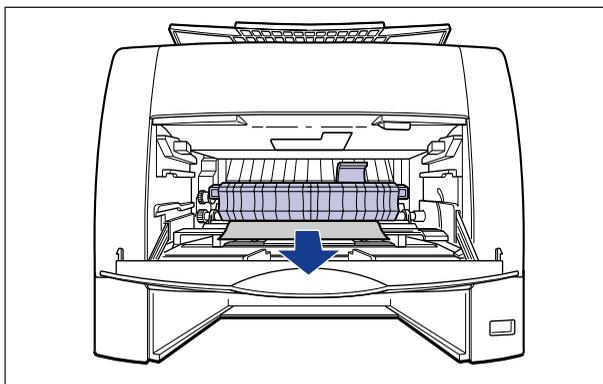
図のように緑色のトナーカバーオープンボタンを押します ①。

トナーカバーは、緑色の取っ手を持って、カチッと音がするまでしっかりと開けます ②。

8 トナーカートリッジの取っ手を持って途中まで取り出し、途中から図のように両手で取り出します。

9 トナーカートリッジを保護袋に入れます。

10 トナーカバー内のダイヤルを矢印の方向に回し、つまっている用紙を送り出します。

11 トナーカバー内につまっている用紙を取り除きます。

定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。

重要　つまっている用紙を斜め下に引くと、定着していないトナーがこぼれることがあります。つまった用紙はできるだけ斜め上に引いて、取り除いてください。内部が汚れると、印字品質低下の原因になります。

12 排紙トレイ側につまっている用紙を取り除きます。

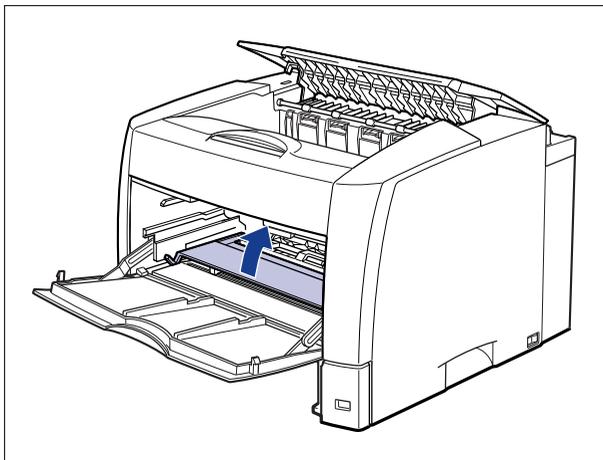
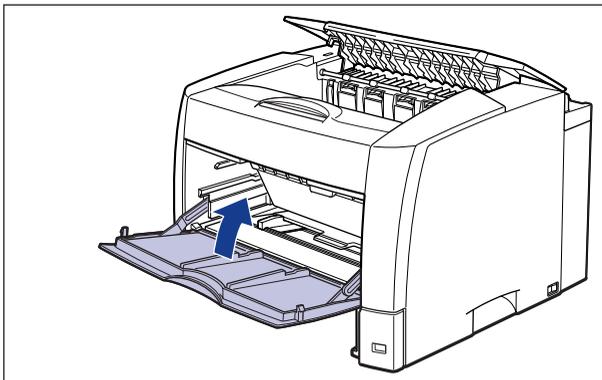
定着していないトナーをこぼさないようにゆっくりと取り除いてください。

重要　用紙の後端が定着ユニットに残っていたときは、定着されていないトナーが用紙の上に載っていますので、トナーをこぼさないように気をつけて取り除いてください。トナーを内部にこぼすと、内部が汚れて印字品質低下の原因になります。

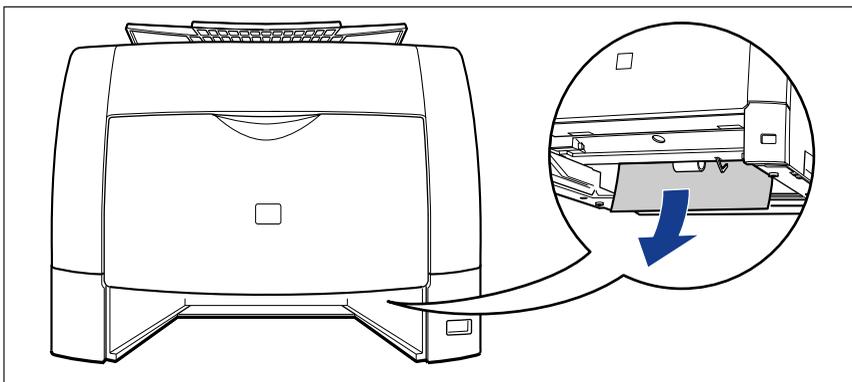
13 用紙が手差し搬送カバーの下にある場合は、手差し搬送カバーを開けます。

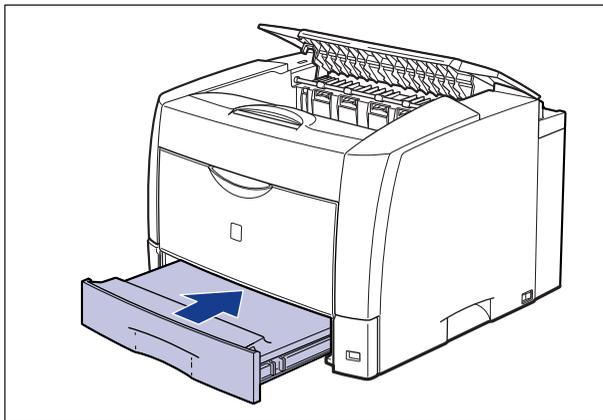
手差し搬送カバーは、緑色の取っ手を持って持ち上げてください。

14 つまっている用紙を取り除き、手差し搬送カバーを閉めます。

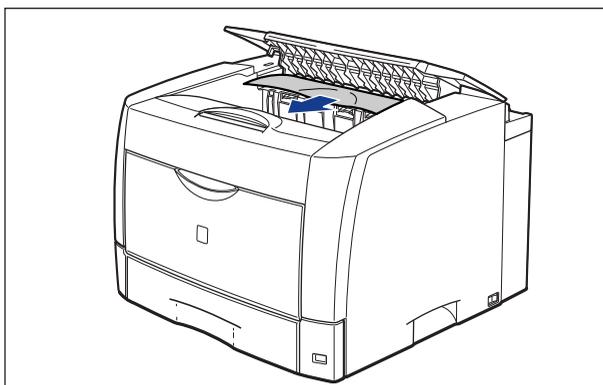
用紙はゆっくりと引き抜きます。

重要　用紙の先端が定着ユニットまで送られているときは、定着されていないトナーが用紙の上に載っていますので、トナーをこぼさないように気をつけて取り除いてください。トナーを内部にこぼすと、内部が汚れて印字品質低下の原因になります。

15 トナーカバーを閉めます。

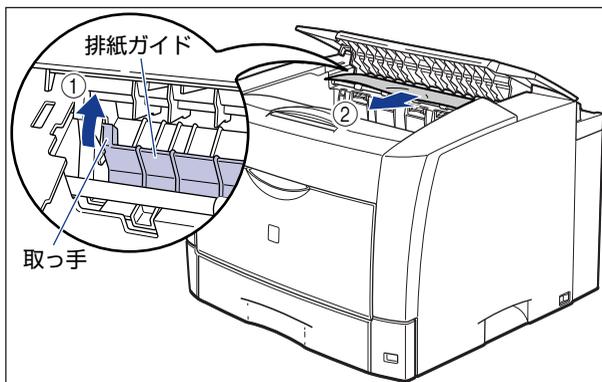
トナーカバーの中央部を持って、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

16 手差しトレイを閉めます。

重要　手差しトレイが閉まらないときは、トナーカバーが完全に閉まっているかどうかを確認してください。無理に手差しトレイを閉めると故障の原因になります。

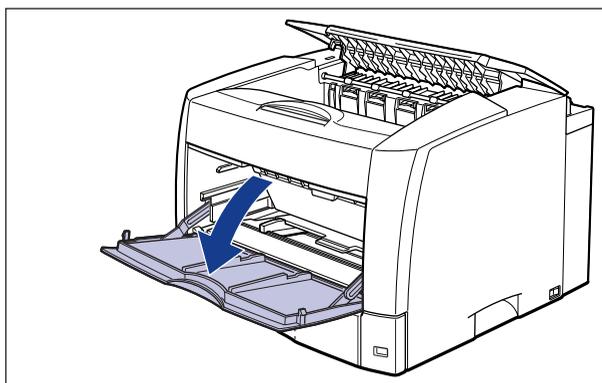
17 プリンタ底面につまっている用紙を取り除きます。

オプションのペーパーフィーダから給紙して紙づまりが起こったときは、「ペーパーフィーダの紙づまり」（→P.8-20）を参照してください。

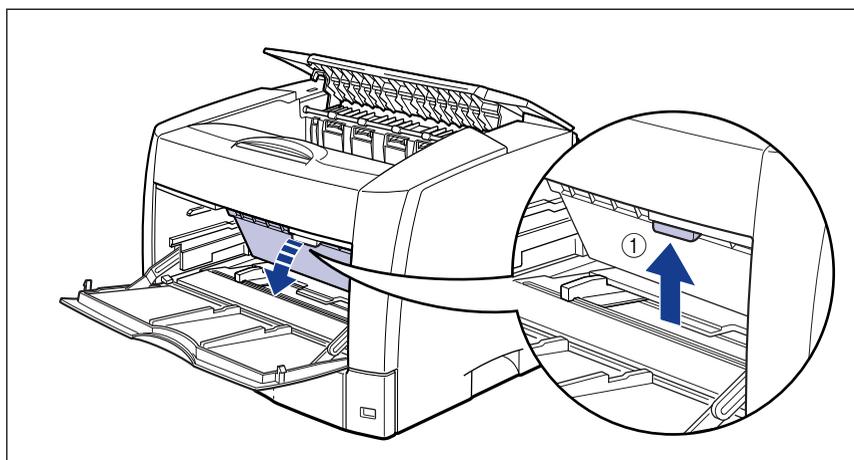
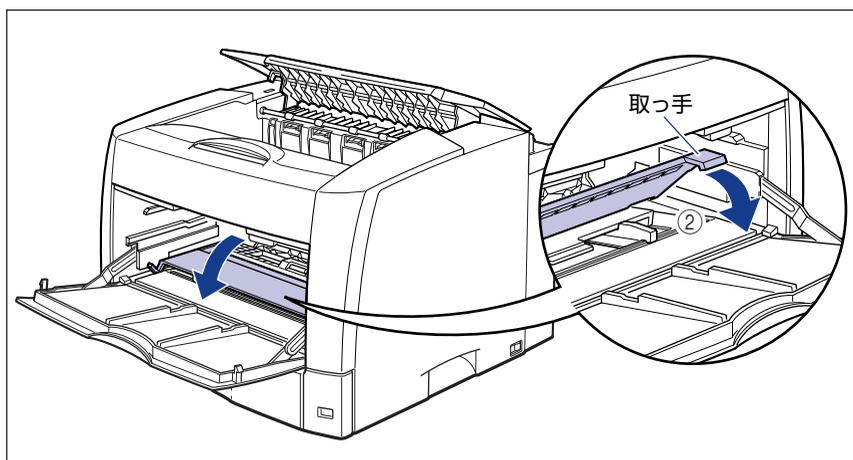
18 給紙カセットをプリンタ本体にセットします。

オプションの両面ユニットを使って両面印刷して紙づまりが起こったときは、「両面ユニットの紙づまり」(→P.8-23)を参照してください。

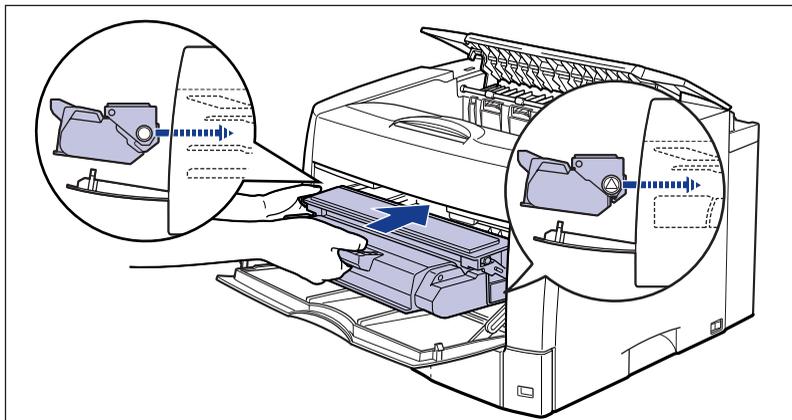
19 排紙トレイ側からつまっている用紙を取り除きます。

重要 上カバーが止まる位置まで完全に開いていることを確認してから、つまっている用紙を取り除いてください。上カバーが完全に開いていない状態で、つまっている用紙を取り除くとプリンタ故障の原因になります。

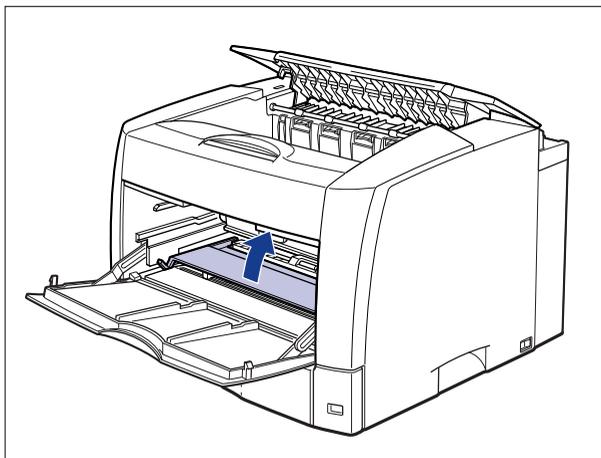
20 用紙が排紙ガイドの下にある場合は、排紙ガイドを持ち上げ ①、つまっている用紙を取り除きます ②。

排紙ガイドは、取っ手を持って、持ち上げてください。用紙は、ゆっくりと引き抜きます。

21 手差しトレイを開けます。

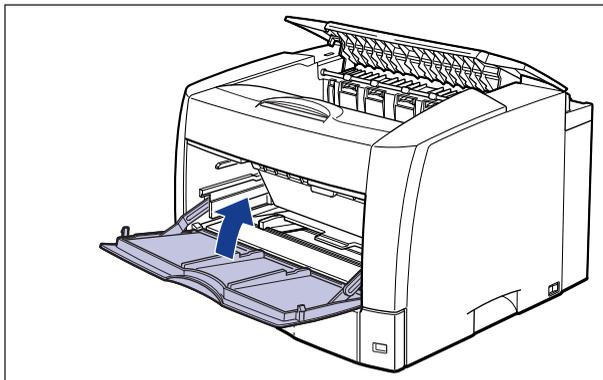
手差しトレイは、中央の取っ手を持って開けます。

22 トナーカバーを開けます。

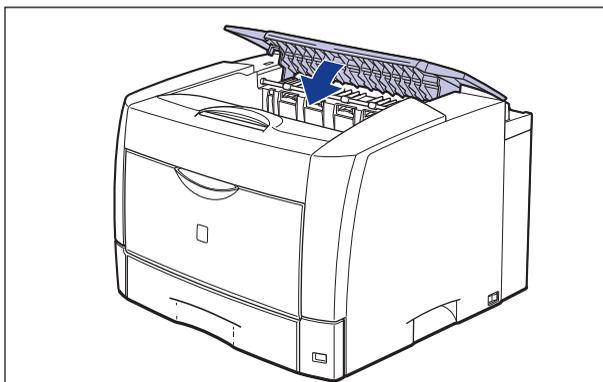
図のように緑色のトナーカバーオープンボタンを押します ①。

トナーカバーは、緑色の取っ手を持って、カチッと音がするまでしっかりと開けます ②。

23 トナーカートリッジを保護袋から取り出し、プリンタに取り付けます。

トナーカートリッジ両側の突起を本体内側のトナーカートリッジガイドに合わせます。奥に当たるまで押し込みます。

24 トナーカバーを閉めます。

トナーカバーの中央部を持って、カチッと音がするまでしっかり閉めます。

重要

- トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。
- トナーカートリッジを取り付けたあと、トナーカバーを開けたまま長時間放置しないでください。

25 手差しトレイを閉めます。

重要　手差しトレイが閉まらないときは、トナーカバーが完全に閉まっているかどうかを確認してください。無理に手差しトレイを閉めると故障の原因になります。

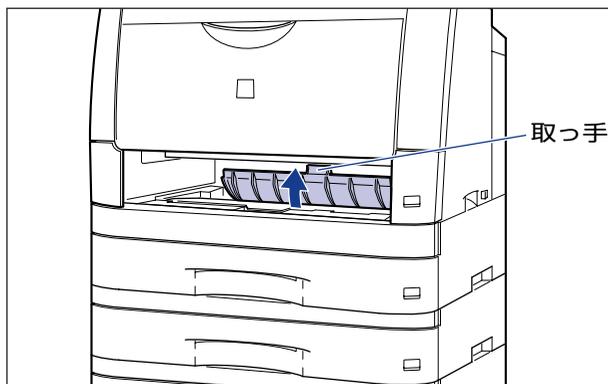
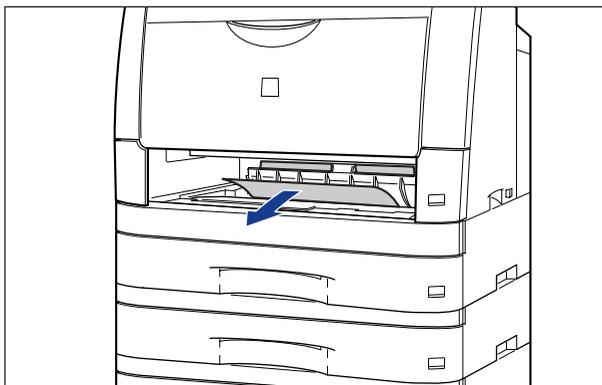
26 上カバーを閉めます。

上カバーを閉めてもプリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に給紙部や両面ユニットで紙づまりが起こっていることを示すメッセージが消えないときは、ペーパーフィーダや両面ユニットに用紙が残っている可能性があります。「紙づまりのメッセージが消えないときは」（→P.8-28）の手順にしたがって、つまっている用紙を取り除いてください。

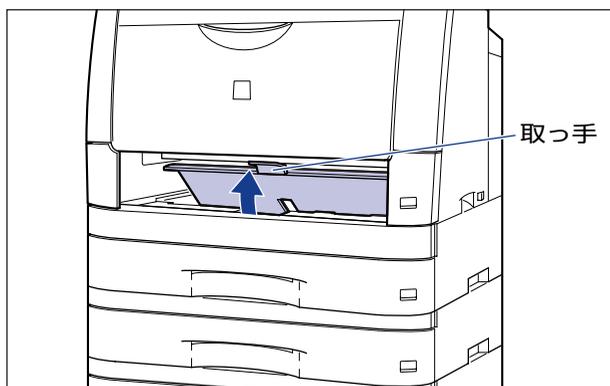
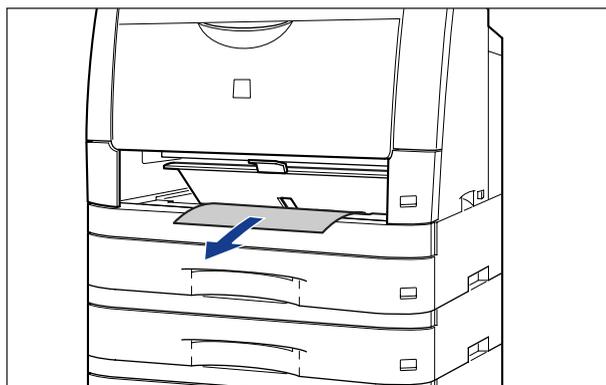
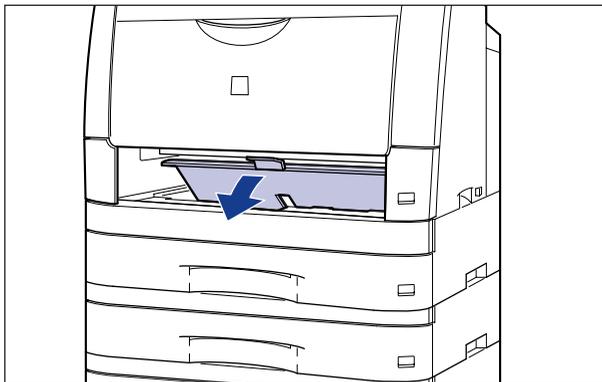
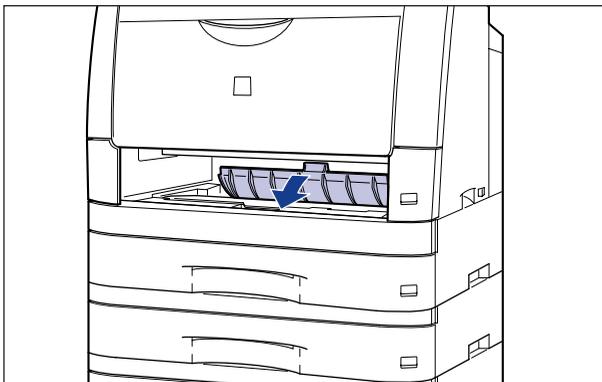
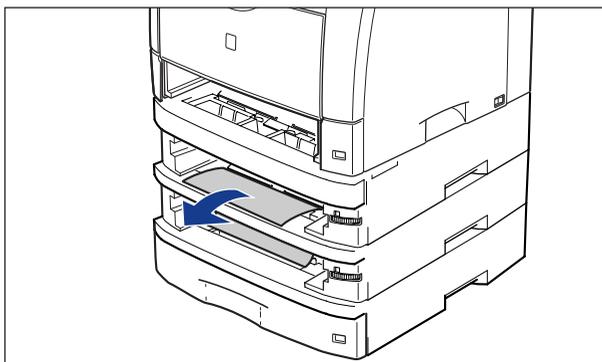
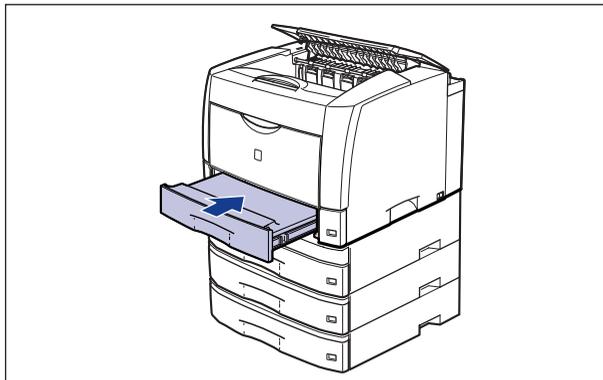
ペーパーフィーダの紙づまり

次の手順でペーパーフィーダ部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1 「紙づまりの除去手順」（→P.8-6）の手順 1 ～ 17 までを行います。

2 奥の搬送ガイドを開けます。

搬送ガイドは緑色の取っ手を持って開けます。

3 つまっている用紙を取り除きます。

4 手前の搬送ガイドを開けます。

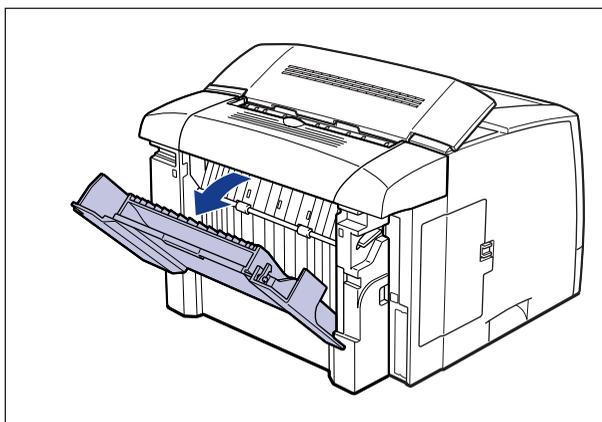
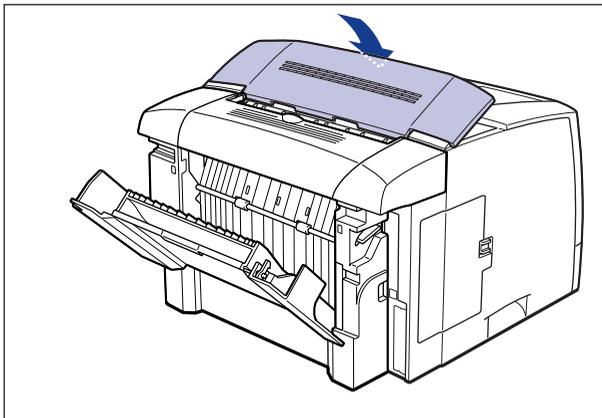
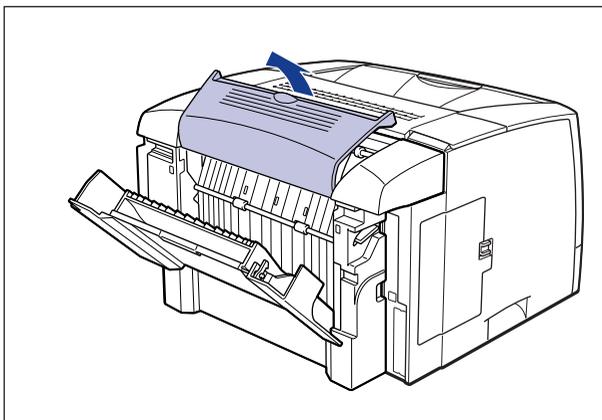
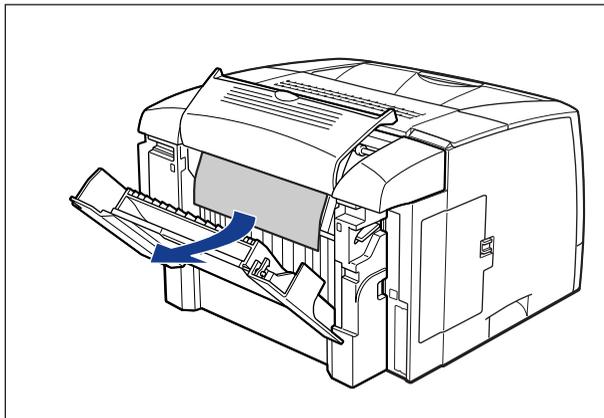
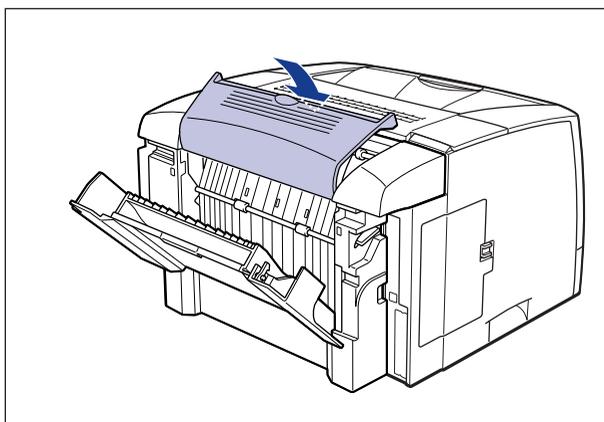
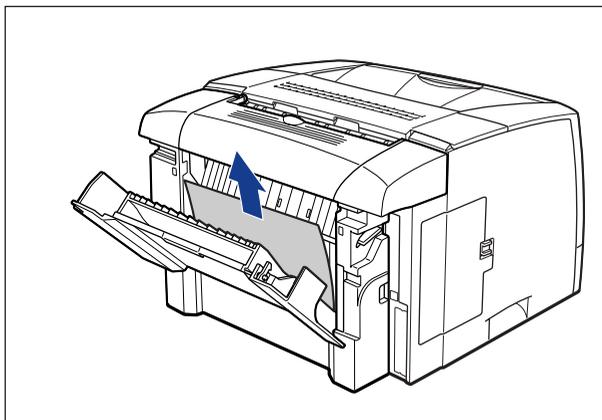
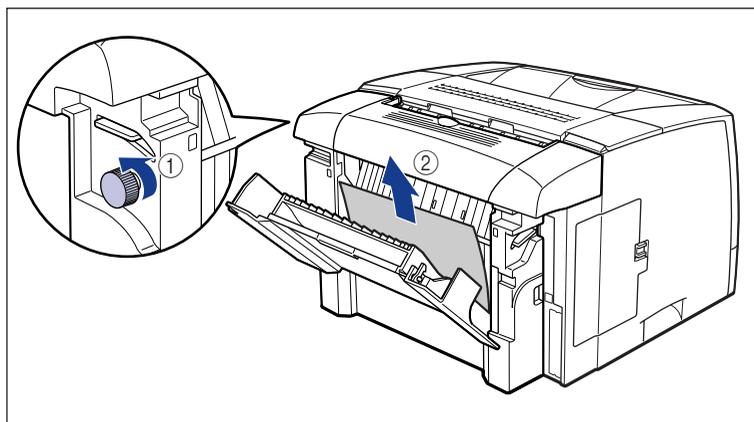
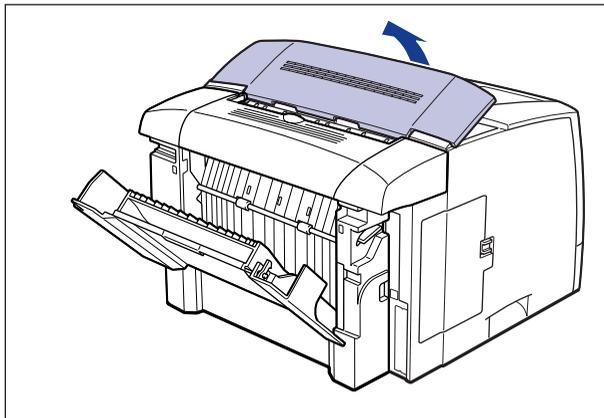
搬送ガイドは緑色の取っ手を持って開けます。

5 つまっている用紙を取り除きます。

6 手前の搬送ガイドを閉めます。

7 奥の搬送ガイドを閉めます。

8 ペーパーフィーダの上から順番に1つずつ給紙カセットを引き抜き、つまっている用紙を取り除きます。

9 給紙カセットをプリンタ本体、ペーパーフィーダにセットします。

引き続き紙づまりの処理を行いますので、「紙づまりの除去手順」（→P.8-15）の手順 19 へ進んでください。オプションの両面ユニットを使って両面印刷して紙づまりが起こったときは、「両面ユニットの紙づまり」（→P.8-23）へ進んでください。

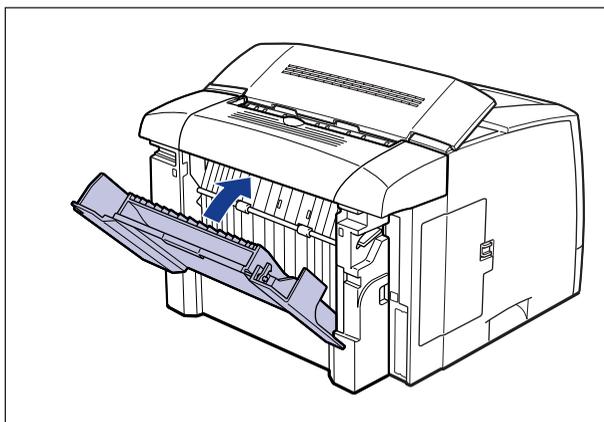
両面ユニットの紙づまり

次の手順で両面ユニット部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

1 「紙づまりの除去手順」（→P.8-6）の手順 1 ～ 18 までを行います。

2 両面後部ユニットを開けます。

両面後部ユニットは、中央の取っ手を持って開けます。

3 上カバーを閉めます。

4 両面上カバーを開けます。

5 両面上カバー内につまっている用紙を取り除きます。

6 両面上カバーを閉めます。

7 両面後部ユニット内に用紙が見える場合は、そのまま用紙を引っぱって、つまっている用紙を取り除きます。

8 両面後部ユニット内に用紙が見えない場合は、つまみを回して ①、つまっている用紙を送り出し、つまっている用紙を取り除きます ②。

9 上カバーを開けます。

重要　上カバーはゆっくりと強く押し上げ、必ず止まる位置まで完全に開けてください。上カバーが完全に開いていない状態で、つまっている用紙を取り除くとプリンタ故障の原因になります。

10 両面後部ユニットを閉めます。

引き続き紙づまりの処理を行いますので、「紙づまりの除去手順」（→P.8-15）の手順 19 へ進んでください。

紙づまりのメッセージが消えないときは

オプションを装着しているときに、紙づまりの処理を行っても、プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に給紙部や両面ユニットで紙づまりが起こっていることを示すメッセージが表示されているときは、ペーパーフィーダの給紙部、両面下カバー部に用紙が残っていることを表わしています。次の手順でペーパーフィーダの給紙部、両面下カバー部をチェックし、つまっている用紙を取り除いてください。

重要　両面ユニットを装着している場合の紙づまりの処理では、プリンタの電源をオフにするため、印刷中のデータが消去されてしまいます。紙づまりを取り除いたあとに、再度印刷しなおしてください。

■両面ユニットを装着していない場合

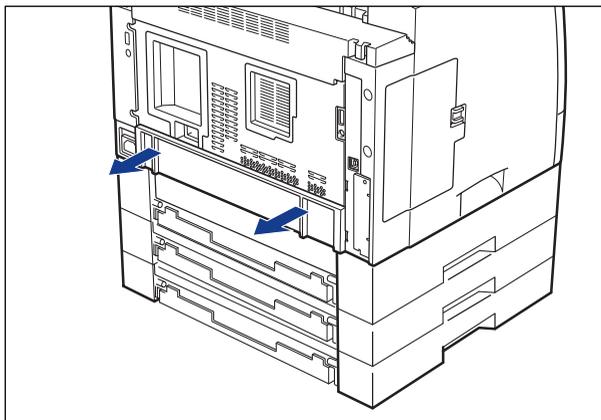
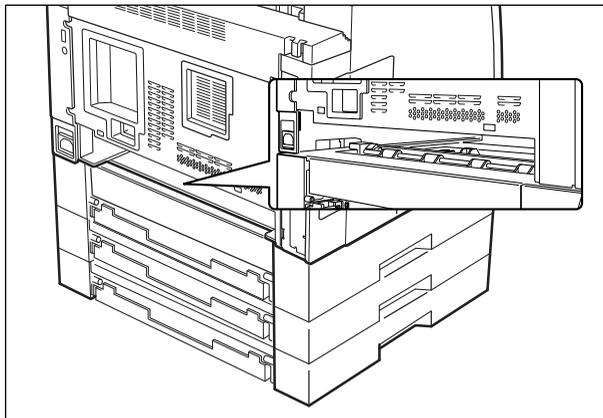
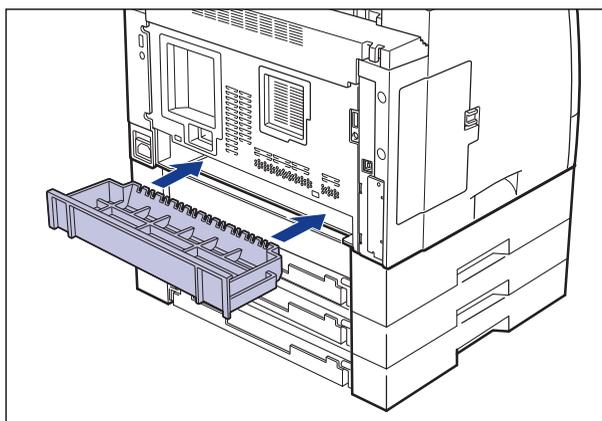
1 上カバーを開けます。

重要　上カバーはゆっくりと強く押し上げ、必ず止まる位置まで完全に開けてください。上カバーが完全に開いていない状態で、つまっている用紙を取り除くとプリンタ故障の原因になります。

2 給紙カセットを引き出します。

3 手差しトレイを開け、トナーカバーを開けてトナーカートリッジを取り外します。

4 トナーカバーを閉め、手差しトレイを閉めます。

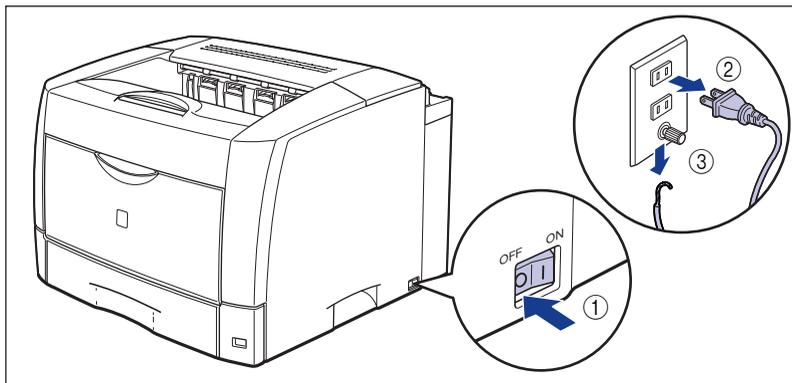
5 後下カバーを取り外します。

6 プリンタの背面から内部に用紙が残っていないか確認します。

7 後下カバーを取り付けます。

8 給紙カセットを取り付けます。

9 手差しトレイを開け、トナーカバーを開けてトナーカートリッジを取り付けます。

10 トナーカバーを閉め、手差しトレイを閉めます。

11 上カバーを閉めます。

■両面ユニットを装着している場合

1 電源スイッチの“○”側を押してプリンタの電源をオフにし ①、電源プラグを電源コンセントから抜き ②、アース線を専用のアース線端子から取り外します ③。

2 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り外します。

3 上カバーを開けます。

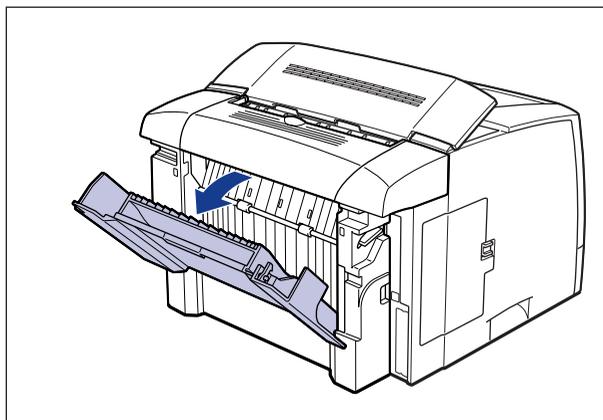
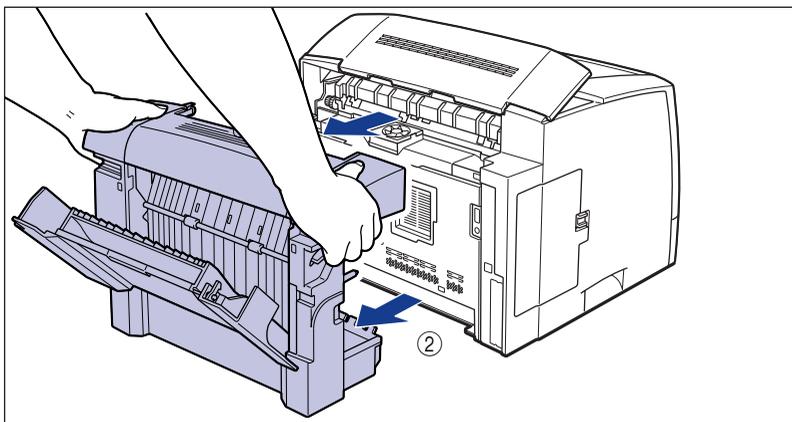
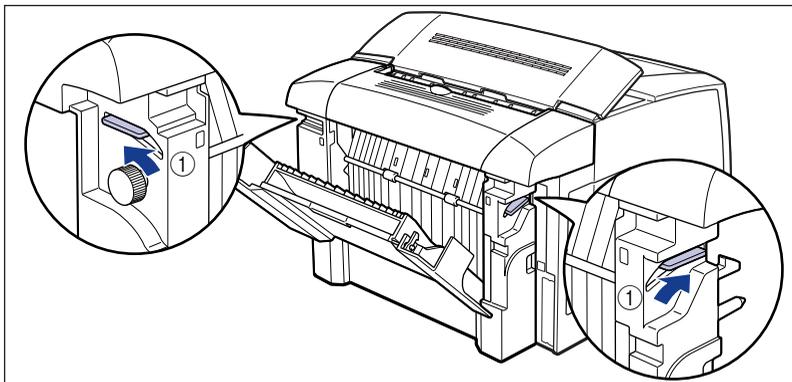
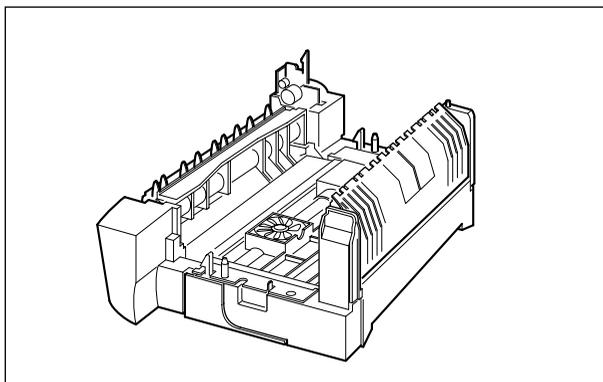
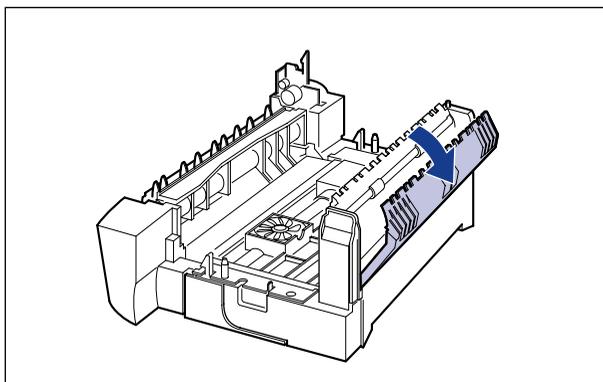
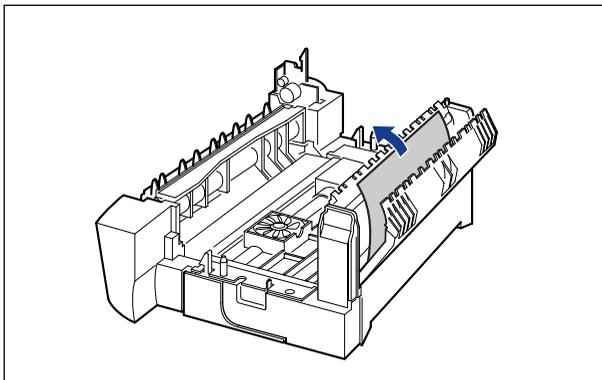
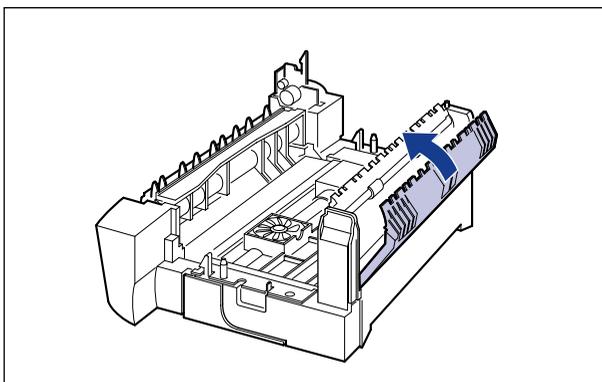
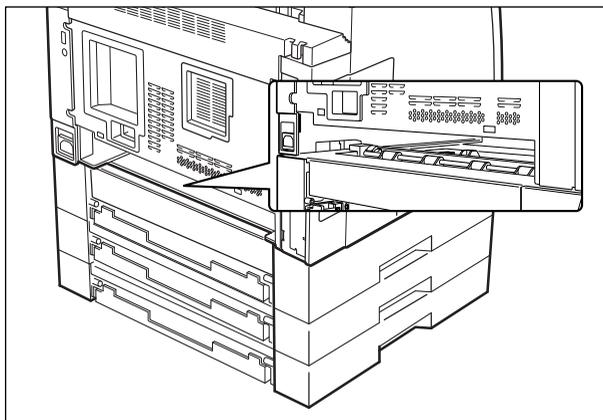
重要　上カバーはゆっくりと強く押し上げ、必ず止まる位置まで完全に開けてください。上カバーが完全に開いていない状態で、つまっている用紙を取り除くとプリンタ故障の原因になります。

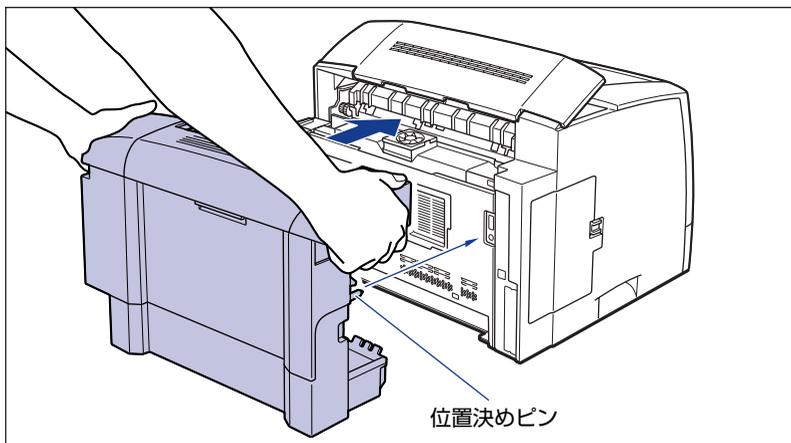
4 給紙カセットを引き出します。

5 手差しトレイを開け、トナーカバーを開けてトナーカートリッジを取り外します。

6 トナーカバーを閉め、手差しトレイを閉めます。

7 両面後部ユニットを開けます。

両面後部ユニットは、中央の取っ手を持って開けます。

8 両面ユニットの左右のロック解除レバーを押し上げ ①、両面ユニットを取り外します ②。

9 両面後部ユニットを閉め、両面ユニットを平らなところに図のように置きます。

10 両面下カバーを開けます。

11 つまっている用紙を取り除きます。

12 両面下カバーを閉めます。

13 ペーパーフィーダを装着している場合は、プリンタの背面から内部に用紙が残っていないか確認します。

14 両面ユニットを起こし、位置決めピンをプリンタの背面の穴に合わせて取り付けます。

両面ユニットは、カチッと音がするまでしっかり押し込みます。

15 給紙カセットを取り付けます。

16 手差しトレイを開け、トナーカバーを開けてトナーカートリッジを取り付けます。

17 トナーカバーを閉め、手差しトレイを閉めます。

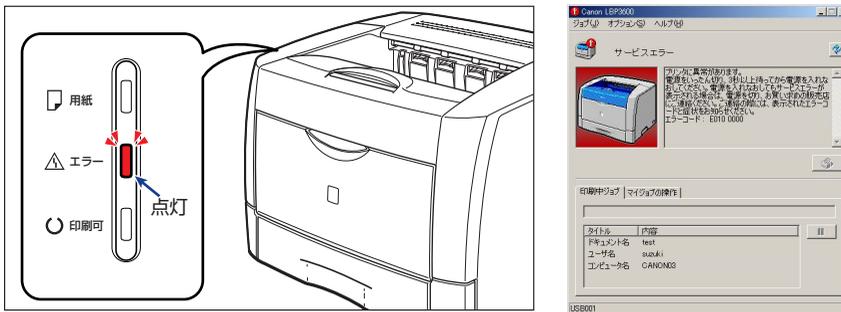
18 上カバーを閉めます。

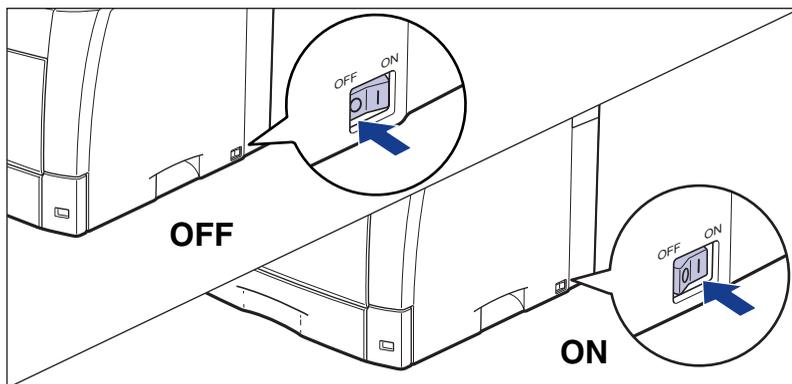
19 すべてのインタフェースケーブルや電源コード、アース線を取り付けます。

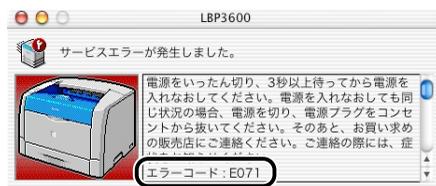
20 アース線を専用のアース線端子へ、電源プラグを電源コンセントへ接続します。

21 電源スイッチの“|”側を押してプリンタの電源をオンにします。

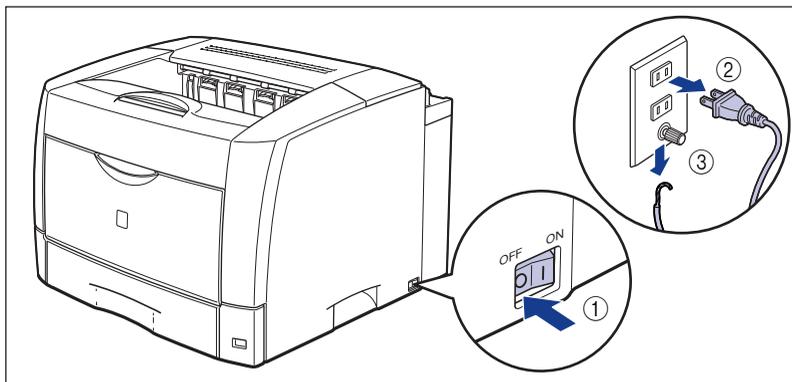
サービスコール表示

プリンタに何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、プリンタのエラーランプ（赤色）が点灯し、Windows をお使いの場合は、プリンタステータスウィンドウに次のようなサービスコールが表示されます。Macintosh をお使いの場合は、プリントモニタにサービスコールが表示されます。

サービスコールが表示されたら、次の手順で電源を入れなおしてください。メッセージが消えることがあります。

1 **電源をいったんオフにし、3秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。**

メッセージが表示されない場合は、そのままご使用になれます。再度メッセージが表示された場合は、次の手順に進んでください。

2 プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に表示されているエラーコードを書きとめます。

（Macintosh）

（Windows）

3 電源をオフにし①、電源プラグを電源コンセントから抜き②、アース線を専用のアース線端子から取り外します③。

4 お買い求めの販売店にご連絡ください。

ご連絡の際には、症状および書きとめたエラーコードをお知らせください。

印字品質のトラブル

本プリンタの使用中に、トラブルと思われるような症状が起こったら、症状に応じて次のような処置をします。

重要

- プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）にメッセージが表示されたときは、表示されるメッセージにしたがって対処してください。
- 紙づまりの場合は、「紙づまりが起こったときには」（➞P.8-4）を参照してください。
- ここに記載されていない症状が起こったときや、記載されている処置を行ってもなおらないとき、原因がどうしてもわからないときは、「お客様相談センター」（巻末参照）にお問い合わせください。

メモ

- Macintosh をお使いの場合で、ここに記載されていない症状が起こったときは、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。
- ここに記載されているプリンタドライバの操作方法は、Windowsを例に記載しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

白いすじが入る

原因 1　トナーカートリッジの寿命がきている、またはトナーが均一になっていない

処　置　トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり 5 〜 6 回振ってトナーをならしてからセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 2　搬送ローラが汚れている

処　置　搬送ローラを清掃してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 3　転写ローラまたはトナーカートリッジ内の感光ドラムが汚れている

処　置　転写ローラと感光ドラムを清掃してください。（➞ 転写ローラと感光ドラムを清掃する：P.6-25）

原因 4　トナーカートリッジ内の感光ドラムが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

部分的に白く抜ける

原因 1　用紙が適切でない

処　置　使用できる用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　搬送ローラが汚れている

処　置　搬送ローラを清掃してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 3　用紙の保管状態が悪く、吸湿している

処　置　新しい用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 4　転写ローラまたはトナーカートリッジ内の感光ドラムが汚れている

処　置　転写ローラと感光ドラムを清掃してください。（➞ 転写ローラと感光ドラムを清掃する：P.6-25）

原因 5　トナーカートリッジ内の感光ドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

印刷しない部分に残像が現れる

原因 1　印刷する用紙が適当でない

処　置　用紙や OHP フィルムを取り替えて印刷してください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因 2　トナーカートリッジ内の感光ドラムが劣化している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 3　幅がレターサイズ（279.4mm）以下の用紙を連続印刷したあとに、幅の広い用紙に印刷した

処置 1　[定着オフセット]の設定によっては、このような現象が発生することがあります。このような場合は、プリンタドライバの［定着オフセット］を［使わない］に設定します。
［定着オフセット］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

処置 2　定着器の温度を下げるため、しばらく待ってから印刷しなおしてください。

印字が全体的に薄い

原因 1　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［濃く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因２　［トナー節約モードを使う］が有効になっている

処　置　プリンタドライバで［トナー節約モードを使う］のチェックマークを消します。
［トナー節約モードを使う］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

印字が全体的に黒ずむ

原因１　［トナー濃度］の設定が適当でない

処　置　プリンタドライバで［トナー濃度］を［薄く］の方へドラッグします。
［トナー濃度］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

原因２　プリンタが直射日光または強い光が当たる場所に設置されている

処　置　プリンタを直射日光または強い光が当たらない場所に移動してください。あるいは、強い光を出す光源をプリンタから離してください。

印字ムラが出る

原因１　トナーカートリッジの寿命がきている

処　置　トナーカートリッジを取り出し、ゆっくり５～６回振ってトナーをならしてからセットしなおします。それでも同じ症状が出るときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因２　用紙が湿っている、あるいは乾燥している

処　置　適切な用紙に交換し、印刷しなおしてください。（➞ 用紙について：P.2-2）

原因３　トナーカートリッジが劣化、あるいは損傷している

処　置　新しいトナーカートリッジに交換してください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

印刷した用紙の表面や裏面に黒点状の汚れが付着する

原　因　定着ローラが汚れている

処　置　定着ローラを清掃してください。（➞ 定着ローラを清掃する：P.6-20）

文字のまわりにトナーが飛び散ったような跡が付く

原　因　文字データを印刷した場合、このような現象が発生することがある

処　置　プリンタステータスウィンドウを表示し、［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択して、［デバイス設定］ダイアログボックスにある［グラフィックス特殊処理］のチェックマークを消します。

画像に水玉模様（泡状）の跡が付く

原　因　中間調の多いグラフィックデータ（図・表・グラフなど）を印刷した場合、このような現象が発生することがある

処　置　プリンタステータスウィンドウを表示し、［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択して、［デバイス設定］ダイアログボックスの［グラフィックス特殊処理］にチェックマークを付けます。

ページの一部が印刷されない

原因 1　拡大／縮小率の設定が適当でない

処置 1　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを消します。チェックマークを消すと、［原稿サイズ］と［出力用紙サイズ］に応じて拡大／縮小率が自動的に設定されます。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

処置 2　プリンタドライバで［倍率を指定する］のチェックマークを付け、使用する用紙サイズに適した倍率を設定します。
［倍率を指定する］の設定は、［ページ設定］ページで行います。

原因 2　用紙をセットする位置が合っていない

処　置　用紙を正しくセットしてください。（➞ 給紙カセットから印刷する：P.2-16、手差しトレイから印刷する：P.2-51）

原因 3　余白なしで、用紙いっぱいのデータを印刷した

処　置　用紙の周囲 5mm（封筒は 10mm）の範囲には印刷できませんので、データの周囲に 5mm 以上（封筒は 10mm 以上）の余白を取ってください。

印字位置がずれてしまう

原因 1　［とじしろ］が設定されている

処　置　プリンタドライバで［とじしろ］の設定を「0」にします。
［とじしろ］の設定は、［仕上げ］ページの［とじしろ］ボタンをクリックして、［とじしろ指定］ダイアログボックスで行います。製本印刷を行うときの「とじしろ」の設定は、［仕上げ］ページの［印刷方法］で［製本印刷］を選択し、［製本詳細］ボタンをクリックして［製本詳細］ダイアログボックスの［製本とじしろを指定する］で行います。

原因 2　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」の設定が適当でない

処　置　アプリケーションソフトの「上余白」や「用紙位置」を正しく設定してください。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

ページの途中から次ページに分かれて印刷される

原　因　アプリケーションソフトの「行間」や「1 ページの行数」の設定が合っていない

処　置　1 ページに収まるように、アプリケーションソフトの印刷指定で「行間」や「1 ページの行数」を変更してから印刷しなおします。（➞ アプリケーションソフトの取扱説明書）

用紙が真っ白で何も印刷されない

原因 1　シーリングテープを引き抜かずにトナーカートリッジをセットした

処　置　トナーカートリッジを取り出し、シーリングテープを抜き取ってセットしなおしてください。（➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2）

原因 2　用紙が重なって送られた

処　置　給紙カセットや手差しトレイの用紙を、よく揃えてからセットしなおしてください。OHP フィルム、ラベル用紙の場合は、よくさばいてセットしなおしてください。（➞給紙カセットから印刷する：P.2-16、手差しトレイから印刷する：P.2-51）

原因 3　プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1　プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2　処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

用紙が真っ黒で何も印刷されない

原因 1 トナーカートリッジ内の感光ドラムが劣化している

処　置 トナーカートリッジを新品に交換してください。(➞ トナーカートリッジを交換する：P.6-2)

原因 2 プリンタ内部でトラブルが発生している

処置 1 プリンタステータスウィンドウに「サービスエラー」が表示されているときは、電源をいったんオフにし、3 秒以上待ってから電源をオンにしなおしてください。メッセージが消えることがあります。

処置 2 処置 1 の操作をしてもメッセージが消えないときは、お買い求めの販売店に連絡し、修理を依頼してください。

定着性が悪い

原因 1 用紙が適切でない

処　置 本プリンタで使用できる用紙と交換してください。(➞ 用紙について：P.2-2)

原因 2 トナーの定着性が悪い

処　置 プリンタドライバの［特殊定着モード］で適切な定着モードを選択します。
［特殊定着モード］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。［モード 3］でトナーの定着性が最も高くなり、［モード 2］、［モード 1］の順に定着性が低くなり、［モード 4］で最も低くなります。

カラーの線や文字がかすれる

原　因 細い線や文字を使用している

処　置 プリンタドライバで［色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する］にチェックマークを付けます。
［色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する］の設定は、［印刷品質］ページの［詳細］ボタンをクリックして［詳細設定］ダイアログボックスで行います。

カラーの文字がぼけて見える

原　因　カラーの文字に太いフォントを使用している

処　置　プリンタドライバで［マッチング方法］の設定を［モニタの色に合わせる］に設定します。
［マッチング方法］の設定は、［印刷品質］ページの［グレーの設定を行う］にチェックマークを付け、［グレー設定］ボタンをクリックして［マッチング］ページで行います。

用紙のトラブル

メモ　ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、「オンラインマニュアル」を参照してください。

用紙にしわがよる

原因 1　給紙カセットに用紙が正しくセットされていない

処　置　給紙カセットに用紙を正しくセットしてください。（→　給紙カセットから印刷する：P.2-16）

原因 2　手差しトレイに用紙を斜めにセットした

処　置　手差しトレイにまっすぐに用紙をセットしてください。（→ 手差しトレイから印刷する：P.2-51）

原因 3　用紙が吸湿している

処　置　未開封の新しい用紙と交換してください。

用紙がカールする

原因 1　用紙が適切でない

処　置　本プリンタで使用できる用紙と交換してください。（→ 用紙について：P.2-2）

原因 2　用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない

処　置　プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

印刷した OHP フィルムに白い粉がつく

原　因　OHP フィルム以外の用紙を連続印刷したあとに OHP フィルムを印刷した

処　置　OHP フィルム以外の用紙を連続して印刷したあとに、OHP フィルムを印刷すると紙粉が付着して排紙される場合があります。このような場合は、やわらかい布で紙粉をこすり、取り除いてください。

自動両面印刷を行うと紙づまりが起きる

原因 1 用紙が吸湿している

処 置 未開封の新しい用紙と交換し、印刷しなおしてください。

原因 2 用紙タイプの設定がセットした用紙にあっていない

処 置 プリンタステータスウィンドウを表示し、［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択して、［デバイス設定］ダイアログボックスの［両面特殊処理］にチェックマークを付けます。

手動で両面印刷を行うと紙づまりが起きる

原 因 用紙がカールしている場合や薄い紙を使用している場合に発生することがある

処 置 プリンタドライバで［印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する］にチェックマークを付けます。
［印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

紙づまりが頻繁に起こる

原 因 高湿度環境でプリンタを使用している

処置 1 プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

処置 2 プリンタステータスウィンドウで［低温定着モード］を［モード 1］または［モード 2］に設定します。［モード 1］に設定した場合は、プリンタドライバで［用紙タイプ］を［普通紙 L］に設定します。
［低温定着モード］の設定は、プリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューから［デバイス設定］を選択し、［デバイス設定］ダイアログボックスで行います。
［用紙タイプ］の設定は、［給紙］ページで行います。

何も印刷されないときは

アプリケーションソフトから印刷を実行しても何も印刷されない場合は、次の点を確認してください。

メモ　Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウにエラーが表示されていないかを確認してください。

重要　プリンタステータスウィンドウにエラーメッセージが表示されないときは、CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてください。(➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-77)

2 テストページを印刷します。

● Windows 98/Me の場合

❑［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［印字テスト］をクリックします。

● Windows 2000/XP/Server 2003 の場合

❑［プリンタプロパティ］ダイアログボックスの［全般］ページにある［テストページの印刷］をクリックします。

■ テストページが適切に印刷される場合

CAPT ソフトウェアからの印刷は可能です。アプリケーションソフトをチェックして、すべての印刷設定が適切かどうか確認してください。

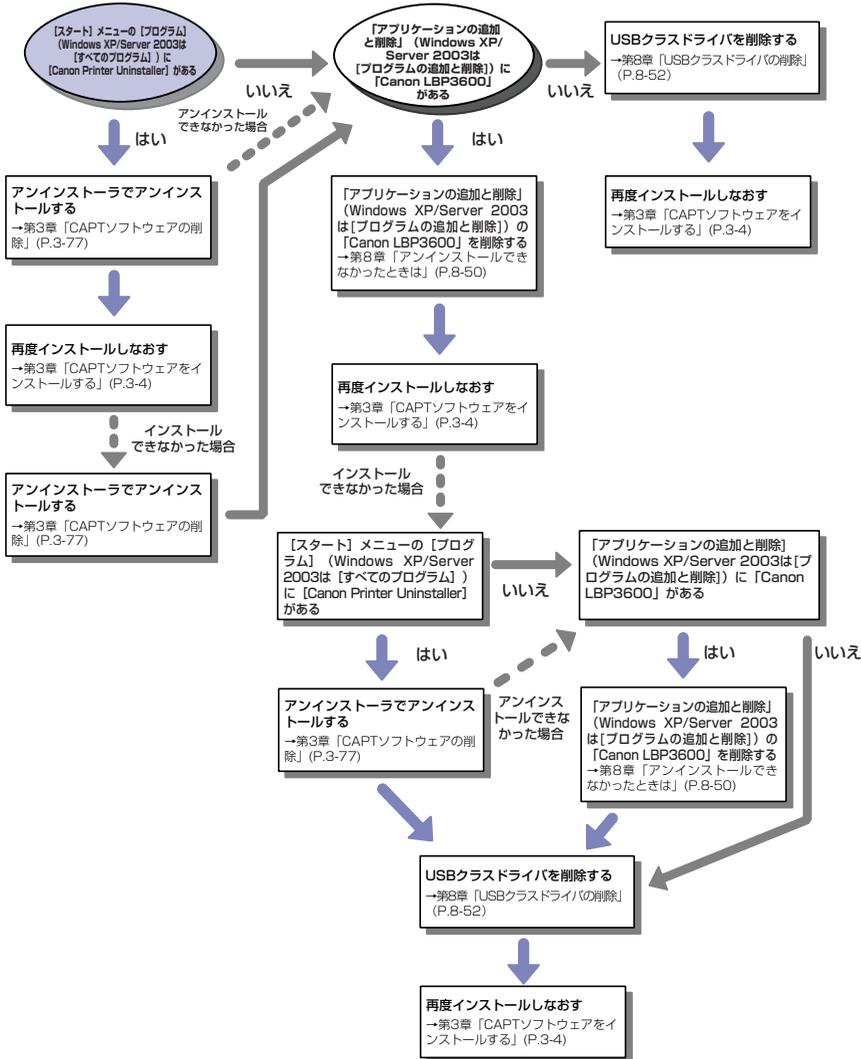
■ テストページが印刷できない場合

CAPT ソフトウェアを削除し、再インストールしてから、テストページを印刷してください。(➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-77)

インストールのトラブル

「USB クラスドライバ」と「LBP3600 プリンタドライバ」のインストールが正常にできないときは、次の手順にしたがってチェックしてください。

メモ
- ネットワークインストール時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第４章　困ったときには」を参照してください。
- Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第６章　困ったときには」を参照してください。

8
困ったときには

アンインストールできなかったときは

インストール時に作成されたアンインストーラでアンインストールできなかった場合は、以下の手順にしたがって［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP/Server 2003は［プログラムの追加と削除］）でCAPTソフトウェアを削除します。

1 **［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。**

Windows XPの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。
Windows Server 2003の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。

2 **［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［変更と削除］をクリックします。**

Windows XP/Server 2003の場合は［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［変更と削除］をクリックします。
Windows 98/Meの場合は［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内の本プリンタを選択し、［追加と削除］をクリックします。

メモ　［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP/Server 2003は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内に本プリンタがない場合は「USBクラスドライバの削除」（→P.8-52）を行って再度インストールしてください。

8
困ったときには

3 本プリンタを選択し、[削除] をクリックします。

4 [はい] をクリックします。

アンインストールを開始します。しばらくお待ちください。

5 [終了] をクリックします。

[プリンタの削除] ダイアログボックスが閉じます。

6 Windows を再起動します。

USB クラスドライバの削除

USB クラスドライバの削除は、一度アンインストールを行っても、正しくインストールできなかった場合やアンインストールできなかった場合に行います。

1 **USB ケーブルでコンピュータとプリンタが接続され、プリンタの電源が入っていることを確認します。**

2 **［スタート］メニューから［設定］→［コントロールパネル］を選択し、［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。**

Windows XP の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プログラムの追加と削除］をクリックします。
Windows Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］を選択します。

3 **［アプリケーションの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3600］がないことを確認し、［×］をクリックします。**

Windows XP/Server 2003 の場合は［プログラムの追加と削除］ダイアログボックス内に［Canon LBP3600］がないことを確認し、［×］をクリックします。

メモ

［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP/Server 2003 は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内に［Canon LBP3600］がある場合は、「アンインストールできなかったときは」（→P.8-50）を参照して［アプリケーションの追加と削除］（Windows XP/Server 2003 は［プログラムの追加と削除］）ダイアログボックス内の［Canon LBP3600］を削除してください。

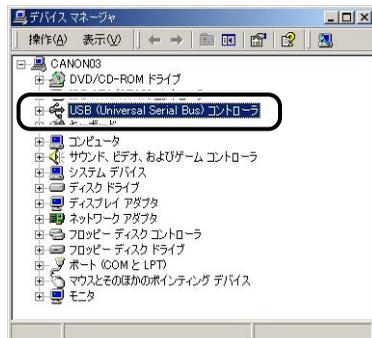
8

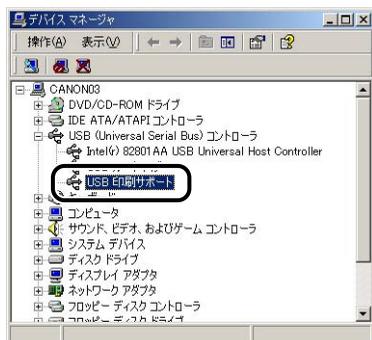
困ったときには

4 ［スタート］メニューから［設定］➞［コントロールパネル］を選択し、［システム］アイコンをダブルクリックします。

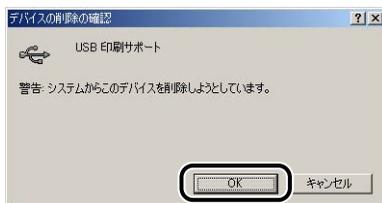
Windows XP Professional/Server 2003 の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［システム］をクリックします。
Windows XP Home Edition の場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］➞［システム］の順にクリックします。

5 ［ハードウェア］➞［デバイスマネージャ］の順にクリックし、［USB (Universal Serial Bus) コントローラ］をダブルクリックします。

Windows 98/Me の場合は［システムのプロパティ］ダイアログボックスを表示させて［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］をダブルクリックします。

6 ［USB 印刷サポート］を選択して、［操作］メニューの［削除］を選択します。

Windows 98 の場合は［Canon LBP3600］を、Windows Me の場合は［Canon CAPT USB Printer］を選択して、［削除］をクリックします。

重要

- USB クラスドライバが［その他のデバイス］の下にある場合も正常にインストールされていません。ご使用の OS に応じて、［Canon LBP3600］、［Canon CAPT USB Printer］、または［不明なデバイス］のいずれかを選択して削除してください。
- 他のデバイスや device driver などの他の項目は、絶対に削除しないでください。誤って削除した場合、Windows が正常に動作しなくなることがあります。
- USB クラスドライバが正しくインストールされていない場合は［USB 印刷サポート］（Windows 2000/XP/Server 2003）、［Canon CAPT USB Printer］（Windows Me）、［Canon LBP3600］（Windows 98）は表示されません。

7 ［デバイス削除の確認］ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックします。

8 ［閉じる］をクリックします。

［システムのプロパティ］が閉じます。

9 USB ケーブルをコンピュータから外し、Windows を再起動します。

再起動が終了したらもう一度 CAPT ソフトウェアをインストールしなおしてください。
(→CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4)

ローカルインストール時のトラブル

CD-ROM からプリンタドライバをインストールするとき、USB ケーブルを接続しても自動認識しない

原因 1 プリンタドライバをインストールする前に、すでに USB ケーブルが接続されていて、プリンタの電源がオンになっている

処　置 プリンタの電源をオフにして、USB ケーブルを取り外し、再度 USB ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにします。

原因 2 プリンタの電源がオフになっている

処　置 プリンタの電源をオンにしてください。

原因 3 USB ケーブルが正しく接続されていない

処　置 プリンタとコンピュータが USB ケーブルで正しく接続されているかを確認してください。

原因 4 USB ケーブルが合っていない

処　置 本プリンタのUSB インタフェース環境に合ったUSBケーブルを使用してください。本プリンタのUSBインタフェース環境は、USB 2.0 High-Speed(Windows 2000/XP/Server 2003 のみ)、USB Full-Speed（USB1.1 相当）です。

[プリンタの追加ウィザード] ダイアログボックスで [ローカルプリンタ] * が選択できない（Windows 2000/XP/Server 2003）

原　因 Administrators 権限または Power Users 権限がないユーザがインストールを行っている

処　置 CAPT（Canon Advanced Printing Technology）ソフトウェアのインストールは Administrators 権限で行ってください。
*Windows XP/Server 2003 の場合、[このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] となります。

プリンタの共有機能を使用したときのインストールのトラブル

接続するプリントサーバが見つからない

原因 1 プリントサーバが起動されていない

処　置 プリントサーバを起動してください。

原因 2 プリンタが共有設定されていない

処　置 ［プリンタプロパティ］ダイアログボックスでプリンタを共有設定してください。

原因 3 プリントサーバ、またはプリンタに接続する権限がない

処　置 ネットワーク管理者にユーザの権限の変更を依頼してください。

その他のトラブル

メモ　オプションのネットワークボード装着時のトラブルについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。

LBP3600 が正常に動作しない

原因 1　LBP3600 が通常使うプリンタとして設定されていない

処　置　通常使うプリンタとして設定してください。

原因 2　CAPT ソフトウェアが正常にインストールされていない可能性がある

処　置　CAPT　ソフトウェアが正常にインストールされているかどうかを確認するために、アプリケーションソフトから印刷してみてください。正常に印刷されない場合には、CAPT ソフトウェアをアンインストールし、もう一度インストールしなおしてください。（➞CAPT ソフトウェアの削除：P.3-77、P.5-15、CAPT ソフトウェアをインストールする：P.3-4、P.5-4）

印刷中にプリンタが一時的に停止する

原因 1　連続印刷（特に幅の狭い用紙）によって定着器の温度が一定の温度を超えた

処　置　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。冷却が終了すると印刷を再開します。

原因 2　幅の狭い用紙から幅の広い用紙へ切り替えて印刷した場合、印字品質を保つため、定着器の冷却を行っている

処置 1　そのまましばらくお待ちください。プリンタが自動的に定着器の冷却を行います。定着器の冷却が終わると、機械の駆動が止まり、印刷可能状態になります。印刷中の場合は、冷却が終わると印刷を再開します。

処置 2　印刷待ち時間を短くしたいときは、プリンタドライバの［定着オフセット］を［スピード優先 1］または［スピード優先 2］に設定します。ただし、画質より印刷速度が優先されるため、用紙の両側に一度印字した文字や画像の残像が印字されることがあります。
［定着オフセット］の設定は、［仕上げ］ページの［仕上げ詳細］ボタンをクリックして、［仕上げ詳細］ダイアログボックスの［処理オプション］ボタンをクリックし、［処理オプション］ダイアログボックスで行います。

メモ
- ［スピード優先 1］に設定すると、印刷環境や印刷条件に関わらず、最も印刷速度を優先したモードで印刷します。
- ［スピード優先 2］は、印刷環境や印刷条件によっては印刷待ち時間がかかる場合があります。

CD-ROM Setup が自動的に表示されない（Windows のみ）

原因 1 CD-ROM Setup の［CD-ROM 挿入時に自動実行する］が選択されていない

処　置 ［マイコンピュータ］の CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックし、［開く］を選択して CD-ROM Setup を手動で表示させせます。［CD-ROM 挿入時に自動表示する］を選択してください。

原因 2 ［挿入の自動通知］が選択されていない（Windows 98/Me のみ）

処　置 ［デバイスマネージャー］から CD-ROM ドライブのプロパティを表示し、［設定］ページの［挿入の自動通知］を選択してください。

CD-ROM Setup 起動時に「CD-ROM 上のファイルが見つかりません。」とエラーが表示される（Windows のみ）

原　因 プログラムがハードディスクから読み込まれている

処　置 お使いのコンピュータの検索機能を利用して［CNAB1MNU.EXE］を検索して、ハードディスクから CNAB1MNU.EXE ファイルを削除し、付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」から CD-ROM Setup を起動してください。

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウでステータスの取得に時間がかかる

原　因 Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをプリントサーバとして使用している場合に、クライアント側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置 プリントサーバを起動して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.9-10）

コンピュータでプリンタの共有機能を使用している場合、プリンタステータスウィンドウにステータスが表示されない

原　因　Windows XP Service Pack 2 などの Windows ファイアウォール機能を持っている OS のコンピュータをクライアントとして使用している場合に、プリントサーバ側との通信が Windows ファイアウォールでブロックされている

処　置　サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除してください。（➞Windows ファイアウォール機能について：P.9-10）

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「トナーカバーが開いています」と表示される

原因 1　トナーカバーが開いている

処　置　トナーカバーを閉めてください。トナーカバーが閉まらないときは、トナーカートリッジの取り付け状態を確認してください。無理にトナーカバーを閉めると故障の原因になります。

原因 2　後上カバーが正しく取り付けられていない

処　置　後上カバーが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。後上カバーが正しく取り付けられていない場合は、一度後上カバーを取り外し、正しく取り付けなおしてください。（➞ プリンタを移動する：P.6-36）

プリンタステータスウィンドウ（Windows）／プリントモニタ（Macintosh）に「両面ユニットが正しくセットされていません」と表示される

原因 1　両面ユニットが正しくセットされていない

処　置　電源をオフにして、両面ユニットを正しくセットしなおしてください。

原因 2　後上カバーが正しく取り付けられていない

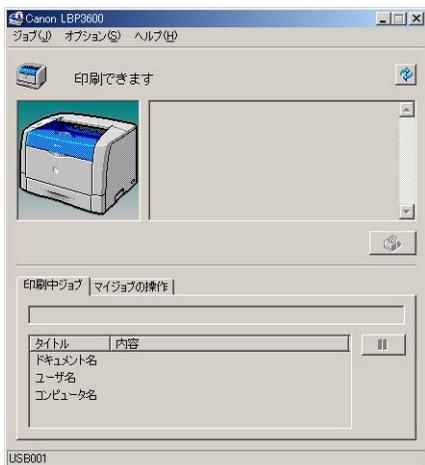
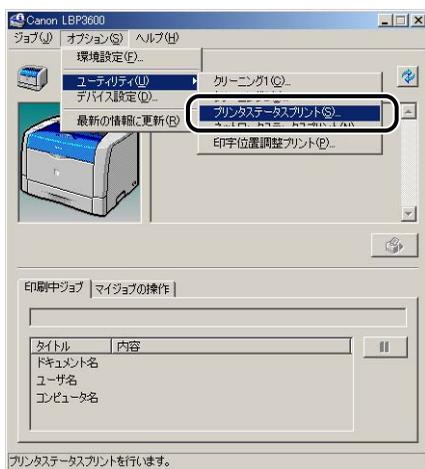
処　置　後上カバーが正しく取り付けられているかどうかを確認してください。後上カバーが正しく取り付けられていない場合は、一度後上カバーを取り外し、正しく取り付けなおしてください。（➞ プリンタを移動する：P.6-36）

プリンタの機能を確認したいときには

本プリンタは、プリンタのオプション設定やプリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューにある［デバイス設定］の設定値、総プリントページ数などのプリンタの情報が確認できるプリンタステータスプリントの機能を備えています。また、オプションのネットワークボードのバージョンや TCP/IP の設定が確認できるネットワークステータスプリントの機能も備えています。プリンタの準備や接続が終了したあと、プリンタの動作確認をしたいときなど、必要に応じて行ってください。

メモ
- プリンタステータスプリントは、A4 サイズ用に設定されています。A4 サイズの用紙をセットしてください。
- ネットワークステータスプリントについては、ネットワークガイド／本編「第 4 章 困ったときには」を参照してください。
- ここでは、Windows をお使いの場合の操作方法で説明しています。Macintosh をお使いの場合は、オンラインマニュアル「第 4 章 便利な印刷機能」を参照してください。

1 プリンタステータスウィンドウを表示します。

プリンタステータスウィンドウの表示方法は、「プリンタステータスウィンドウの表示方法」(➞P.4-75)を参照してください。

2 ［オプション］メニューから［ユーティリティ］→［プリンタステータスプリント］を選択します。

3 ［OK］をクリックします。

プリンタステータスプリントが印刷されます。

4 プリンタステータスプリントの印刷内容を確認します。

プリンタステータスプリントを行うと、次のように印刷されます。プリンタのオプション設定やプリンタステータスウィンドウの［オプション］メニューにある［デバイス設定］の設定値、総プリントページ数などのプリンタの情報が確認できます。

ここに掲載されているプリンタステータスプリントはサンプルです。お使いのプリンタで出力したプリンタステータスプリントとは、内容が異なることがあります。

Canon　ステータスプリント

オプション機器

項目	設定
カセット2	: あり
カセット3	: あり
カセット4	: あり
両面ユニット	: なし
ネットワークボード	: あり

デバイス設定

項目	設定
両面特殊処理	: しない
グラフィックス特殊処理	: しない
ちらつき軽減処理	: しない
低温定着モード	: 使わない
印刷位置調整	
手差し（トレイ）	: 0.0 mm
カセット1	: 0.0 mm
カセット2	: 0.0 mm
カセット3	: 0.0 mm
カセット4	: 0.0 mm
両面ユニット	: 0.0 mm

項目	設定
製品名	: LBP3600
コントローラバージョン	: [illegible]
エンジンバージョン	: [illegible]
ドライババージョン	: [illegible]

USB

項目	設定
ベンダーID	: 0x04a9
プロダクトID	: 0x2654
シリアルナンバー	: [illegible]

カウンタ

項目	設定
日時	: 2005/01/20 23:57
総プリントページ数	: 11770 ページ
両面印刷枚数	: 475 枚
ジョブ数	: 1877 ジョブ

付録

9
CHAPTER

この章では、おもな仕様、索引、保守サービスのご案内、ソフトウェアのバージョンアップ方法などについて説明しています。

プリンタのおもな仕様 9-2
ハードウェアの仕様 9-2
ソフトウェアの仕様 9-3
各部の寸法. 9-4
NetSpot Device Installer について （Windows のみ）. 9-7
Print Monitor Installer について （Windows のみ） 9-8
NetSpot Console について（Windows のみ）. 9-9
Windows ファイアウォール機能について 9-10
クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする. 9-10
Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する. 9-12
サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する. 9-13
FontGallery について 9-15
必要なシステム環境 9-15
コード表について. 9-16
インストール方法について 9-16
FontGallery 製品使用許諾契約書. 9-18
FontGallery 同梱書体見本. 9-22
索引. 9-28
保守サービスのご案内 9-33
キヤノン保守契約制度とは 9-33
キヤノンサービスパックとは 9-34
補修用性能部品 9-34
無償保証について. 9-35
シリアルナンバーの表示位置について 9-36
ソフトウェアのバージョンアップについて 9-37
情報の入手方法 9-37
ソフトウェアの入手方法. 9-37
サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い 9-38

プリンタのおもな仕様

ハードウェアの仕様

項目		仕様
形式		デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式		電子写真方式（オンデマンド定着）
プリント速度 普通紙（64 ～ 80g/m^2）		A4 連続プリント時　22 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズ、用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップ時間		0 秒（電源オン時は 9 秒以下）
ファーストプリント時間		8.6* 秒（A4 プリント時） * 出力環境によって異なる場合があります。（最大 9.5 秒以下）
用紙サイズ	カセット 1	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	カセット 2 （オプション）	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	カセット 3 （オプション）	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	カセット 4 （オプション）	A3、B4、A4、B5、A5、レジャー、リーガル、レター、エグゼクティブ 最大積載枚数　約 250 枚　(64g/m^2)
	手差しトレイ	幅 76.2 ～ 297.0mm 長さ 127.0 ～ 431.8mm （ユーザ定義用紙は縦置きのみ可能） 最大積載枚数　約 100 枚　(64g/m^2)
自動両面プリント		A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レジャー、レター、エグゼクティブ
排紙方法		フェースダウン
排紙積載枚数		排紙トレイ　約 250 枚（64g/m^2）
稼働音音圧レベル（バイスタンダ位置）(ISO9296 に基づく公表騒音放出値）		スタンバイ時最大　30dB[A] 動作時最大 50dB［A]
使用環境 （プリンタ本体のみ）		動作環境温度　10 ～ 32.5 ℃ 湿度　20 ～ 80%RH（結露しないこと）
保管環境 （プリンタ本体のみ）		保管環境温度　0 ～ 35 ℃ 湿度　10 ～ 80%RH（結露しないこと）

ホストインタフェース	USB インタフェース ・ Windows 98/Me　USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・ Windows 2000/XP/Server 2003　USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・ Mac OS 8、9、X（10.3.2 以前）：USB Full-Speed（USB1.1 相当） ・ Mac OS X（10.3.3 以降）：USB 2.0 Hi-Speed/USB Full-Speed（USB1.1 相当）
ユーザインタフェース	LED ランプ 3 個
拡張ボードスロット	1
電源	AC100V ± 10%（50/60Hz ± 2Hz）
消費電力 （20 ℃時）	動作時平均　約 474W*1 スタンバイ時平均　約 12W*1 最大　915W*2 以下 *1 本体標準状態での値です。 *2 フルオプション装着時は 960W 以下です。ただし、この値は起動時の瞬間的なピークを除いた値です。
消耗品　トナーカートリッジ	EP-66 Cartridge プリント可能ページ数約 10,000* ページ * A4 片面プリント、印字比率約 5% の場合
質量	プリンタ本体（トナーカートリッジは除く）.............約 19.9kg トナーカートリッジ...約 2.0kg 250 枚ユニバーサルカセット UC-66A* ....約 1.5kg 250 枚ユニバーサルカセット UC-66B* ....約 1.5kg 250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66（カセット含む）* ....約 7.8kg 250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66E（カセット含む）*.....約 6.4kg 両面ユニット * ....約 4.6kg * 印の製品は、別売のオプションです。

ソフトウェアの仕様

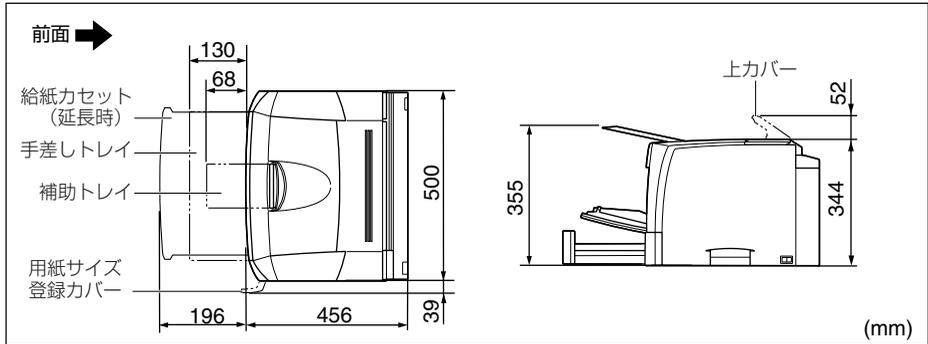
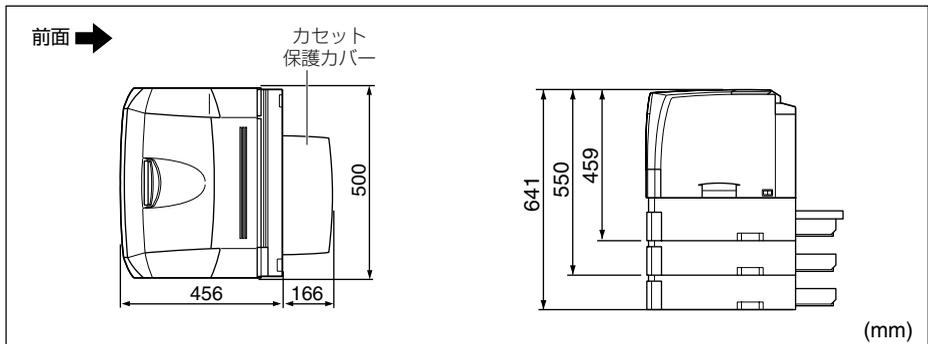
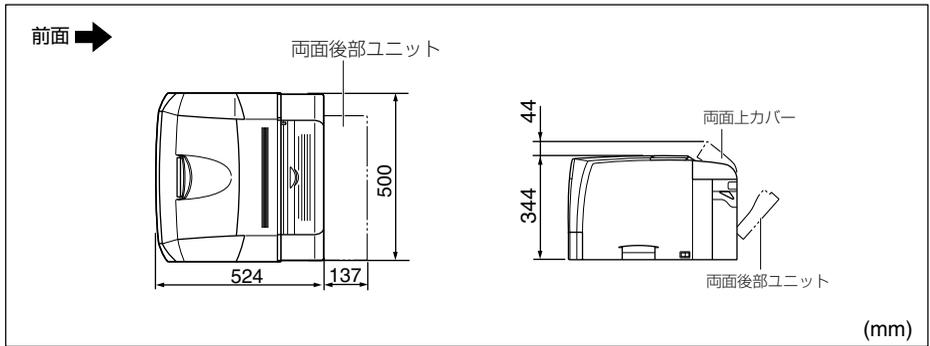
プリンティングソフトウェア	CAPT（Canon Advanced Printing Technology）
有効印字領域	上下左右 5.0mm の範囲には印字できません。（封筒は上下左右 10mm）

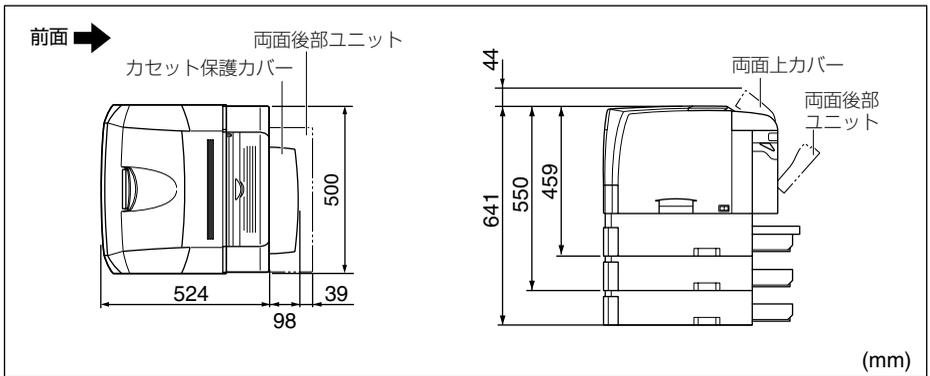
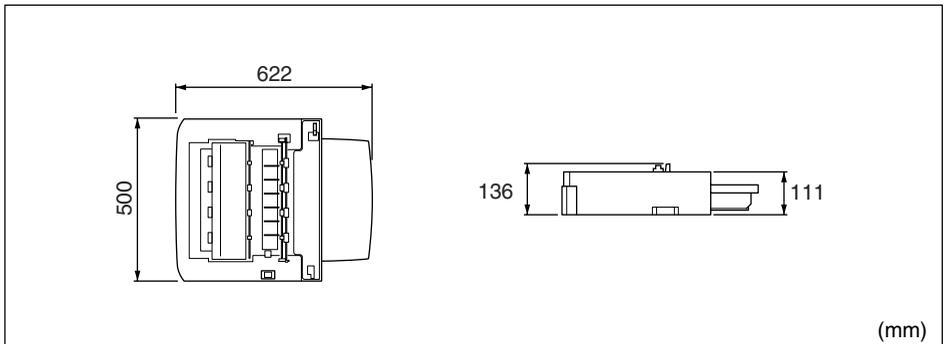
各部の寸法

■ プリンタ本体

- 標準仕様

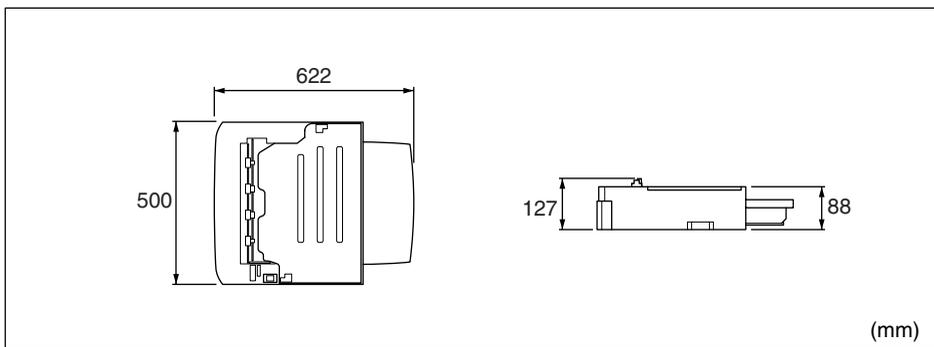
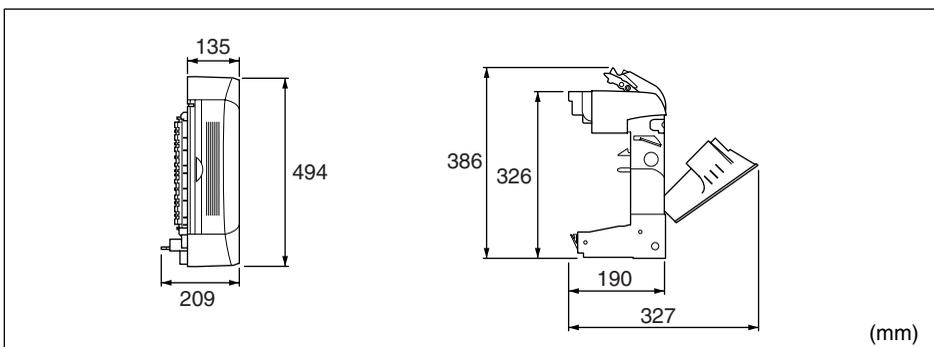
- ペーパーフィーダ装着仕様

9
付録

• 両面ユニット装着仕様

• ペーパーフィーダ＋両面ユニット装着仕様

■ 250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66

■ 250枚ペーパーフィーダユニット PF-66E

■ 両面ユニット DU-66

9

付録

NetSpot Device Installerについて（Windowsのみ）

付属のCD-ROMには、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、ネットワークに接続されたプリンタの初期設定を行うユーティリティソフトウェア「NetSpot Device Installer」が同梱されています。NetSpot Device Installerは、簡単にプリンタのネットワーク接続の初期設定を行うことができるソフトウェアです。

NetSpot Device Installer の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ　CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にネットワークの初期設定が行われます。「NetSpot Device Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずに手動で IP アドレスを設定しなおす場合に、必要に応じてご使用ください。

Print Monitor Installer について（Windows のみ）

付属の CD-ROM には、プリンティングソフトウェア（CAPT）と共に、TCP/IP ネットワーク上のプリンタに接続するためのポート（Canon CAPT Print Monitor）を作成する「Print Monitor Installer」が同梱されています。Canon CAPT Print Monitor の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ　CD-ROM Setup からプリンタドライバをインストールする場合、自動的にポート（Canon CAPT Print Monitor）の作成が行われます。「Print Monitor Installer」は、CD-ROM Setup を使用せずにポートを作成したい場合に、必要に応じてご使用ください。

NetSpot Console について（Windows のみ）

NetSpot Console は、ネットワークに接続されたプリンタを管理するユーティリティソフトウェアです。プリンタの一覧表示やマップ表示、プロトコルの詳細な設定、プリンタの状態の表示や通知、ジョブの操作など、さまざまな情報の設定や表示を Web ブラウザ上で行うことができます。
NetSpot Console の詳細については、「ネットワークガイド／本編」を参照してください。

メモ　NetSpot Console は、キヤノンホームページ（http://canon.jp）からダウンロードしてください。

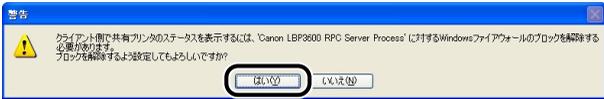
9
付録

Windows ファイアウォール機能について

Windows XP Service Pack 2 などの OS では、コンピュータの保護のため、承認されていないネットワーク経由のアクセスなどをブロックする機能があります。

そのため、プリンタを Windows ファイアウォール機能を持っている OS で使用する場合は、Windows ファイアウォールのブロックを解除する操作／設定を行う必要があります。

プリントサーバ（プリンタを直接接続するコンピュータ）側および、クライアント（ネットワーク経由でプリントするコンピュータ）側で以下の操作／設定が必要です。

設定内容		参照先
プリントサーバ側	■ **CD-ROM Setup から CAPT ソフトウェアをインストールする場合** インストール中に［警告］ダイアログボックスが表示されますので、［はい］をクリックして、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.3-36
	■ **「プリンタの追加ウィザード」または Windows の「エクスプローラ」から CAPT ソフトウェアをインストールする場合** 「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」を使用して、クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.9-10
クライアント側	サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除します。	→P.9-13

重要　「CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ」をハードディスクにコピーして使用する場合は、付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」に収められている［WF_UTIL］フォルダ内のすべてのファイル（CNAB1FW.EXE、CAPTRGFW.DLL、CNAB1FW.INI）をコピーしてください。

クライアントとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロック解除をする

1 **付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

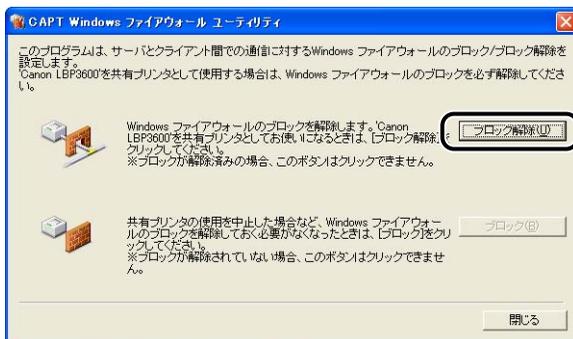
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

2 ［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。

3 ［Japanese］→［WF_UTIL］→［CNAB1FW.EXE］の順にダブルクリックします。

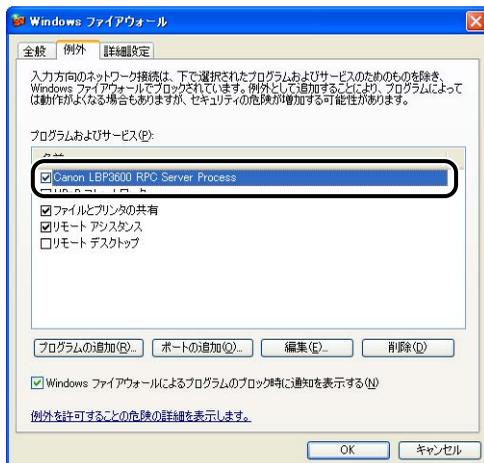
［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

重要　［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:￥Japanese￥WF_UTIL￥CNAB1FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ブロック解除］をクリックします。

メモ　既にクライアント側との通信に対するブロックの解除が行なわれている場合は、［ブロック解除］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。

メモ

Windows ファイアウォール機能のブロック解除が正しく行なわれたことを確認するには、［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］➞［Windows ファイアウォール］の順にクリックします。
［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［Canon LBP3600 RPC Server Process］のチェックボックスにチェックマークが付いていることを確認してください。

クライアント側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信を遮断（ブロック）する

1 **付属の CD-ROM「LBP3600 User Software」を CD-ROM ドライブにセットします。**

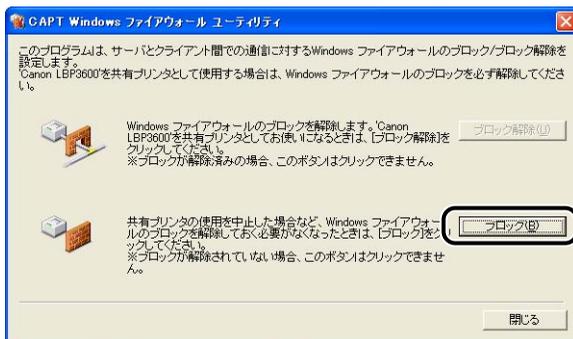
CD-ROM Setup が表示された場合は、［終了］をクリックします。

2 **［スタート］メニューから［マイコンピュータ］を選択し、CD-ROM アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから［開く］を選択します。**

3 **［Japanese］➞［WF_UTIL］➞［CNAB1FW.EXE］の順にダブルクリックします。**

［CAPT Windows ファイアウォールユーティリティ］が起動します。

［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行］を選択して「D:￥Japanese￥WF_UTIL￥CNAB1FW.EXE」と入力し、［OK］をクリックしても、起動することができます。（ここでは、CD-ROMドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROMドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。）

4 ［ブロック］をクリックします。

メモ

既にWindows ファイアウォールでクライアント側と通信の遮断（ブロック）が行なわれている場合は、［ブロック］はクリックできません。

5 ［OK］をクリックします。

Windows ファイアウォールでクライアント側との通信が遮断（ブロック）されました。

サーバとの通信に対する Windows ファイアウォールのブロックを解除する

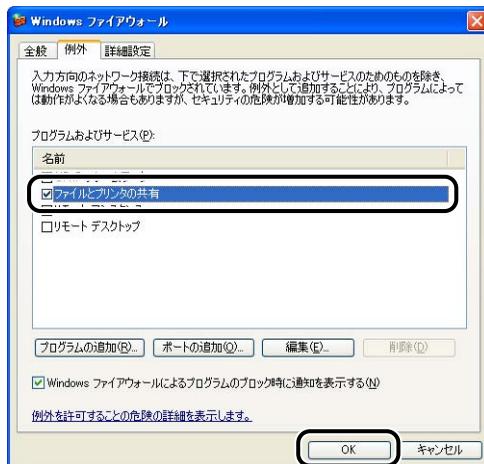
クライアント側で以下の設定を行わないと、プリンタステータスウィンドウにステータスが正しく表示されないなど、一部の機能が正常に動作しない場合があります。

1 ［スタート］メニューから［コントロールパネル］を選択します。

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［Windows ファイアウォール］をクリックします。

3 ［Windows ファイアウォール］ダイアログボックスの［例外］ページで、［ファイルとプリンタの共有］のチェックボックスにチェックマークを付け、［OK］をクリックします。

サーバ側との通信に対する Windows ファイアウォールのブロックが解除されました。

9
付録

FontGalleryについて

FontGalleryには、TrueTypeフォントとして和文20書体、欧文100書体が収められています。また、Windowsをお使いの場合は、かな31書体、およびかな書体組み合わせユーティリティ「FontComposer」をインストールすることにより、さらに多彩な文字表現が可能になります。Macintoshをお使いの場合は、あらかじめ和文書体とかな書体を組み合わせた43書体が収められています。

ご使用になる前に「FontGallery製品使用許諾契約書」（→P.9-18）を必ずお読みください。

メモ　バーコード（JANコード）およびOCR-BのTrueTypeフォントはCD-ROMには同梱されていません。これらのフォントをご使用になるには、SmileWare.jpのWebサイト（http://www.smileware.jp）よりダウンロードしてください。

必要なシステム環境

FontGalleryおよびFontComposerを使用するには、次のシステム環境が必要です。

重要
- かな書体およびFontComposerは、Windowsをお使いの場合にご利用いただけます。Macintoshをお使いの場合は、ご利用いただけません。
- FontGalleryは、1台のコンピュータに対してのみ使用許諾をしています。複数のコンピュータでお使いになる場合は、別途FontGalleryライセンス商品をお買い求めください。ネットワークのサーバ上で使用することはできません。お使いのコンピュータにインストールしてお使いください。

■ Windows版を使用する場合

- OS
  - ･Microsoft Windows 98/Me日本語版
  - ･Microsoft Windows 2000 Professional日本語版
  - ･Microsoft Windows XP Professional/Home Edition日本語版
- コンピュータ
  - ･上記OSが動作するコンピュータ

■ Macintosh版を使用する場合

- OS
  - ･Mac OS 7.6/8/8.1/8.5/8.51/8.6/9/9.2.1/9.2.2/X（10.1.5/10.2/10.2.1/10.2.2/10.2.3/10.2.4/10.2.5/10.2.6/10.2.7/10.2.8）、漢字Talk7.1/7.5
- コンピュータ
  - ･上記OSが動作するコンピュータ

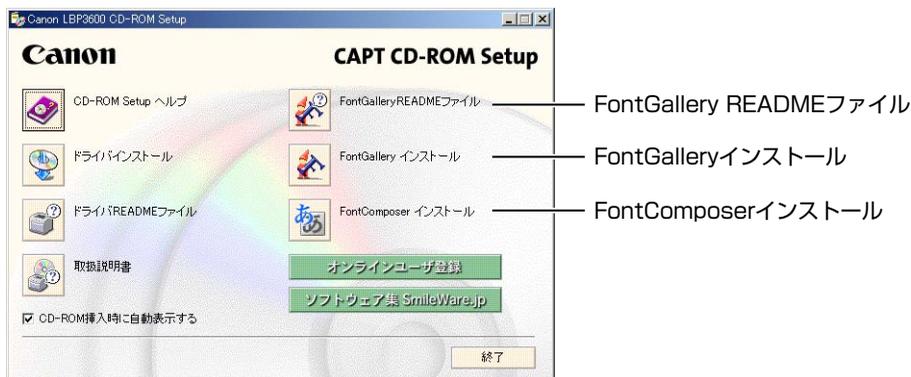
コード表について

2 種類のコード表をファイルとして用意してあります。収容文字の確認などにお使いください。なお、CSV 形式のコード表をお使いの場合は、CSV 形式のファイルを開くことのできるアプリケーションからテキストを指定してご使用ください。

- Windows 用
  - ・リッチテキスト形式（*.rtf）
  - ・CSV 形式（*.csv）
- Macintosh 用
  - ・シンプルテキスト形式
  - ・CSV 形式

インストール方法について

FontGallery をインストールする前に、必ず README ファイルおよびインストールガイドをお読みください。README ファイルおよびインストールガイドは、付属の CD-ROM の CD-ROM Setup から見ることができます。

重要 Macintosh上では、付属のCD-ROMのCD-ROM Setupは表示されません。FontGallery をインストールする場合は、付属の CD-ROM 内の［FGallery］フォルダにある［FontGallery 取扱説明］をお読みください。

■ FontGallery README ファイル

FontGallery をお使いになるときに、必要な情報が記載されています。インストールする前に必ずお読みください。インストール手順などについては、以下のフォルダに収録されている取扱説明書をお読みください。

- Windows 用
  - ･FontGallery 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Font¥Fgmanual.pdf（PDF 形式）
  - ･FontComposer 取扱説明書：¥Japanese¥Fgallery¥Manual¥Composer¥Fcmanual.pdf（PDF 形式）
- Macintosh 用
  - ･FontGallery 取扱説明書：［FGallery］フォルダ内の FontGallery 取扱説明（シンプルテキスト形式）

メモ　FontGallery 取扱説明書、FontComposer 取扱説明書を表示するには、Adobe Reader/Adobe Acrobat Reader が必要です。ご使用のシステムに Adobe Reader/Adobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードし、インストールしてください。

■ FontGallery インストール

このボタンをクリックすると、FontGallery をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

メモ

- フォントをインストールするには、多少の時間がかかります。1 書体につき 10 秒前後かかりますので、あらかじめご了承ください。
- お使いのシステムが漢字Talk7リリース7.1の場合、和文フォントをインストールする際、システムフォルダに「Asian Font Arbitrator」もインストールしてください。ただし、すでにシステムフォルダに「Asian Font Arbitrator」がインストールされている場合は、「Asian Font Arbitrator」を重ねてインストールしないでください。インストールすると、フォント情報に悪影響を及ぼす可能性があります。お使いのシステムが漢字 Talk7.5 以降の場合は、「Asian Font Arbitrator」は必要ありませんので、インストールしないでください。詳しくは、CD-ROM に付属の取扱説明書を参照してください。

■ FontComposer インストール

このボタンをクリックすると、FontComposer をインストールするかインストールガイドを開くかを選択するダイアログボックスが表示されます。まずインストールガイドを開き、お読みになってからインストールしてください。

重要　FontComposer を使用するには、約 10 〜 20MB のハードディスクの空き容量が必要となる場合があります。FontComposer を起動する際に、空き容量不足のメッセージが表示された場合には、ハードディスクの空き容量を確保してください。

FontGallery 製品使用許諾契約書

弊社では、FontGallery 製品につきまして、下記のソフトウェア製品使用許諾契約書とBITSTREAM 使用許諾契約を設けさせていただいており、お客様が契約書にご同意いただいた場合にのみ、ソフトウェア製品をご使用いただいております。お手数ではございますが、本 FontGallery 製品をご使用になる前に、契約書を十分にお読みください。なお、本FontGallery 製品をご使用になられた場合には、お客様が契約にご同意いただいたものとさせていただきます。

ソフトウェア製品使用許諾契約書

キヤノン株式会社（以下、キヤノンといいます。）は、お客様に対し、本契約書とともにご提供する FontGallery 製品（当該製品のマニュアルを含みます。以下「許諾ソフトウェア」といいます。）の譲渡不能の非独占的使用権を下記条項に基づき許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。「許諾ソフトウェア」およびその複製物に関する権利はキヤノンに帰属します。

1. 使用許諾

(1) お客様は、機械読取形態の「許諾ソフトウェア」を一時に 1 台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。お客様が、同時に複数台のコンピュータで「許諾ソフトウェア」を使用したり、また「許諾ソフトウェア」をコンピュータネットワーク上の複数のコンピュータで使用する場合には、別途契約によりキヤノンからその使用権を取得することが必要です。

(2) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を再使用許諾、譲渡、頒布、貸与その他の方法により第三者に使用もしくは利用させることはできません。

(3) お客様は、「許諾ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、リバース・エンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル等することはできません。また第三者にこのような行為をさせてはなりません。

2.「許諾ソフトウェア」の複製

お客様は、バックアップのために必要な場合に限り、「許諾ソフトウェア」を 1 コピーだけ複製することができます。あるいは、オリジナルをバックアップの目的で保持し、「許諾ソフトウェア」をお客様がご使用のコンピュータのハードディスク等の記憶装置 1 台のみに 1 コピーだけ複製することができます。しかし、これら以外の場合にはいかなる方法によっても「許諾ソフトウェア」を複製できません。お客様には、「許諾ソフトウェア」の複製物上に「許諾ソフトウェア」に表示されているものと同一の著作権表示を行っていただきます。

3. 保証の否認・免責

(1) キヤノンおよびキヤノン販売株式会社（以下、キヤノン販売といいます。）は、「許諾ソフトウェア」がお客様の特定の目的のために適当であること、もしくは有用であること、または「許諾ソフトウェア」にバグがないこと、その他「許諾ソフトウェア」に関していかなる保証もいたしません。

(2) キヤノンおよびキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の使用に付随または関連して生ずる直接的または間接的な損失、損害等について、いかなる場合においても一切の責任を負わず、また「許諾ソフトウェア」の使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じたいかなる紛争についても、一切責任を負いません。

4. 輸出

お客様は、日本国政府または該当国の政府より必要な認可等を得ることなしに、一部または全部を問わず、「許諾ソフトウェア」を、直接または間接に輸出してはなりません。

5. 契約期間

(1) 本契約は、お客様が「許諾ソフトウェア」を使用した時点で発効します。

(2) お客様は、キヤノンに対して30日前の書面による通知をなすことにより本契約を終了させることができます。

(3) キヤノンは、お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、直ちに本契約を終了させることができます。

(4) 本契約は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。上記(2)または(3)により本契約が終了した場合、キヤノンまたはキヤノン販売は、「許諾ソフトウェア」の代金をお返しいたしません。お客様は、「許諾ソフトウェア」の代金の返還をキヤノンおよびキヤノン販売に請求できません。

(5) お客様には、本契約の終了後2週間以内に、「許諾ソフトウェア」およびその複製物を廃棄または消去したうえ、廃棄または消去したことを証する書面をキヤノンに送付していただきます。

6. 一般条項

(1) 本契約のいずれかの条項またはその一部が法律により無効となっても、本契約の他の部分に影響を与えません。

(2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

以上

キヤノン株式会社

BITSTREAM 使用許諾契約

同梱のフォントをインストールすることにより、お客様は本契約の条件に拘束されることに同意することになります。

本合意により、お客様とBITSTREAMとのあいだの完全な合意が構成されます。本合意書の条件に同意なさらない場合は、同梱のディスクに含まれているフォントをご使用にならないでください。

1. 使用許諾。本Bitstream製品に対してお客様が支払われた価格の一部であるライセンス料金支払いの対価として、ライセンサーであるBITSTREAMはライセンシーであるお客様に対し、Bitstream製品を、1台のプリンタ、あるいは1台のタイプセッタまたはイメージセッタおよびそのタイプセッタまたはイメージセッタ専用のプルーフプリンタに接続した1台または複数のコンピュータ上で使用および表示する非独占的権利を付与します。
   BITSTREAMは、ライセンシーに明示的には付与されていないすべての権利を留保します。

2. 所有権。お客様はライセンシーとして、Bitstream 製品が最初に記録されたかその後に供給される磁気またはその他の物理的媒体を保有しますが、BITSTREAM は最初の、またはその他のコピーがどのような形態でまたは媒体上に存在するかを問わず、Bitstream製品の最初のディスクコピーまたはその後のコピーに記録されたBitstream製品のソフトウェアプログラムに対する権限および所有権を留保します。本ライセンスはBitstream製品のオリジナルソフトウェアプログラムまたはその一部またはコピーの販売ではありません。
3. コピーの制限。Bitstream 製品および付属の資料は著作権で保護されており、BITSTREAM の所有権の対象になる情報および企業秘密が含まれています。印刷物を未許可のままコピーすること、およびたとえそれが変更されているか、他のソフトウェアに合体されたり他のソフトウェアに含められている場合でもBitstream製品を未許可のままコピーすることは、明示的に禁じられています。お客様が本合意書の条件に従わなかったことを原因とするか、従わなかったために助長された BITSTREAM の知的所有権の侵害は、お客様に法律上の責任を負っていただく場合があります。Bitstream 製品はバックアップを目的とする場合に限り、コピーを 1 部作成することができますが、その場合は、著作権情報を完全な形でバックアップコピーに複製するものとします。
4. 使用の許容範囲。本 Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書はライセンシーであるお客様に使用が許諾されるものであり、事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、一定期間第三者に譲渡することはできません。Bitstream 製品に変更、改造、翻訳、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行うことはできません。また Bitstream 製品から派生的な製品を作成することもできません。お客様に提供される文書は事前に BITSTREAM の書面による同意を得ずに、変更、改造、翻訳することはできませんし、派生的な文書を作成するのにも使用できません。
5. 終了。本契約は終了するまで有効です。本契約は、お客様が本書に含まれている条項に一つでも従わなければ、BITSTREAM からお知らせしなくても自動的に終了します。終了と同時に文書 Bitstream 製品、そのすべてのコピーは部分的か全体かを問わず、変更されたコピーがある場合はそれも含めて破棄しなければなりません。
6. その他。本契約はマサチューセッツ州法に準拠します。

保証の拒否および限定保証

BITSTREAM は、Bitstream 製品が提供されているディスクについて、通常の使用形態であればお客様の受領書の写しによって証明されるお客様への納品日から 90 日間、材質および出来映えに欠陥がないことを保証します。

ディスクに関する BITSTREAM の全責任およびお客様の唯一の救済措置は、購入価格を返却するか、BITSTREAM の限定保証を満たさず、BITSTEAM に受領証のコピーとともに返却されたディスクを交換するかのいずれかを BITSTREAM が選択することとなります。ディスクの障害が事故、濫用または誤用を原因とする場合、BITSTREAM はディスクを交換するか購入価格を返却する責任を有しません。ディスクを交換する場合は、当初の保証期間の残りの期間か 30 日間のいずれか長いほうの期間について保証されます。この保証により、お客様には特定の法的権利が付与されます。また州によりお客様は異なるその他の権利を持つ可能性があります。

以上で明確に定義されている場合を除き、Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書は「保証なし」のまま提供されます。BITSTREAM は特定目的の商品性および適合性の黙示的な保証など、明示的か黙示的かを問わず、いっさいの種類の保証を行いません。

Bitstream 製品、ユーザーズガイドおよび文書の品質および性能に関して、リスクはお客様が全面的に負うことになります。BITSTREAM は、Bitstream 製品に含まれる機能がお客様の要求事項を満たす旨、またはソフトウェア製品が無停止またはエラーなしで稼働する旨を保証するものではありません。

BITSTREAM は、たとえそうした損害の可能性を助言されていたとしても、Bitstream 製品の使用から、または使用できなかったことから生じた直接的、間接的、派生的、付随的な損害賠償の責任を負いません（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失から生じた損害を含む）。

一部の州では、派生的または付随的な損害賠償の責任を除外または限定することが認められていないため、上記の限定が適用されない場合があります。

米国政府の限定権利

Bitstream 製品と呼ばれるソフトウェア製品とその関連文書は権利を限定して提供されます。合衆国政府による使用、複写、開示は、FAR52.227-19(c)(2)（1987 年 5 月）が適用される場合はそこに規定されている制限に従います。それ以外の場合は DOD FAR の適用される規定が 252.227-7013 の第 (a)(15) 条（1988 年 4 月）または第 (a)(17) 条（1988 年 4 月）を補完する条項です。

契約当事者 / メーカーは 215 First Street, Cambridge, MA 02142 の Bitstream Inc. です。本契約に関して質問がおありの場合、または理由を問わず BITSTREAM に連絡を取りたい場合は、書面でご連絡ください。

FontGallery 同梱書体見本

次の書体をご利用いただけます。

■ 和文書体

和文書体の見本を以下に示します。

平成明朝体 W3	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W5	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W7	夢のある多彩なフォント
平成明朝体 W9	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W3	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W5	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W7	夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体 W9	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
角ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-L	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-M	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-B	夢のある多彩なフォント
丸ゴシック体 Ca-U	夢のある多彩なフォント
教科書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
楷書体 NT-M	夢のある多彩なフォント
行書体 LC-M	夢のある多彩なフォント
行書体 CC-M	夢のある多彩なフォント

■ かな書体

かな書体の見本を以下に示します。

こでまりＬ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＭ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＢ	ゆめのあるふぉんと
こでまりＨ	ゆめのあるふぉんと
からたちＬ	ゆめのあるふぉんと
からたちＭ	ゆめのあるふぉんと
からたちＢ	ゆめのあるふぉんと
からたちＨ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＬ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＭ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＢ	ゆめのあるふぉんと
さんざしＨ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＬ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＭ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＢ	ゆめのあるふぉんと
てっせんＨ	ゆめのあるふぉんと
あしびＬ	ゆめのあるふぉんと
あしびＭ	ゆめのあるふぉんと
あしびＢ	ゆめのあるふぉんと
あしびＨ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＬ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＭ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＢ	ゆめのあるふぉんと
はしばみＨ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＬ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＭ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＢ	ゆめのあるふぉんと
さざんかＨ	ゆめのあるふぉんと
行書LC仮名	ゆめのあるふぉんと
sek01	ゆめのあるふぉんと
sek02	ゆめのあるふぉんと

9 付録

■ 和文書体とかな書体の組み合わせ

和文書体とかな書体の組み合わせ見本を以下に示します。

平成明朝体　Ｗ３＋からたちＬ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋こでまりＬ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋さんざしＬ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ３＋てっせんＬ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋からたちＭ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋こでまりＭ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋さんざしＭ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ５＋てっせんＭ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋からたちＢ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋こでまりＢ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋さんざしＢ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ７＋てっせんＢ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋からたちＨ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋こでまりＨ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋さんざしＨ　夢のある多彩なフォント
平成明朝体　Ｗ９＋てっせんＨ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋あしびＬ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋さざんかＬ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ３＋はしばみＬ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋あしびＭ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋さざんかＭ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ５＋はしばみＭ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋あしびＢ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋さざんかＢ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ７＋はしばみＢ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋あしびＨ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋さざんかＨ　夢のある多彩なフォント
平成角ゴシック体　Ｗ９＋はしばみＨ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋あしびＬ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋さざんかＬ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｌ＋はしばみＬ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋あしびＭ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋さざんかＭ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｍ＋はしばみＭ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋あしびＢ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋さざんかＢ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｂ＋はしばみＢ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋あしびＨ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋さざんかＨ　夢のある多彩なフォント
角ゴ　Ｃａ-Ｕ＋はしばみＨ　夢のある多彩なフォント
丸ゴ　Ｃａ-Ｂ＋ｓｅｋ０１　夢のある多彩なフォント
楷書体　ＮＴ－Ｍ＋てっせんＭ　夢のある多彩なフォント
行書体　ＬＣ－Ｍ＋行書ＬＣ仮名　夢のある多彩なフォント

- Windowsをお使いの場合は、FontComposerを使用して組み合わせ書体を自由に作成できます。
- Macintosh をお使いの場合は、あらかじめ上記の組み合わせ書体が収録されています。

■ 欧文書体

欧文書体の見本を以下に示します。

書体名	見本
American Garamond Roman	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Italic	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Bold	ABCDEF abcdef 12345
American Garamond Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Bold	ABCDEF abcdef 12345
Bodoni Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Light	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cataneo Bold	ABCDEF abcdef 12345
* Cataneo Light Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Regular Swash	ABCDEF a de 12345
* Cataneo Bold Swash	ABCDEF a de 12345
Cooper Black	ABCDEF abcdef 12345
Cooper Black Italic	ABCDEF abcdef 12345
Cooper Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Century Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Roman	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Italic	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Bold	ABCDEF abcdef 12345
Century Schoolbook Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Roman	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Bold	ABCDEF abcdef 12345
Clarendon Black	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Regular	ABCDEF abcdef 12345
Cloister Black Openface	ABCDEF abcdef 12345
Commercial PI Regular	±°′″∅+ ©®©®™™ ●●▪■■
Commercial Script Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Bold	ABCDEF abcdef 12345

＊「Cataneo Swash」には、一部文字が収容されておりません。これは、「Cataneo」と組み合わせて使用される書体のためです。

Dutch 801 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Dutch 801 Extra Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Light	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Demi-Bold	ABCDEF abcdef 12345
Exotic 350 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Roman	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Extra Bold	ABCDEF abcdef 12345
Goudy Oldstyle Handtooled	ABCDEF abcdef 12345
Holiday PI	
Poster Bodoni Roman	ABCDEF abcdef 12345
Poster Bodoni Italic	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Sans Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Serif Bold	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono BT	ABCDEF abcdef 12345
Prima Mono Bold	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Regular	ABCDEF abcdef 12345
Ribbon 131 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Regular	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Bold	ABCDEF abcdef 12345
Roundhand Black	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Roman	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Italic	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Bold	ABCDEF abcdef 12345
Serifa Black	ABCDEF abcdef 12345

Serifa Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Snowcap Regular	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 222	ABCDEF abcdef 12345
Staccato 555	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Thin Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Light Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Condensed Italic	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Extended	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Outline	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Bold Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Swiss 721 Black Rounded	ABCDEF abcdef 12345
Symbol Proportional Regular	ΑΒΧΔΕΦ αβχδεφ 12345
Zapf Humanist 601 Roman	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Bold Italic	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra	ABCDEF abcdef 12345
Zapf Humanist 601 Ultra Italic	ABCDEF abcdef 12345

索引

英数字

100 ランプ , 7-40
4 面はがき , 2-4, 2-60
Administrators 権限 , 3-21, 3-26, 3-30, 3-36, 3-41
Canon CAPT Print Monitor, 9-8
Canon Printer Uninstaller, 3-51
CAPT (Canon Advanced Printing Technology), 3-4, 5-4
CAPT ソフトウェアをインストールする , 3-4, 5-4
ERR ランプ , 7-40
FontGallery, 9-15
LAN
　　ケーブル , 1-16
　　コネクタ , 7-40
LNK ランプ , 7-40
Mac OS 8/9, 5-4
Mac OS X, 5-7
Macintosh, 5-1
MAC アドレス , 7-40
NB-C1, 7-39
NetSpot Console, 9-9
NetSpot Device Installer, 9-7
OHP フィルム , 2-4, 2-51
PageComposer, 4-71
Print Monitor Installer, 9-8
USB
　　クラスドライバ , 3-8, 3-13, 3-25, 3-40
　　ケーブル , 1-14
　　コネクタ , 1-4
Windowsファイアウォール機能について, 9-10

あ

アース線 , 1-7
アース線端子 , 1-5
明るさ , 4-63
足の位置 , 7-8
厚紙 , 2-4, 2-16, 2-51
アンインストール
　　Macintosh の場合 , 5-15
　　Windows の場合 , 3-77
安全にお使いいただくために , xiv
一時停止 , 4-7
移動 , 6-36
イメージデータを補正する , 4-62
色付きの文字や細線を黒ベタで印刷する , 4-62
印刷可ランプ , 1-6
印刷先を設定する（Macintosh）, 5-11
印刷条件 , 4-9
印刷済み用紙の裏面に手差しで印刷する , 4-59
印刷する , 4-3, 5-21
印刷の操作 , 4-7
印刷の向き , 4-22
［印刷品質］ページ , 4-29
印刷目的 , 4-29, 4-61
印刷を中止する , 4-7
印字位置を調整する , 6-27
印字品質のトラブル , 8-39
インストール
　　Mac OS 8/9 の場合 , 5-4
　　Mac OS X の場合 , 5-7
　　Windows 2000, 3-21
　　Windows 98/Me, 3-4
　　Windows XP/Server 2003, 3-36
インストールのトラブル , 8-49

上カバー , 1-3
後上カバー , 1-4
後下カバー , 1-5
運搬用取っ手 , 1-3
エラーランプ , 1-6, 8-3
往復はがき , 2-4, 2-60
お気に入り
お気に入り一覧 , 4-36
お気に入りの選択を許可する , 4-38
お気に入りを設定する , 4-66
コメント , 4-36
削除 , 4-37
新規追加 , 4-37
設定の編集を許可する , 4-38
ファイル保存 , 4-38
ファイル読み込み , 4-37
編集 , 4-37
名称 , 4-36
[お気に入り］ページ , 4-36
オプション品 , 7-2
オンラインヘルプ , 4-21
オンラインマニュアル , 5-27

か

角形２号 , 2-5, 2-67
拡大／縮小 , 4-41, 5-24
拡張ボードスロット , 1-4
各部の名称 , 1-3
紙づまり , 8-4
ガンマ補正 , 4-63
吸気口 , 1-5
給紙オプション , 4-18, 4-35
給紙カセット , 1-4
給紙部 , 4-27
給紙部
種類 , 2-10
積載枚数 , 2-11
選択 , 2-12
[給紙］ページ , 4-27
給紙方法 , 4-27, 4-60
吸排気口 , 1-5
共有プリンタ , 3-56
[共有］ページ , 4-33
クライアント , 3-56, 3-67
クライアントへのインストール , 3-67
グレー設定 , 4-30
グレー調整サンプルプリント , 4-32, 4-64
[グレー調整］ページ , 4-30
グレーの設定を行う , 4-30, 4-62
原稿サイズ , 4-21
コントラスト , 4-63

さ

サービスコール表示 , 8-37
再開 , 4-7
サイズや向きが異なる用紙を組み合わせる , 4-25, 4-54
最大消費電力 , 9-3
仕上げ , 4-57
仕上げ詳細 , 4-26
[仕上げ］ページ , 4-24
自己診断 , 1-12
周囲に必要なスペース , 7-8
出力用紙サイズ , 4-22
仕様
ソフトウェア , 9-3
ハードウェア , 9-2
詳細 , 4-29
詳細設定 , 4-25
[詳細設定］ページ , 4-34
[詳細］ページ , 4-32
使用済みトナーカートリッジ回収のお願い , 6-17
使用できない用紙 , 2-8
使用できる用紙 , 2-2
処理オプション , 4-26

シリアルナンバー , 9-36
スーパースムーズ , 4-59
スタンプ , 4-23, 4-44
スタンプ編集 , 4-23
寸法 , 9-4
清掃
　感光ドラム , 6-25
　定着ローラ , 6-20
　転写ローラ , 6-25
　プリンタ , 6-34
製本詳細 , 4-25
［セキュリティ］ページ , 4-34
［全般］ページ , 4-32
その他のトラブル , 8-57

た

ダウンロードインストール , 3-56, 3-67
タスクバーにアイコンを表示する , 4-35
中止 , 4-7
調整の対象 , 4-63
定格銘板ラベル , 1-5
定着オフセット , 4-59
手差しから印刷する場合に一時停止する , 4-28
手差しで続けて印刷する , 4-28
手差しトレイ , 1-4
手差し搬送カバー , 1-5
デバイス情報取得 , 4-35
［デバイスの設定］ページ , 4-35
電源
　電源コードを接続する , 1-9
　電源スイッチ , 1-3
　電源をオフにする , 1-13
　電源をオンにする , 1-12
電源コード差し込み口 , 1-5
転写ローラ , 1-6
同梱書体 , 9-22
ドキュメントプロパティ
　Windows 2000/XP/Server 2003, 4-13, 4-14, 4-20
　Windows 98/Me, 4-9, 4-20
特殊定着モード , 4-59
とじしろ , 4-56
とじしろ指定 , 4-26
とじ方向 , 4-25
トナーカートリッジ
　回収のお願い , 6-17
　交換 , 6-2, 6-8
　周辺の清掃 , 6-11
　使い切るには , 6-3
　取り扱い , 6-17
　保管 , 6-19
トナーカートリッジガイド , 1-6
トナーカバー , 1-5
トナーカバーオープンボタン , 1-5
トナー節約モード , 4-29
トナー節約モードを使う , 4-62
トナー濃度 , 4-62
トラブル
　印字品質 , 8-39
　インストール , 8-49
　その他 , 8-57
　何も印刷されないときは , 8-48
　用紙 , 8-46
トラブル解決マップ , 8-2

な

内部スプール処理 , 4-35
何も印刷されないときは , 8-48
ネットワーク環境 , 1-16, 3-56
ネットワークボード , 7-39
ネットワークボード
　各部の名称と機能 , 7-40
　初期化 , 7-47
　ディップスイッチの設定 , 7-45
　取り付け , 7-41

取り外し , 7-50

は

排気口 , 1-5
排紙先
積載枚数 , 2-15
排紙トレイ , 2-14
排紙トレイ , 1-3
排紙方法 , 4-26
配置順 , 4-22
倍率を指定 , 4-22
はがき , 2-4, 2-60
左カバー , 1-4
日付 , 4-50
必要なシステム環境 , 3-3
ファイアウォール , 9-10
封筒 , 2-5, 2-67
部数 , 4-22
普通紙 , 2-3
プラグ・アンド・プレイ
Windows 2000, 3-26
Windows 98/Me, 3-9
Windows XP/Server 2003, 3-41
プリンタ
移動 , 6-36
各部の名称 , 1-3
取り扱いのご注意 , 6-44
保管 , 6-45
プリンタステータスウィンドウ
エラー復帰 , 4-79
各部の名称と機能 , 4-73
環境設定メニュー , 4-75
最新の情報に更新 , 4-79
デバイス設定メニュー , 4-78
表示方法 , 4-75
ユーティリティメニュー , 4-77
プリンタ接続コネクタ , 7-40
プリンタドライバ
アンインストール , 3-77, 5-15
インストール , 3-4, 5-4
プリンタの機能を確認する , 8-60
プリンタの共有設定
Windows 2000/XP/Server 2003, 3-62
Windows 98/Me, 3-60
プリンタの追加ウィザード
Windows 2000, 3-30
Windows 98/Me, 3-17
Windows XP/Server 2003, 3-44
プリンタプロパティ
Windows 2000/XP/Server 2003, 4-16, 4-20
Windows 98/Me, 4-11, 4-20
プリンタ名 , 3-16, 3-20, 3-34, 3-49
プリントサーバ , 3-57
プリントサーバの設定
Windows 2000/XP/Server 2003, 3-61
Windows 98/Me, 3-57
プレビュー画面 , 4-38
ページ修飾 , 4-24
[ページ設定] ページ , 4-21
ページレイアウト , 4-22
ペーパーフィーダ
250枚ペーパーフィーダユニットPF-66, 7-6
250 枚ペーパーフィーダユニット PF-66E, 7-6
各部の名称と機能 , 7-9
設置スペース , 7-8
取り付け , 7-20
取り外し , 7-26
編集＋プレビュー , 4-70
[ポート] ページ , 4-33
保守サービス , 9-33
補助トレイ , 1-4
ポスター印刷 , 4-43

ま

[マッチング] ページ , 4-31
マッチング方法 , 4-63
マッチングモード , 4-63
無償保証 , 9-35
メタファイルスプーリングを行う , 4-59
モニタ・スキャナの設定 , 4-63
モノクロ中間調 , 4-62

や

ユーザ定義用紙 , 4-23, 4-49
洋形 2 号 , 2-5, 2-67
洋形 4 号 , 2-5, 2-67
用紙
　　印刷できる範囲 , 2-7
　　プリントの保管 , 2-9
　　保管 , 2-9
用紙押さえレバー , 1-4
用紙ガイド , 1-4
用紙サイズ
　　一覧 , 2-2
　　変更 , 2-28
　　略号 , 2-6
用紙サイズ登録カバー , 1-5
用紙サイズ登録ダイヤル , 1-5
用紙サイズ表示 , 1-4
用紙サイズ表示板差し込み口 , 1-5
用紙タイプ , 4-28
用紙タイプ一覧 , 2-3
用紙のセット
　　OHP フィルム , 2-51
　　厚紙 , 2-16, 2-51
　　給紙カセット , 2-16
　　手差しトレイ , 2-51
　　はがき , 2-60
　　封筒 , 2-67
　　ラベル用紙 , 2-51
用紙のトラブル , 8-46
用紙の向き
　　カセット 1, 2-20
　　カセット 2、3、4, 2-25
　　手差しトレイ（はがき、封筒以外）, 2-55
　　手差しトレイ（はがき）, 2-62
　　手差しトレイ（封筒）, 2-71
用紙ランプ , 1-6

ら

ラベル用紙 , 2-4, 2-51
ランプ , 1-3
両面印刷
　　自動で両面に印刷する , 2-77
　　手動で両面に印刷する , 2-83
　　用紙のセット , 2-80
両面印刷時に最後のページを片面モードで印刷する , 4-59
両面ユニット , 4-35, 7-28
両面ユニット *
　　各部の名称と機能 , 7-30
　　設置スペース , 7-29
　　取り付け , 7-32
　　取り外し , 7-35
両面ユニット用コネクタ , 1-5
レーザー光 , xvii
ローカルインストール , 3-56
ローカルプリンタ , 3-18, 3-31, 3-46

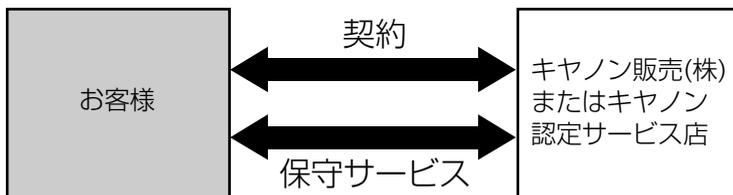
わ

枠 , 4-50

保守サービスのご案内

■ **ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために**
このたびはレーザビームプリンタをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくレーザビームプリンタの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」を用意しています。これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。(製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ **都度の修理料金は不要**
保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ **保守点検の実施**
お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。(別途、有料となります。)

キヤノンサービスパックとは

キヤノン製品を長期間にわたって、安心してご使用いただくための保守サービスを、お手軽にご購入できるようパッケージ化した新しいタイプのサービス商品です。対象のキヤノン製品をご購入後、3 年間、4 年間、5 年間のタイプを用意しています。（無償修理保証期間を含みます）

キヤノンサービスパックのメリット

■ 簡単登録

従来の保守契約とは違い、面倒な手続きは一切不要。キヤノンサービスパックを購入後、登録カードをご送付いただくだけで手続きは完了します。

■ 電話一本

万一のトラブルが発生したときは、キヤノンサービスコールセンターにお電話にてお客様 ID とトラブルの内容をお知らせいただくだけで、迅速に対応します。

■ 固定料金

キヤノンサービスパックのご購入料金が、期間中のサービス料金に相当します。予期せぬ出費が防げるため、予算計画も立てやすくなります。

キヤノンサービスパックのサービス範囲

故障時の修理・調整：	故障が発生した場合、その修理・調整をおこないます。
修理料：	修理時に発生する訪問料金・技術料・部品代はキヤノンサービスパック料金に含まれます。（消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります）
保守期間：	対象製品購入後、3年間、4年間、5年間です。（保証期間を含みます）

なお、天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや消耗品代、キヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」ともに対象外となります。

「キヤノン保守契約制度」と「キヤノンサービスパック」に関するお申し込み、お問合せはお買い上げの販売店もしくはキヤノン販売（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、本機製造打ち切り後 7 年間です。

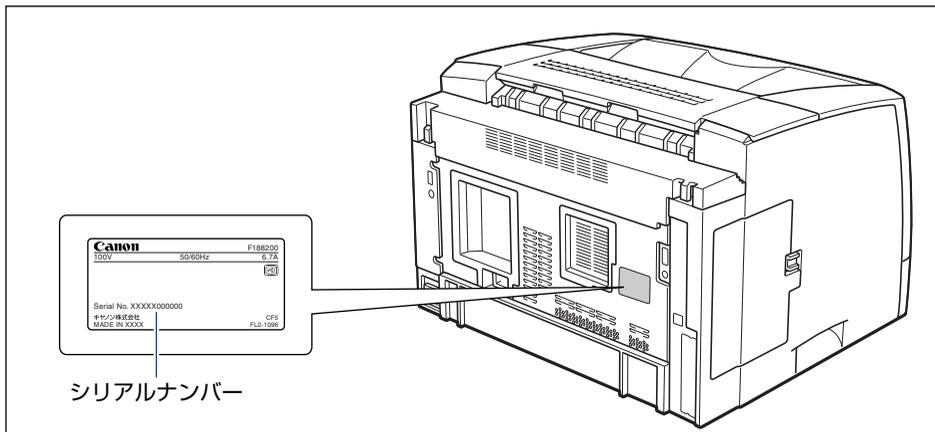
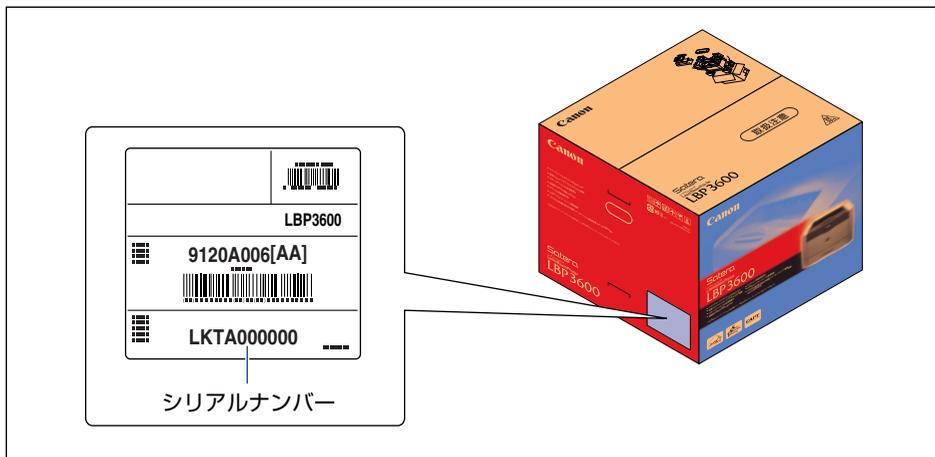
無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

シリアルナンバーの表示位置について

シリアルナンバー（Serial No.）は、4 文字のアルファベットと 6 桁の数字で構成されています。

重要　ラベルはサービスや保守の際に、サービスマンがシリアルナンバーを確認するために必要です。絶対にはがさないでください。

■ 本体背面

■ 梱包箱外側

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報およびソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネットを利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードサービスおよび代引き配送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ（http://canon.jp/）

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードをクリックしてください。

■ CD-ROM の代引き配送サービス

プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM を有料（代金引き換え）にてお届けいたします。

ソフトウェアの種類、内容、金額はキヤノンホームページなどでご確認いただき、巻末のお客様相談センターへご注文ください。

• 対象エリアは日本国内とさせていただきます。

サテラ　ご購入者アンケート協力のお願い

この度は、キヤノンサテラシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。みなさまのご意見を今後の製品開発の参考とさせていただきたく、アンケートへのご協力をお願い申し上げます。
本プリンタに付属の CD-ROM のトップ画面に、キヤノンホームページのアンケートページへアクセスするボタンがあります。大変お手数ではございますが、そこからアクセス後、質問事項にご回答ください。
ご回答いただきました内容はより良いサービスと今後の製品開発の貴重な資料として活用し、それ以外の目的に使用することはありません。

※ アンケートにご回答いただく際には、商品名称と本体機番を入力していただく必要があります。

例）　商品名称　　LBP3600
　　　本体機番　　LKTA000001
　　　（保証書および本体背面、梱包箱外側に記載されています。）

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

Canon

キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90061

[受付時間]　<平日> 9:00～20:00　<土日祝日> 10:00～17:00
（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

Canonホームページ：http://canon.jp

FA7-6630　(040)